

首都圏中央連絡自動車道
戸田高架橋耐震補強工事

設 計 図

【酒蔵高架橋】

令和8年9月

東日本高速道路株式会社
関東支社市原管理事務所

図 面 目 次

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1 . 酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1～5)	・ ・ ・ ・ 1 ～ 5	31 . 酒蔵高架橋 P4橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 40
2 . 酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 6	32 . 酒蔵高架橋 P5橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 41
3 . 酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 7 ～ 9	33 . 酒蔵高架橋 P6橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 42
4 . 酒蔵高架橋 P2橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 10	34 . 酒蔵高架橋 P7橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 43
5 . 酒蔵高架橋 P3橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 11	35 . 酒蔵高架橋 P8橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 44
6 . 酒蔵高架橋 P4橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 12	36 . 酒蔵高架橋 P9橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 45
7 . 酒蔵高架橋 P5橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 13	37 . 酒蔵高架橋 P10橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 46
8 . 酒蔵高架橋 P6橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 14	38 . 酒蔵高架橋 P11橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 47
9 . 酒蔵高架橋 P7橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 15	39 . 酒蔵高架橋 P12橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 48
10 . 酒蔵高架橋 P8橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 16	40 . 酒蔵高架橋 P13橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 49
11 . 酒蔵高架橋 P9橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 17	41 . 酒蔵高架橋 P14橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 50
12 . 酒蔵高架橋 P10橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 18	42 . 酒蔵高架橋 P15橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 51
13 . 酒蔵高架橋 P11橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 19	43 . 酒蔵高架橋 P1橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 52
14 . 酒蔵高架橋 P12橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 20	44 . 酒蔵高架橋 P2橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 53
15 . 酒蔵高架橋 P13橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 21	45 . 酒蔵高架橋 P3橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 54
16 . 酒蔵高架橋 P14橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 22	46 . 酒蔵高架橋 P4橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 55
17 . 酒蔵高架橋 P15橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 23	47 . 酒蔵高架橋 P5橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 56
18 . 酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1配置図	・ ・ ・ ・ 24	48 . 酒蔵高架橋 P6橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 57
19 . 酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)	・ ・ ・ ・ 25	49 . 酒蔵高架橋 P7橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 58
20 . 酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1構造図(その2～3)	・ ・ ・ ・ 26 ～ 27	50 . 酒蔵高架橋 P8橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 59
21 . 酒蔵高架橋 A2橋台 落橋防止構造P1配置図	・ ・ ・ ・ 28	51 . 酒蔵高架橋 P9橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 60
22 . 酒蔵高架橋 A2橋台 落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)	・ ・ ・ ・ 29	52 . 酒蔵高架橋 P10橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 61
23 . 酒蔵高架橋 A2橋台 落橋防止構造P1構造図(その2～3)	・ ・ ・ ・ 30 ～ 31	53 . 酒蔵高架橋 P11橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 62
24 . 酒蔵高架橋 P16橋脚 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 32	54 . 酒蔵高架橋 P12橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 63
25 . 酒蔵高架橋 下部工施工要領図(参考図)(その1～2)	・ ・ ・ ・ 33 ～ 34	55 . 酒蔵高架橋 P13橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 64
26 . 酒蔵高架橋 上部工施工要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 35	56 . 酒蔵高架橋 P14橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 65
27 . 酒蔵高架橋 コンクリート打設要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 36	57 . 酒蔵高架橋 P15橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 66
28 . 酒蔵高架橋 P1橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 37	58 . 酒蔵高架橋 A1橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 67
29 . 酒蔵高架橋 P2橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 38	59 . 酒蔵高架橋 P16橋脚 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 68
30 . 酒蔵高架橋 P3橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 39	60 . 酒蔵高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 69

図 面 目 次

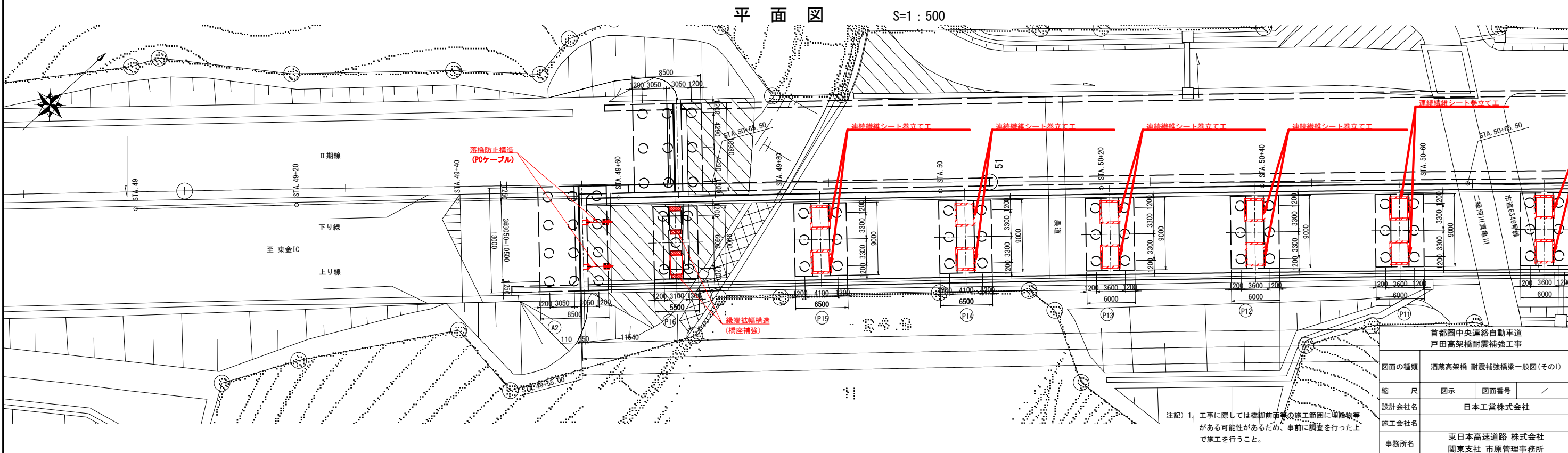
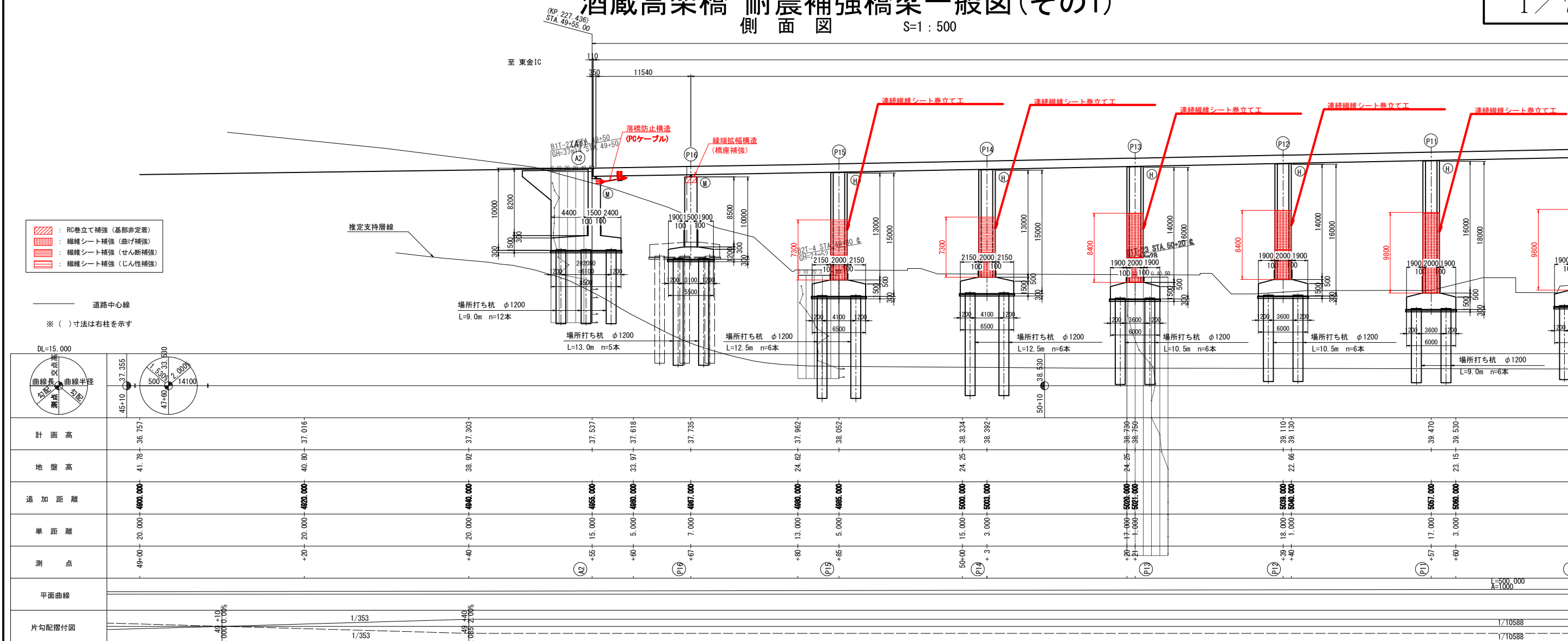
図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
61 . 酒蔵高架橋 交通保安要員配置図(参考図)(その1～2)	 70 ~ 71		
62 . 酒蔵高架橋 A1橋台 補修図	 72		

酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1)

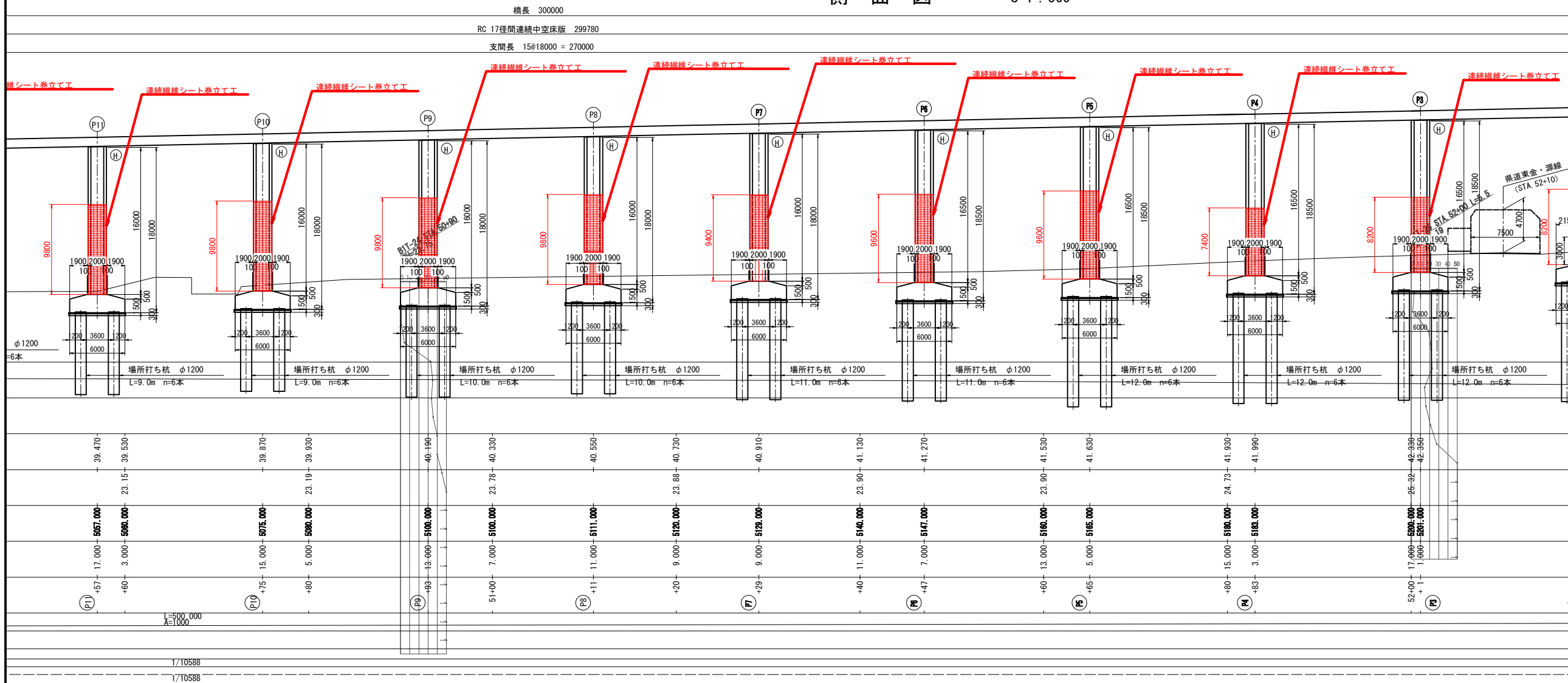
側面図

S=1 : 500

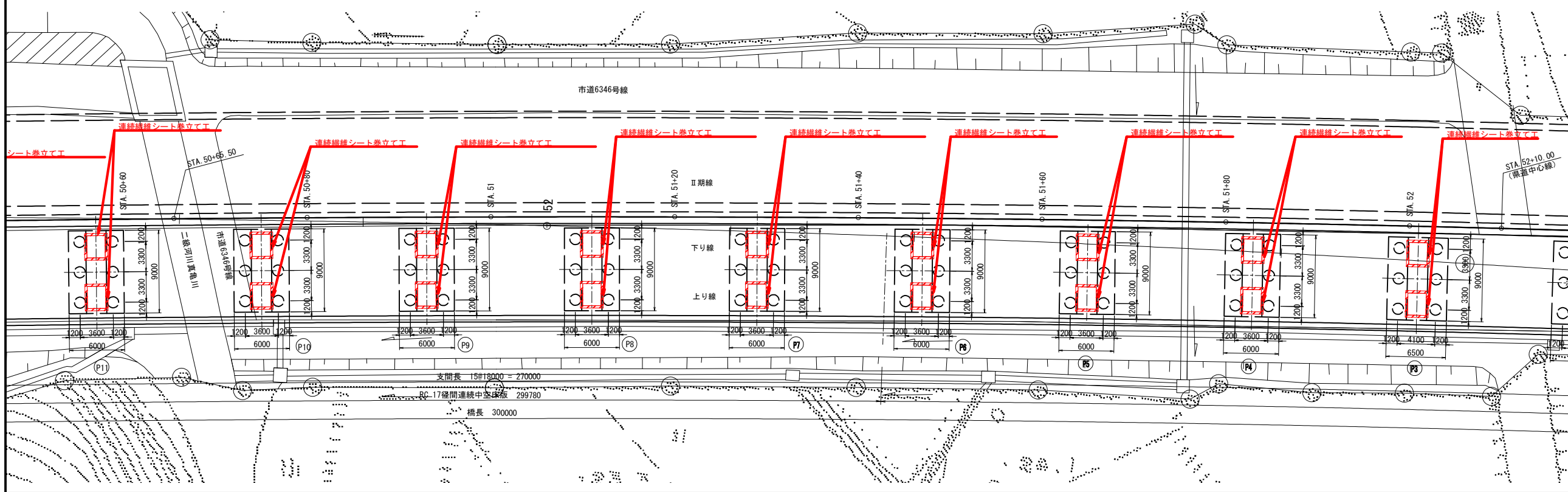
1 / 72



酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その2)
側面図



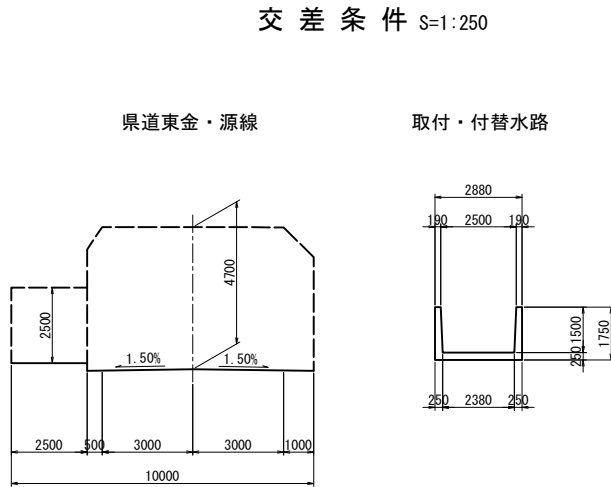
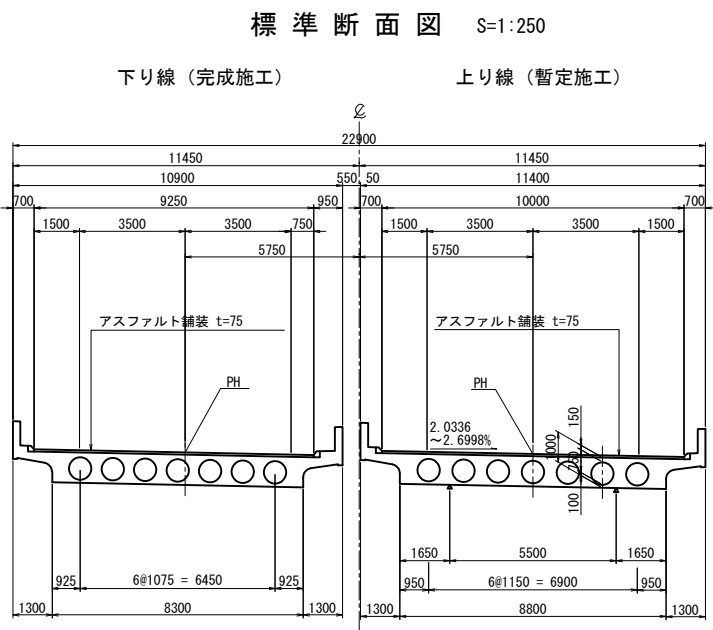
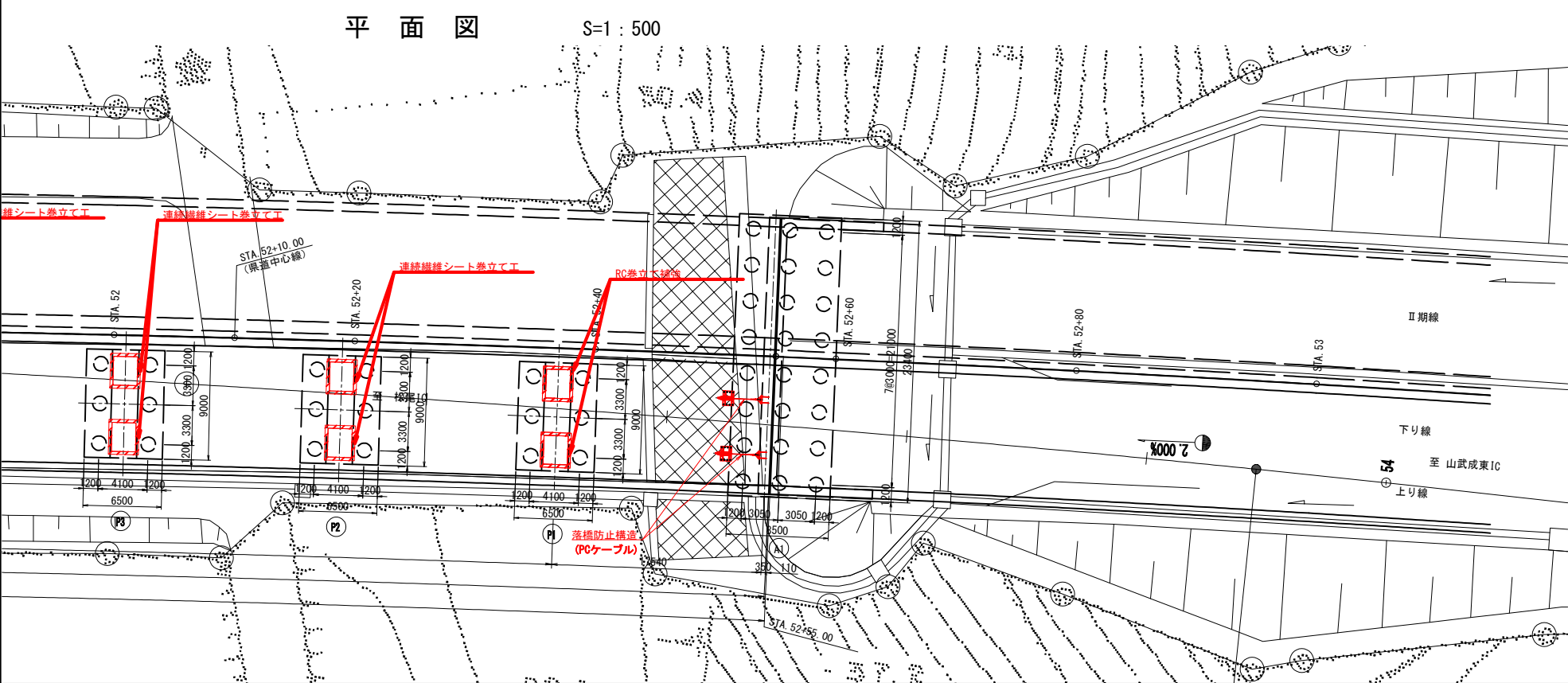
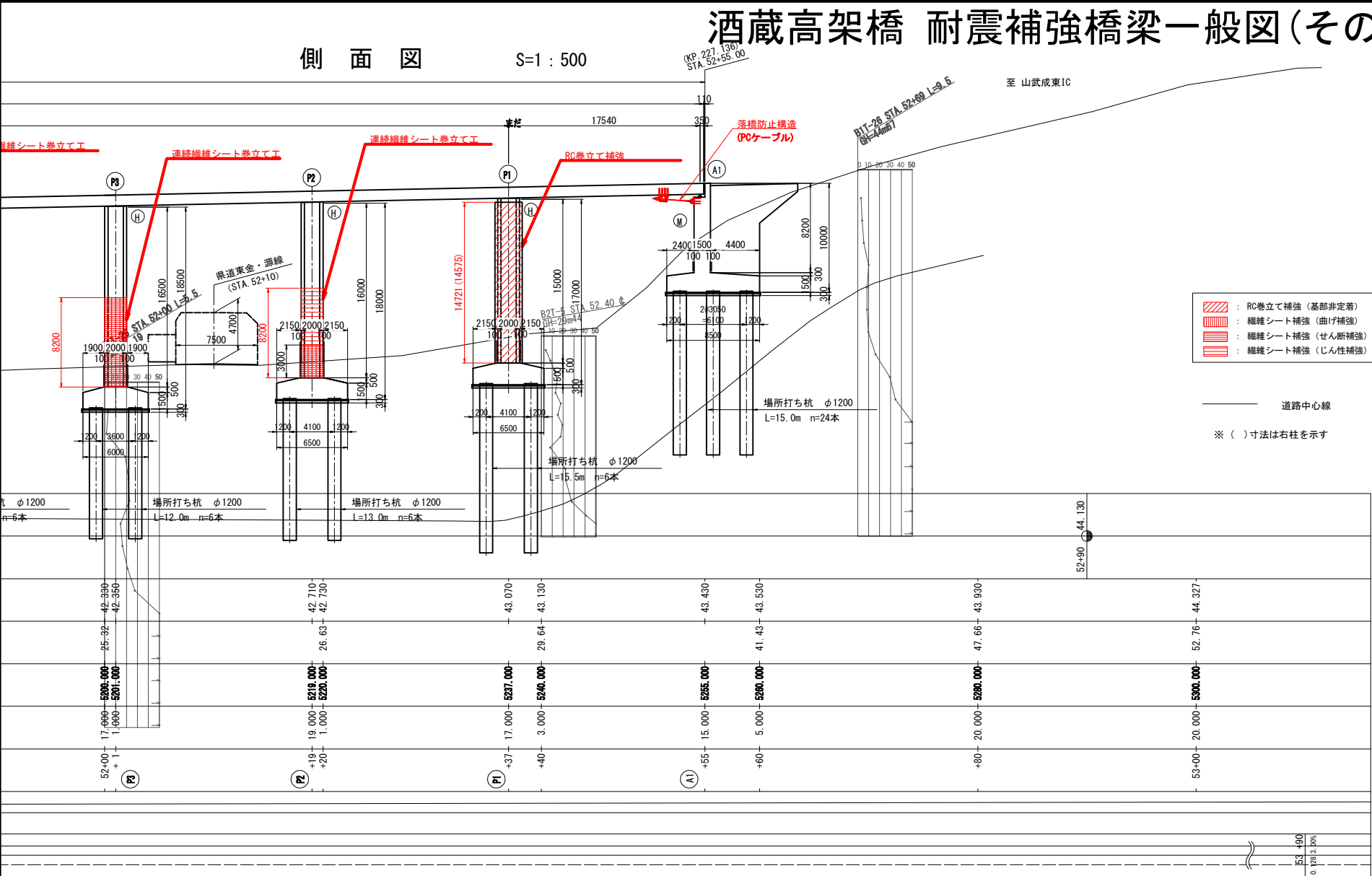
平面図 S=1 : 500



(注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

図面の種類	酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)



設計条件表 (建設時)			
橋 長	300m000	桁長	299m780
道路規格	第1種 第2級 B規格		
荷 重	TL-20, TT-43		
型 式	RC17径間連続中空床版		
支 間	11m 540 + 15@18m 000 + 17m 540		
有効幅員	10m000	斜角	90° 00'
横断勾配	2.0336% ~ 1.6998%		
縦断勾配	1.53%	2.00%	VCL 500
設計震度	水平震度 kh = 10×10×10×125×0.2 = 0.25		
床版コンクリート	σck = 240kgf/cm2		
床版鉄筋	主版 σsa=1800kgf/cm2 張出部 σsa=1400kgf/cm2 SD345		
適用基準等	平成2年2月 道路橋示方書 同解説		

注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

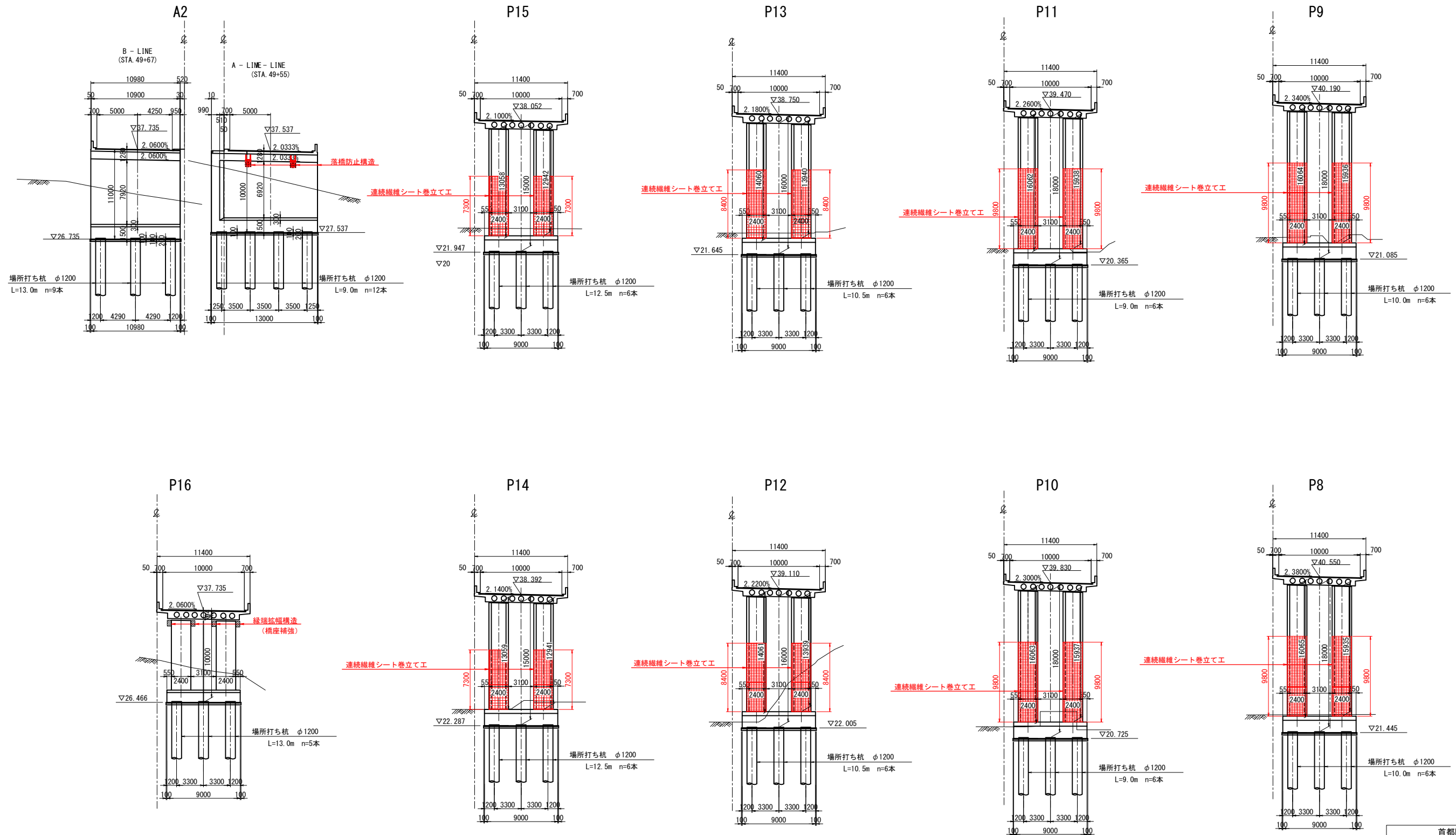
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その4)

下部工正面図

S=1 : 500

-  : RC巻立て補強（基部非定着）
 : 繊維シート補強（曲げ補強）
 : 繊維シート補強（せん断補強）
 : 繊維シート補強（じん性補強）



	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図 (その4)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

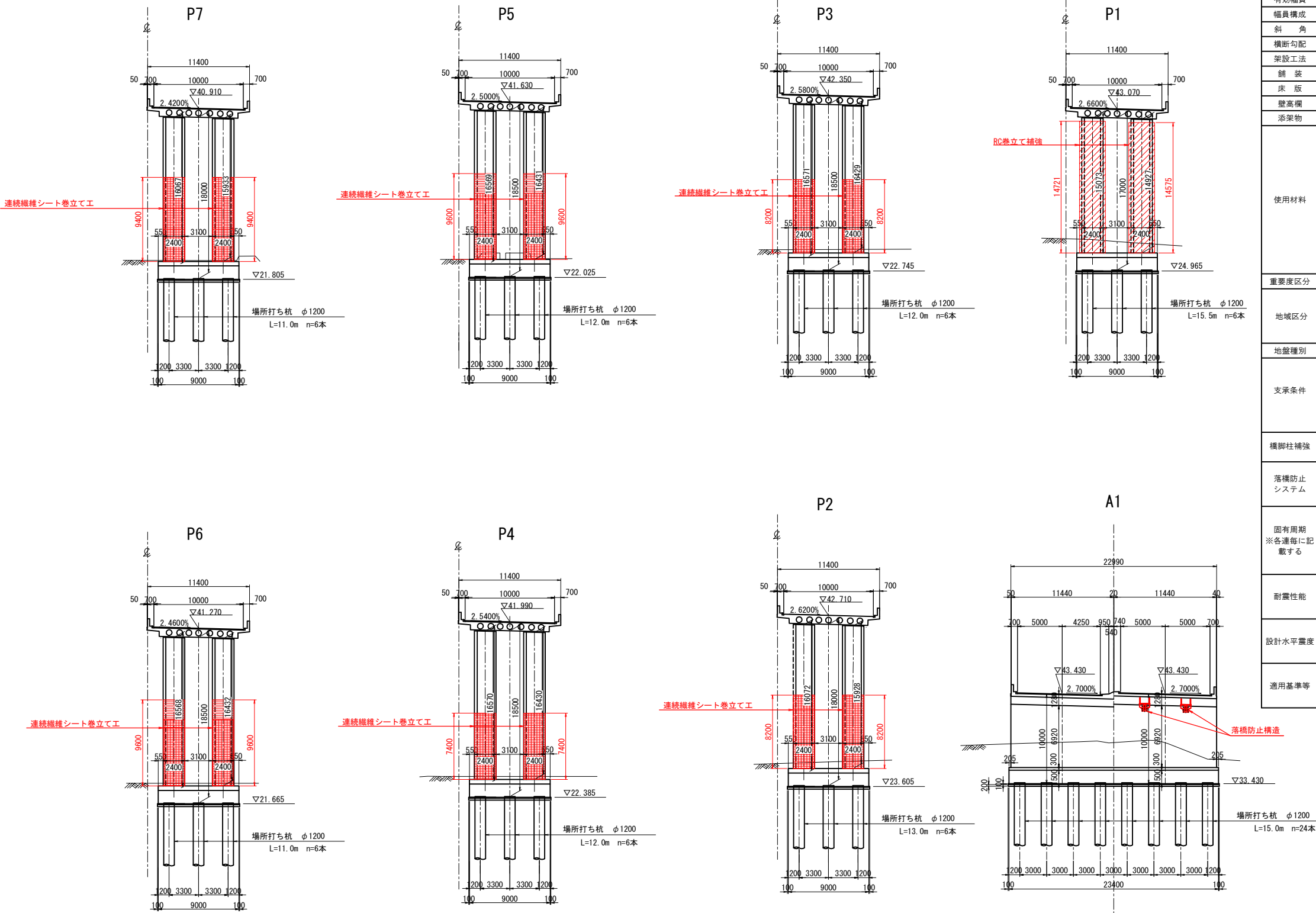
注記) 1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その5)

下部工正面図

S=1 : 500

- RC巻立て補強（基部非定着）
- 繊維シート補強（曲げ補強）
- 繊維シート補強（せん断補強）
- 繊維シート補強（じん性補強）

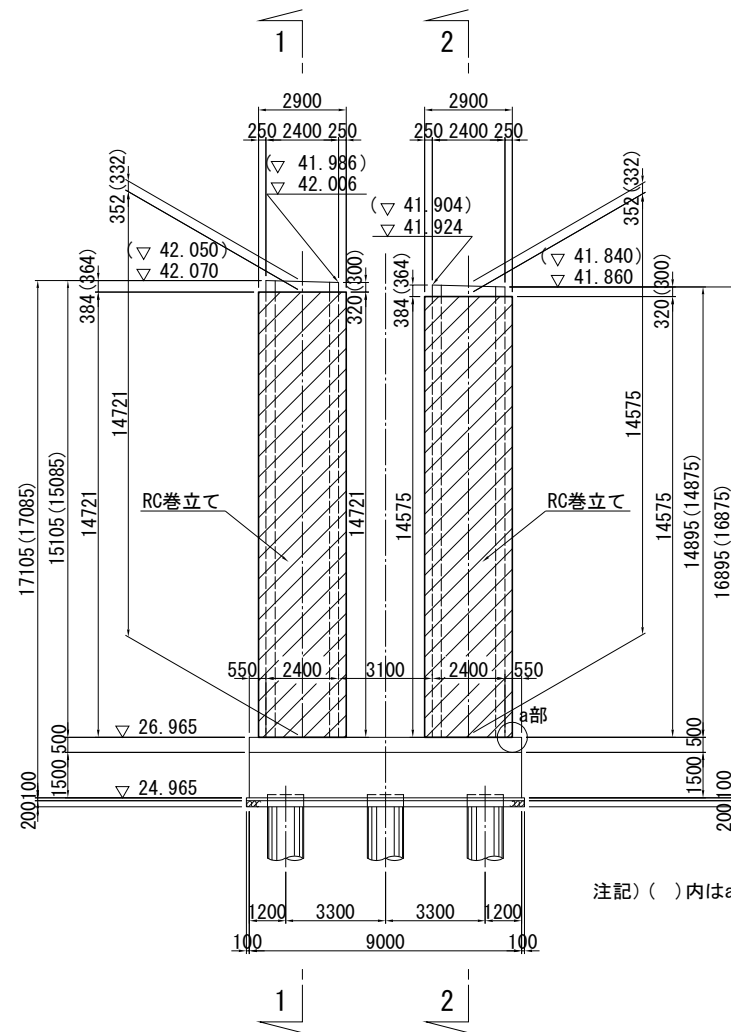


設計条件表（補強設計時）				
設計年次 令和8年4月				
橋 長		300.000m	桁 長	11.540m+15@18.000m+17.540m
道路規格 第1種 第2級 B規格			設計速度	V= 100km/h
荷 重 TL-20, TT-43				
補強形式	上部工		---	
	下部工		RC巻き立て補強、炭素繊維巻き立て補強	
	基礎工		---	
支 間 11.540m + 15@18.000m + 17.540m				
有効幅員 10.000m				
幅員構成 1.500m + 3.500m + 3.500m + 1.500m				
斜 角 A1～A2：90° 00' 00"				
横断勾配 2.000%		縦断勾配		1.5429%～2.000%
架設工法 ---				
舗 装 アスファルト舗装 t = 80mm				
床 版 PC中空床版				
壁高欄 RC壁高欄				
添架物 ---				
使用材料	上 部 工	鋼 材	---	
		コンクリート	---	
		鉄 筋	---	
		PC鋼材	---	
	下 部 工	連続繊維シート	炭素繊維シート；引張強度3400N/mm2	
		コンクリート	σ _{ck} =30N/mm2	
		鉄 筋	SD345	
	基 礎 工	鋼 材	---	
		コンクリート	---	
鉄 筋		---		
重要度区分 B種				
地域区分	レベル1		A2地域(C _z =1.0)	
	レベル2	タイプⅠ	A2地域(CⅠ _z =1.00)	
		タイプⅡ	A2地域(CⅡ _z =1.00)	
地盤種別 Ⅱ種地盤				
支承条件	形 式		A1、P16、A2：パッド番+アンカーバー、 P1～P15：メナーゼヒンジ	
	橋軸方向		A1、P16、A2：可動、P1～P15：メナーゼヒンジ	
	直角方向(レベル1)		全支点：固定	
	直角方向(レベル2)		全支点：固定	
橋脚柱補強	RC巻立て補強		P1	
	炭素繊維巻立て補強		P2～P15	
落橋防止システム	落橋防止構造		PCケーブル	A1、A2：1.5×R _d
	横変位拘束構造		---	
	縁端拡幅		RC縁端拡幅	P16(直交)：支承端距離確保
固有周期 ※各連毎に記載する	レベル1		---	
	レベル2(タイプⅠ)		A1-A2：0.99s	
	レベル2(タイプⅡ)		A1-A2：0.99s	
耐震性能	レベル1		耐震性能1	
	レベル2		耐震性能2 主たる塑性化を考慮する部位：橋脚柱基部	
設計水平震度	レベル1		動的照査法を適用	
	レベル2(タイプⅠ)		動的照査法を適用	
	レベル2(タイプⅡ)		動的照査法を適用	
適用基準等	道路橋示方書・同解説(平成24年3月)			
	道路橋示方書・同解説(平成14年3月)			
	設計要領第二集 橋梁保全編（東日本高速道路株式会社：令和 6年7月）			

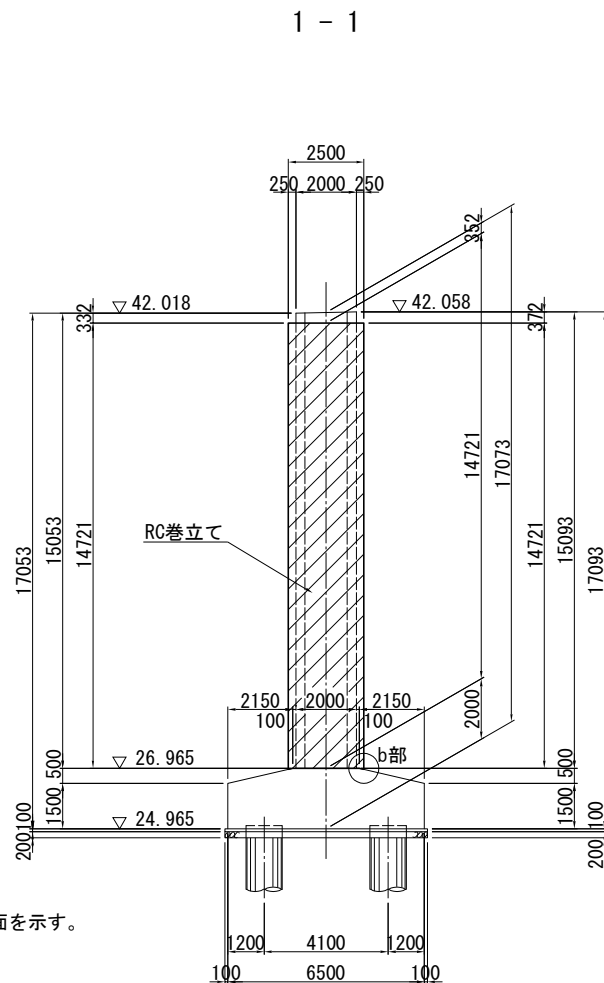
注記）1. 工事に際しては橋脚前面等の施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行った上で施工を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 耐震補強橋梁一般図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

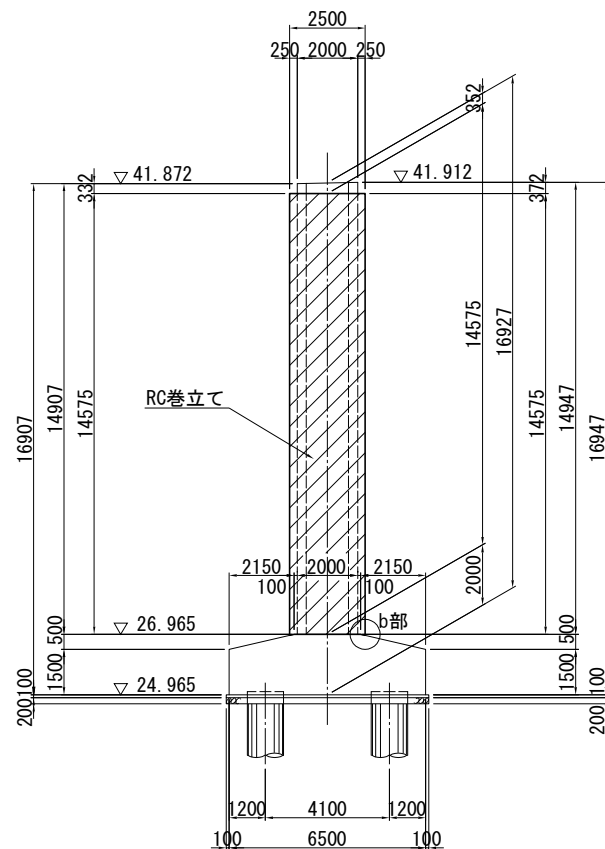
正面図



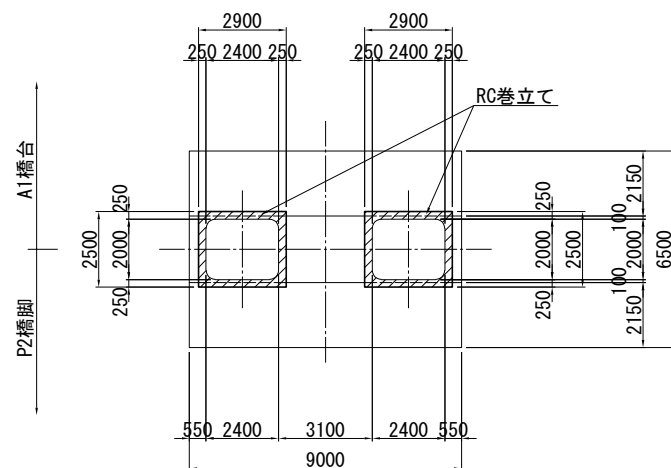
側面図



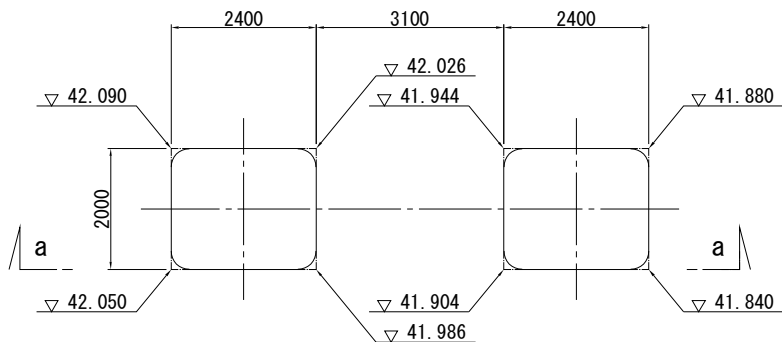
2-2



平面図

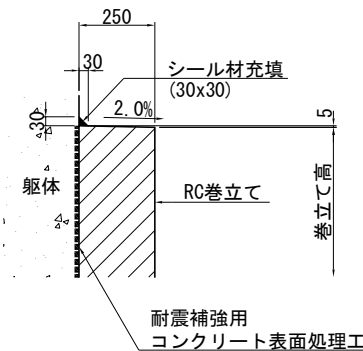


柱天端高 S=1:125

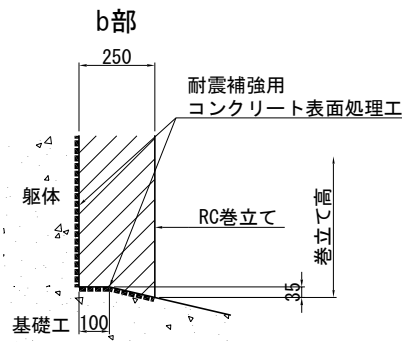
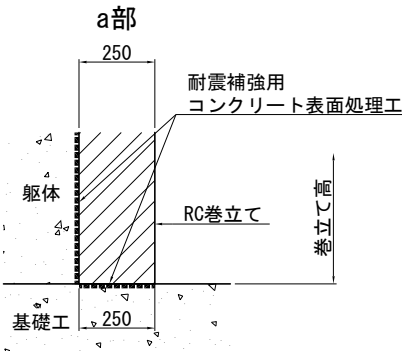


巻立て部詳細図 S=1:25

巻立て部(上部)



巻立て部(下部)



- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

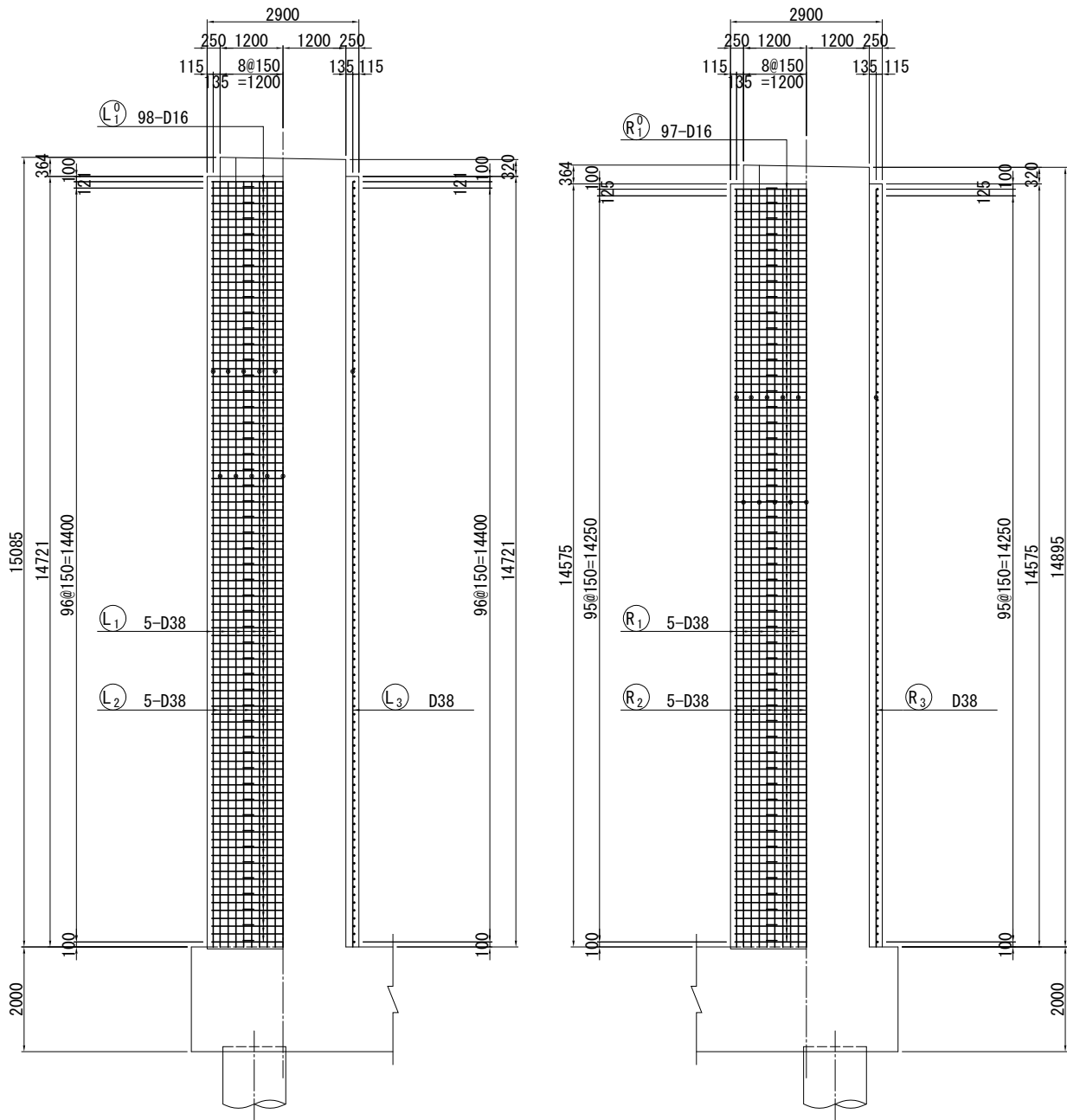
工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

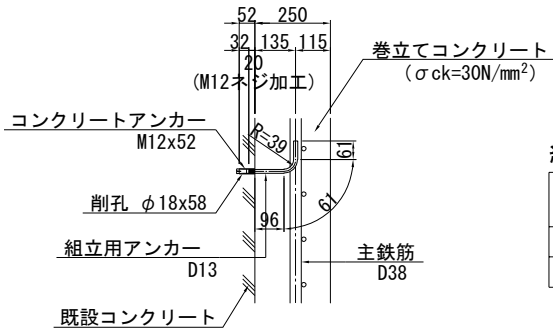
酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1) S=1:125

$$1 - 1 \quad 2 - 2$$
$$3 - 3 \quad 4 - 4$$

5 - 5



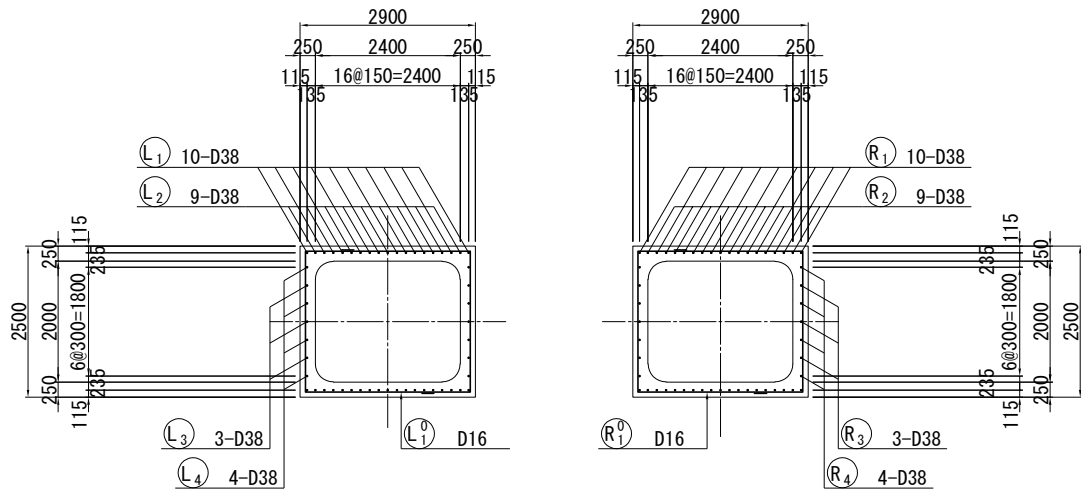
組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



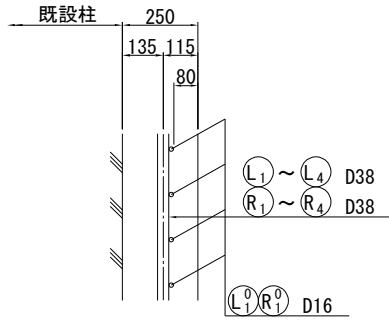
	L (mm)	本数	質量 (kg)
左柱	240	130	31
右柱	240	128	31

※組立用アンカー本数
 $N=129.6\text{m}^2/1\text{本}/\text{m}=130\text{本}$
 $N=128.3\text{m}^2/1\text{本}/\text{m}=128\text{本}$

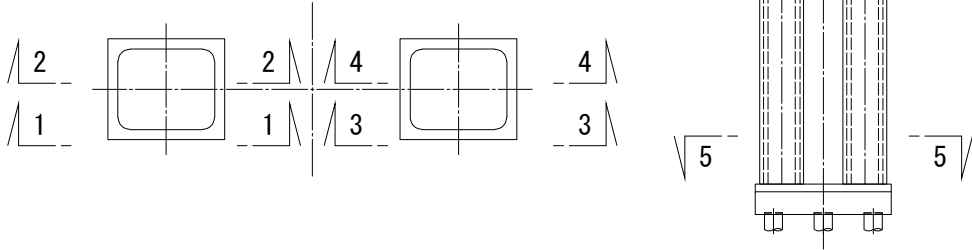
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。



かぶり詳細図 S=1:25



位置図



注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。

2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。

3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

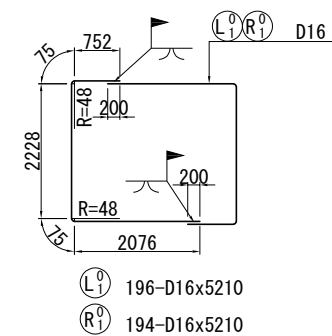
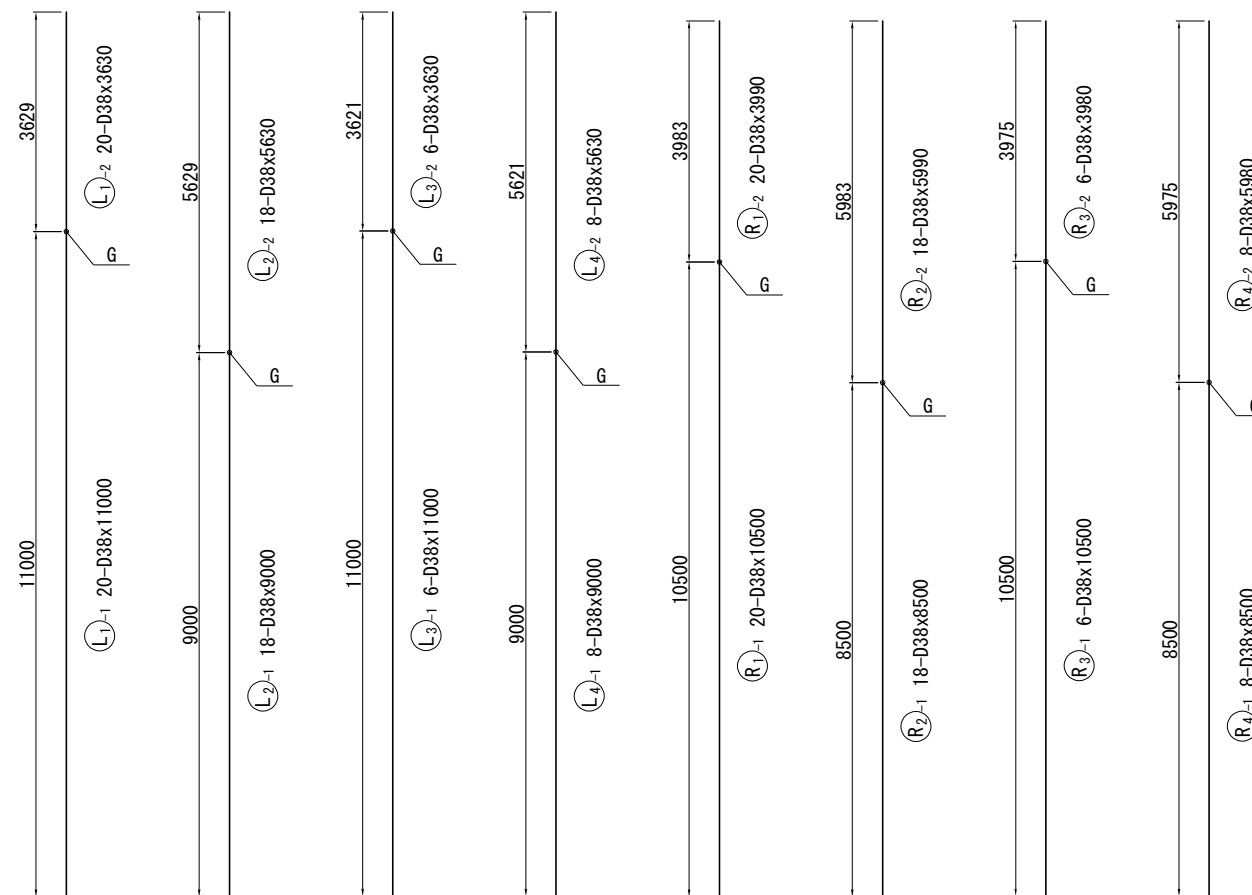
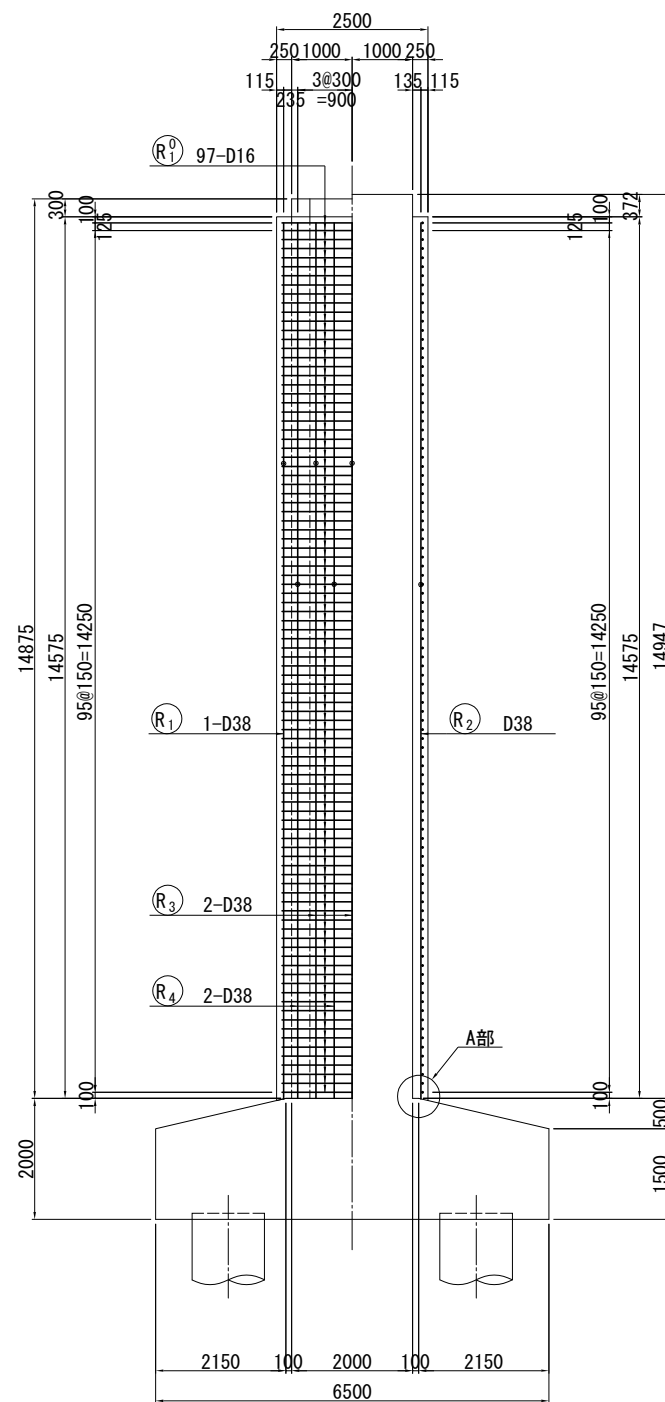
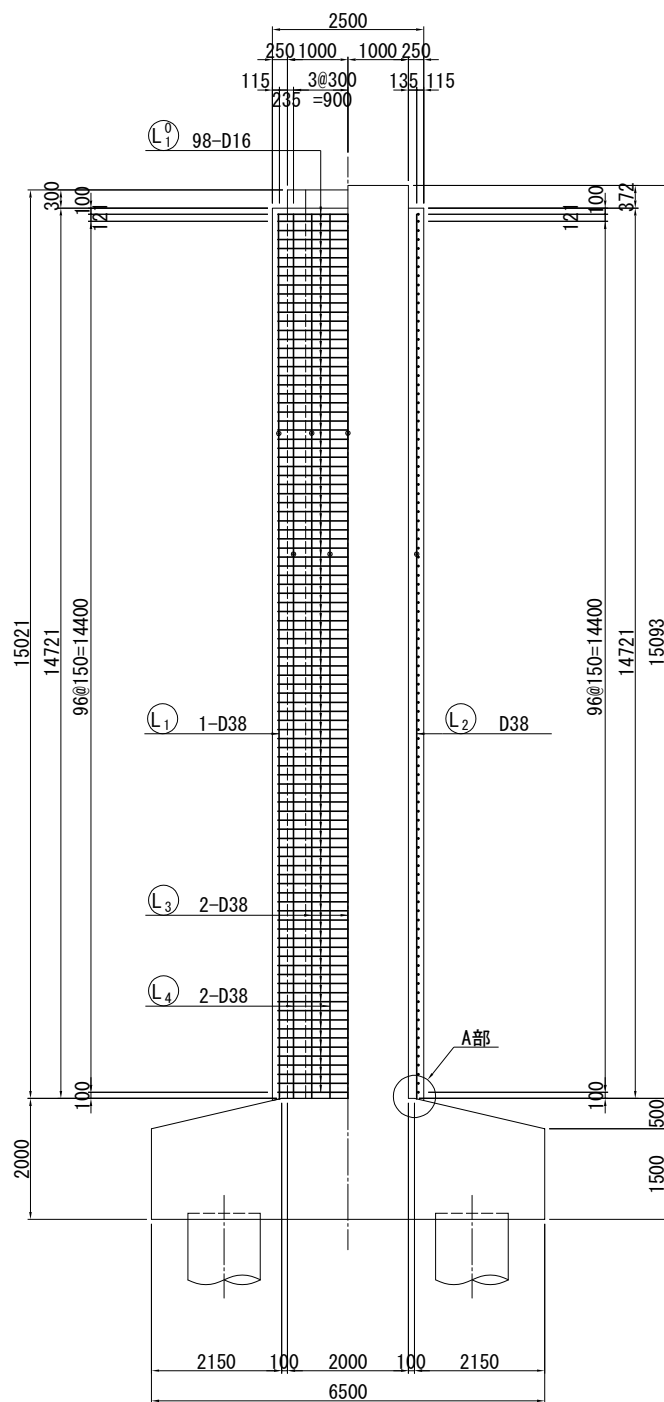
使用材料

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

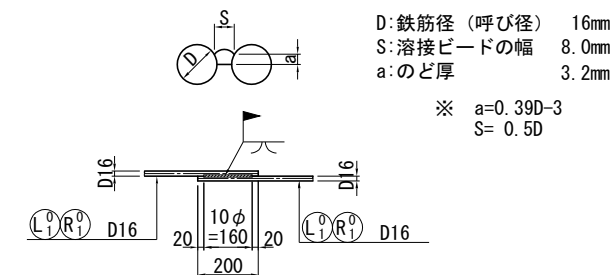
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

6 - 6 7 - 7

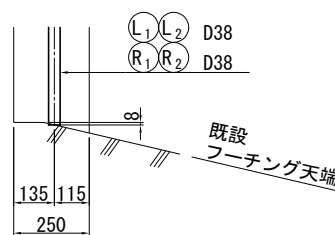
8 - 8 9 - 9



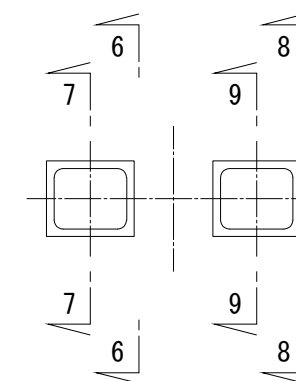
フレアー溶接詳細図 S=1:25



A部詳細図 S=1:25



位置図



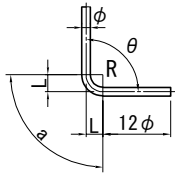
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表（左柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 1 -1	D38	11000	20	8.95	98.5	1970	↑ (20)
L 1 -2	D38	3630	20	8.95	32.5	650	
L 2 -1	D38	9000	18	8.95	80.6	1451	↑ (18)
L 2 -2	D38	5630	18	8.95	50.4	907	
L 3 -1	D38	11000	6	8.95	98.5	591	↑ (6)
L 3 -2	D38	3630	6	8.95	32.5	195	
L 4 -1	D38	9000	8	8.95	80.6	645	↑ (8)
L 4 -2	D38	5630	8	8.95	50.4	403	
6812 kg							
L 1 ⁰	D16	5210	196	1.56	8.13	1593	└ [196]
1593 kg							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			6812 kg	(52)		-	
D16			1593 kg	-		[196]	
合 計			8405 kg	(52)		[196]	
コンクリートアンカー					M12x52	130	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 △L=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

鉄筋質量表（右柱）

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R 1 -1	D38	10500	20	8.95	94.0	1880	↑ (20)
R 1 -2	D38	3990	20	8.95	35.7	714	
R 2 -1	D38	8500	18	8.95	76.1	1370	↑ (18)
R 2 -2	D38	5990	18	8.95	53.6	965	
R 3 -1	D38	10500	6	8.95	94.0	564	↑ (6)
R 3 -2	D38	3980	6	8.95	35.6	214	
R 4 -1	D38	8500	8	8.95	76.1	609	↑ (8)
R 4 -2	D38	5980	8	8.95	53.5	428	
6744 kg							
R 1 ⁰	D16	5210	194	1.56	8.13	1577	└ [194]
1577 kg							
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38			6744 kg	(52)	-		
D16			1577 kg	-	[194]		
合 計			8321 kg	(52)	[194]		
コンクリートアンカー					M12x52	128	個
(削孔 φ18x58)							

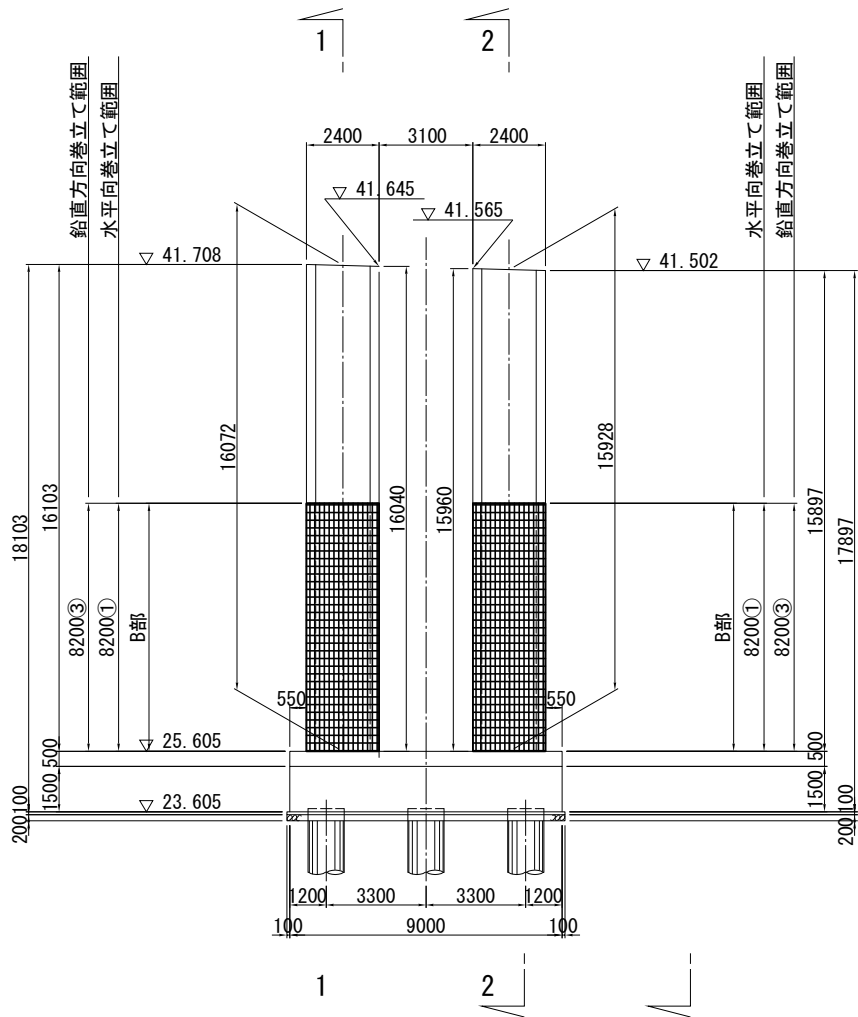
注記）鉄筋質量表内の（ ）はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

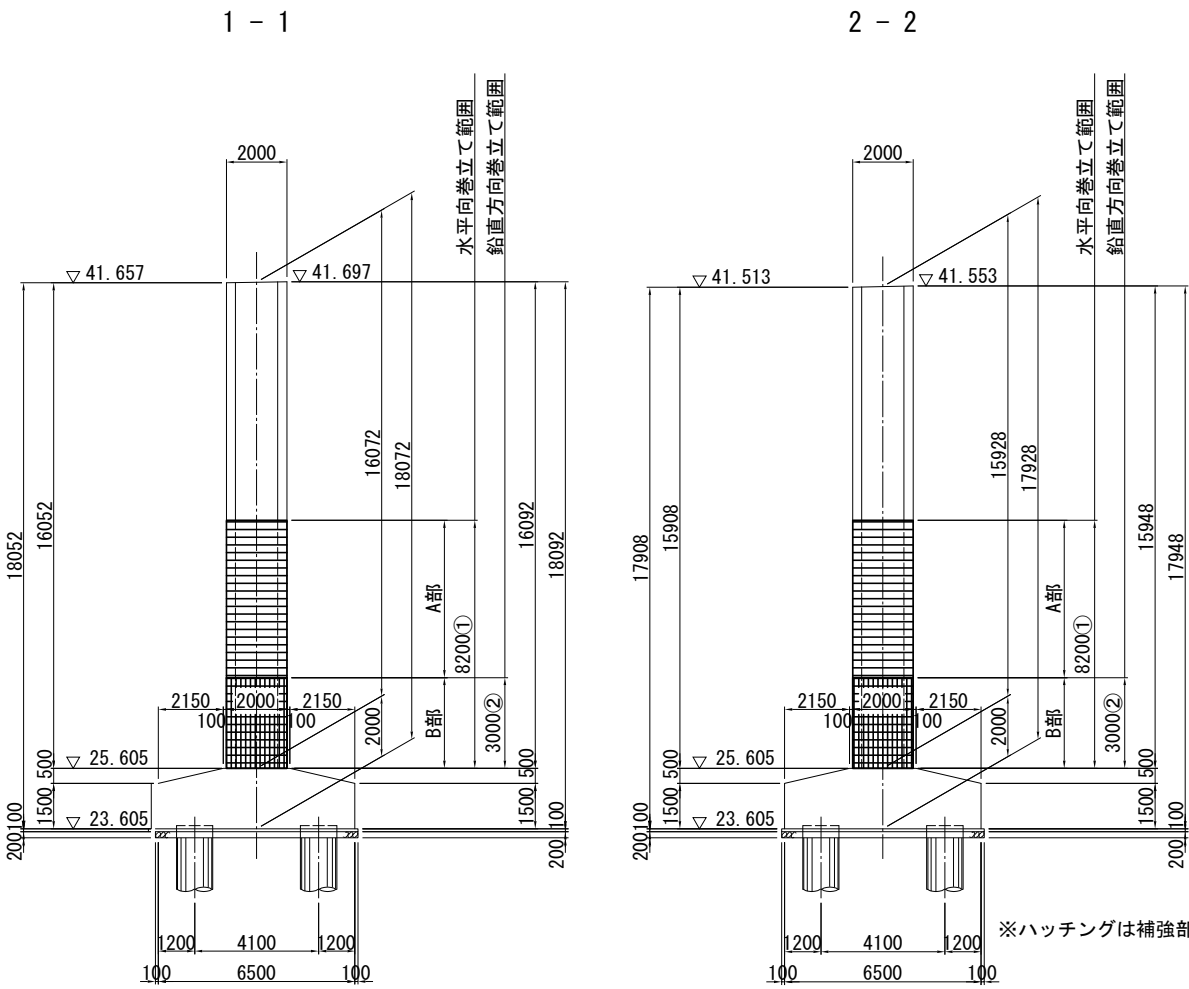
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

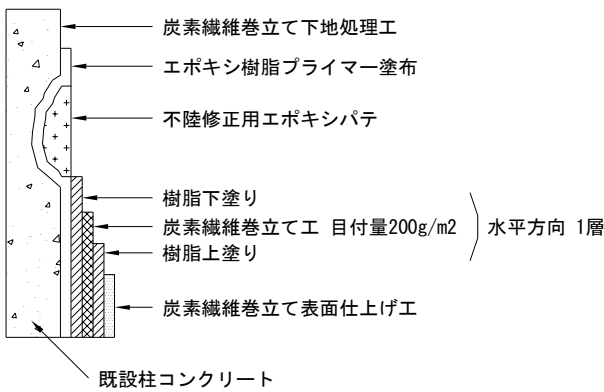


側面図

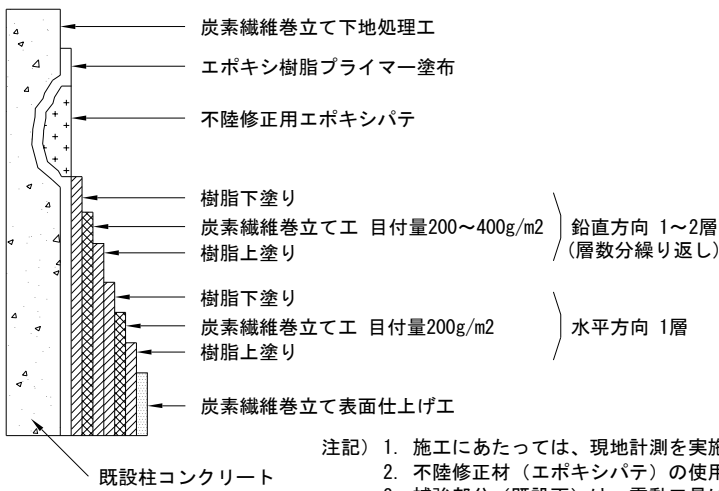


炭素繊維シート施工断面図

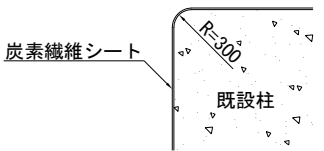
A部



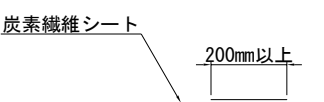
B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125

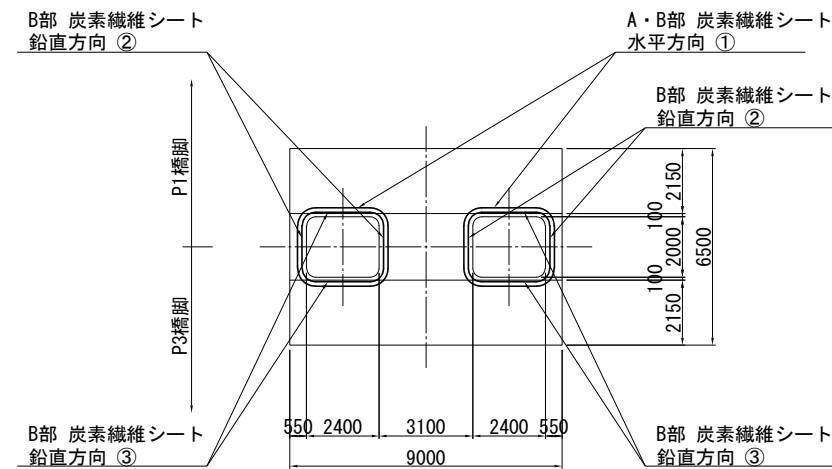


重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

平面図



炭素繊維シート

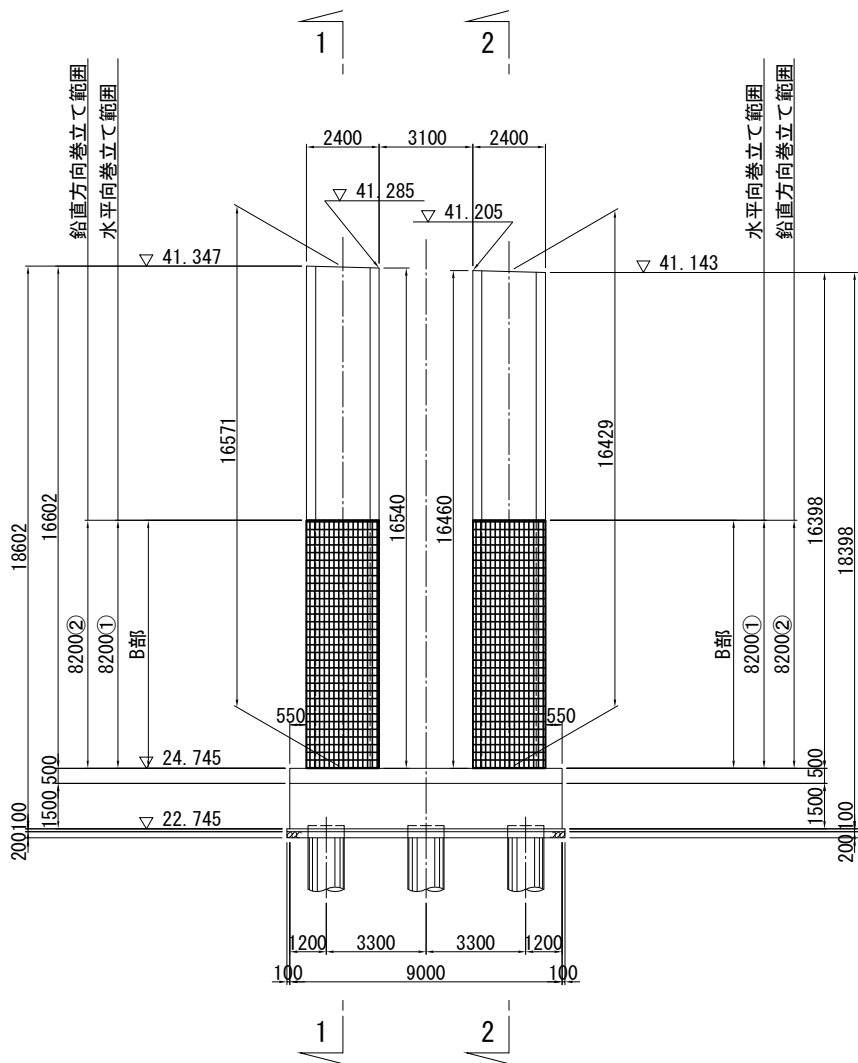
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	200g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
③	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型

使用材料

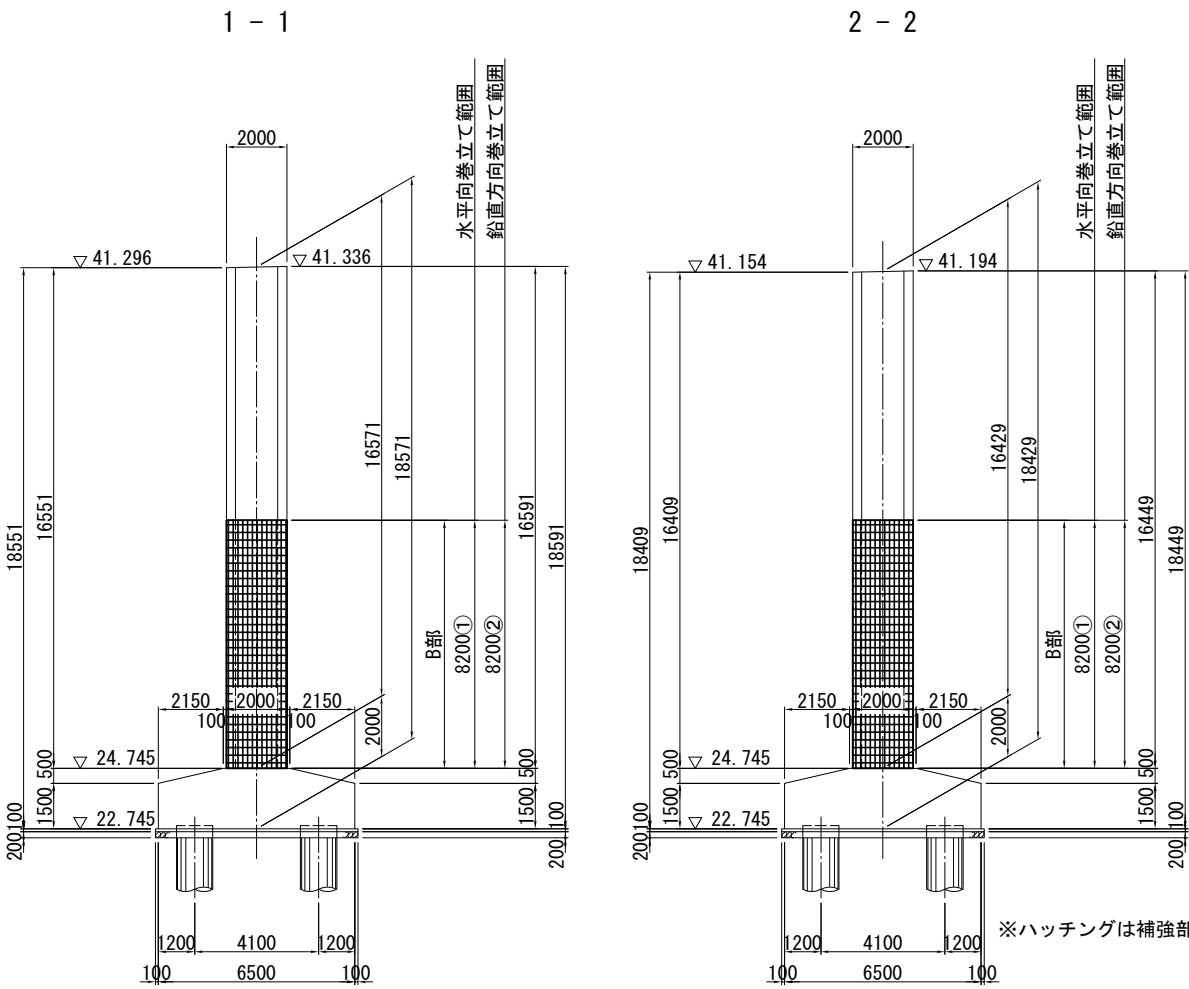
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P2橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

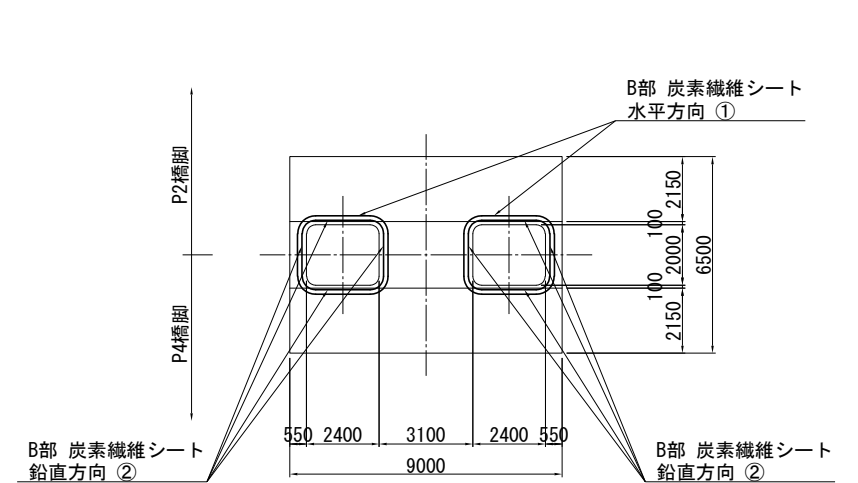
正面図



側面図

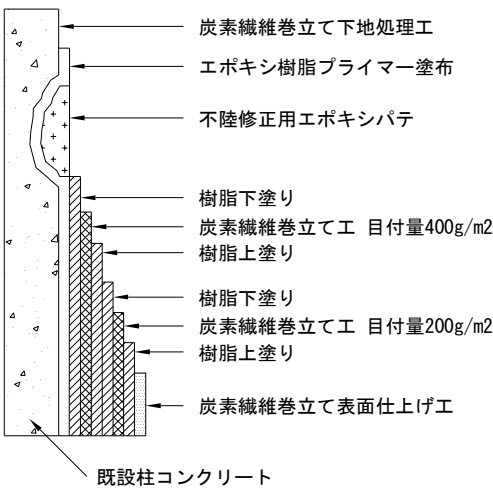


平面図

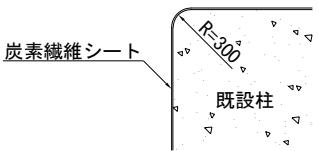


炭素繊維シート施工断面図

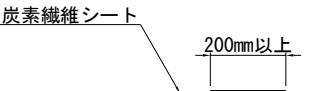
B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

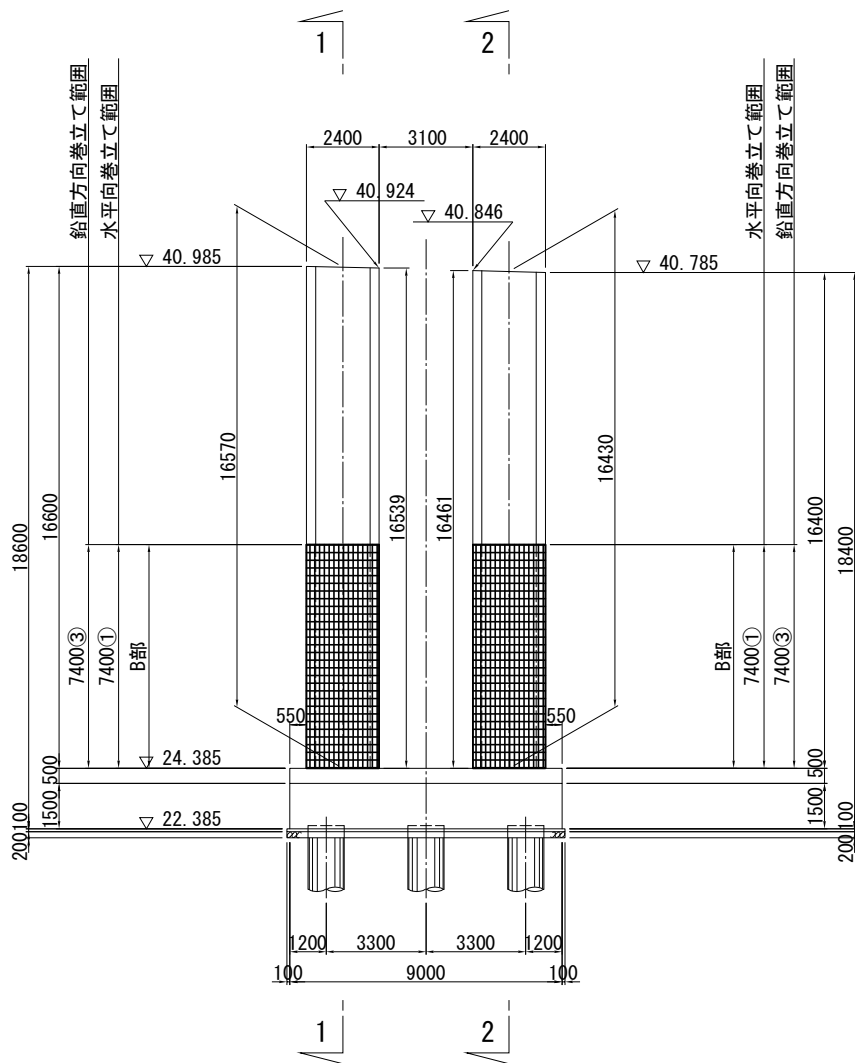
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm ²)	設計厚さ	種別
①	200g/m ²	水平	1 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m ²	鉛直	2 層	3400N/mm ²	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型

使用材料

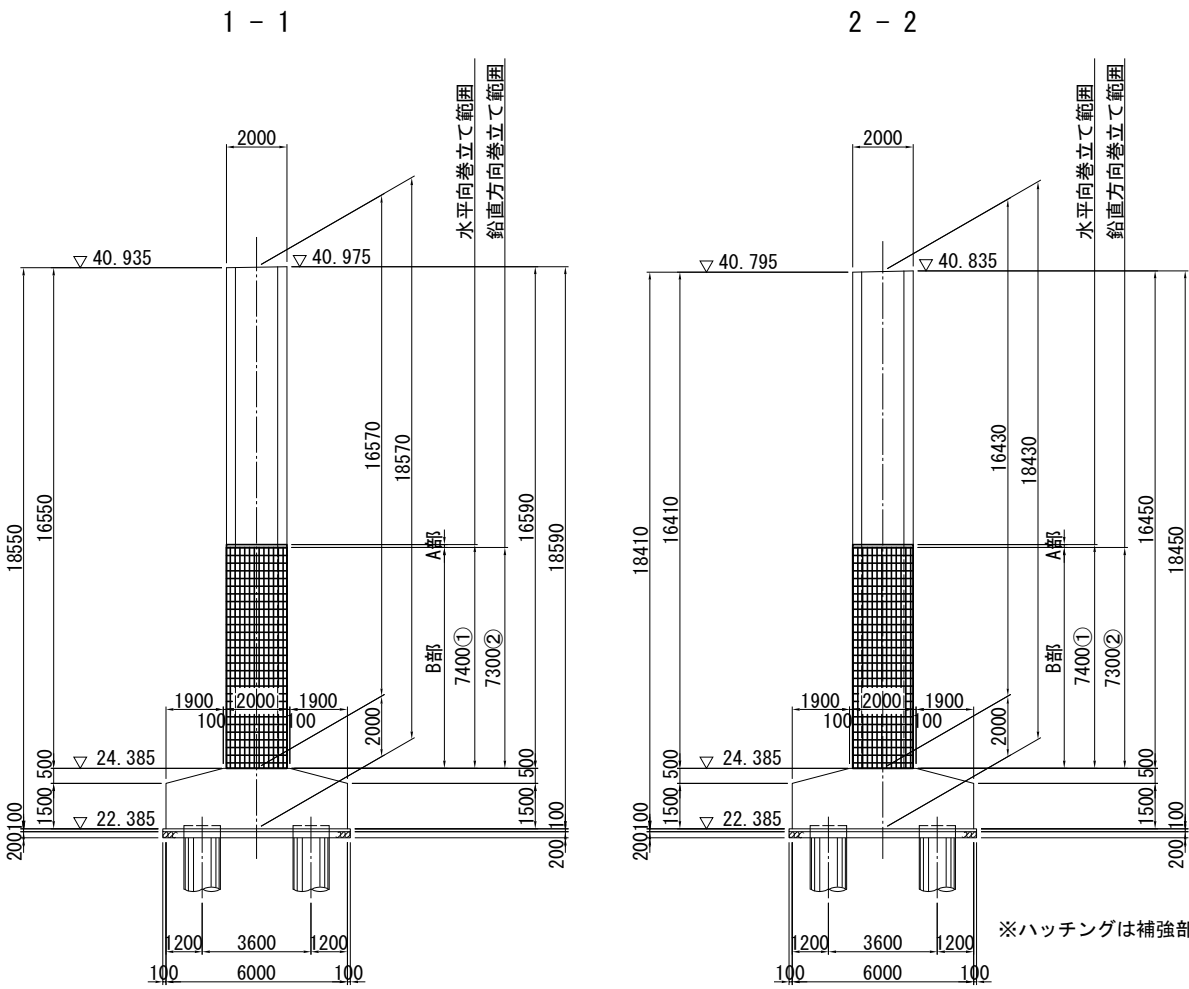
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P3橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

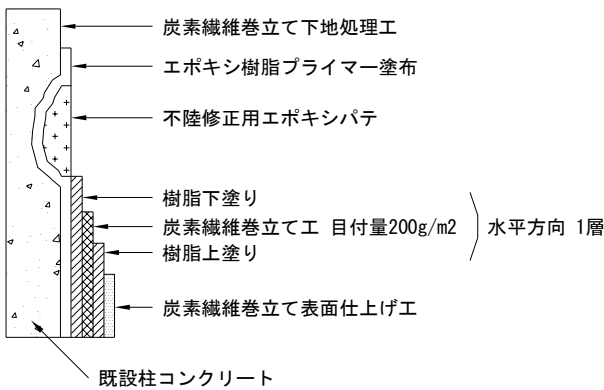


側面図

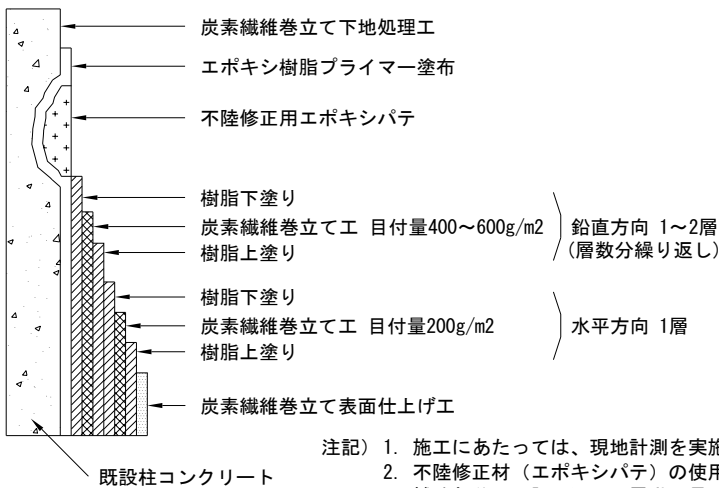


炭素繊維シート施工断面図

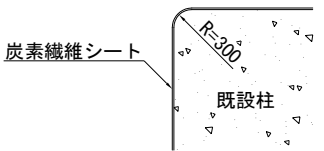
A部



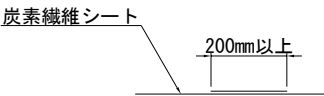
B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125

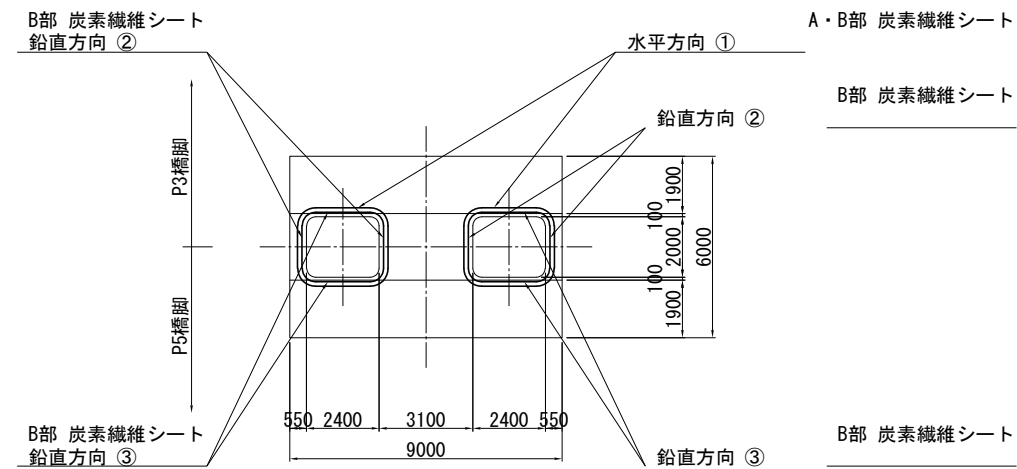


重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

平面図



炭素繊維シート

	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	600g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型

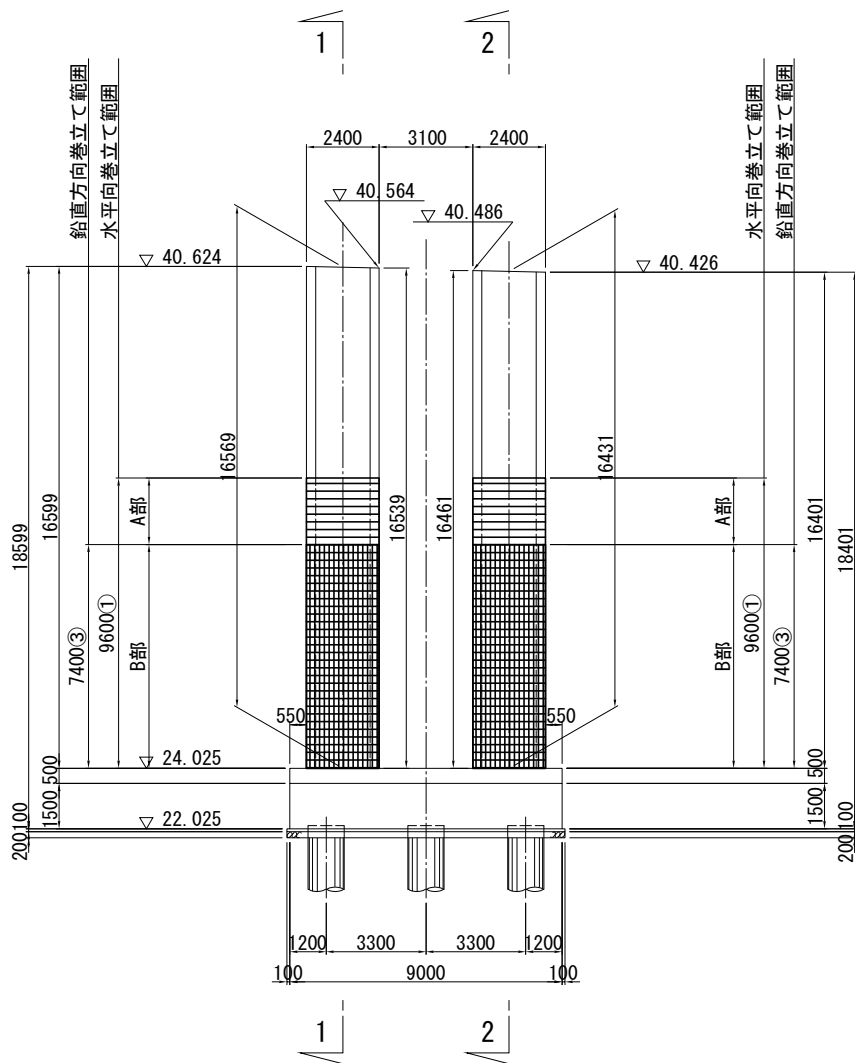
使用材料

既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

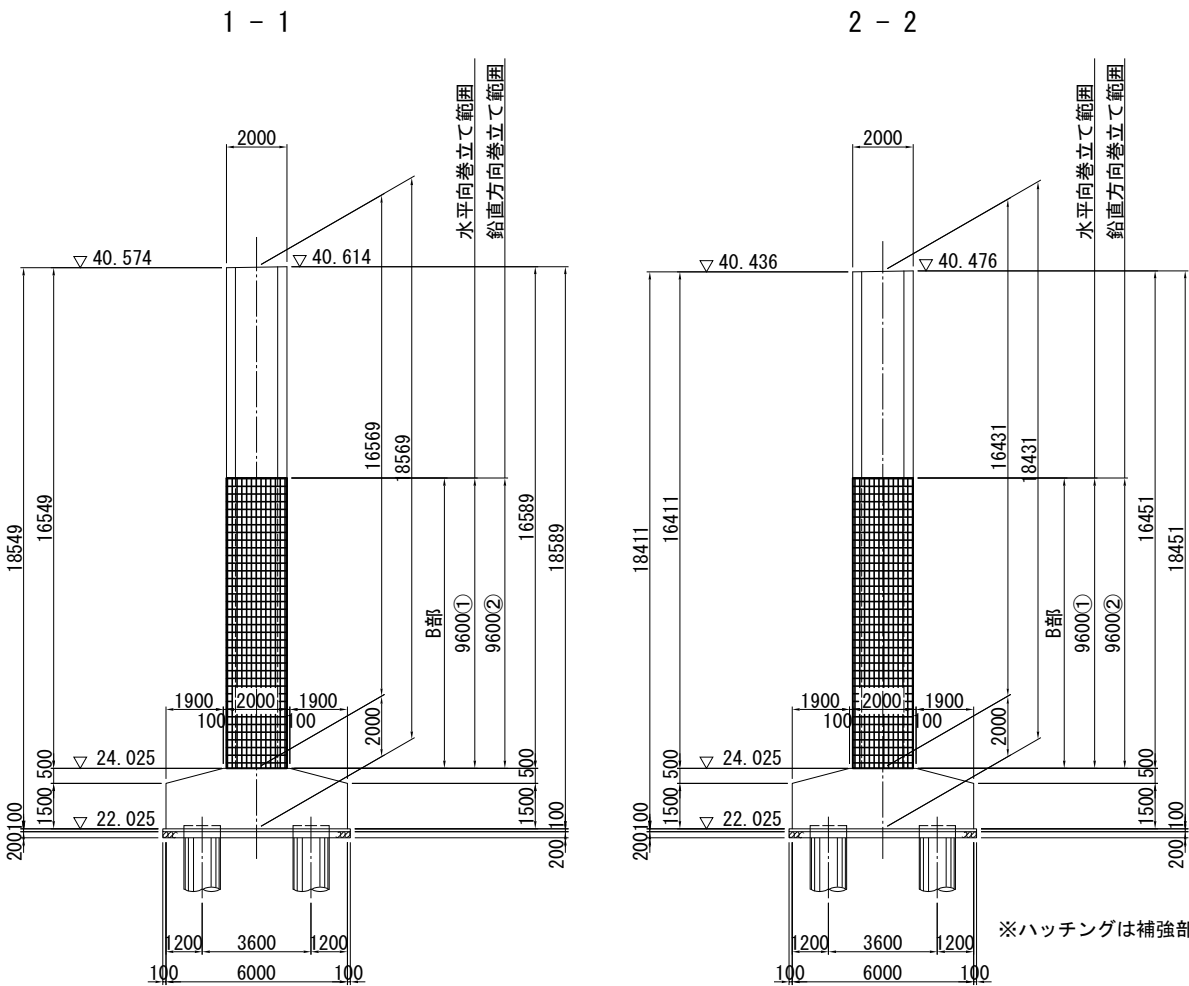
- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分（既設面）は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A（ポリマーセメントモルタルt=1mm）とする。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P4橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

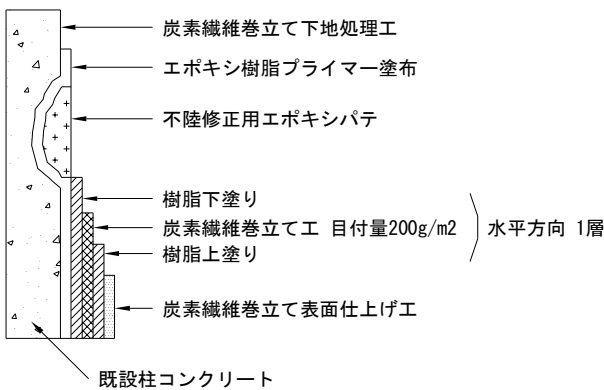


側面図

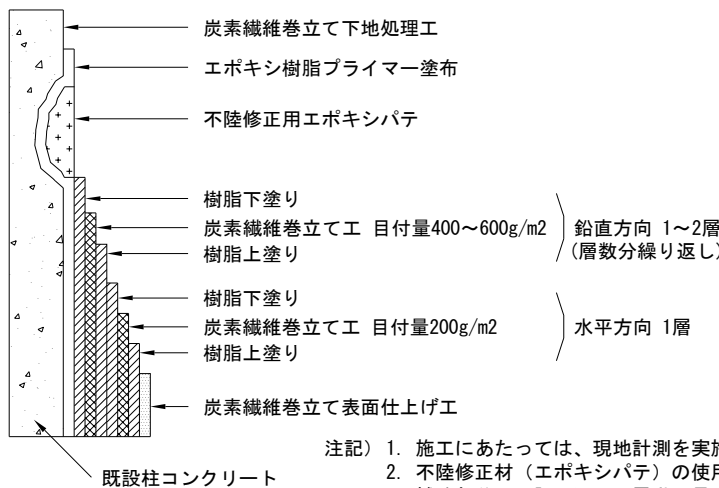


炭素繊維シート施工断面図

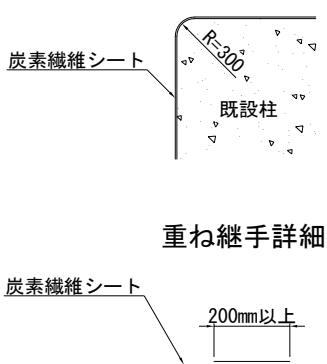
A部



B部

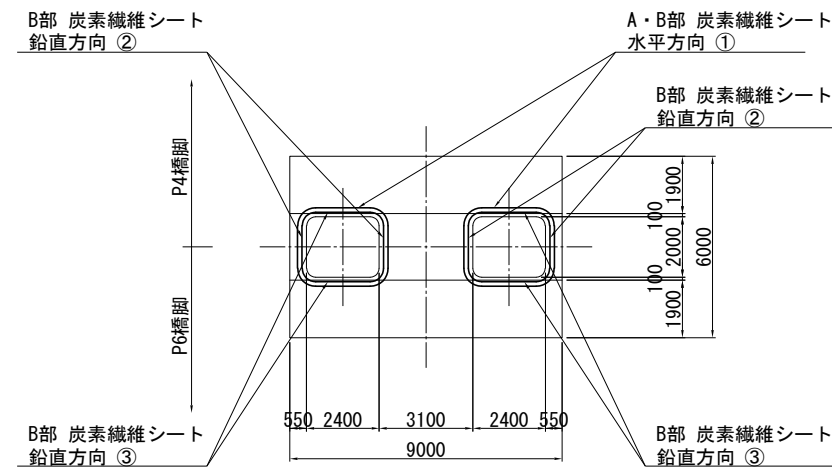


柱面曲り部詳細図 S=1:125



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

平面図



炭素繊維シート

	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	600g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型

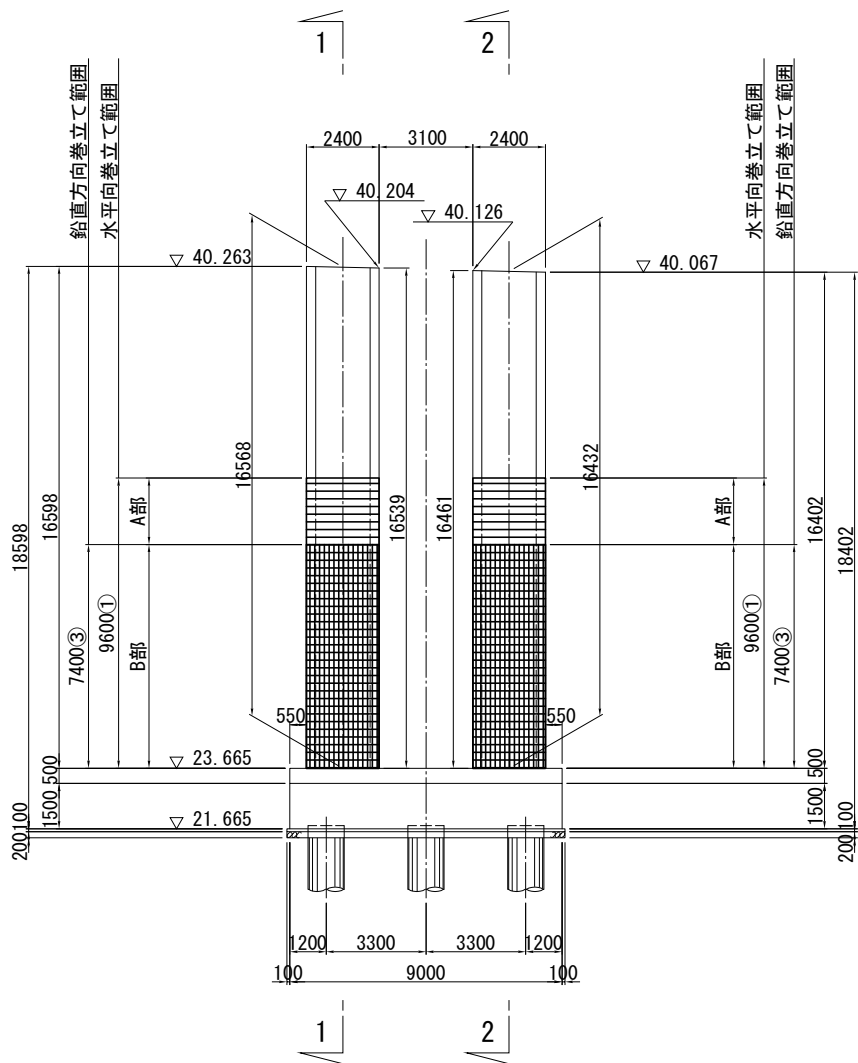
使用材料

既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

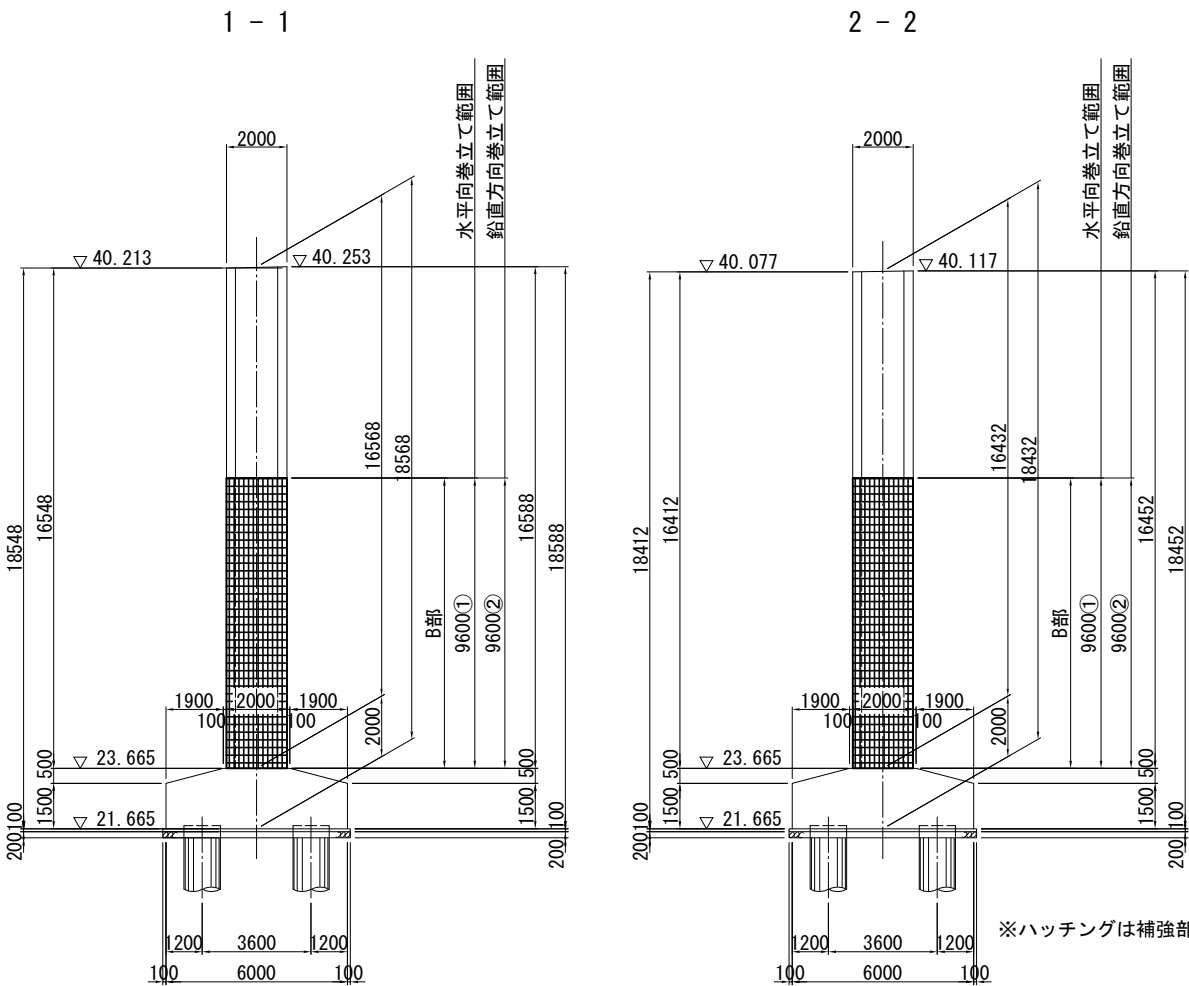
- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P5橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

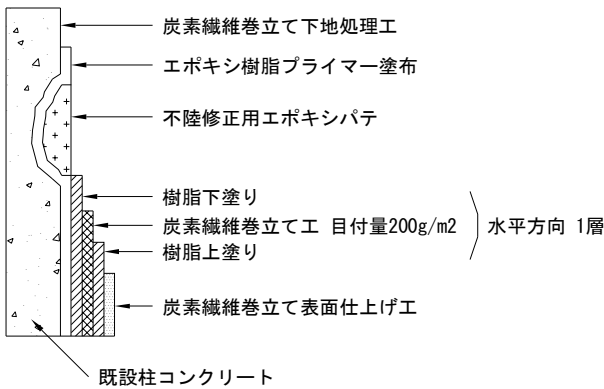


側面図

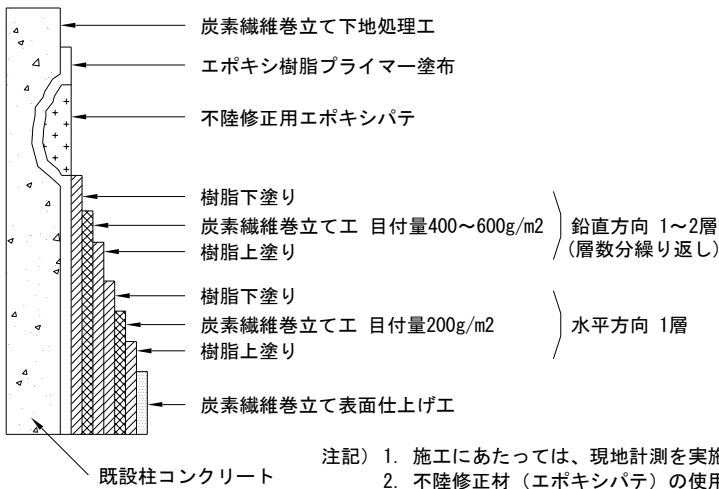


炭素繊維シート施工断面図

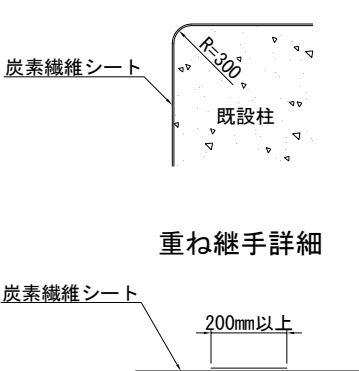
A部



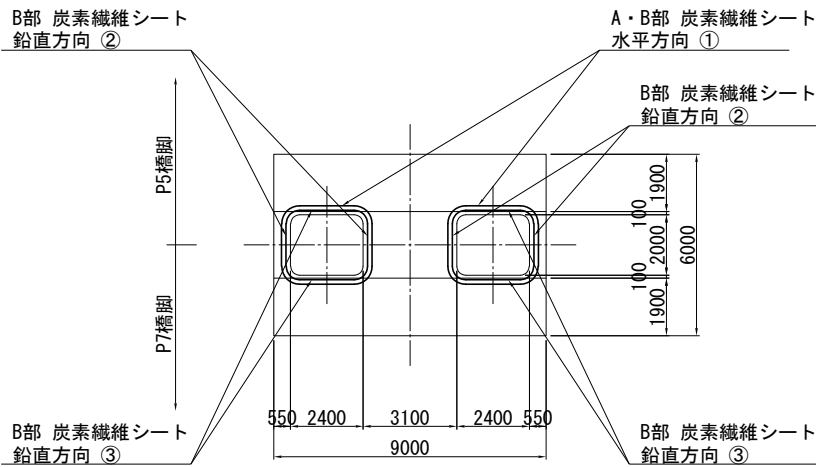
B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125



平面図



炭素繊維シート

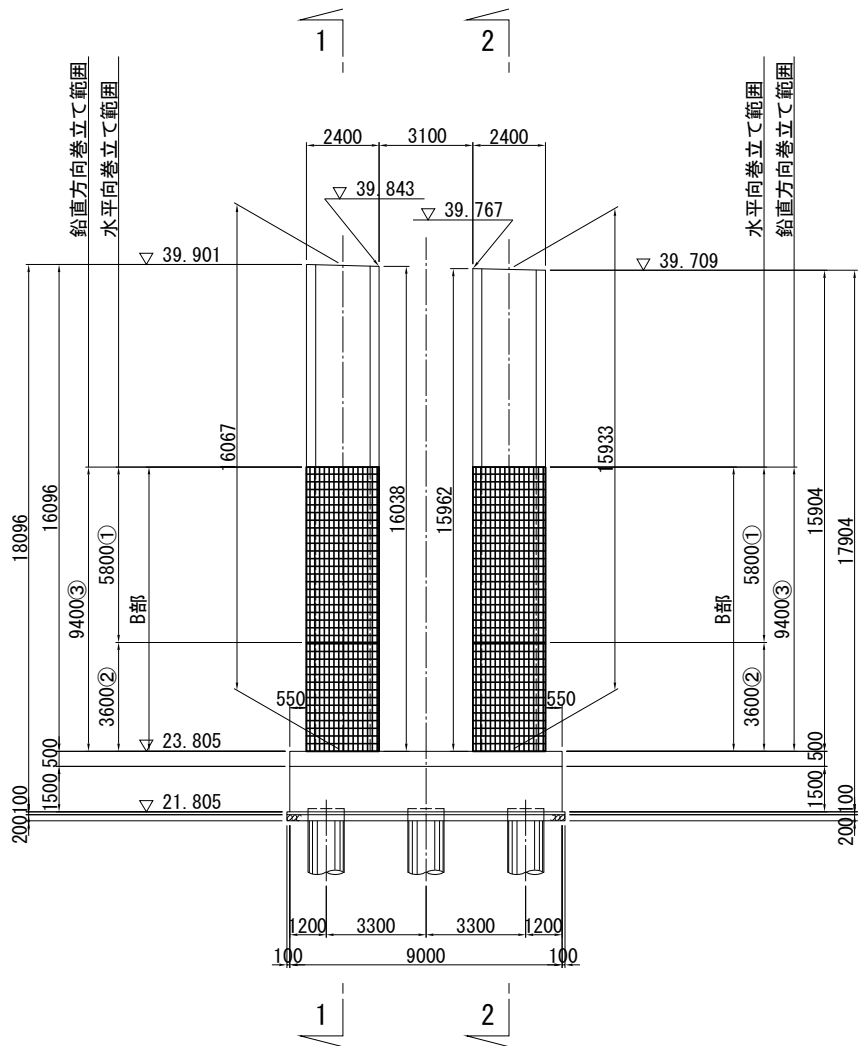
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	600g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型

使用材料

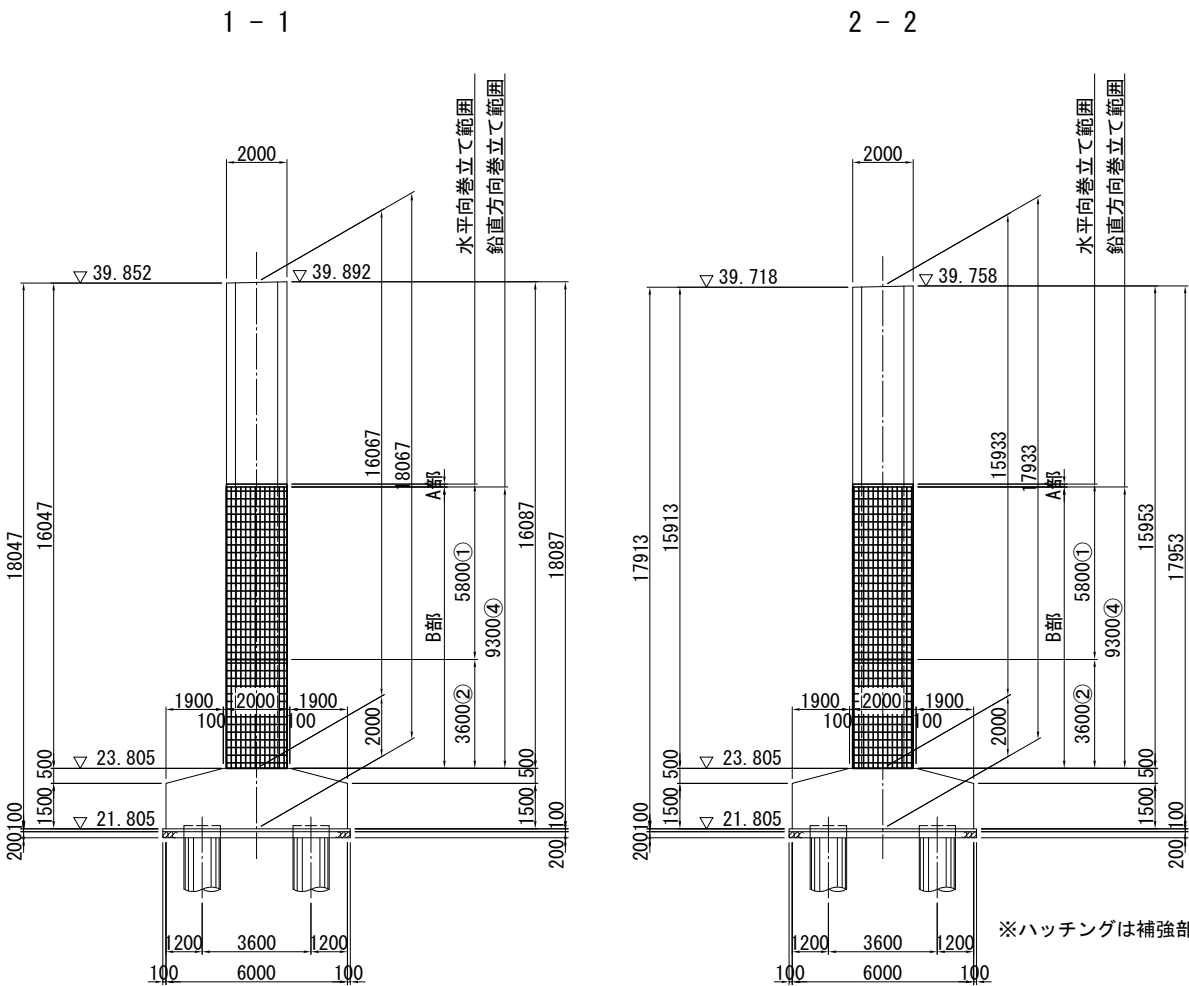
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P6橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



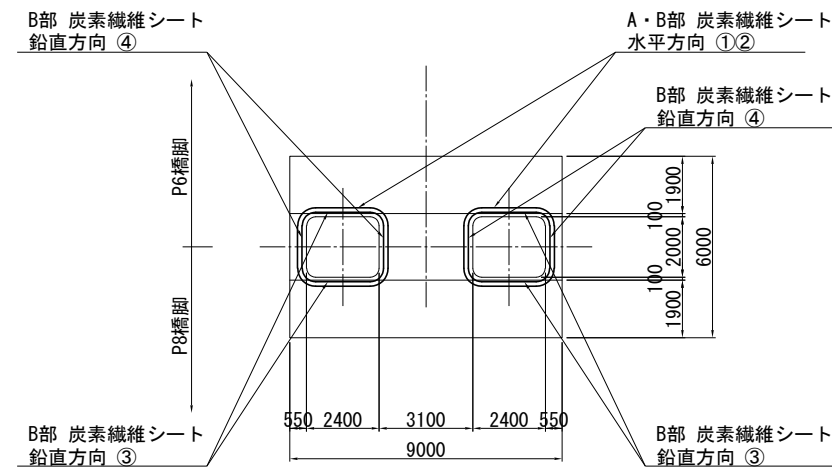
側面図



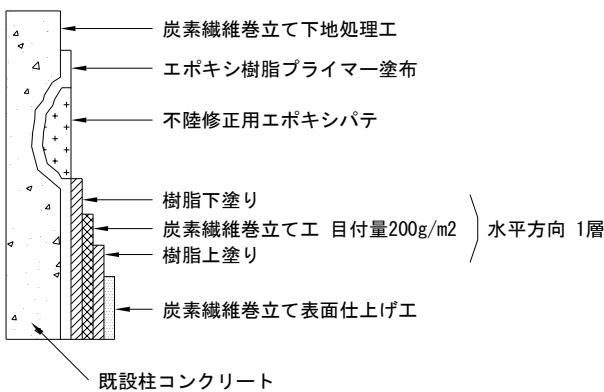
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

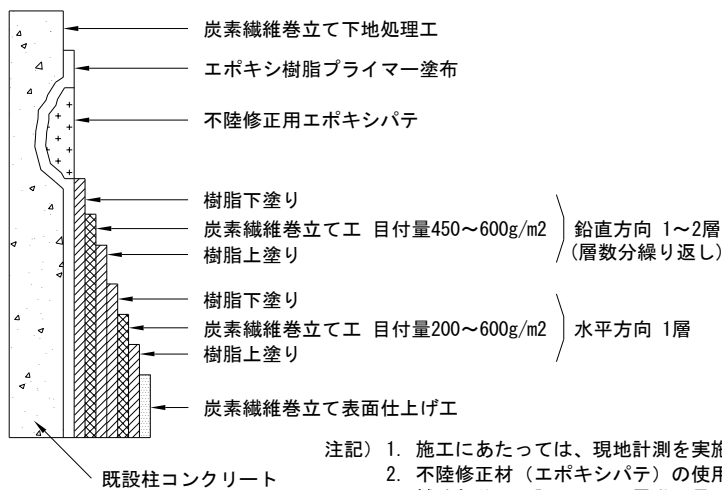
平面図



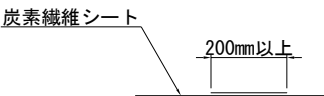
A部



B部



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分（既設面）は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A（ポリマーセメントモルタルt=1mm）とする。

炭素繊維シート

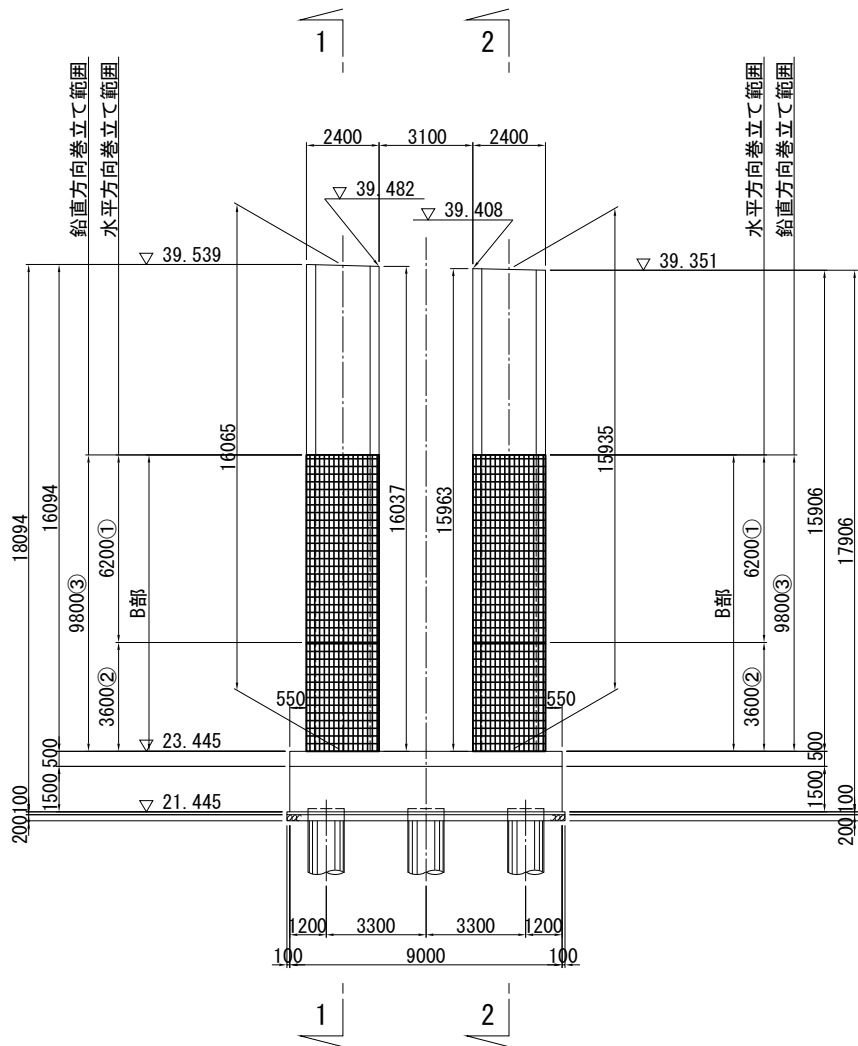
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	600g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.333mm	高強度型
③	450g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型
④	600g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10	0.333mm	高強度型

使用材料

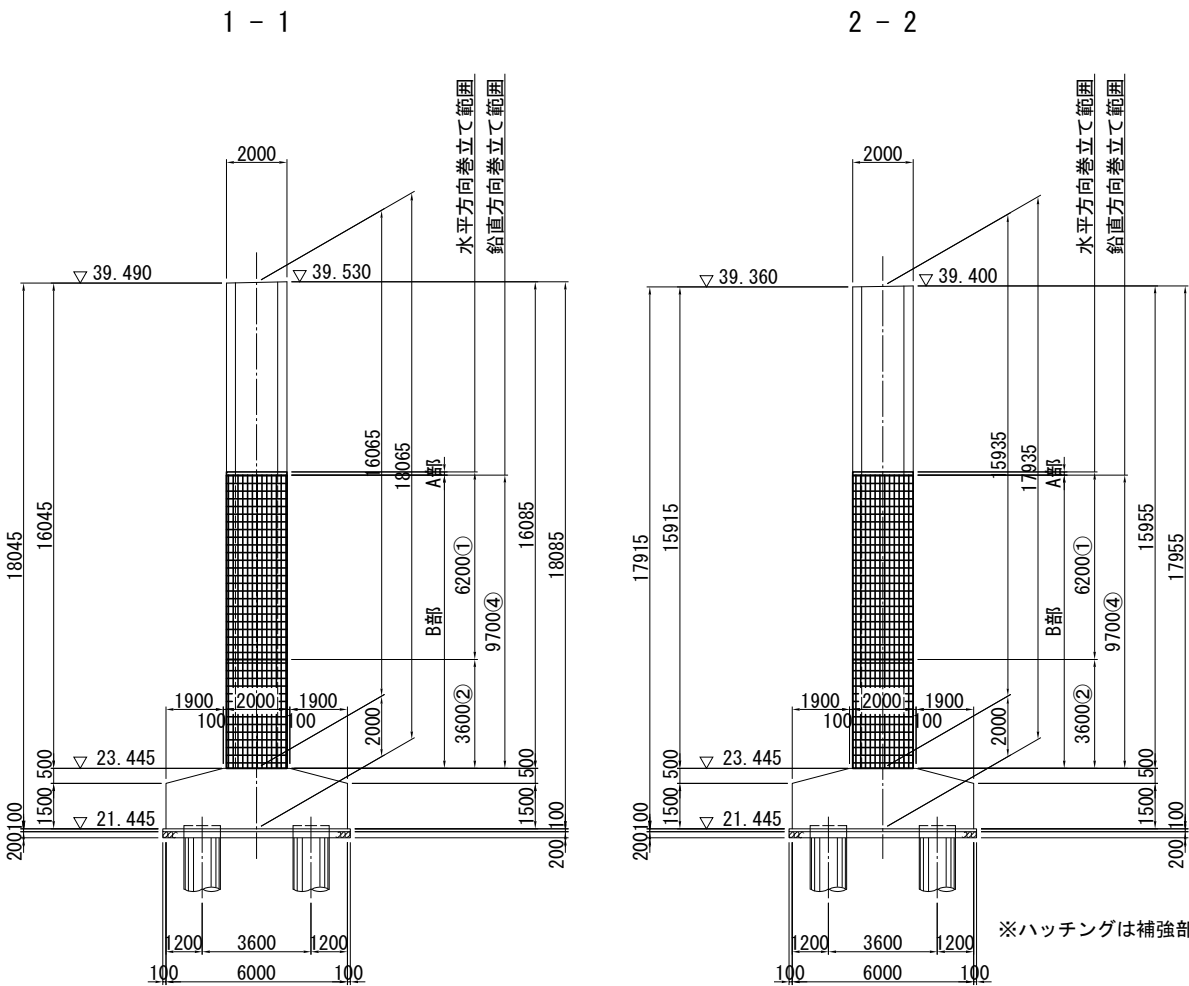
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P7橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



側面図

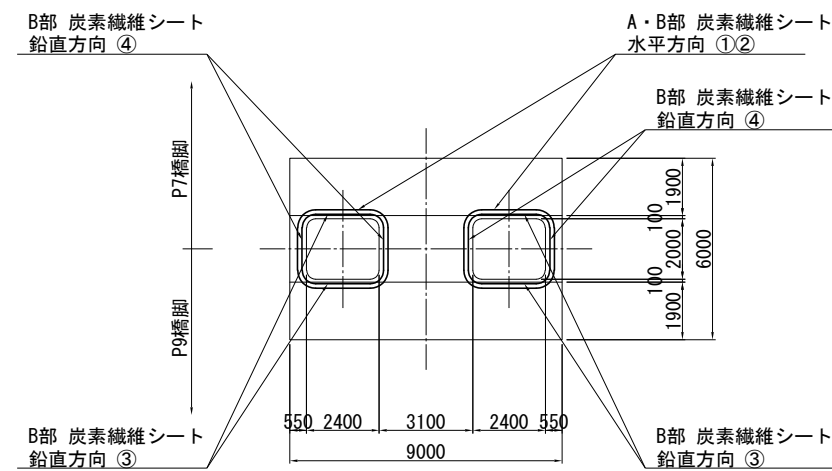


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

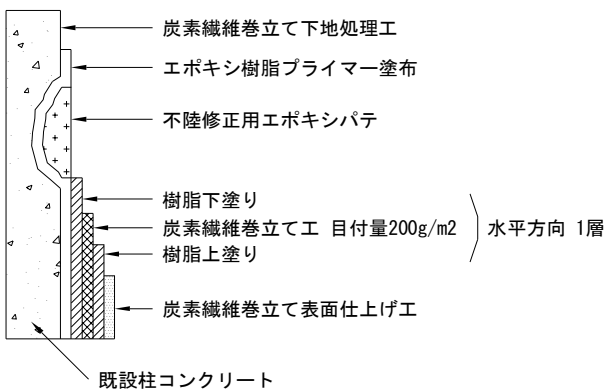
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

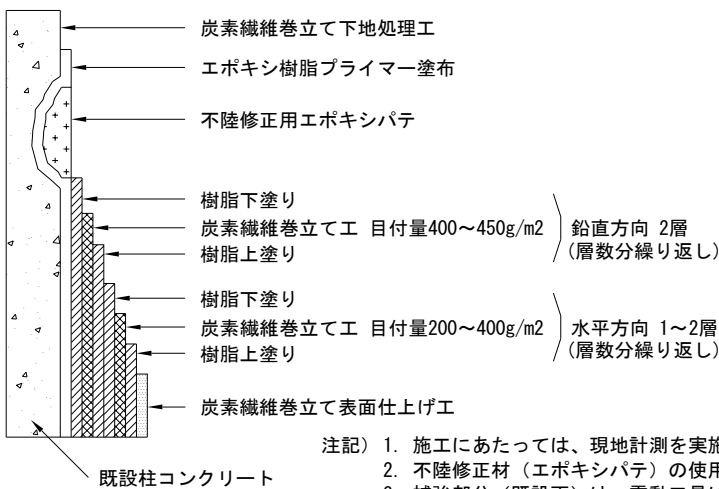
平面図



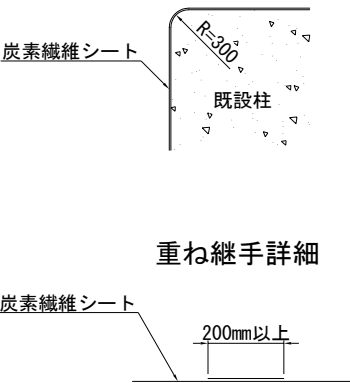
A部



B部



- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

炭素繊維シート

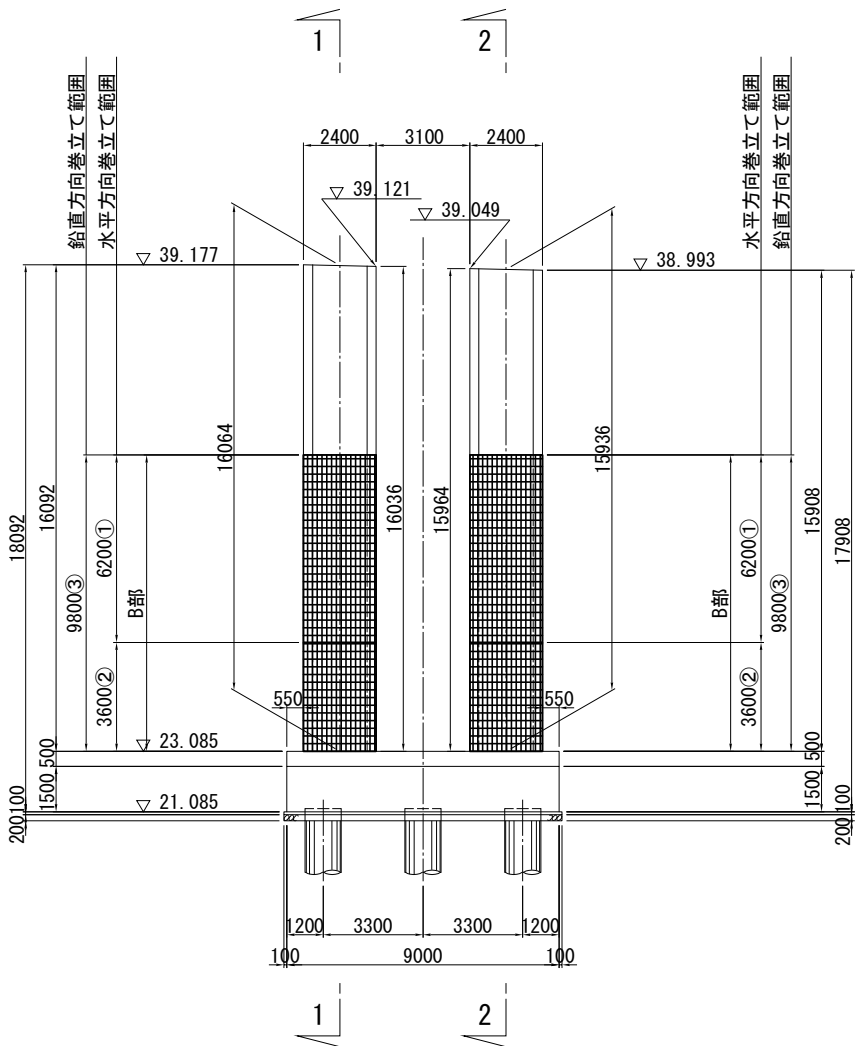
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	水平	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
④	450g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型

使用材料

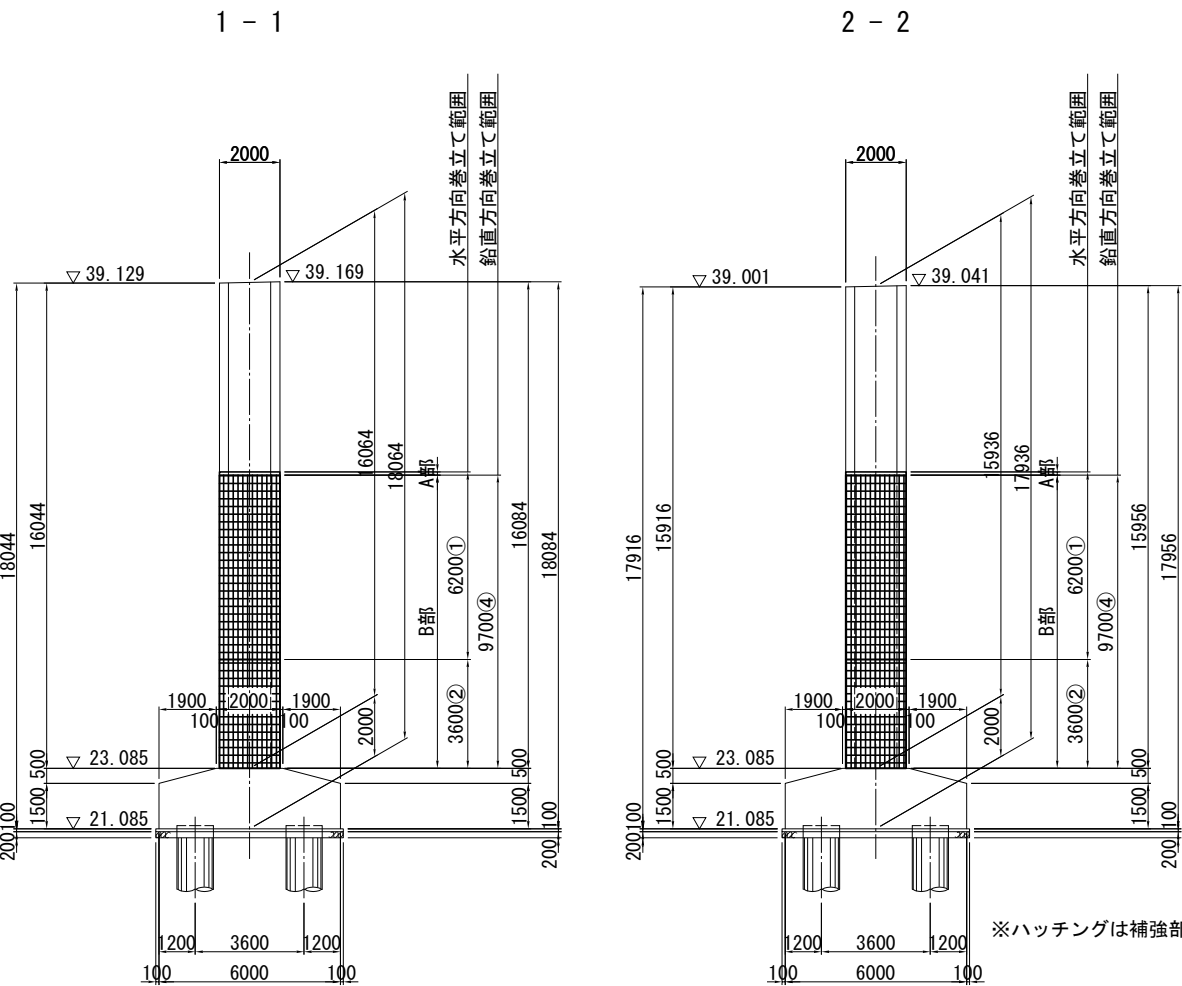
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P8橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



側面図

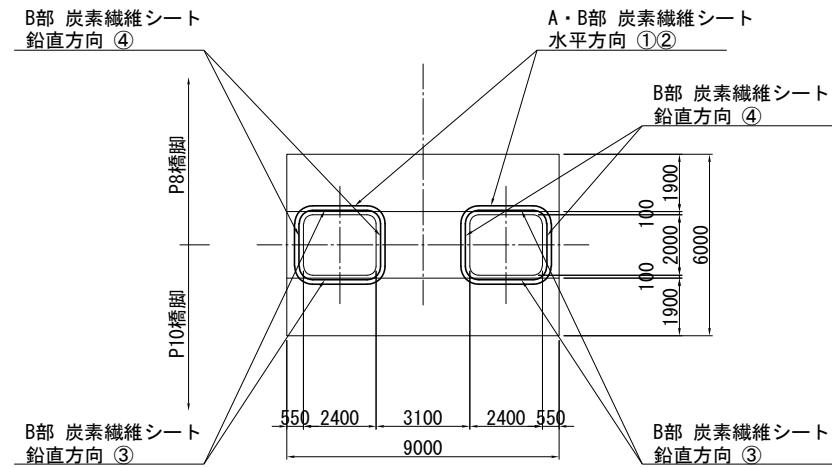


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

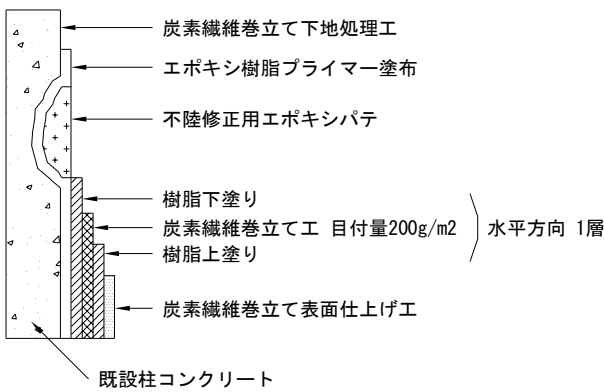
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

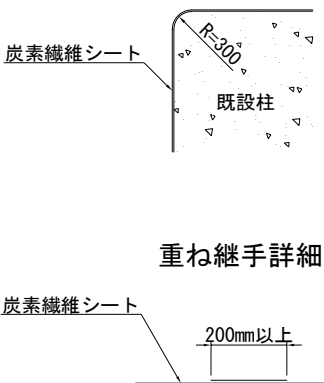
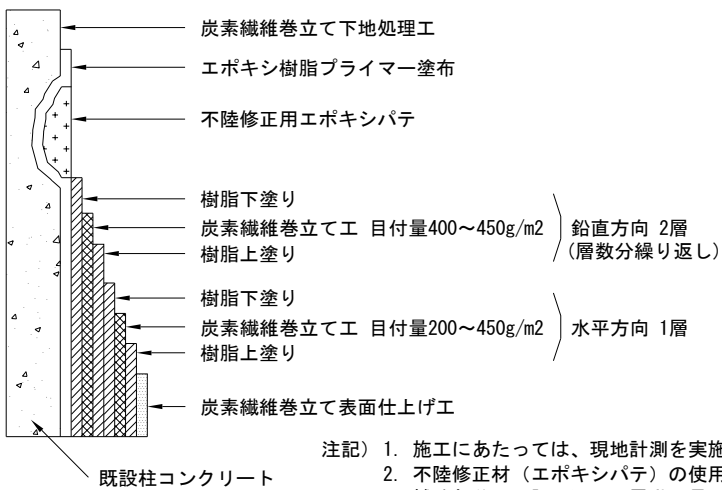
平面図



A部



B部



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

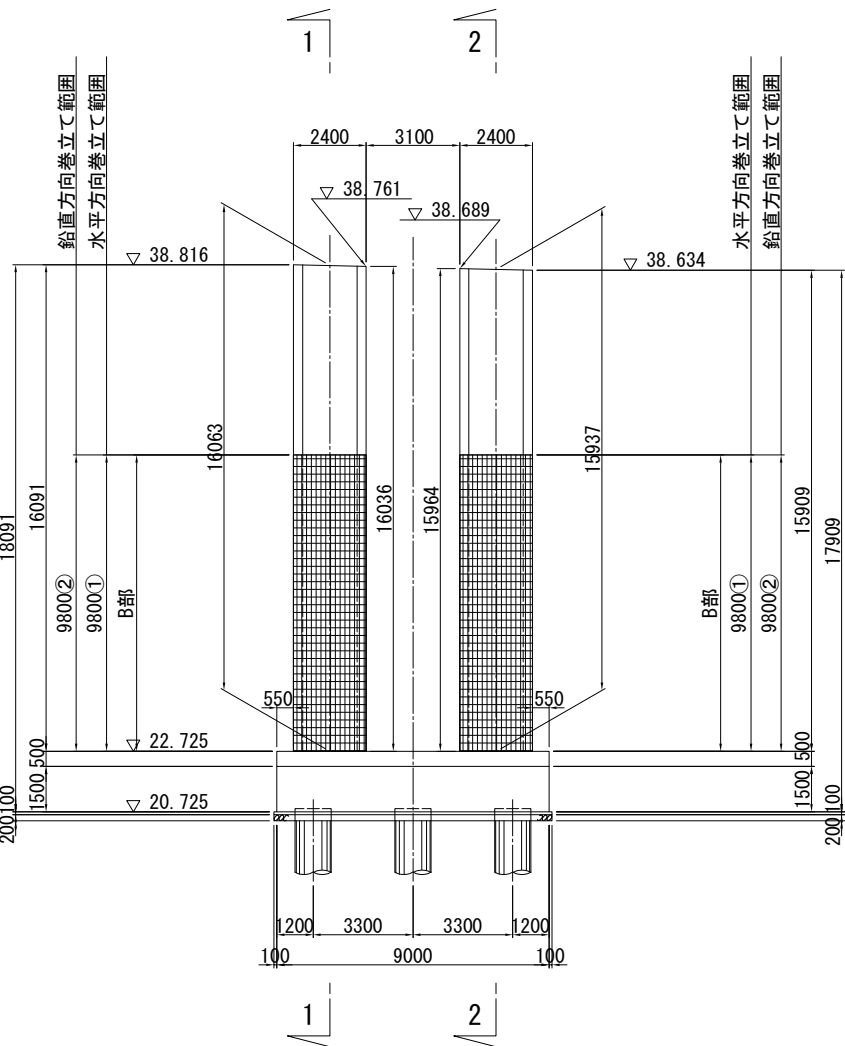
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	450g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型
③	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
④	450g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型

使用材料

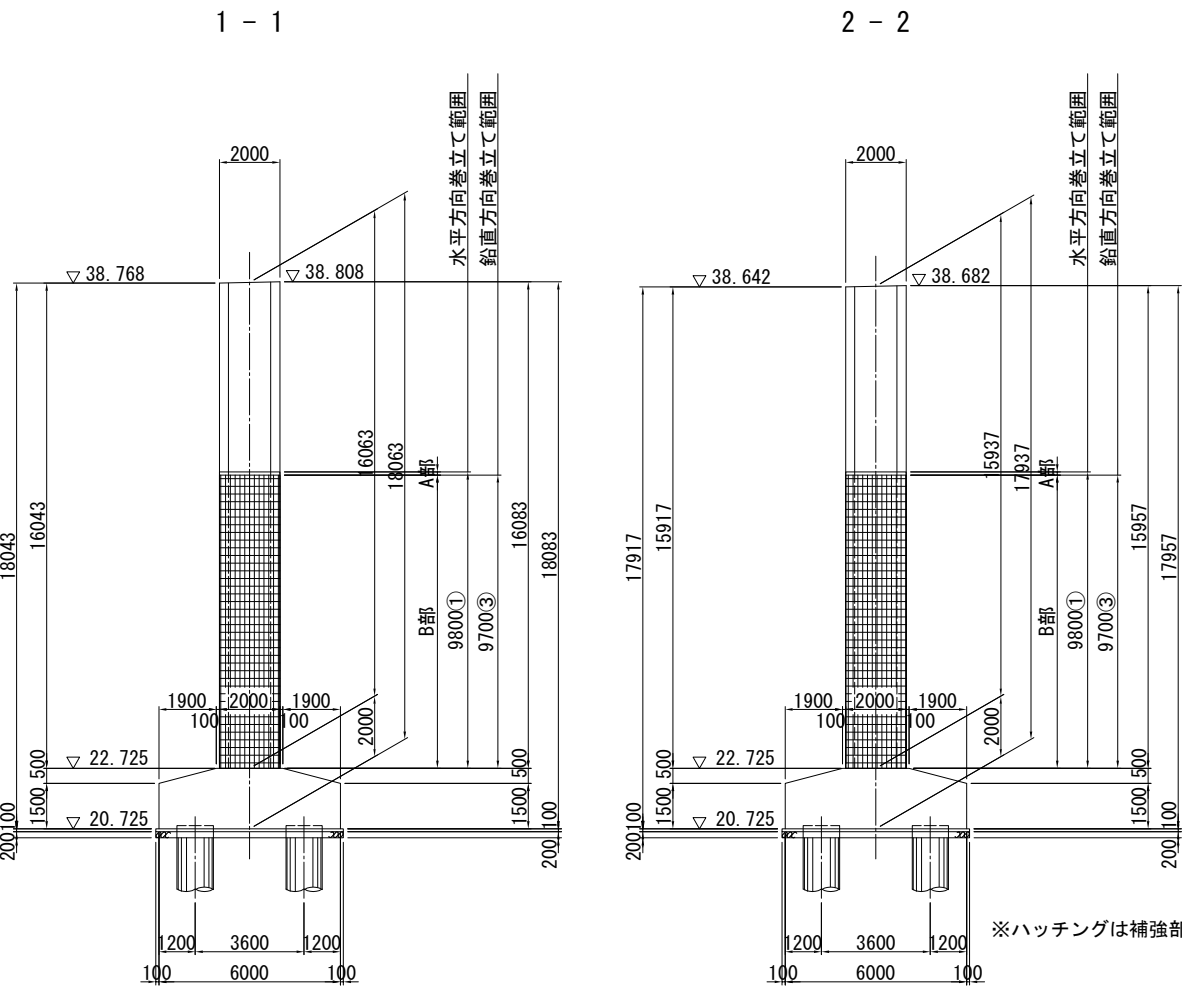
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P9橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



側面図

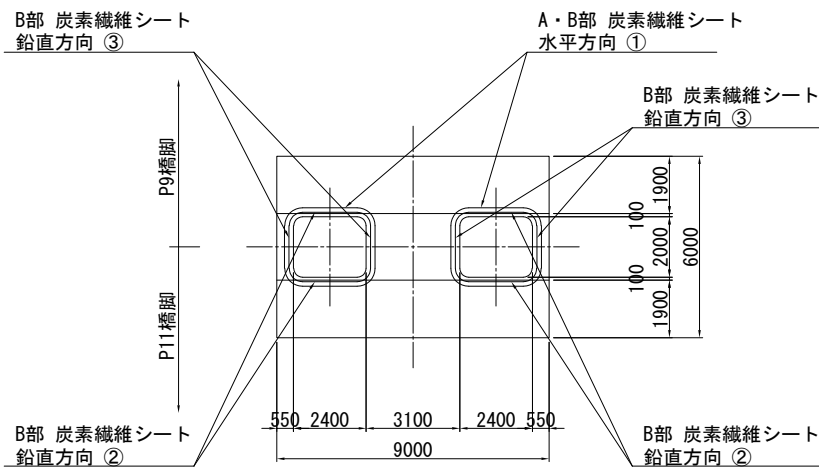


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

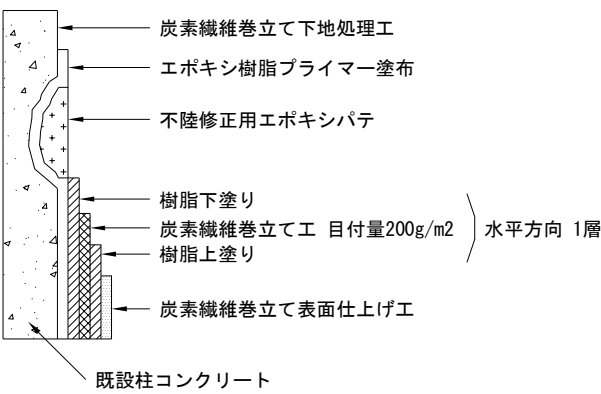
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

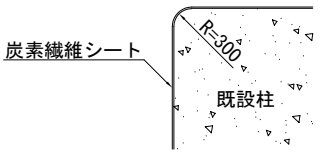
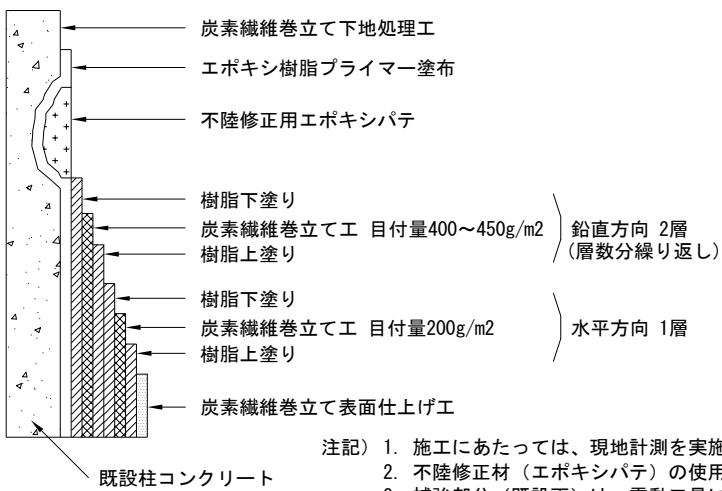
平面図



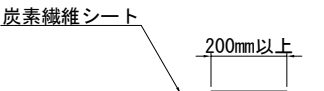
A部



B部



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

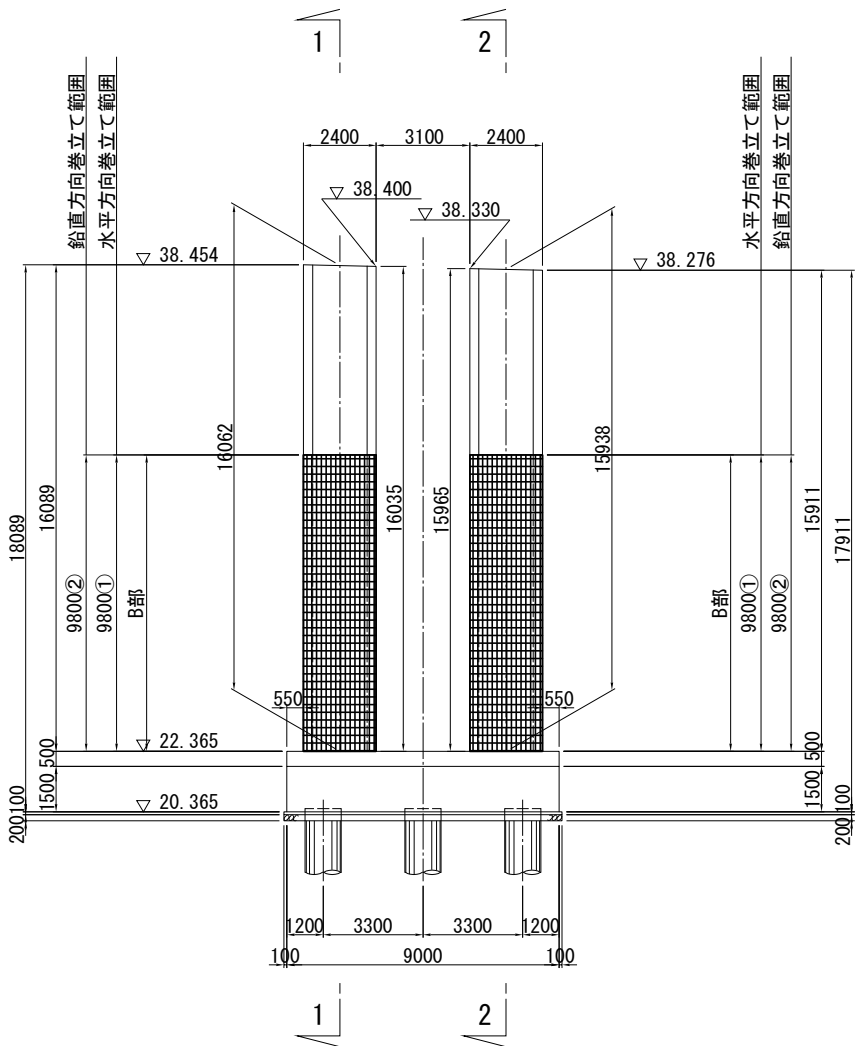
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	450g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型

使用材料

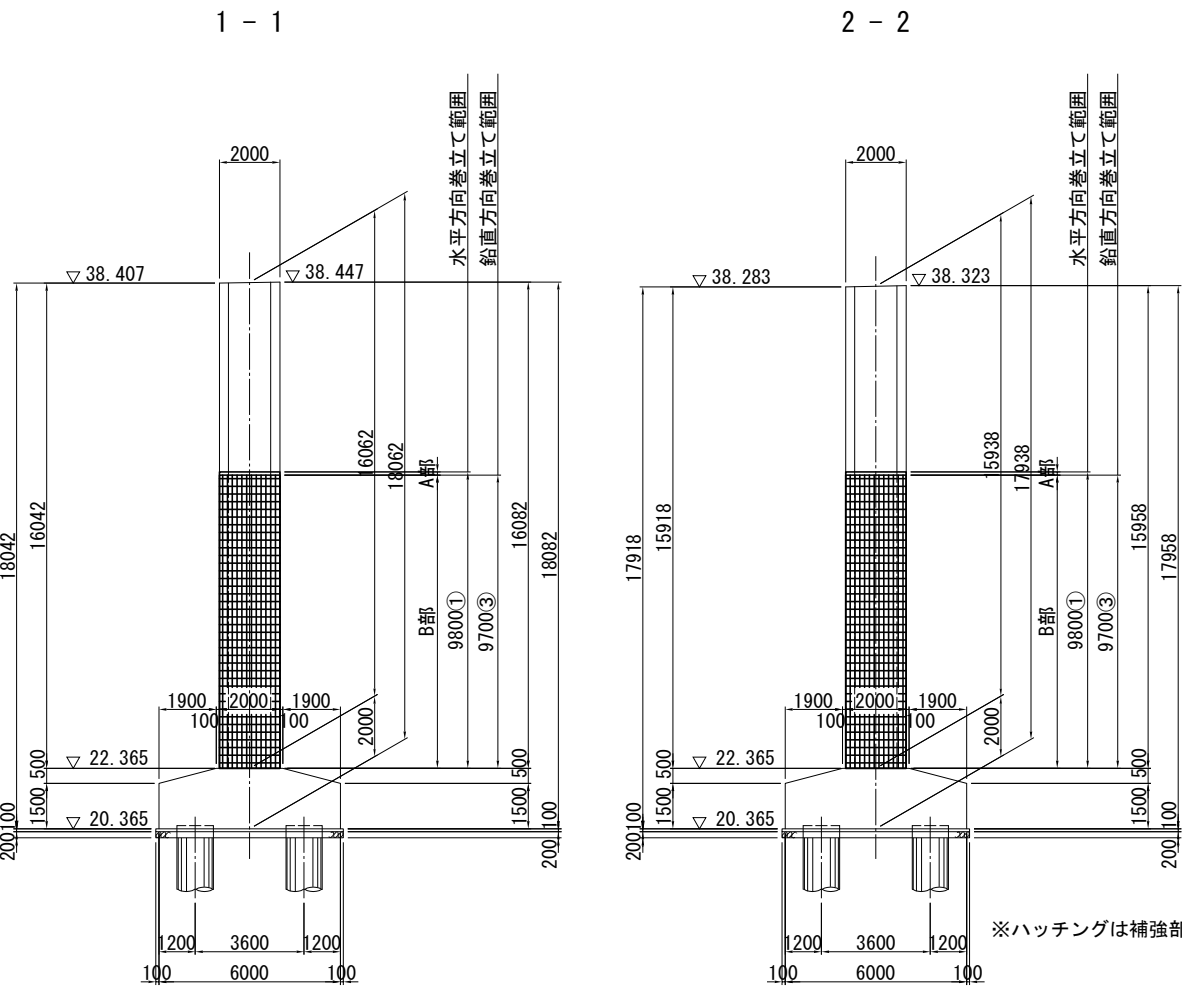
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P10橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



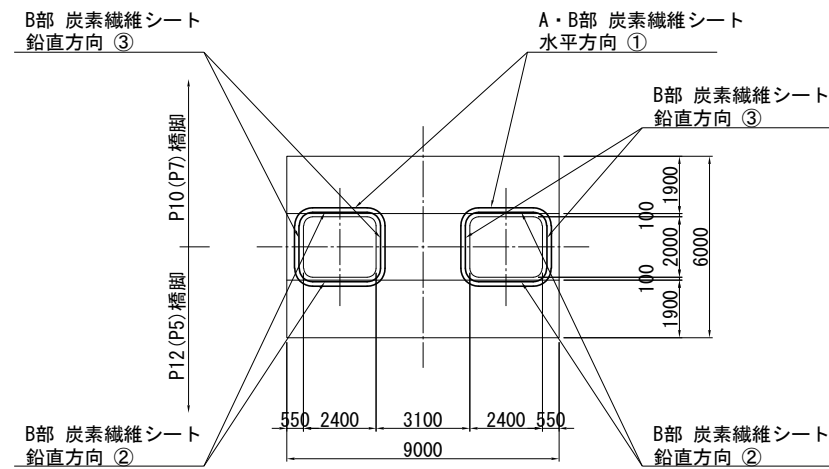
側面図



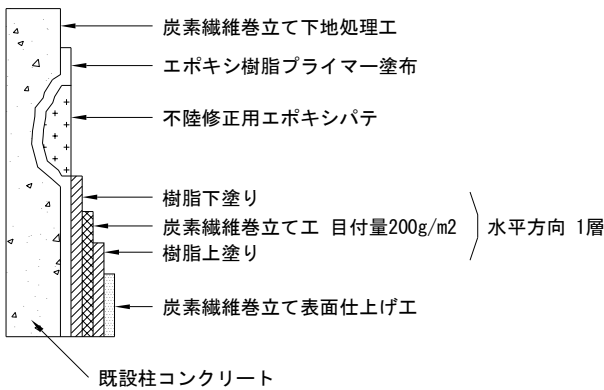
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

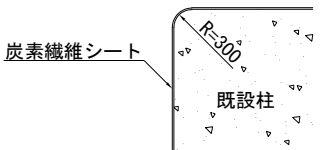
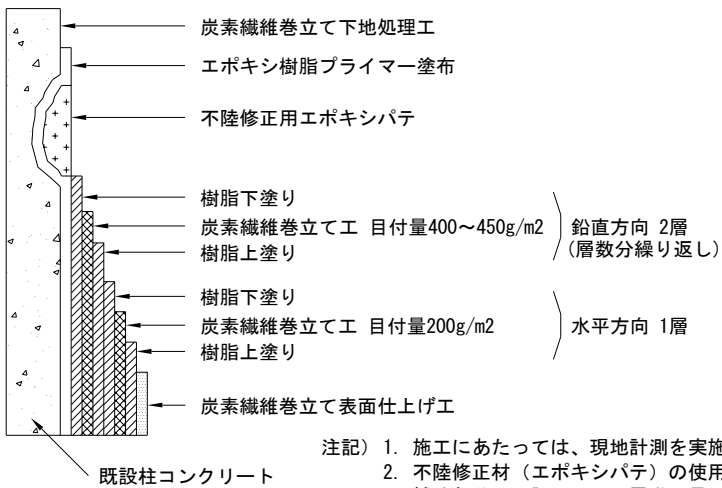
平面図



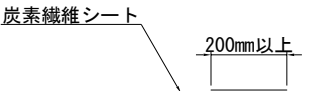
A部



B部



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

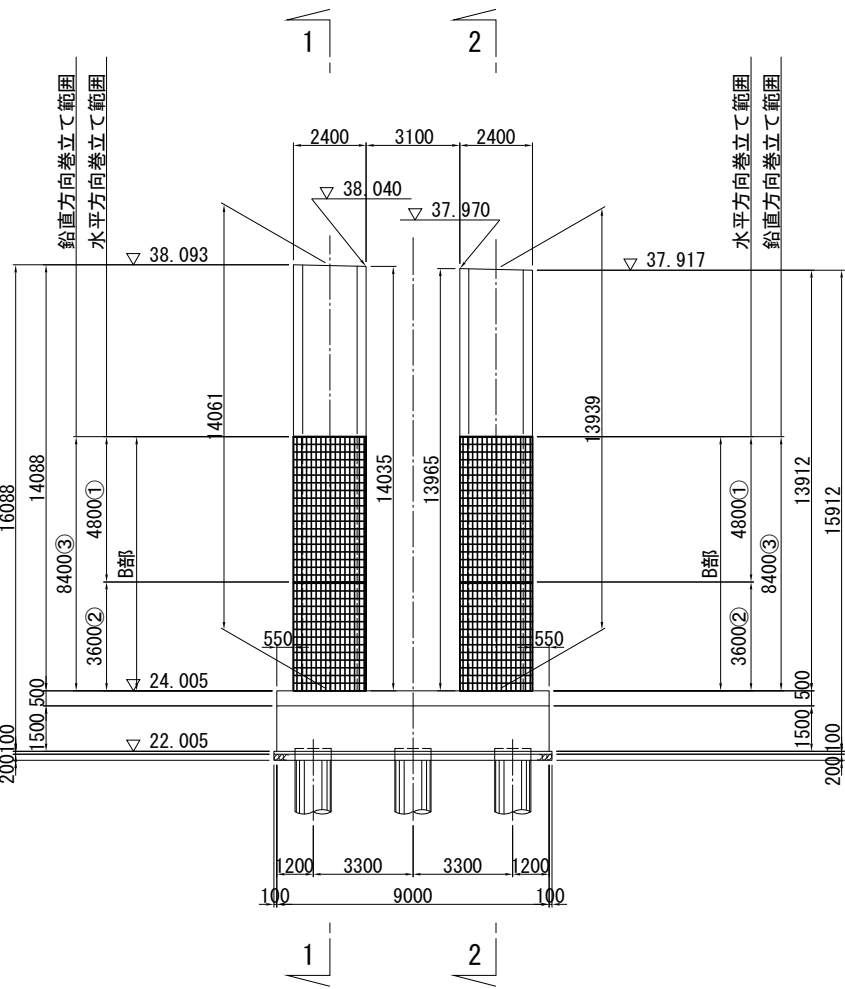
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	450g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型

使用材料

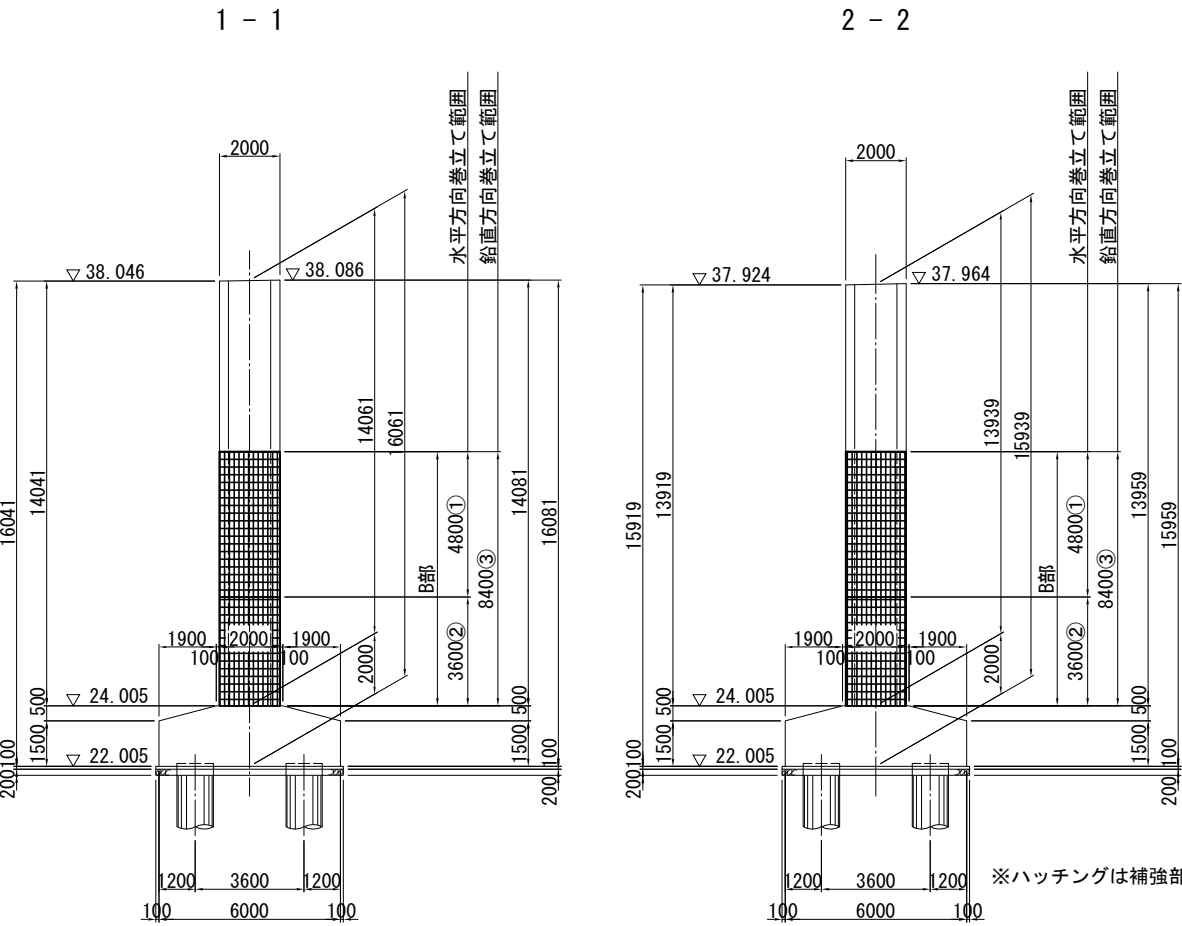
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P11橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

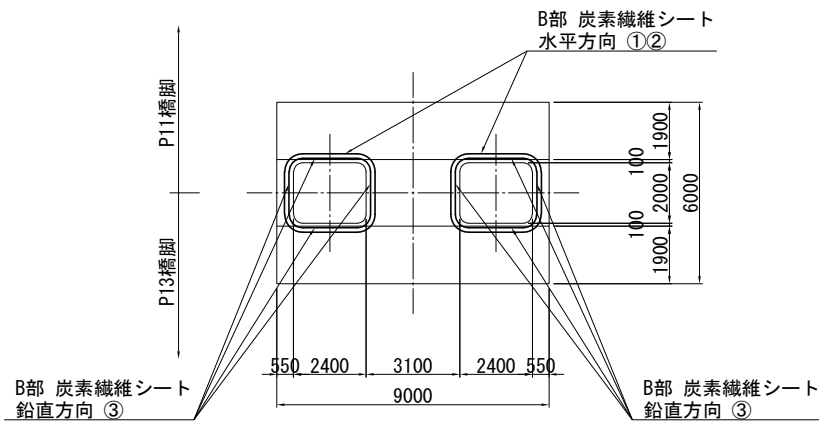


側面図



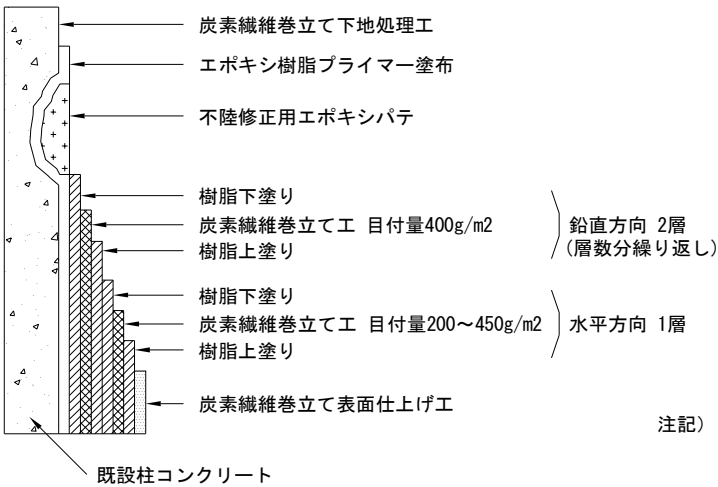
※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

平面図

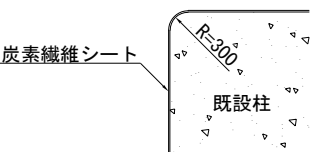


炭素繊維シート施工断面図

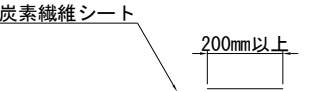
B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

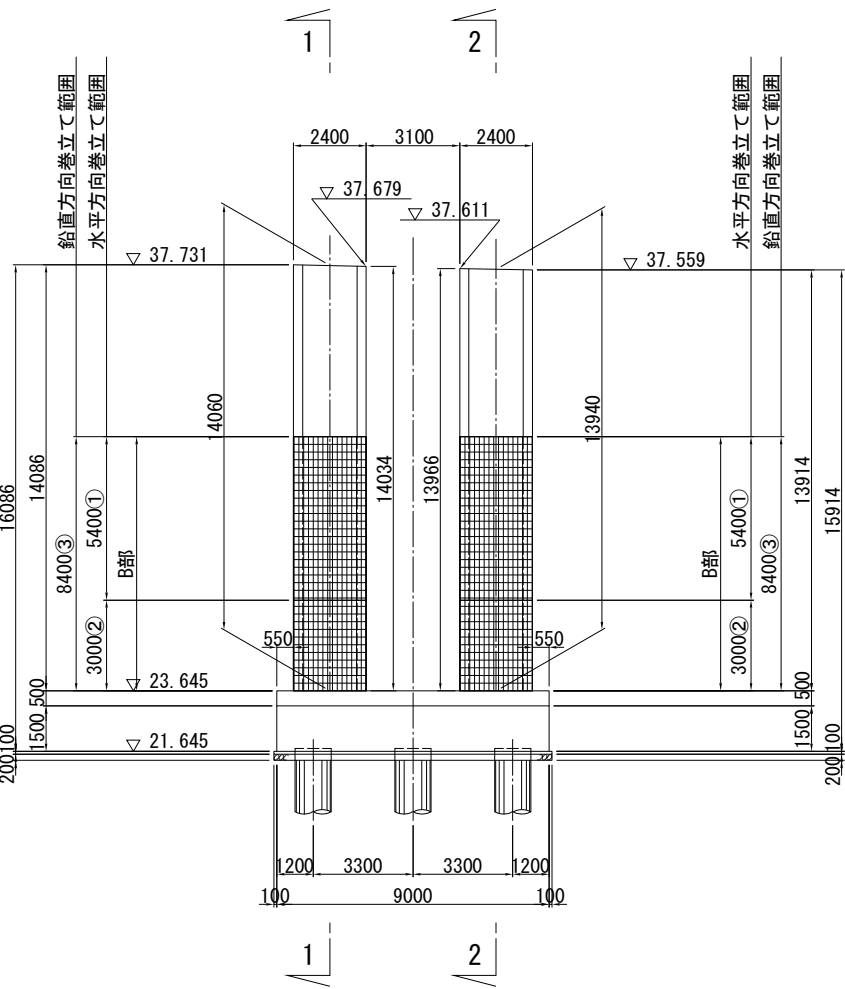
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	450g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型
③	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型

使用材料

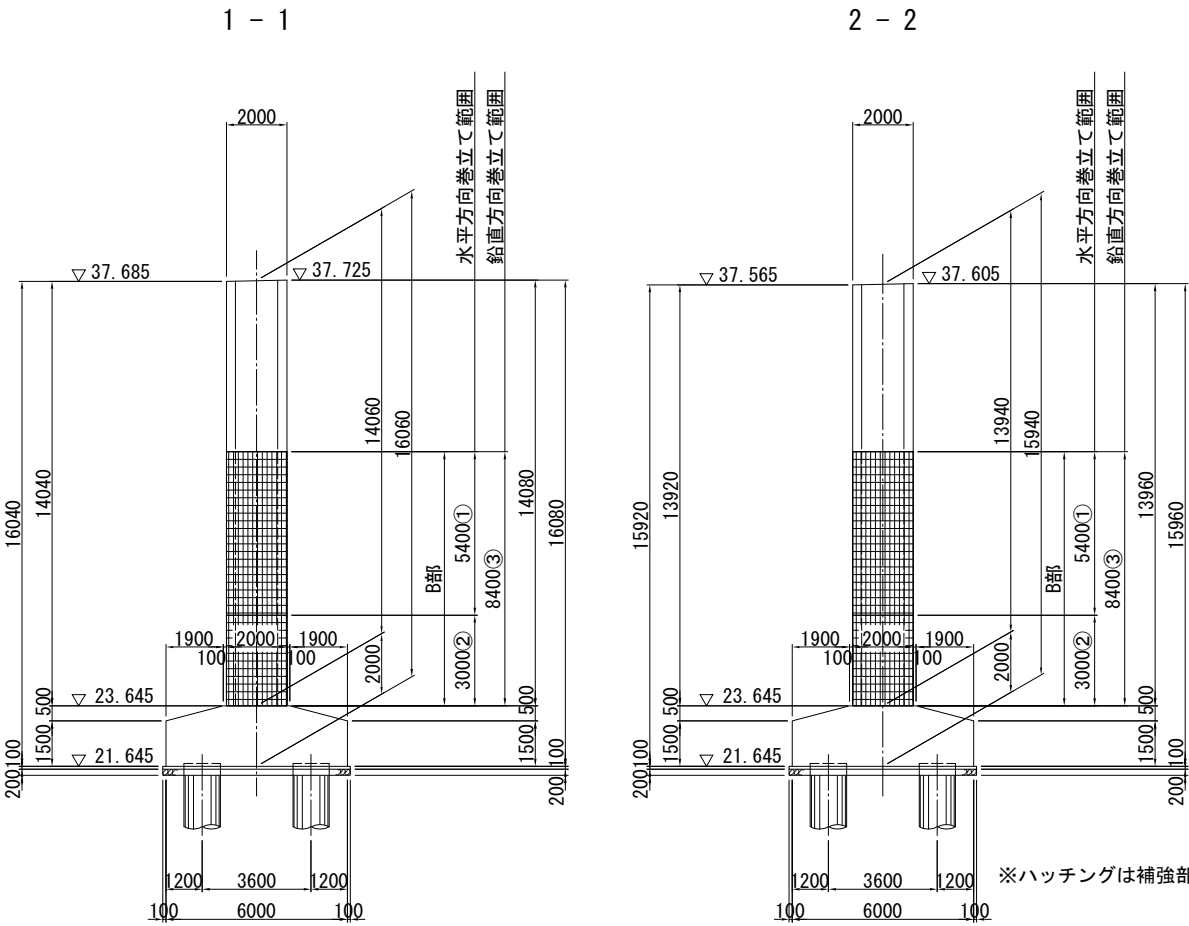
工 種	仕 様
既設部	コンクリート 24 N/mm ²
	鉄 筋 SD345
補強部	炭素繊維 図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P12橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

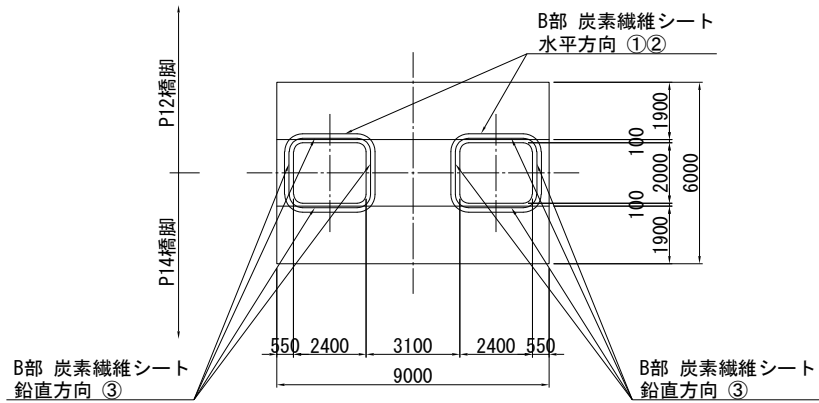


側面図



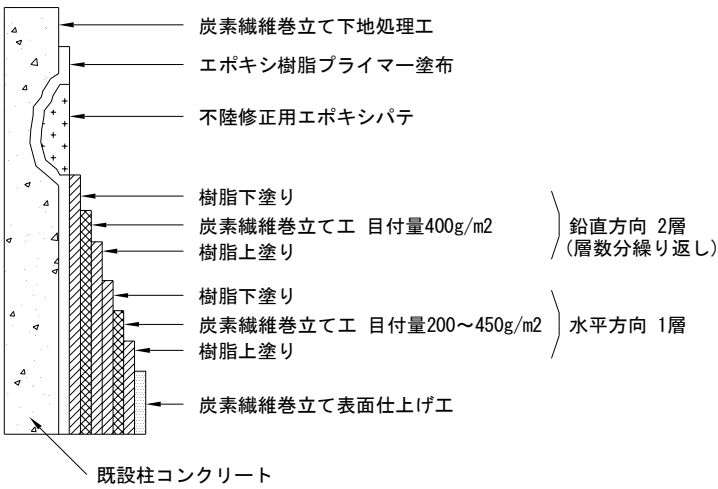
※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

平面図

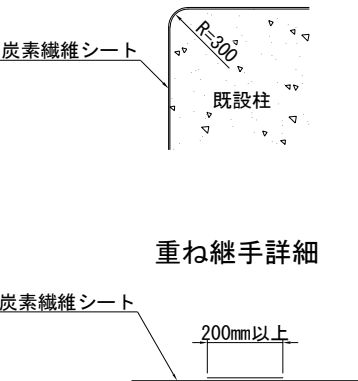


炭素繊維シート施工断面図

B部



柱面曲り部詳細図 S=1:125



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分（既設面）は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A（ポリマーセメントモルタルt=1mm）とする。

炭素繊維シート

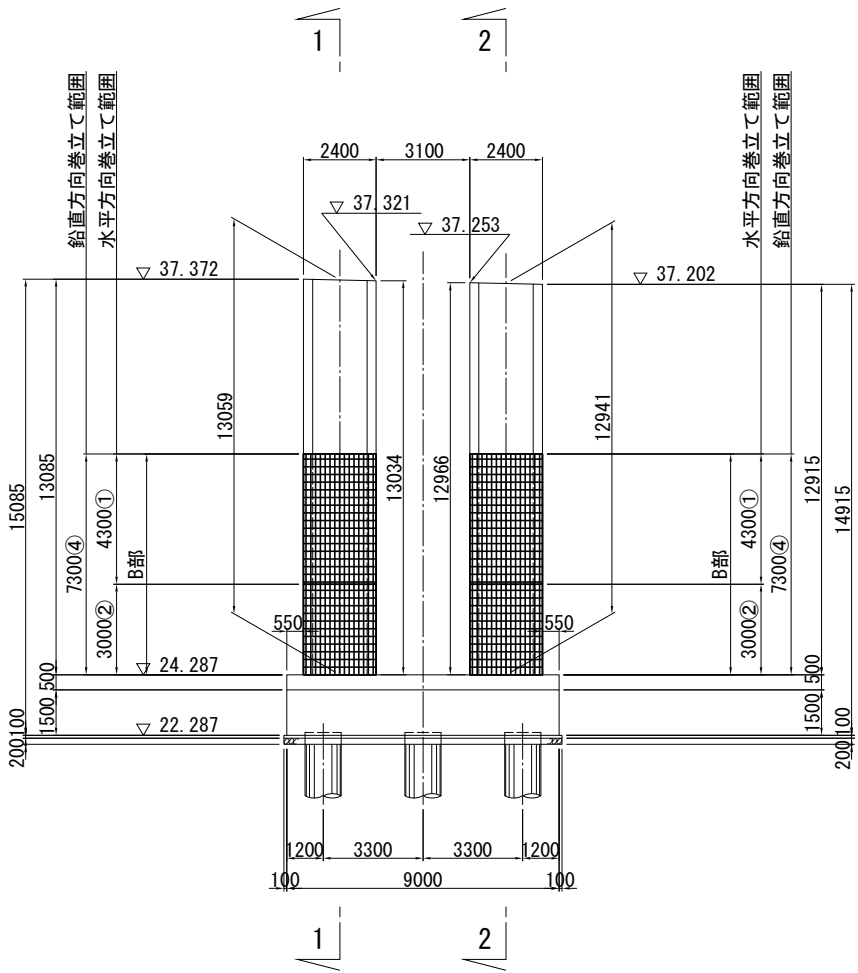
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	450g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.250mm	高強度型
③	400g/m2	鉛直	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型

使用材料

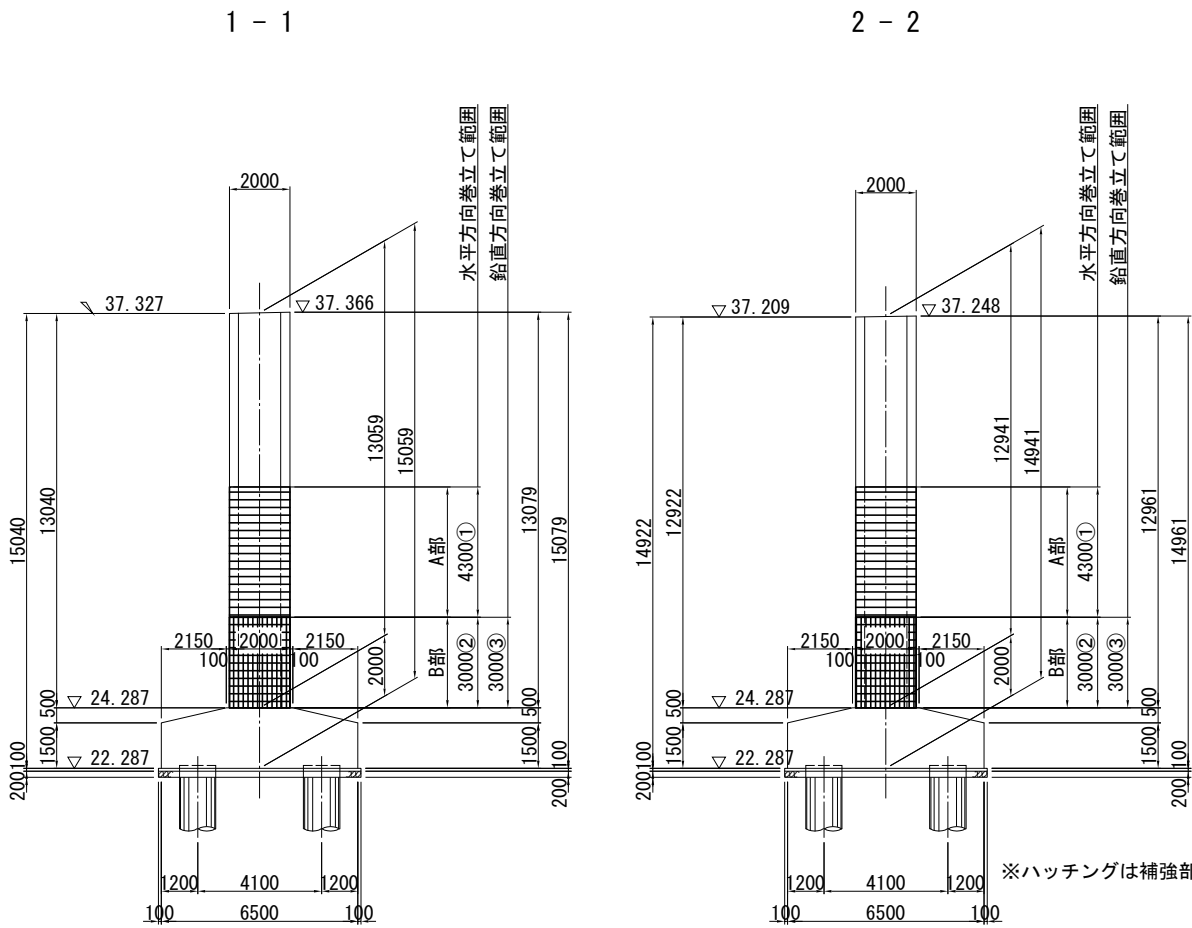
	工 種	仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P13橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図



側面図

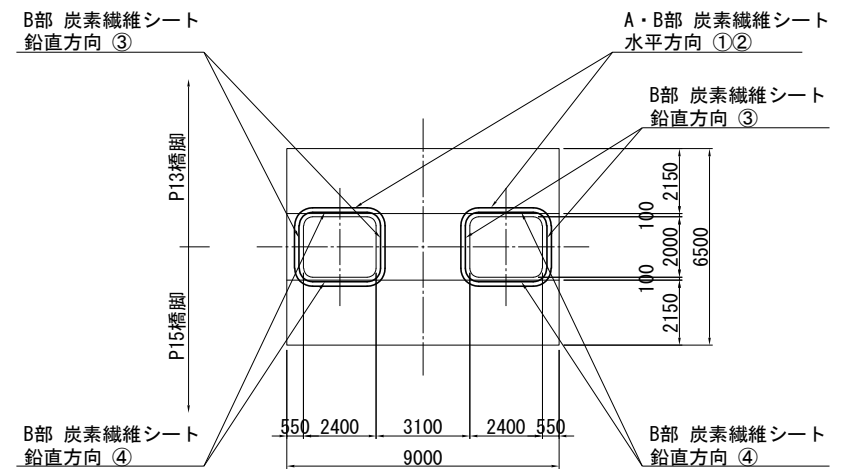


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

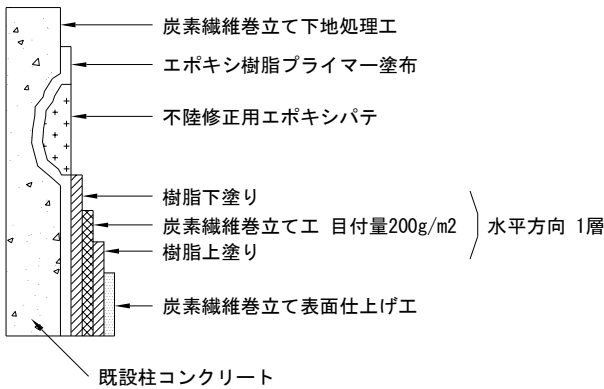
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

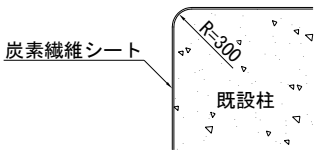
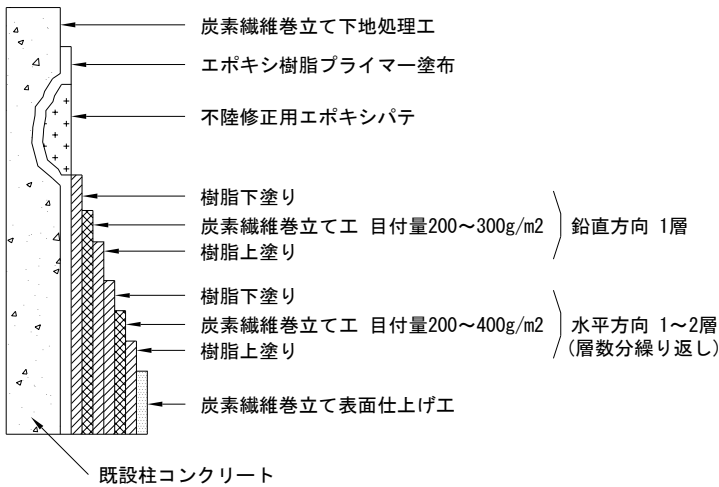
平面図



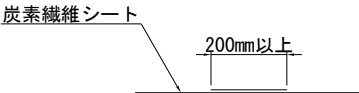
A部



B部



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

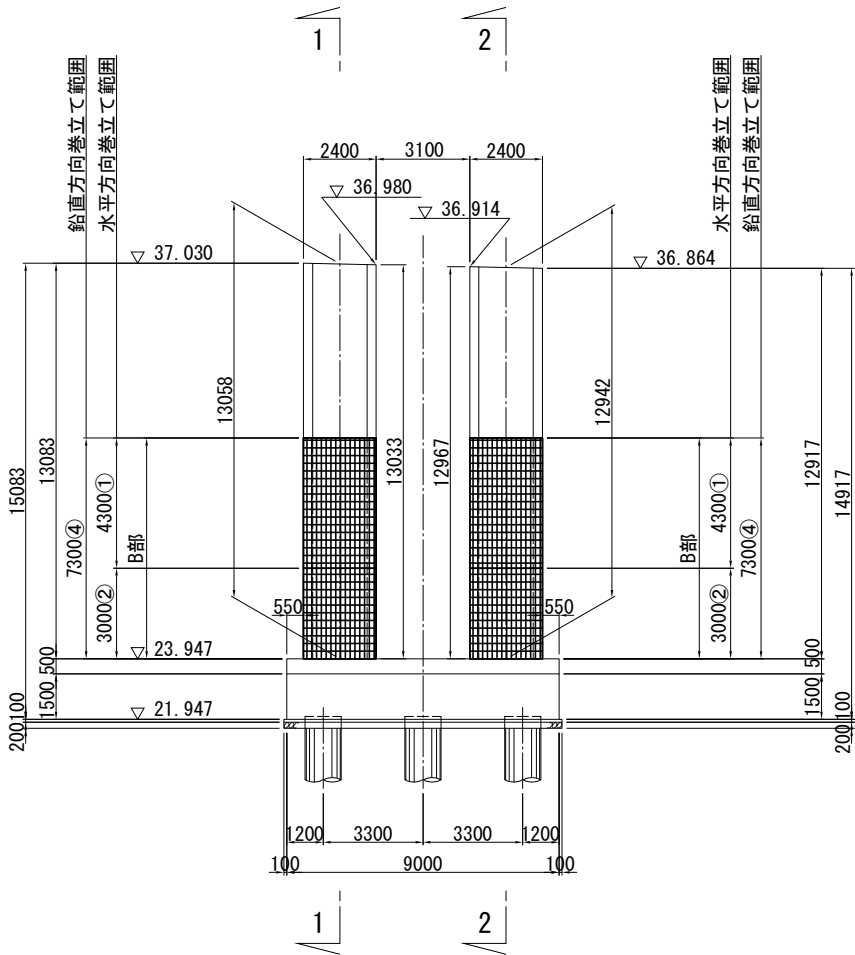
	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	水平	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	200g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
④	300g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.167mm	高強度型

使用材料

既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

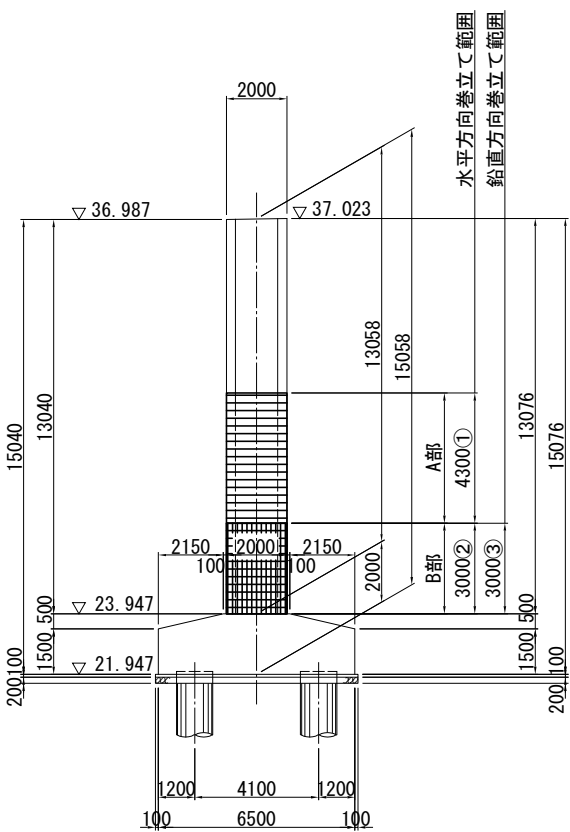
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P14橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

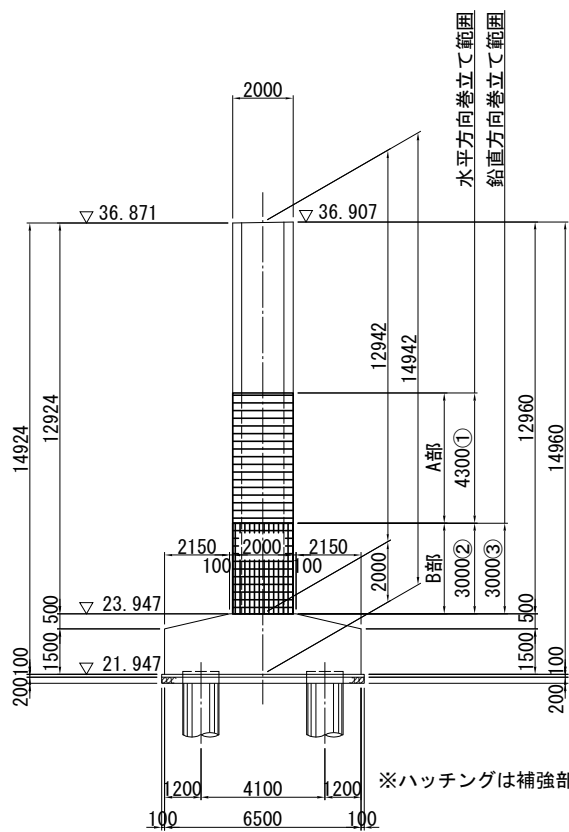


側面図

1 - 1



2 - 2

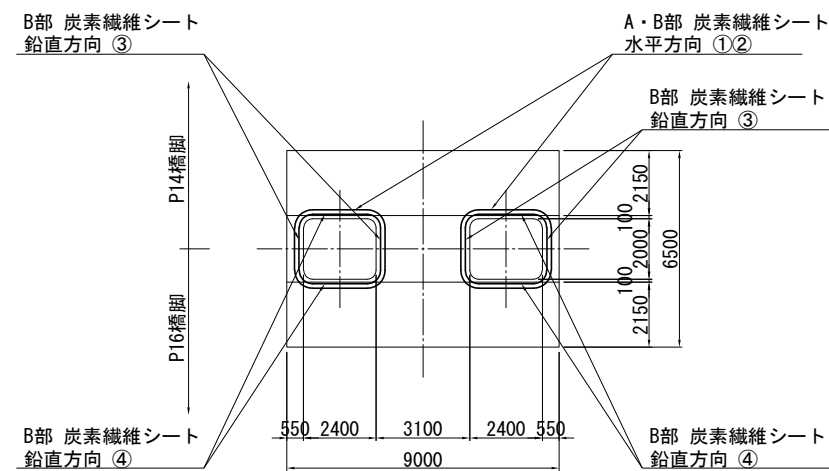


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

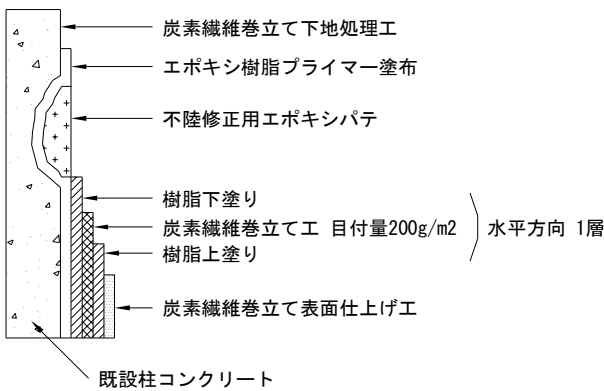
炭素繊維シート施工断面図

柱面曲り部詳細図 S=1:125

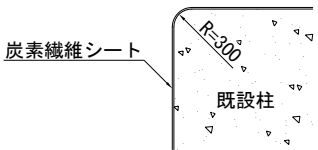
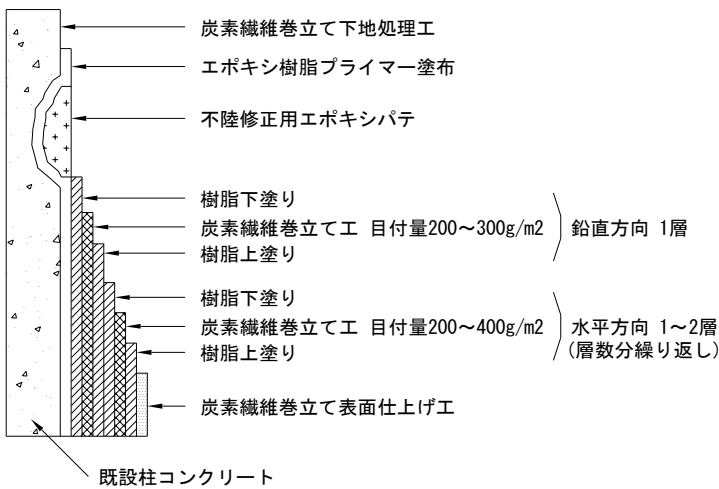
平面図



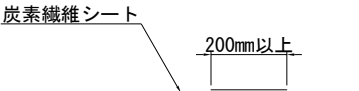
A部



B部



重ね継手詳細



※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材(エポキシパテ)の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分(既設面)は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A(ポリマーセメントモルタルt=1mm)とする。

炭素繊維シート

	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm2)	設計厚さ	種別
①	200g/m2	水平	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
②	400g/m2	水平	2 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.222mm	高強度型
③	200g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111mm	高強度型
④	300g/m2	鉛直	1 層	3400N/mm2	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.167mm	高強度型

使用材料

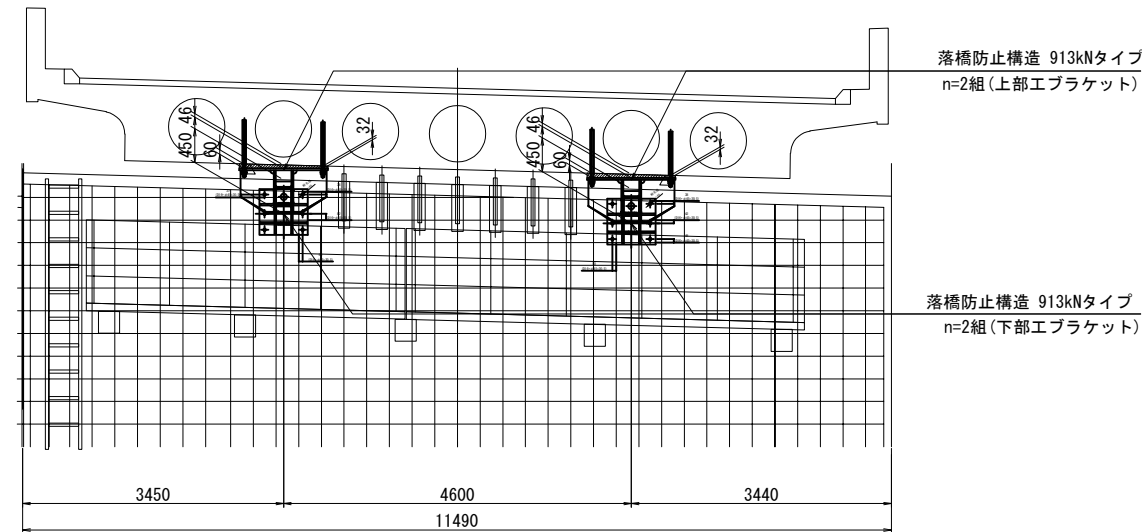
既設部	工 種	仕 様
	コンクリート	24 N/mm ²
補強部	鉄 筋	SD345
	炭素繊維	図 示

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P15橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

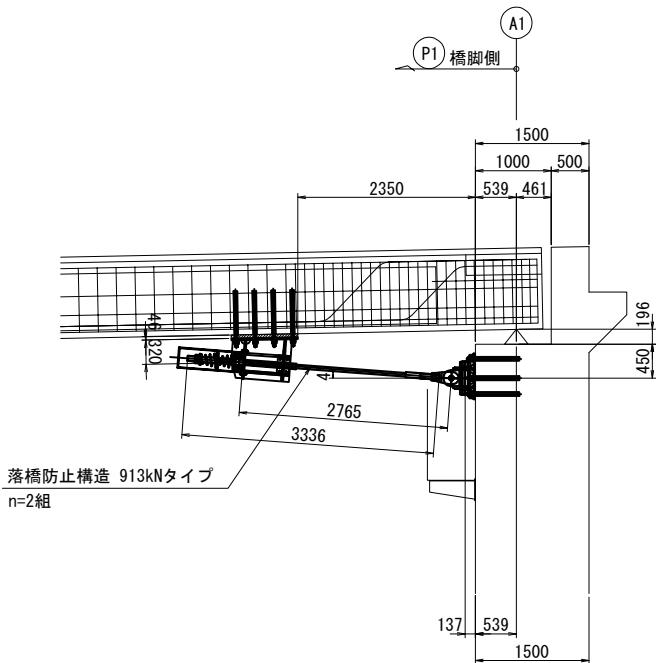
酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1配置図 S=1 : 100
P1-913 (400)

設計条件	
死荷重反力 (Rd)	1600kN
設計反力 (Hf)	1820kN
1本あたりの設計反力 (P)	913kN
設計遊間量	400mm

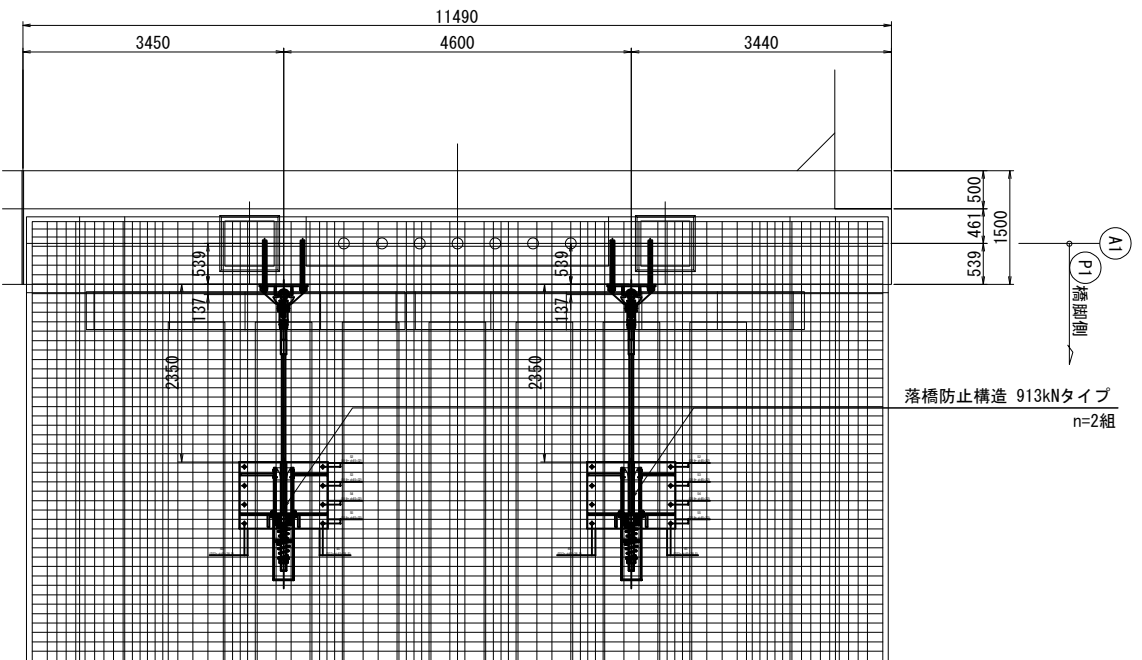
正面図



側面図



平面図



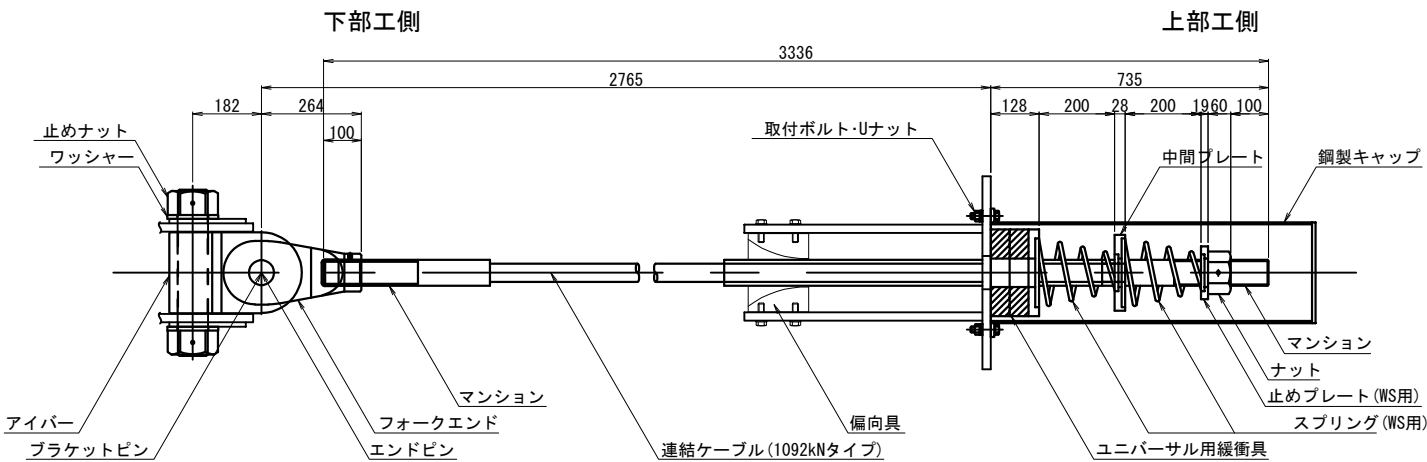
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1配置図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)

S=1:20

P1-913 (400)
取付詳細図及び部品図

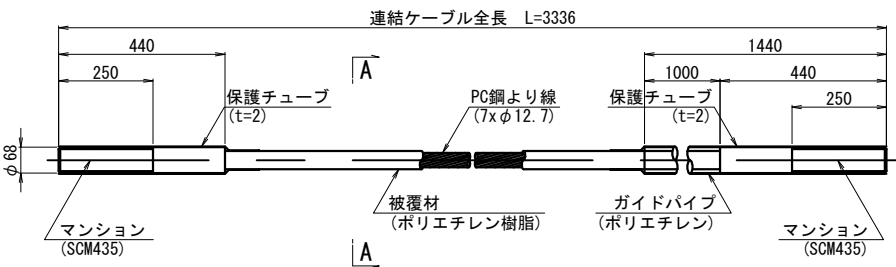
取付詳細図



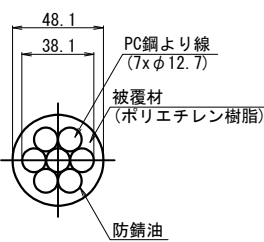
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり) 全2組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	1092kN L=3336mm	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
	1092kN用 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
	1092kN用 1000mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	1092kN用	個	1	S45C: 亜鉛めっき (HDZT77)
止めプレート (WS用)	1092kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
スプリング (WS用)	1092kN用 L=350	個	2	SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理
中間プレート	1092kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
ユニバーサル用緩衝具	1092kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具 (取付ボルト)	1092kN用	個	1	ポリエチレン
鋼製キャップ	M16x55 1W付 1092kN用 L=850	本 個	8 1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付 SS400, STK400: 亜鉛めっき (HDZT77, t=6未満HDZT70)
取付ボルト・Uナット	M16x65 2W付	本	4	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT49)
ブラケットピン	1092kN用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
止めナット	1092kN用	個	2	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	1092kN用	個	2	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
アイバー	1092kN用	個	1	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	1092kN用	個	1	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	1092kN用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
(止めプレート)	1092kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)

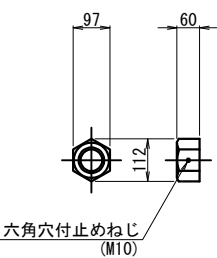
連結ケーブル



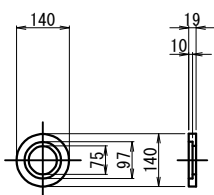
A-A断面図 S=1:2



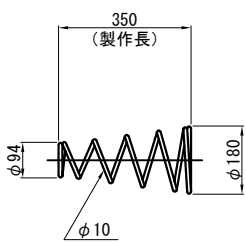
ナット
(S45C: 亜鉛めっき)



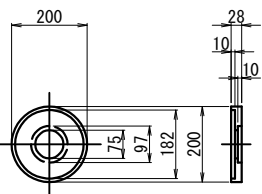
止めプレート (WS用)
(SS400相当品: 亜鉛めっき)



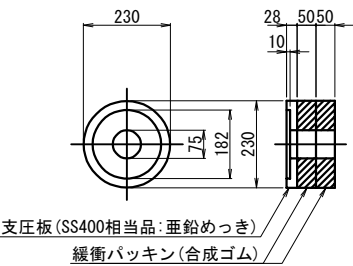
スプリング (WS用)
(SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理)



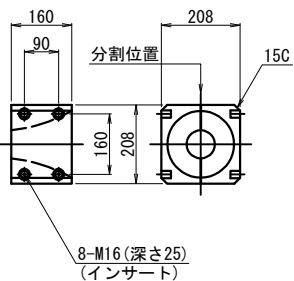
中間プレート
(SS400相当品: 亜鉛めっき)



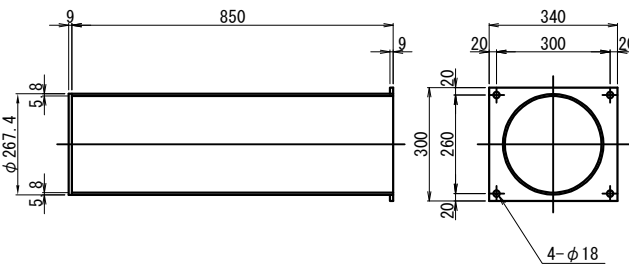
ユニバーサル用緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



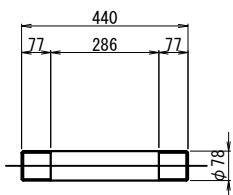
偏 向 具
(ポリエチレン)



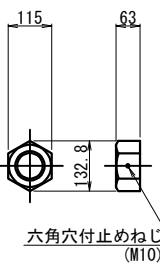
鋼製キャップ
(SS400, STK400: 亜鉛めっき)



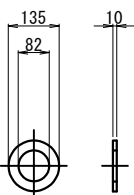
ブラケットピン
(SCM435: DMコート)



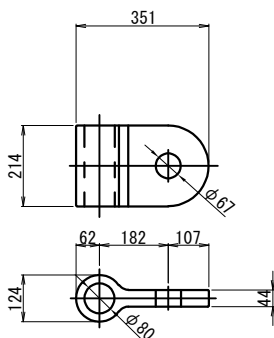
止めナット
(S45C: 亜鉛めっき)



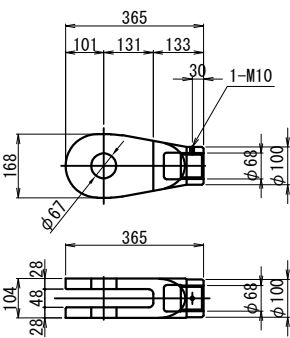
ワッシャー
(SS400相当品: 亜鉛めっき)



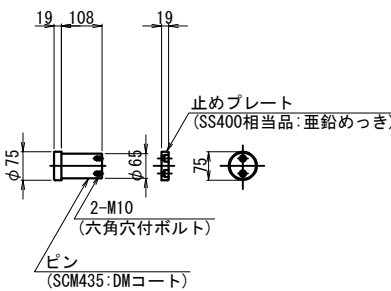
アイバー
(S45C: 亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C: 亜鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)



設計条件

1本あたりの設計反力 (P)	913kN
設計移動量	400mm

注記

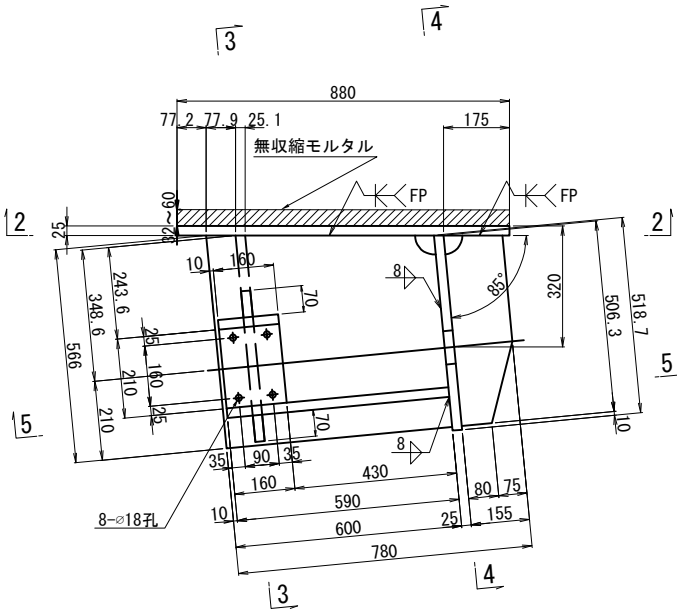
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事	酒蔵高架橋 A1橋台
図面の種類	落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)
縮 尺	図示 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

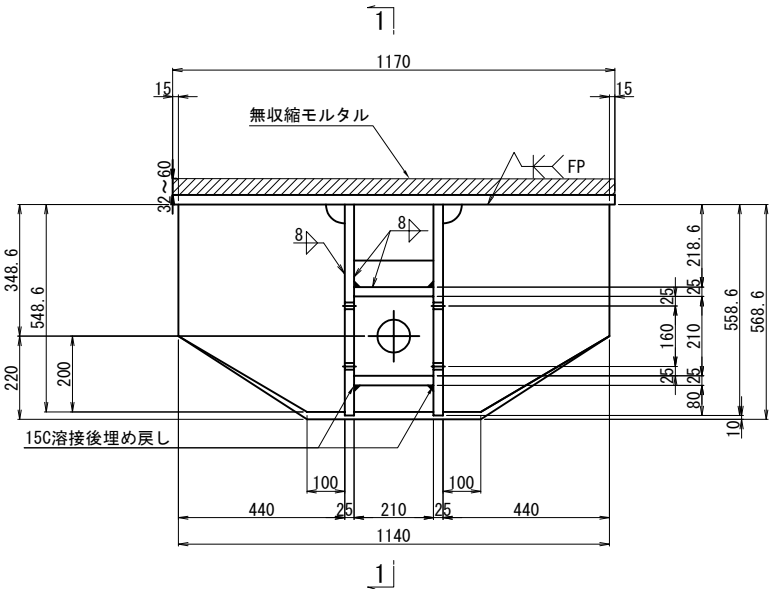
酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1構造図(その2) S=1:20

P1-913 (400)
上部エブラケット詳細図
A1橋台P1側

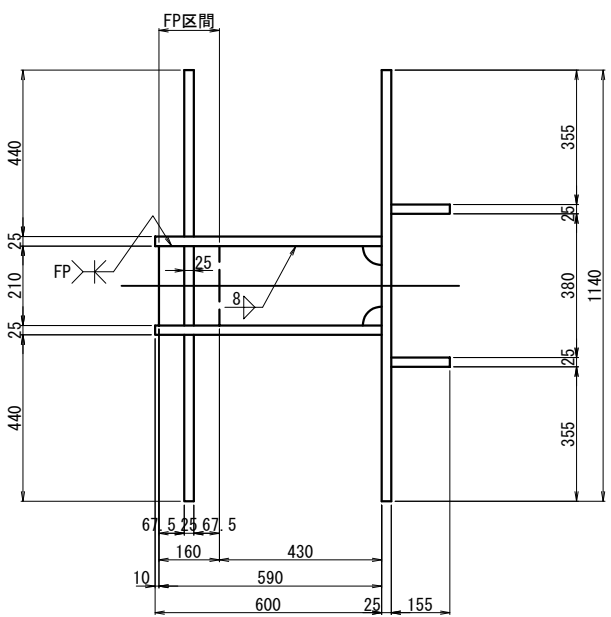
1 - 1



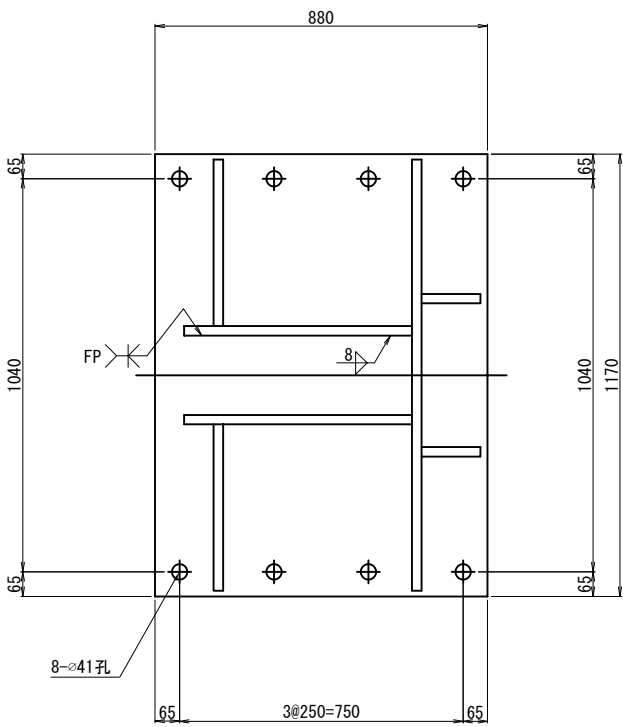
3 - 3



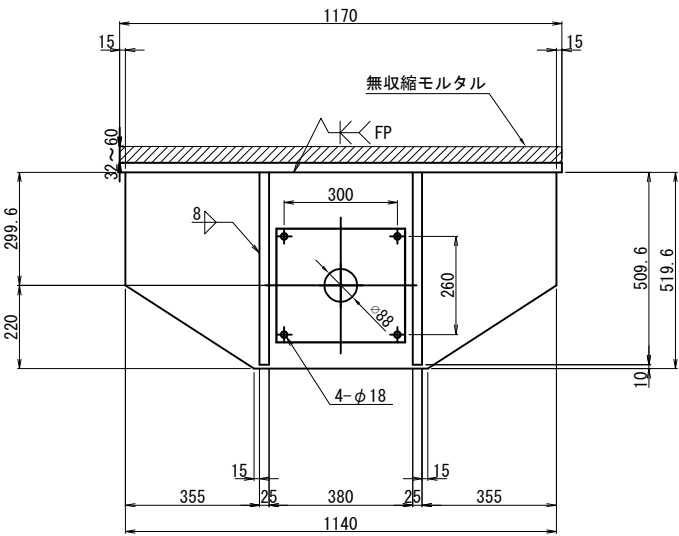
5 - 5



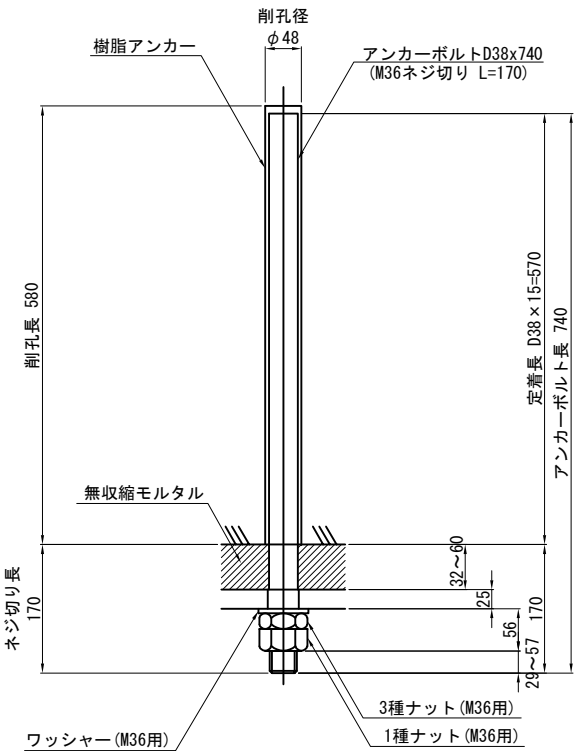
2 - 2



4 - 4



アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り(製作数:2基)

- 2-PL 155x25x507
- 2-PL 600x25x566
- 2-PL 440x25x549
- 2-PL 70x25x210
- 1-PL 210x25x590
- 1-PL 160x25x210
- 1-PL 519x25x1140
- 1-PL 1170x25x880
- 8-Anc. Bolt D38x740 (SD345)
- 8-1種 Nut M36用 (SS400)
- 8-3種 Nut M36用 (SS400)
- 8-Washer M36用 (SS400)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは50Rとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
 - 工場製作は、現場実測確認のうえ行う。
 - 「FP」の表記がある箇所は
完全溶け込み溶接を用いること。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、
チッピングによる表面処理を行うこと。

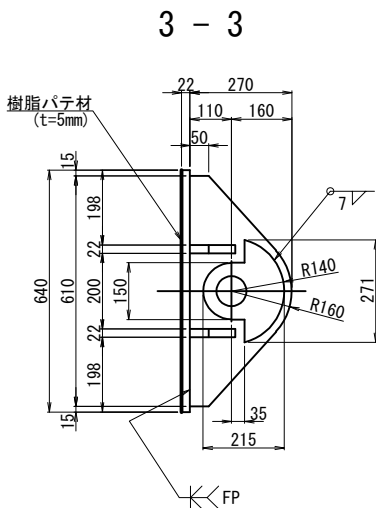
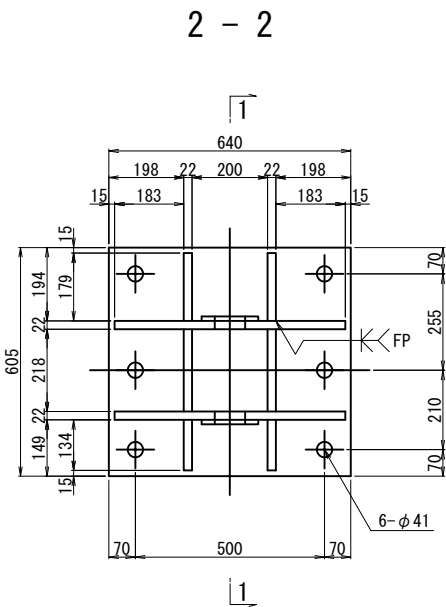
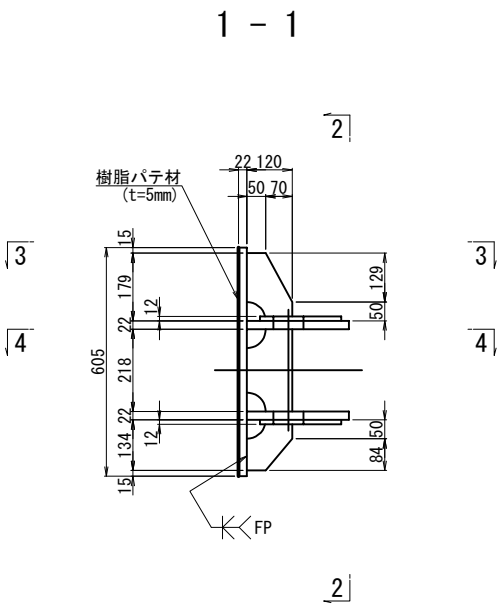
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A1橋台 落橋防止構造P1構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P1-913 (400)
下部エブラケット詳細図
A1橋台 P1側

下部エブラケット詳細図

アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:2基)

2-PL 215x12x271 (SM490YA)

2-PL 270x22x610

2-PL 120x22x179

2-PL 120x22x134

2-PL 120x22x218

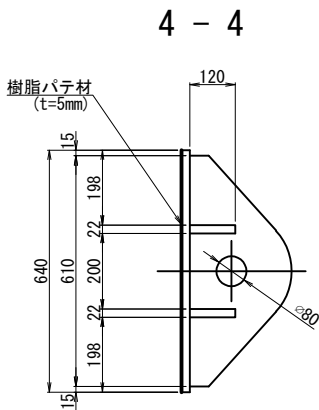
1-PL 640x22x605

6-Anc Bolt D39x675 (SD345)

6-1種 Nut M36用 (SS400)

6-3種 Nut M36用 (SS400)

6-Washer M36用 (SS400)



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 - 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A1橋台		
	落橋防止構造P1構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

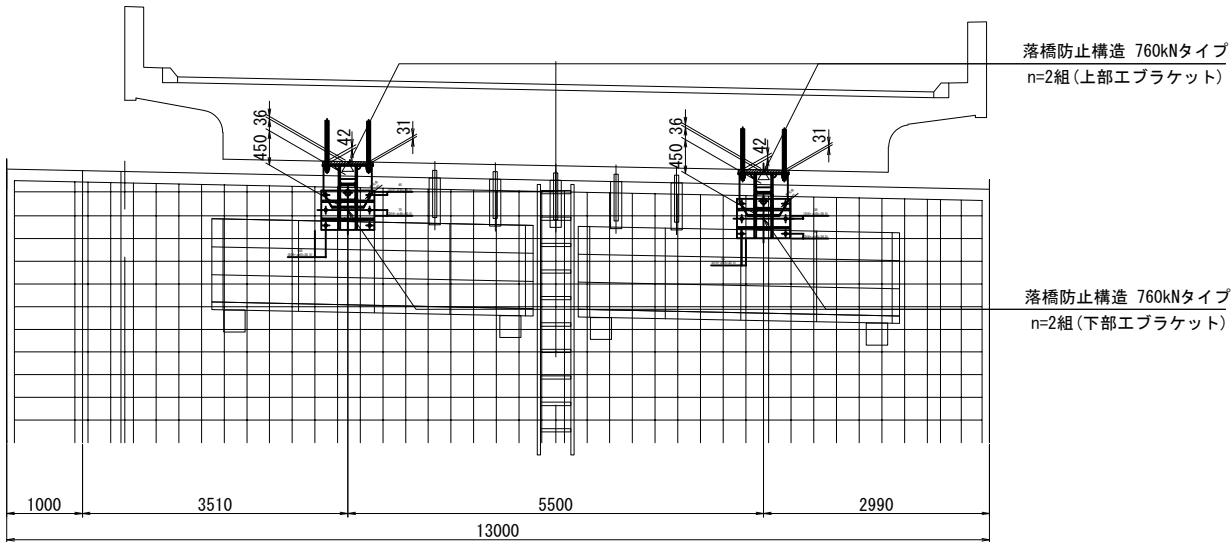
酒蔵高架橋 A2橋台 落橋防止構造P1配置図

S=1 : 100

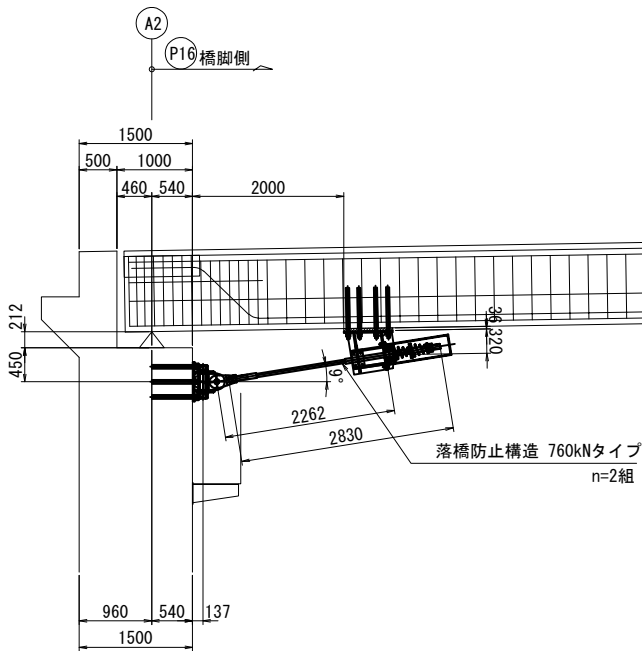
P1－760（400）

設計条件	
死荷重反力 (Rd)	1000kN
設計反力 (Hf)	1500kN
1 本あたりの設計反力 (P)	760kN
設計遊間量	400mm

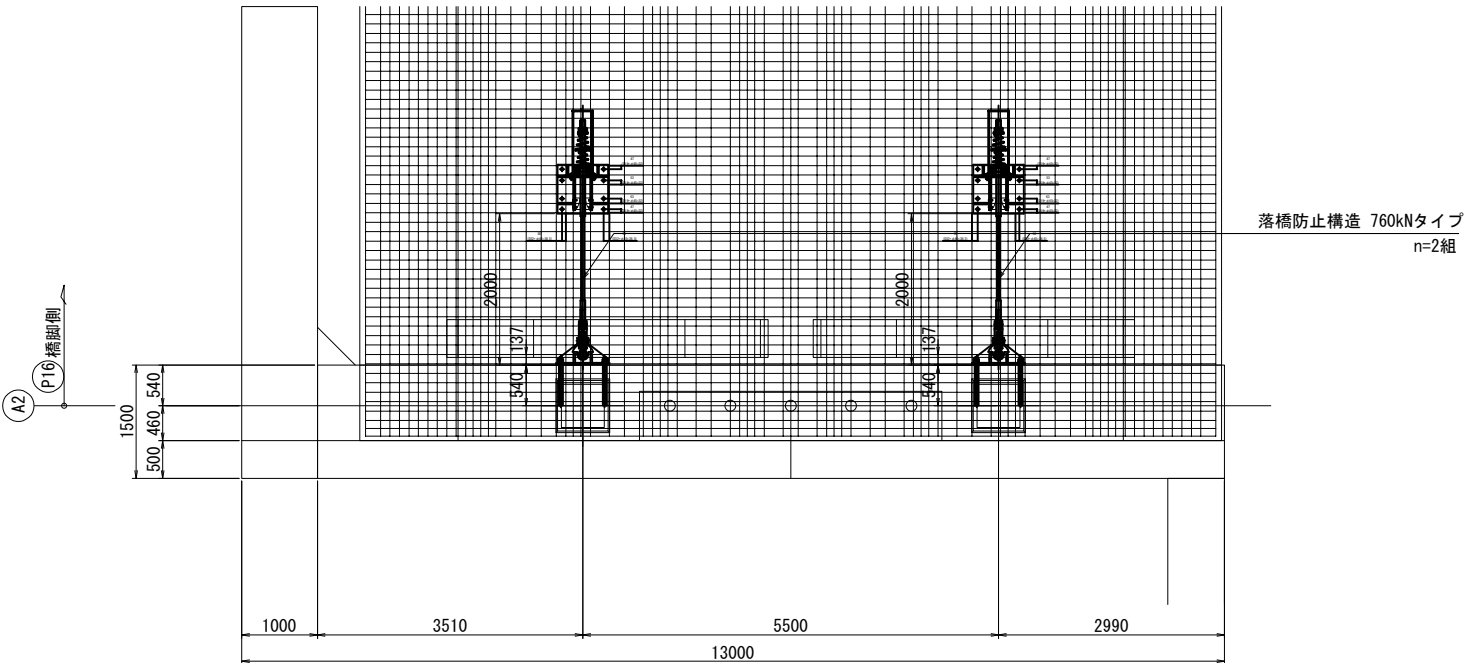
正面図



側面図



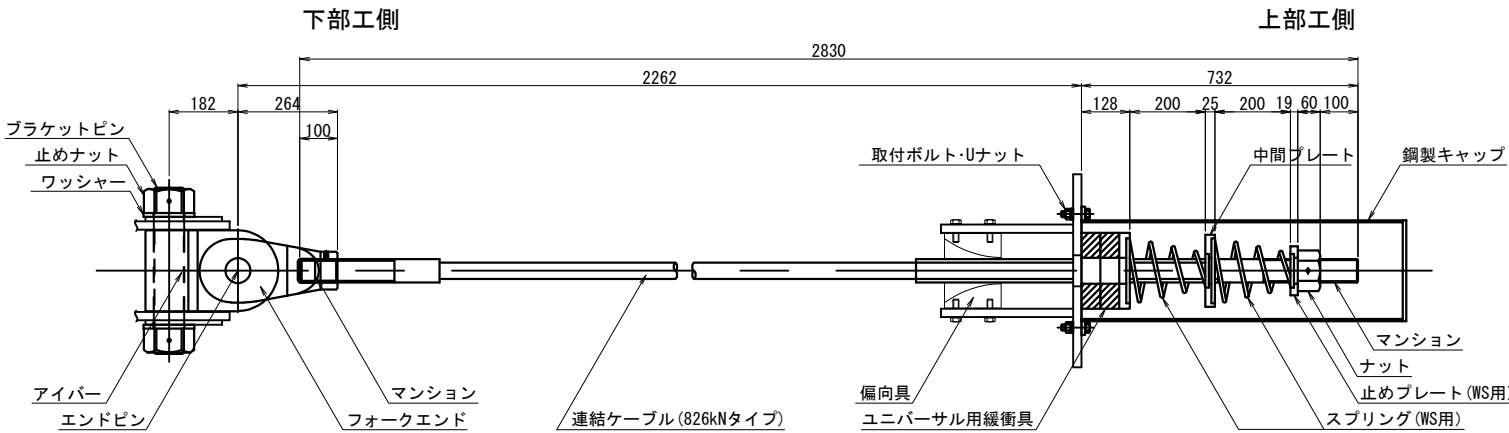
平面図



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A2橋台 落橋防止構造P1配置図		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P1-760 (400)
取付詳細図及び部品図

取付詳細図

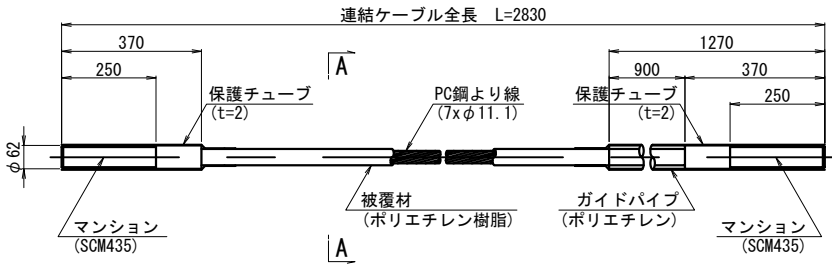


材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

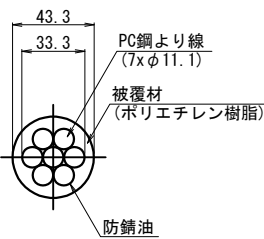
全2組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	826kN L=2830mm	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
(マンション)	826kN用 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	826kN用 900mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	826kN用	個	1	S45C: 亜鉛めっき (HDZT77)
止めプレート (WS用)	826kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
スプリング (WS用)	826kN用 L=350	個	2	SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理
中間プレート	826kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
ユニバーサル用緩衝具	826kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具	826kN用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
鋼製キャップ	826kN用 L=850	個	1	SS400, STK400: 亜鉛めっき (HDZT77, t=6未満HDZT70)
取付ボルト・Uナット	M16x60 2W付	本	4	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT49)
ブラケットピン	826kN用	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
止めナット	826kN用	個	2	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	826kN用	個	2	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)
アイバー	826kN用	個	1	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	826kN用	個	1	S45C, 亜鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	826kN用	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
(止めプレート)	826kN用	個	1	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZT77)

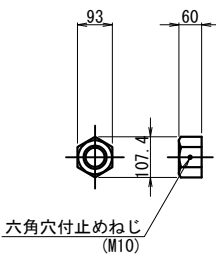
連結ケーブル



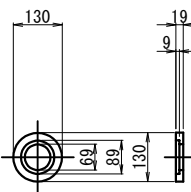
A-A断面図 S=1:2



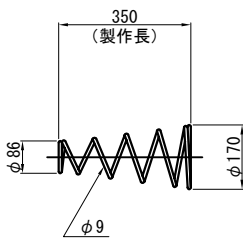
ナット (S45C: 亜鉛めっき)



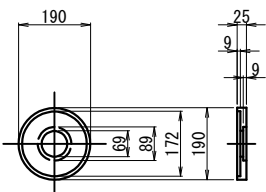
止めプレート (WS用) (SS400相当品: 亜鉛めっき)



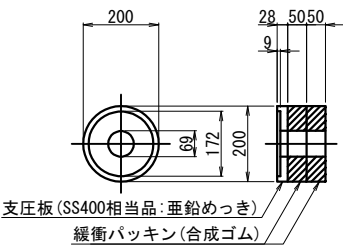
スプリング (WS用) (SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理)



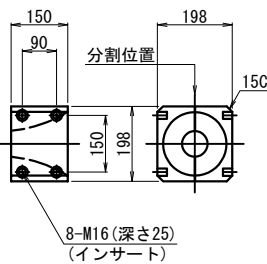
中間プレート (SS400相当品: 亜鉛めっき)



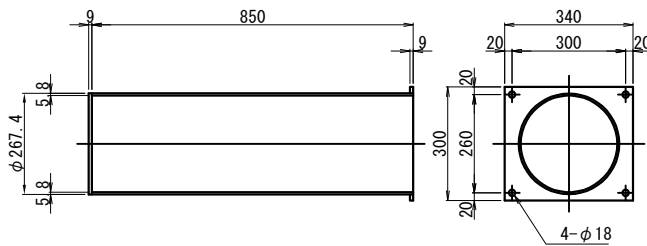
ユニバーサル用緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



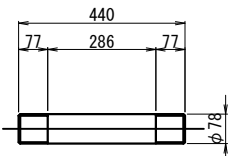
偏向具 (ポリエチレン)



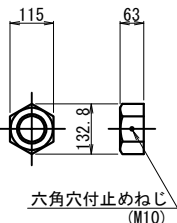
鋼製キャップ (SS400, STK400: 亜鉛めっき)



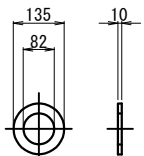
ブラケットピン (SCM435: DMコート)



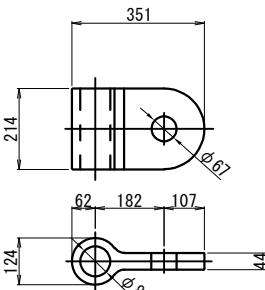
止めナット (S45C: 亜鉛めっき)



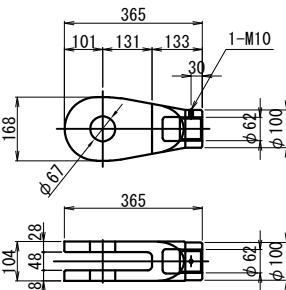
ワッシャー (SS400相当品: 亜鉛めっき)



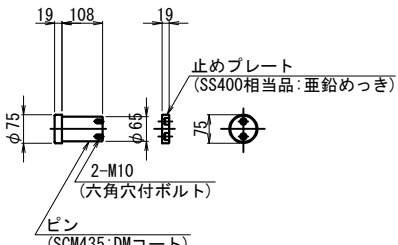
アイバー (S45C: 亜鉛めっき)



フォークエンド (S45C: 亜鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



設計条件

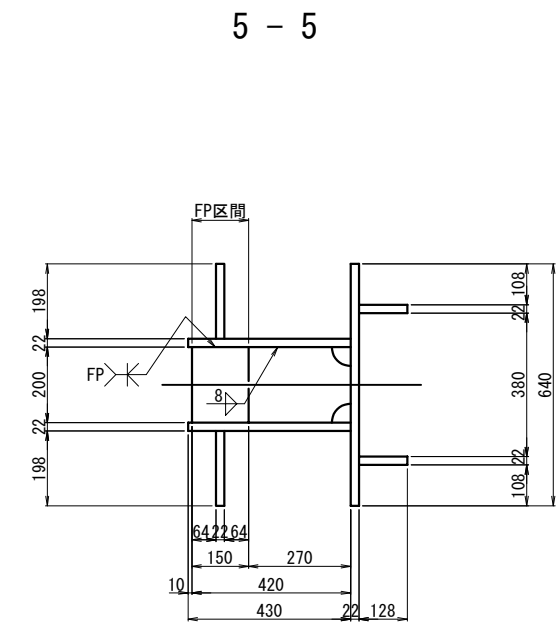
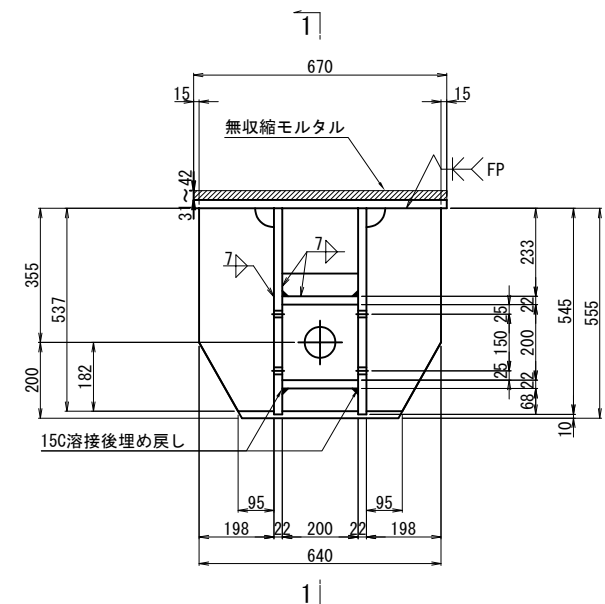
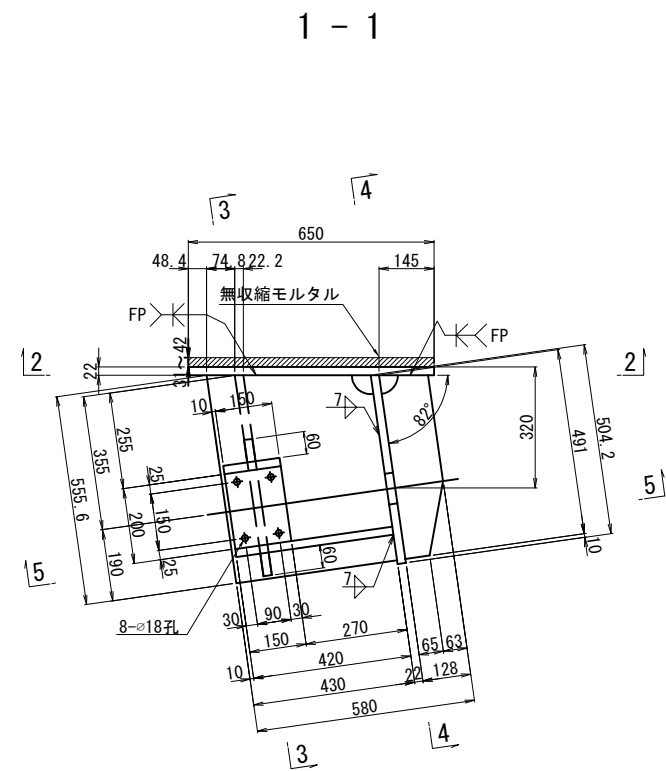
1本あたりの設計反力(P)	760kN
設計移動量	400mm

注記

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

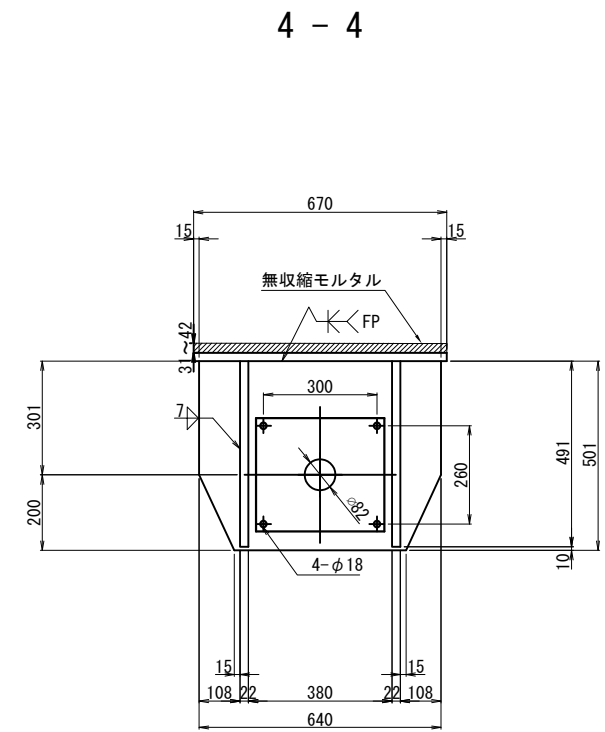
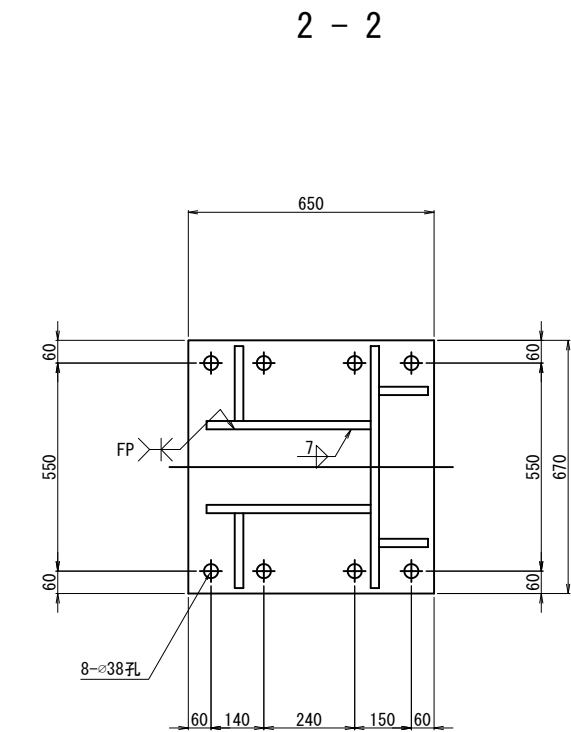
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事	酒蔵高架橋 A2橋台
図面の種類	落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)
縮 尺	図示 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

P1-760 (400)
上部エブラケット詳細図
A2橋台P16側

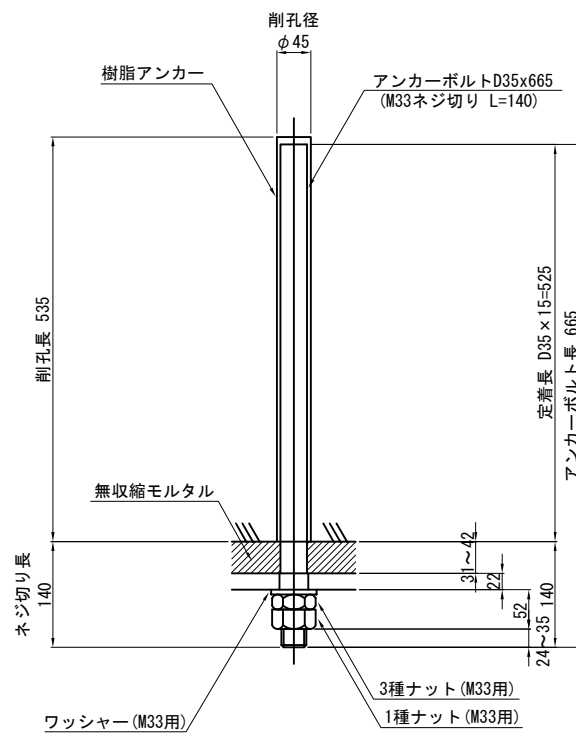


ブラケット1基当り(製作数:2基)

- 2-PL 128x22x491
- 2-PL 430x22x556
- 2-PL 198x22x537
- 2-PL 60x22x200
- 1-PL 200x22x420
- 1-PL 150x22x200
- 1-PL 505x22x640
- 1-PL 650x22x670
- 8-Anc. Bolt D35x665 (SD345)
- 8-1種 Nut M33用 (SS400)
- 8-3種 Nut M33用 (SS400)
- 8-Washer M33用 (SS400)



アンカーボルト詳細図 S=1:10



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

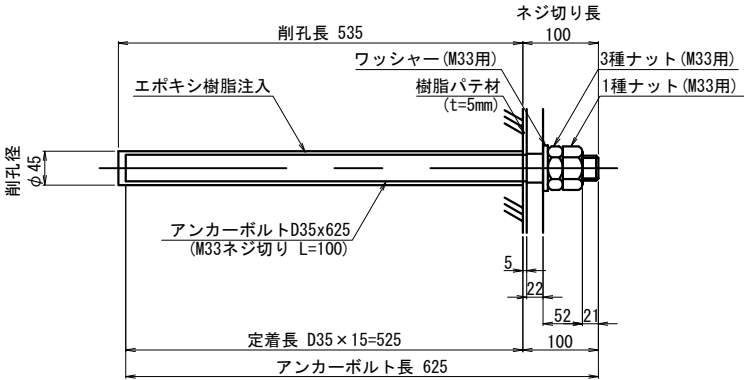
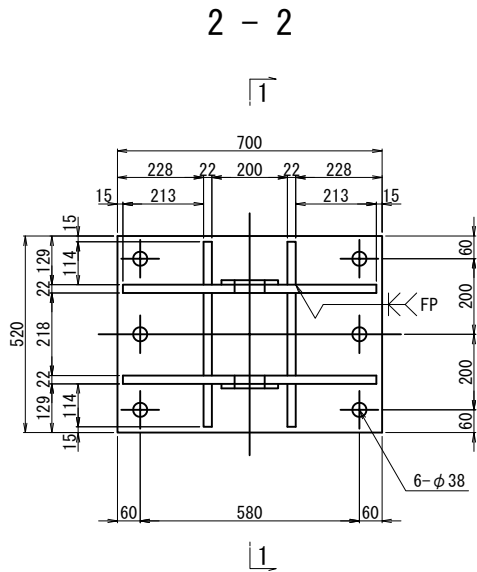
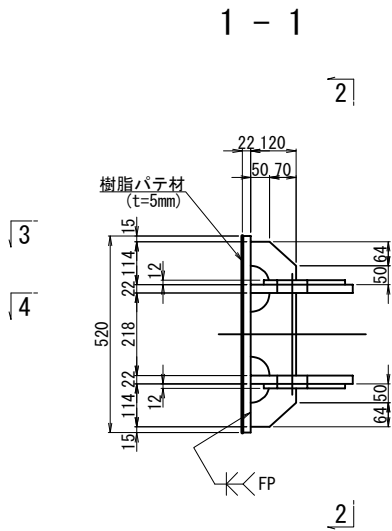
- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは50Rとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 工場製作は、現場実測確認のうえ行う。
 - 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A2橋台		
	落橋防止構造P1構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

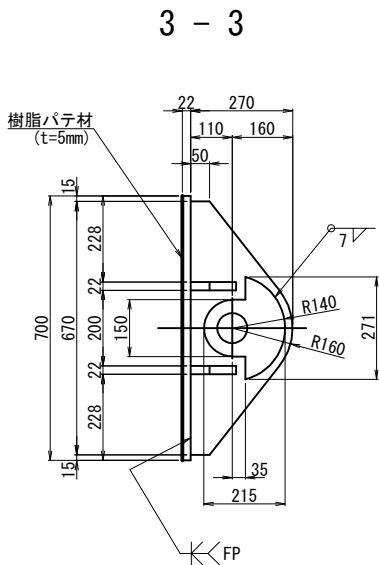
P1-760 (400)
下部エブラケット詳細図
A2橋台 P16側

下部エブラケット詳細図

アンカーボルト詳細図 S=1:10



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。



ブラケット1基当り (製作数:2基)

2-PL 215x12x271

2-PL 270x22x670

4-PL 120x22x114

2-PL 120x22x218

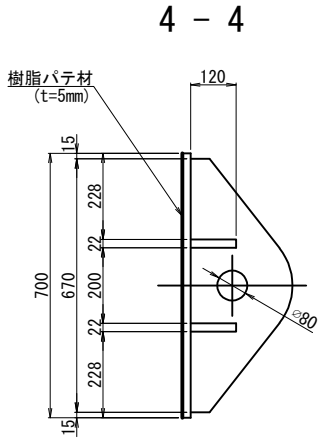
1-PL 700x22x520

6-Anc Bolt D35x625 (SD345)

6-1種 Nut M33用 (SS400)

6-3種 Nut M33用 (SS400)

6-Washer M33用 (SS400)



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. 部材は、全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 5. 「FP」の表記がある箇所は
完全溶け込み溶接を用いること。
 6. 鋼製部材とコンクリートの接触面は、
チッピングによる表面処理を行うこと。

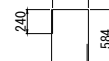
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A2橋台		
	落橋防止構造P1構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

Figure 1 is a detailed reinforcement layout diagram for a rectangular slab. The overall dimensions are 1300mm in width and 700mm in height. The diagram shows the placement of various reinforcement bars, including top bars (R1 D19, R2 D16) and bottom bars (R2 D16). Dimensions for bar spacing and placement are provided in millimeters. Labels include 'アンカー筋位置' (Anchor bar position), '通し筋ピッチ' (Through bar pitch), 'アンカー筋ピッチ' (Anchor bar pitch), and '帯筋ピッチ' (Belt bar pitch).

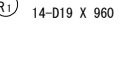
[illegible][illegible]



 R1 14-D19 X 960



 R2 18-D16 X 1140



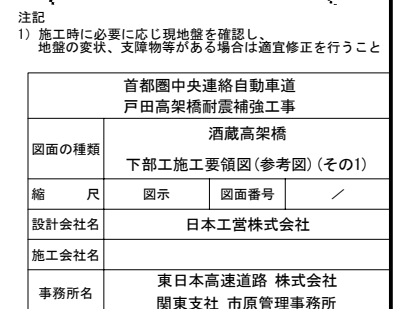
 R3 6-D16 X 1160

			$\theta \leq 90^\circ$ $\theta = 90^\circ$ スターラップ $\Delta L = \text{減長}$			$R=3\phi$ $R=5.5\phi$ $R=2.5\phi$ $2Xc-a$				
ϕ	$\theta=90^\circ$			$\theta=135^\circ$	a	ΔL	スターラップ			
	R	a	ΔL				R	a	ΔL	
D13	39	61	17	71	5	56	3	32	5	51
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17	
D19	57	89	25	104	5	82	5	47	75	26
D22	66	104	28	121	95	5	55	85	86	24

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
R 1	D 19	960	14	2.25	2.16	30	┌ アンカー筋
R 2	D 16	1140	18	1.56	1.78	32	└ 帯 筋
R 3	D 16	1160	6	1.56	1.81	11	—— 通し筋
						SD345 D19	30 kg
						SD345 D16	43 kg
						総質量	73 kg
						割孔φ29×295	14 箇所

- | | | | |
|----------------------------|------------------------------|------|---|
| 首都圏中央連絡自動車道
戸田高架橋耐震補強工事 | | | |
| 図面の種類 | 酒蔵高架橋 P16橋脚
繰端拡幅工B詳細図 | | |
| 縮 尺 | 図示 | 図面番号 | ／ |
| 設計会社名 | 日本工営株式会社 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路 株式会社
関東支社 市原管理事務所 | | |

東武成山IC



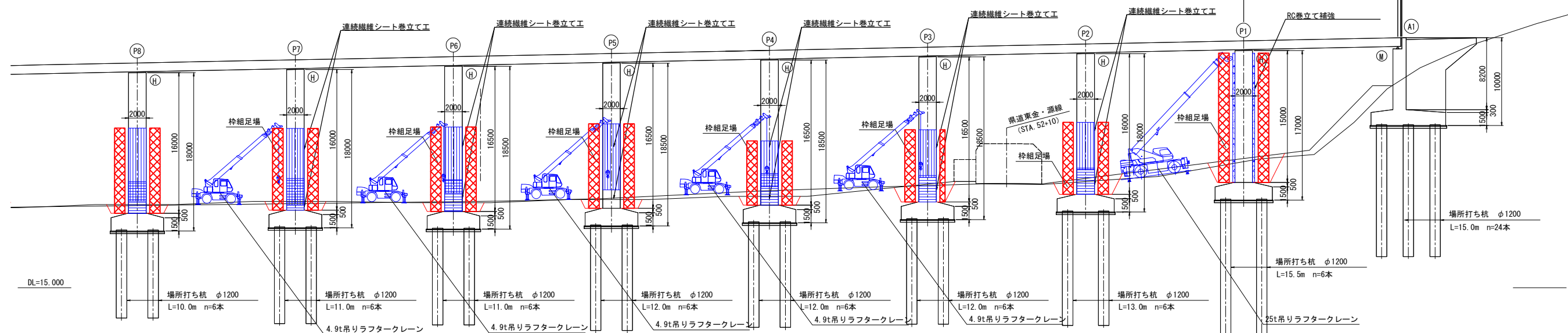
至東金IC

至山武成東IC

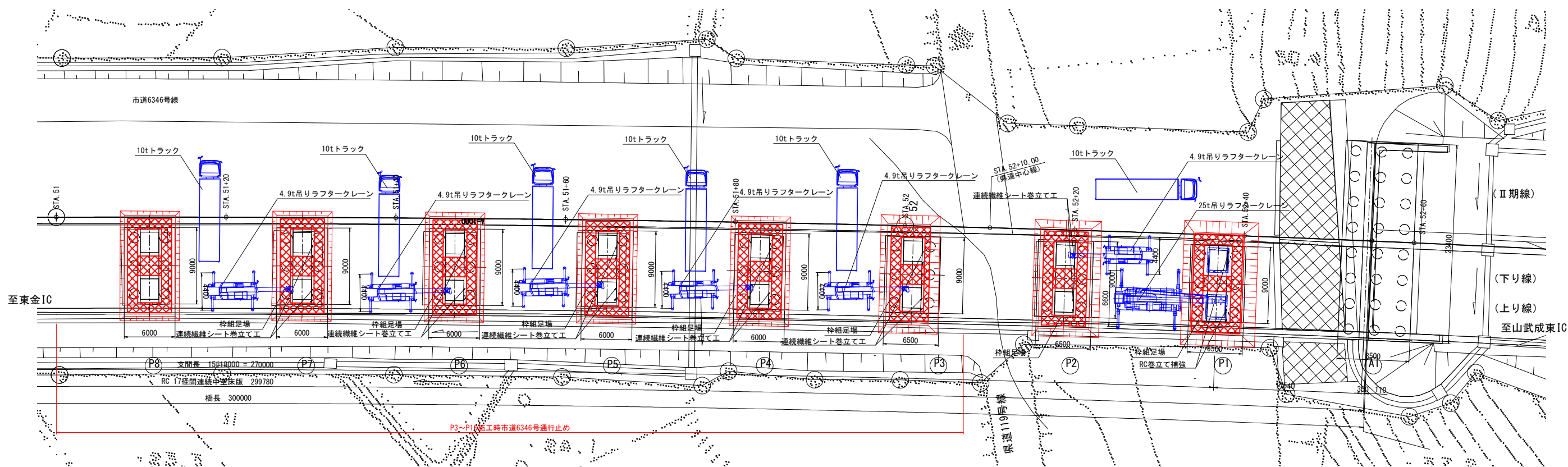
橋長 300000

RC 17徑間連續中空床版 299780

支間長 15@18000 = 270000



平面圖 S=1:500



P2~P8橋脚

①下部補強施工：炭素繊維巻立て

②補強材設置方法:下から施工(桝組足場設置)、オープン掘削

③搬入方法 : バックホウにて掘削を行い、枠組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。

④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

※P3橋脚に市道が近接している面については、オープン掘削余裕幅を縮小する

P1橋脚

①下部補強施工 : RC巻立て

②補強材設置方法:下から施工(枠組足場設置)、オープン掘削

③搬入方法 : バックホウにて掘削を行い、枠組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。

④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

■ 終点側進入路
県道119号線から市道に進入し、
P1～P8橋脚へ進入する

注記
1) 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、
地盤の変状、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

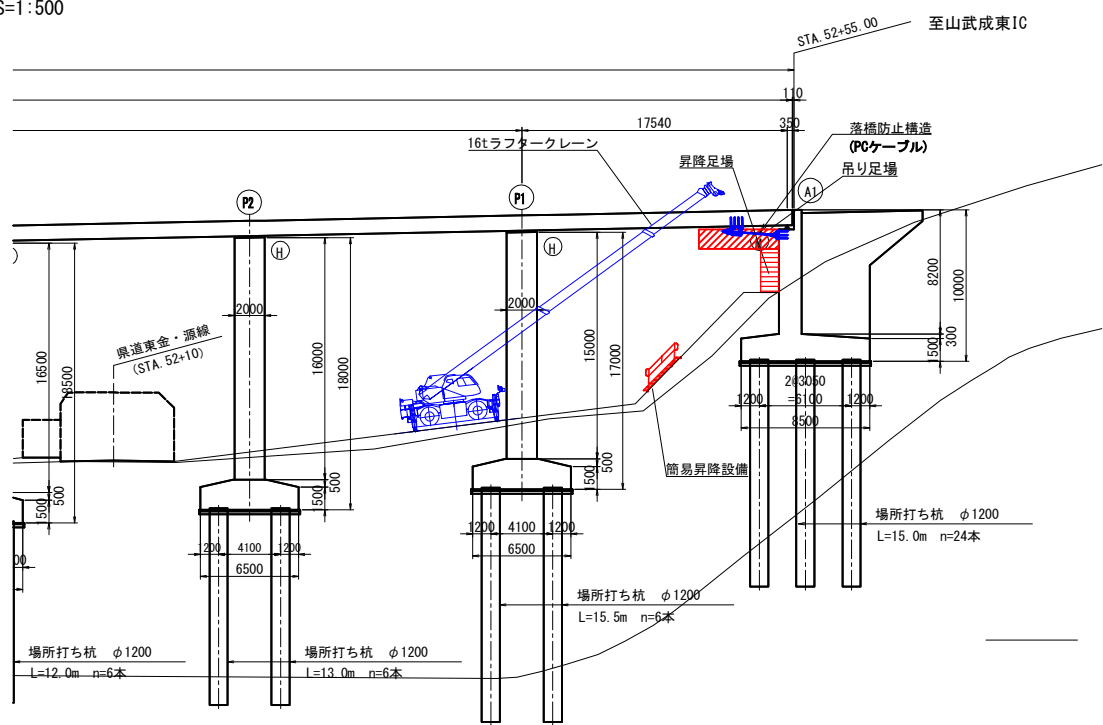
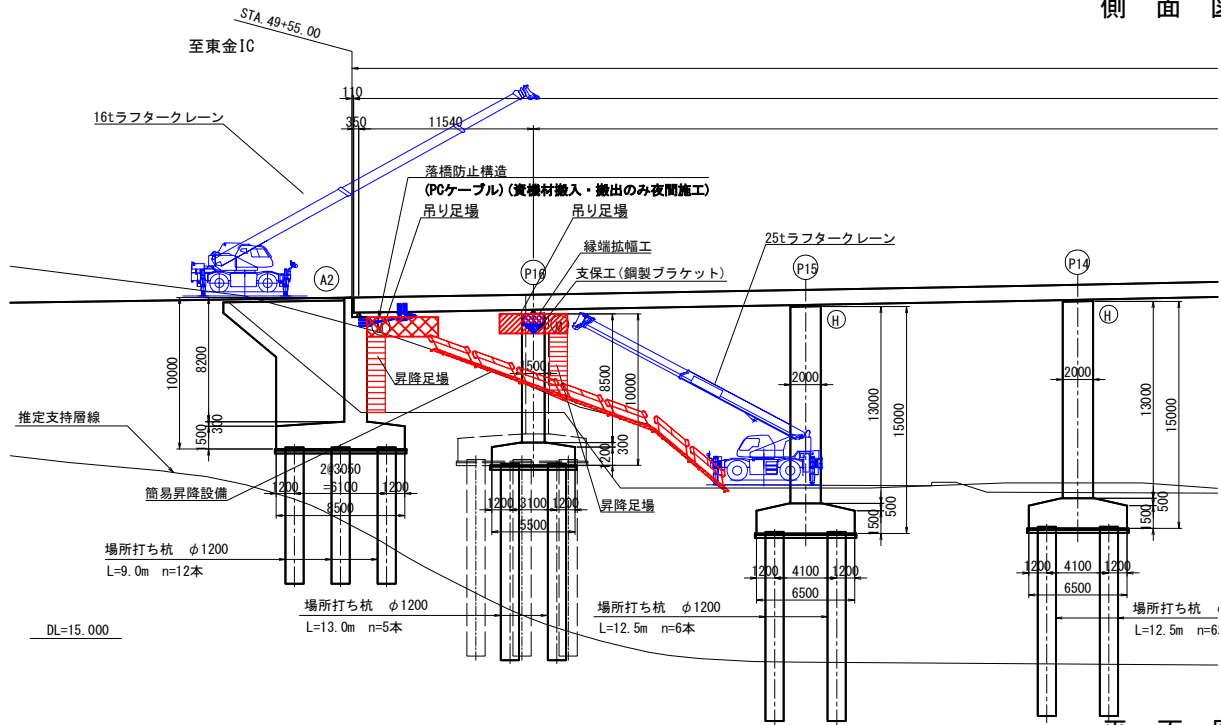
凡例

	施工中
	重機、補
	足場工

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
酒蔵高架橋		
図面の種類	下部工施工要領図(参考図)(その2)	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

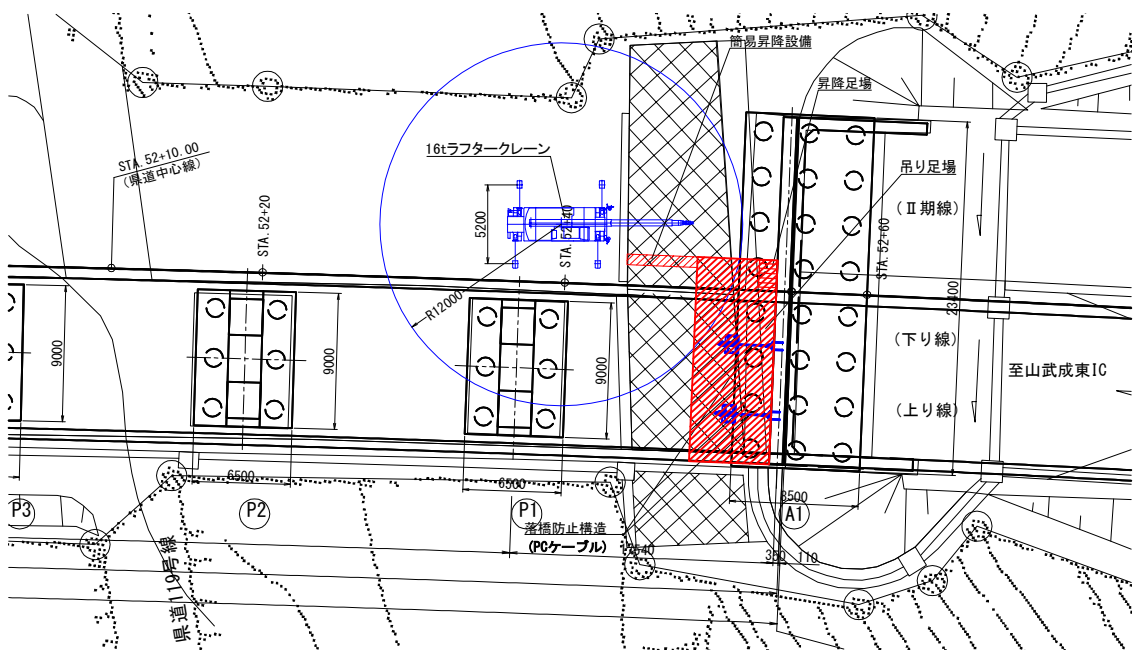
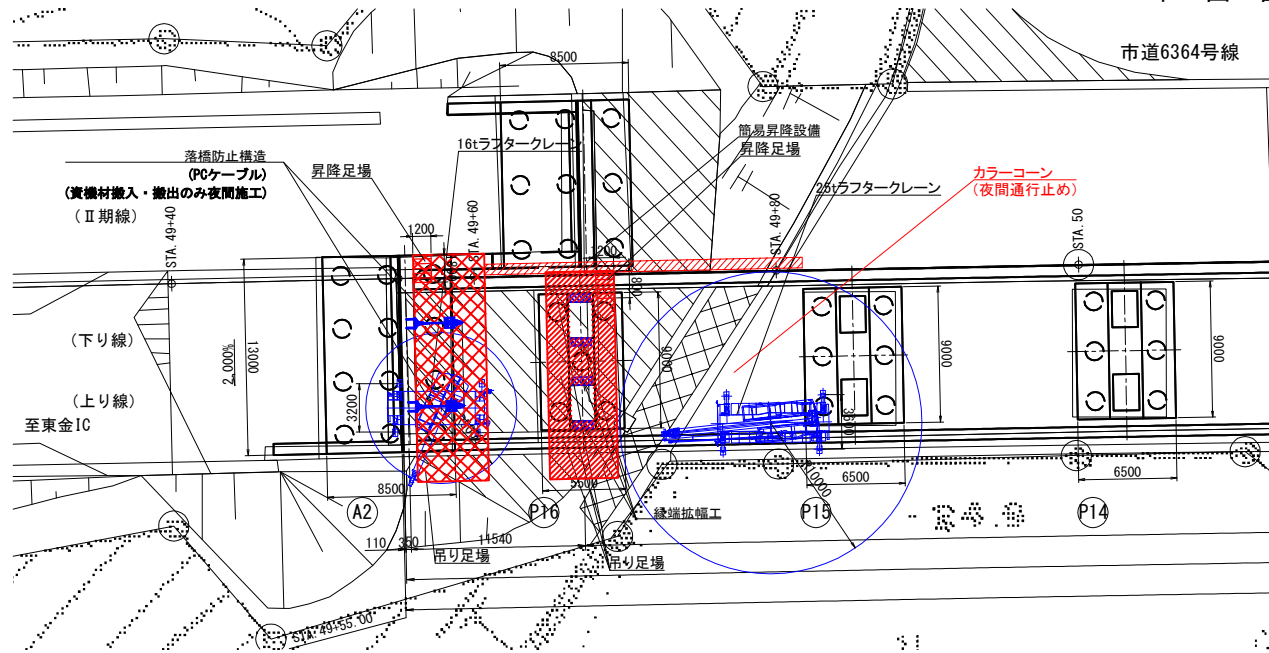
酒蔵高架橋 上部工施工要領図（参考図）

側面図 S=1:500



平面図

S=1:500



【定格総荷重量表:16tラフタークレーン】

●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー中間張出3.2m) 単位(t)

ブーム長さ (m)	10.7	14.9
作業半径		
4.5	6.25	6.20
5.0	5.15	5.15
5.5	4.35	4.30

吊り可能重量: ①吊上げ能力 5.15t
②吊り具・フック(主巻) 0.14t
③補強材 0.317t
①-②
5.15-0.14
Σ=5.01t×0.9=4.509t
A2橋台 0.317t<4.609t...ok

- ①上部補強施工:落橋防止構造(PCケーブル)
- ②補強材設置方法:上から施工(吊り足場設置)
- ③補強材最大重量:0.317t
- ④吊り上げ重機:16tラフタークレーン(アウトリガー幅3.2m)(中間張り出し)
- ⑤搬入～設置まで:現道より片側通行規制を行い吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

【定格総荷重量表:25tラフタークレーン】

●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー中間張出3.6m) 単位(t)

ブーム長さ (m)	23.45	30.5
作業半径		
9.0	3.80	3.90
10.0	3.10	3.20
11.0	2.55	2.65

吊り可能重量: ①吊上げ能力 3.20t
②吊り具・フック(主巻) 0.22t
①-②
3.20-0.22
Σ=2.98t×0.9=2.682t
※資材搬入時は2.6t程度の吊り重量にて搬入させること

- P16橋脚
- ①上部補強施工:縁端拡幅工
 - ②補強材設置方法:上から施工(吊り足場設置)
 - ③吊り上げ重機:25tラフタークレーン(アウトリガー幅3.6m)(中間張り出し)
 - ④搬入～設置まで:現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーン及び人力にて足場下に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

【定格総荷重量表:16tラフタークレーン】

●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出5.2m) 単位(t)

ブーム長さ (m)	19.1	23.3
作業半径		
11.0	2.85	3.05
12.0	2.40	2.65
13.0	2.00	2.20

吊り可能重量: ①吊上げ能力 2.65t
②吊り具・フック(主巻) 0.14t
③補強材 0.429t
①-②
2.65-0.14
Σ=2.51t×0.9=2.259t
0.429t<2.2t...ok

- A1橋台
- ①上部補強施工:落橋防止構造(PCケーブル)
 - ②補強材設置方法:上から施工(吊り足場設置)
 - ③補強材最大重量:0.429t
 - ④吊り上げ重機:16tラフタークレーン(アウトリガー幅5.2m)(最大張り出し)
 - ⑤搬入～設置まで:現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

凡例

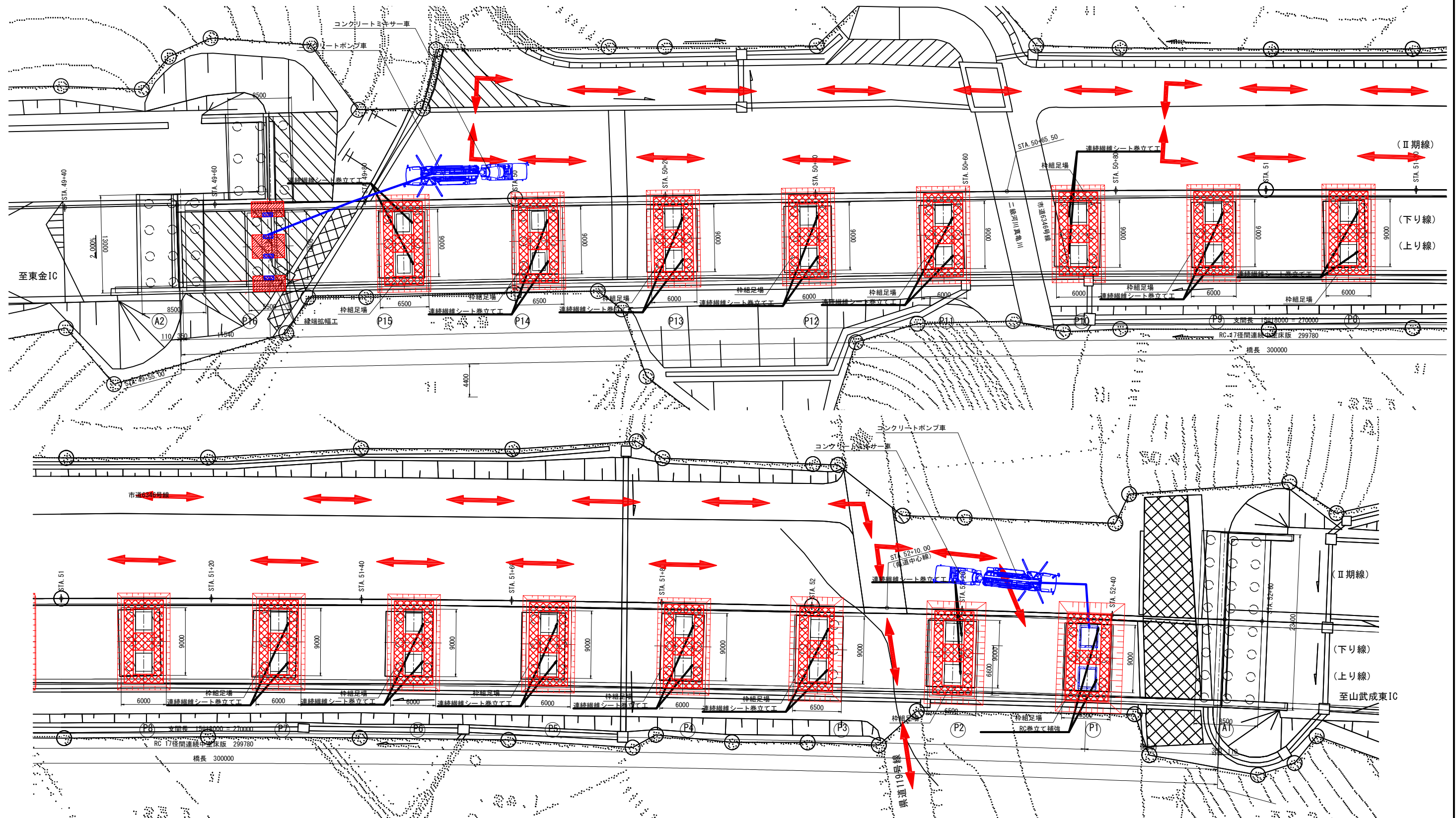
—	施工中
—	重機・補強
—	昇降足場
—	吊り足場
—	枠組足場(下部足場)

注記
1) 施工時に必要に応じ現地壁を確認し、地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 上部工施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 コンクリート打設要領図（参考図）

平面図 S=1:500



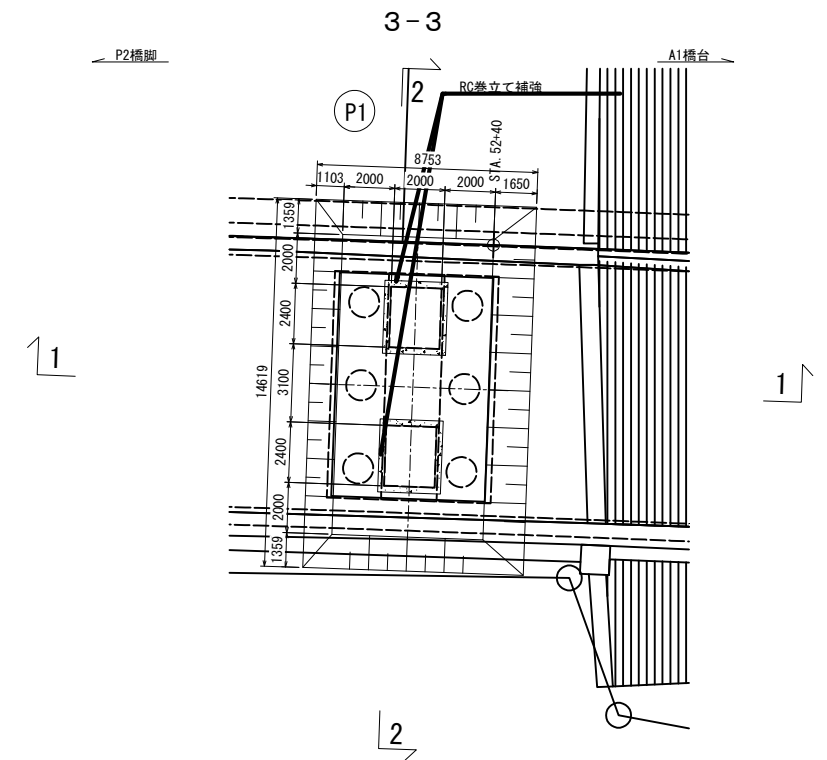
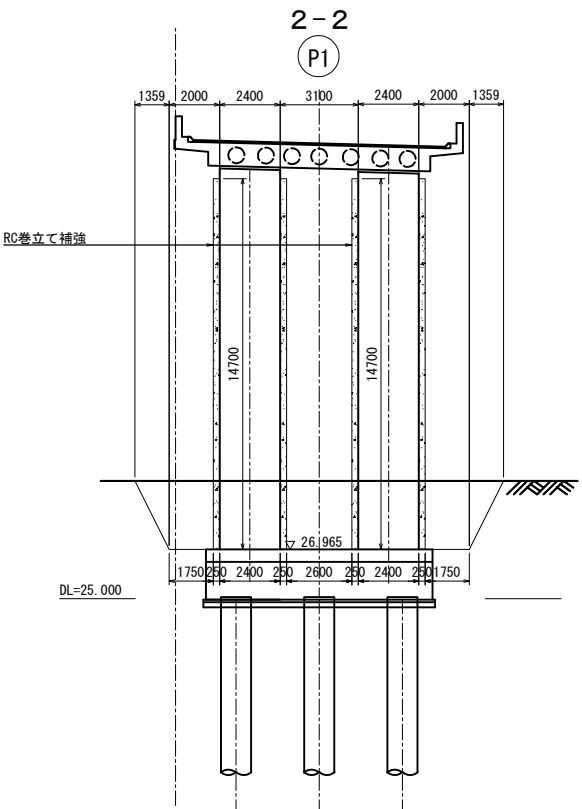
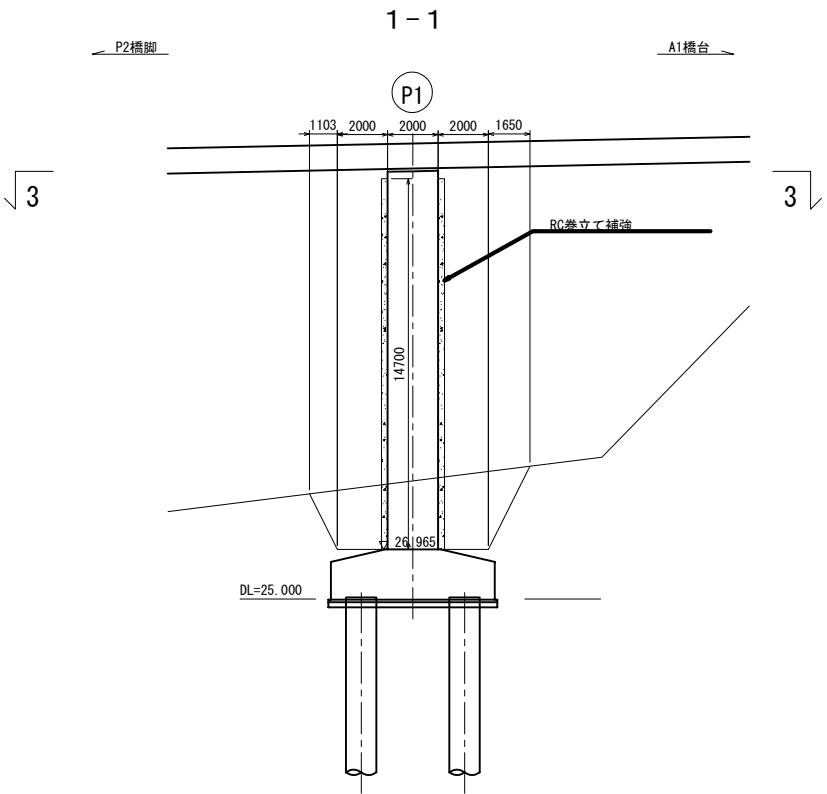
注記
1) 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、
地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
酒蔵高架橋			
図面の種類	コンクリート打設要領図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

凡例
— 施工中
— 重機、補強
■ 足場工

酒蔵高架橋 P1橋脚 構造物掘削図

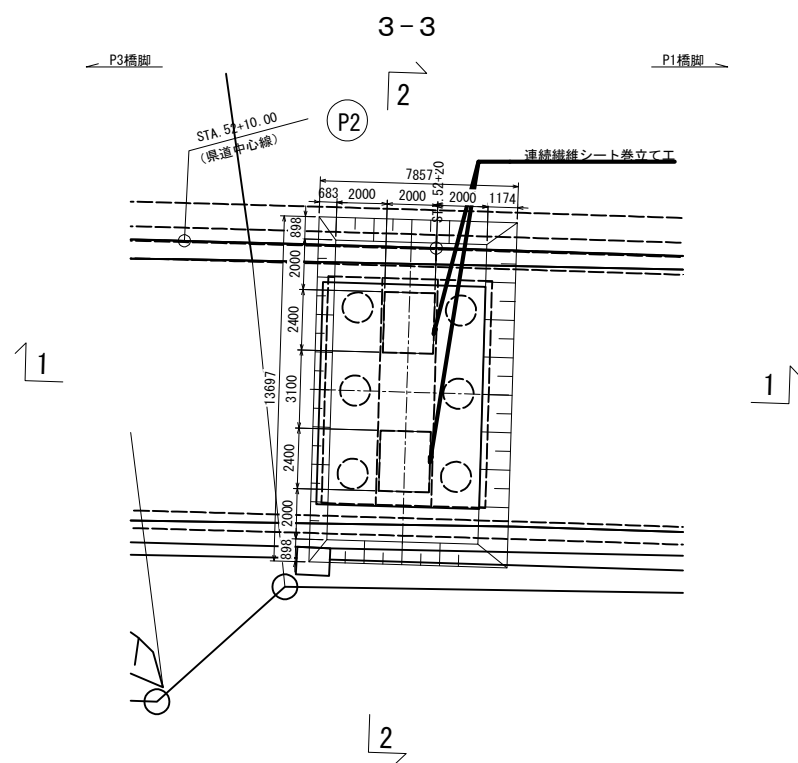
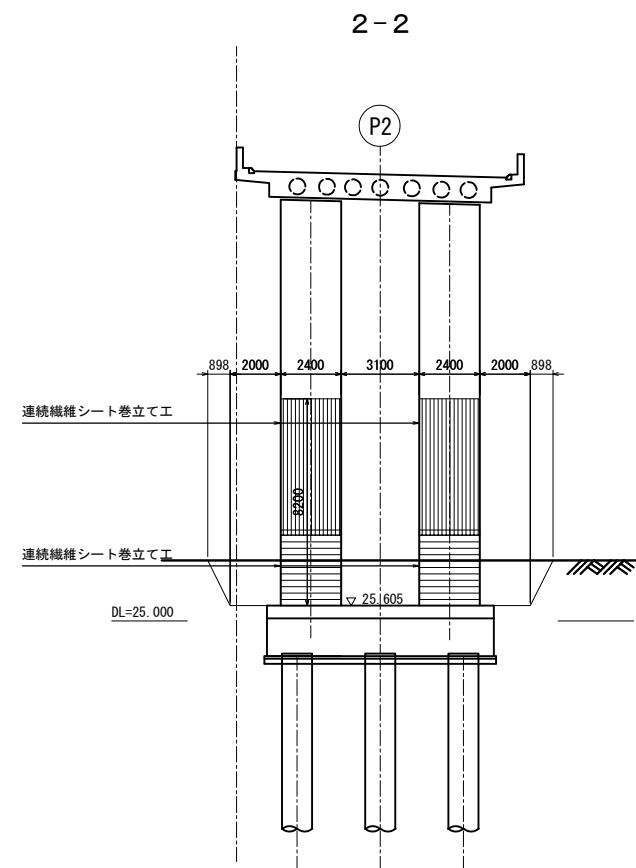
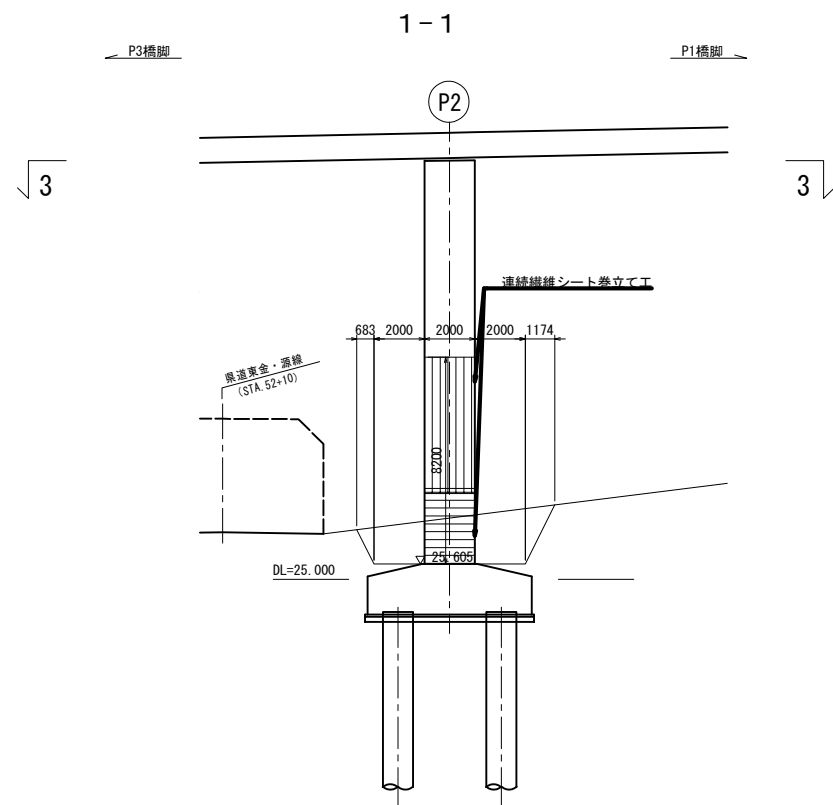
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P2橋脚 構造物掘削図

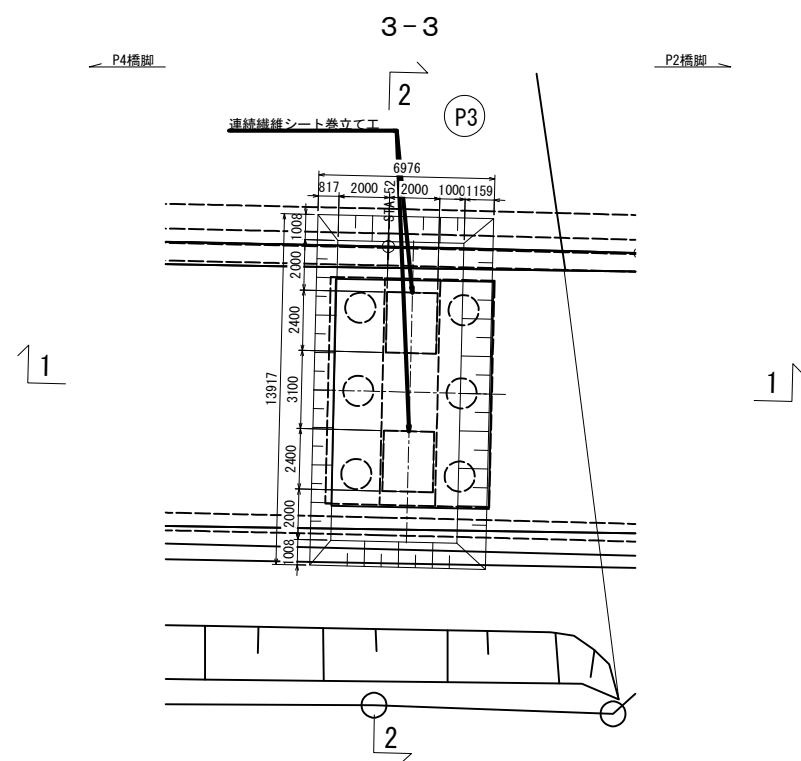
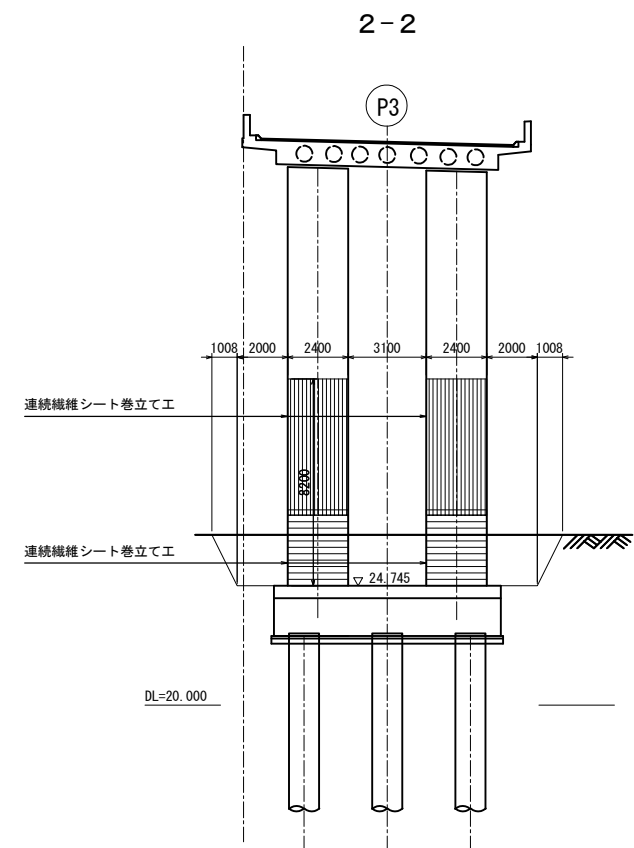
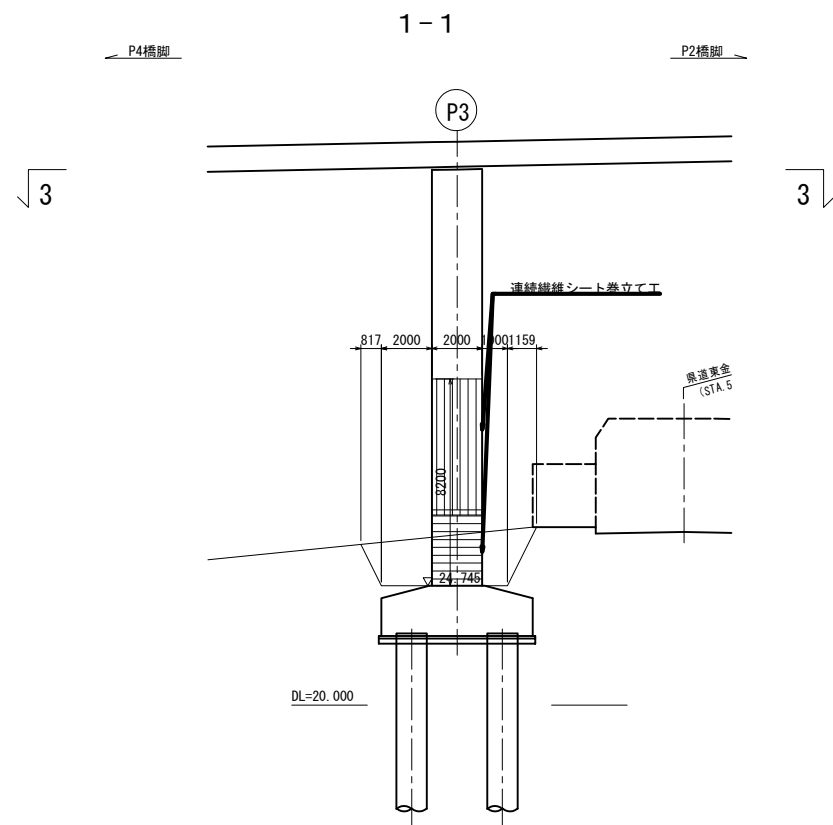
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P2橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P3橋脚 構造物掘削図

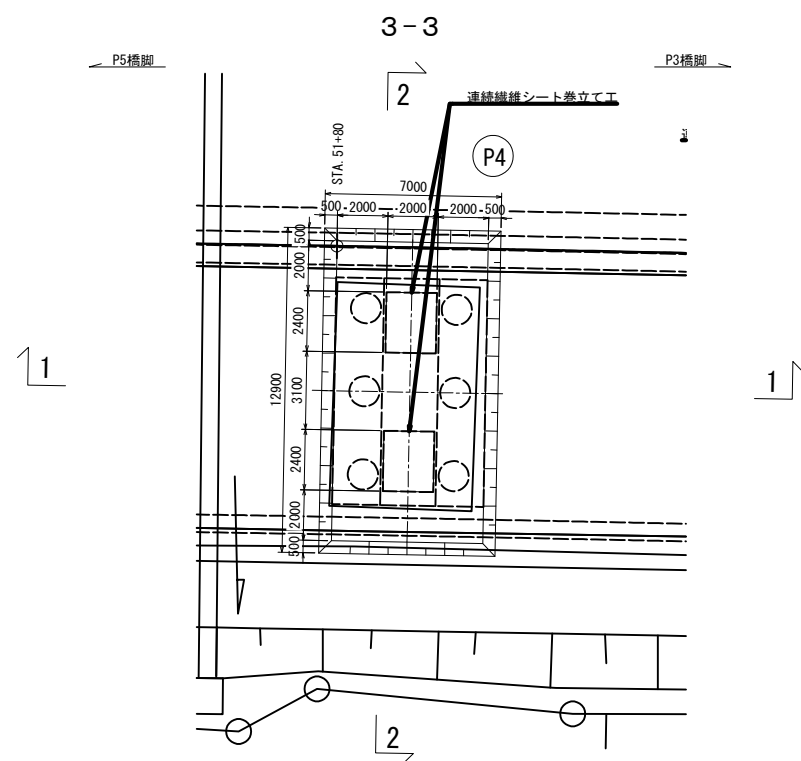
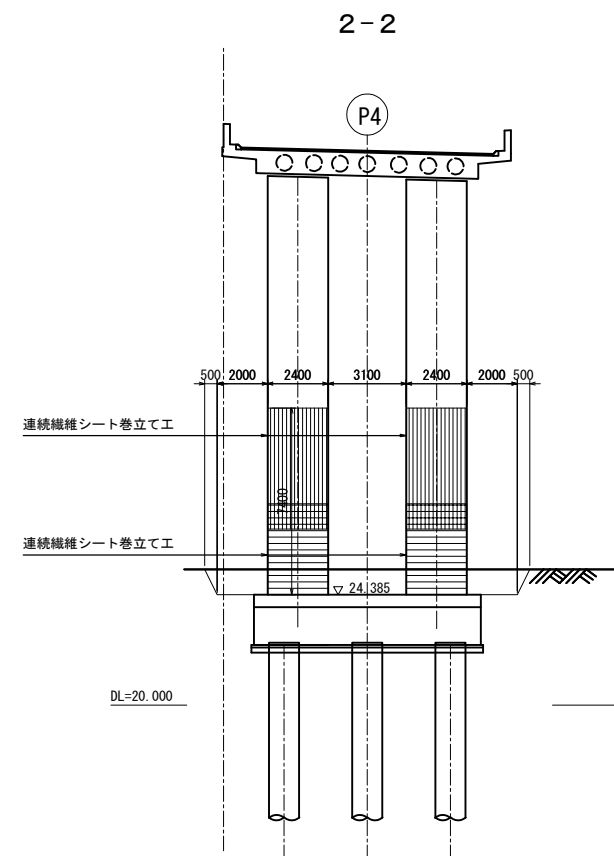
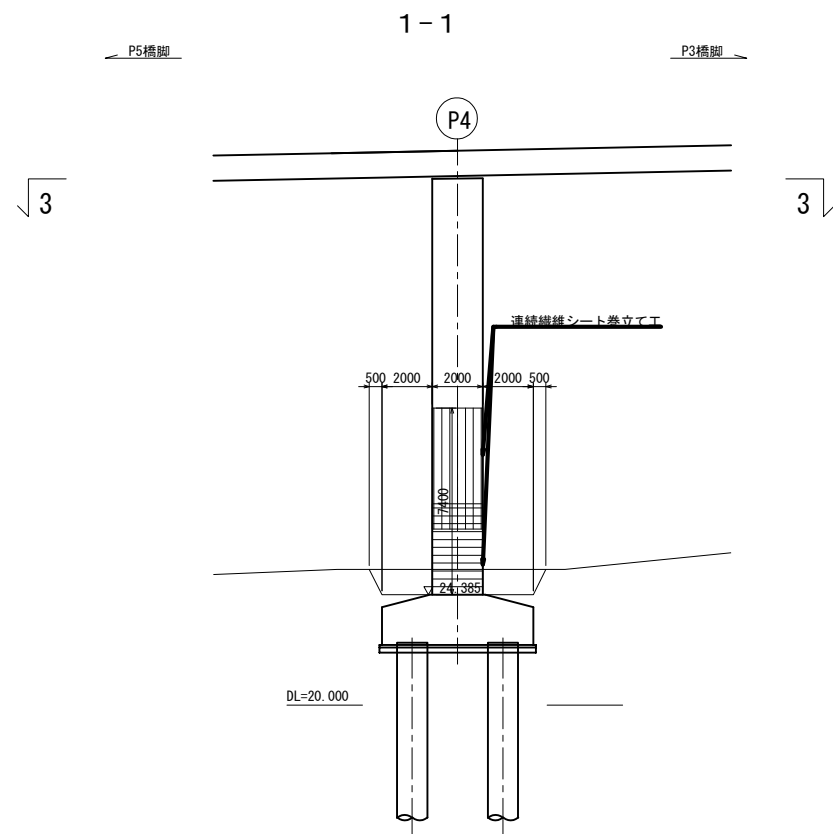
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P3橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P4橋脚 構造物掘削図

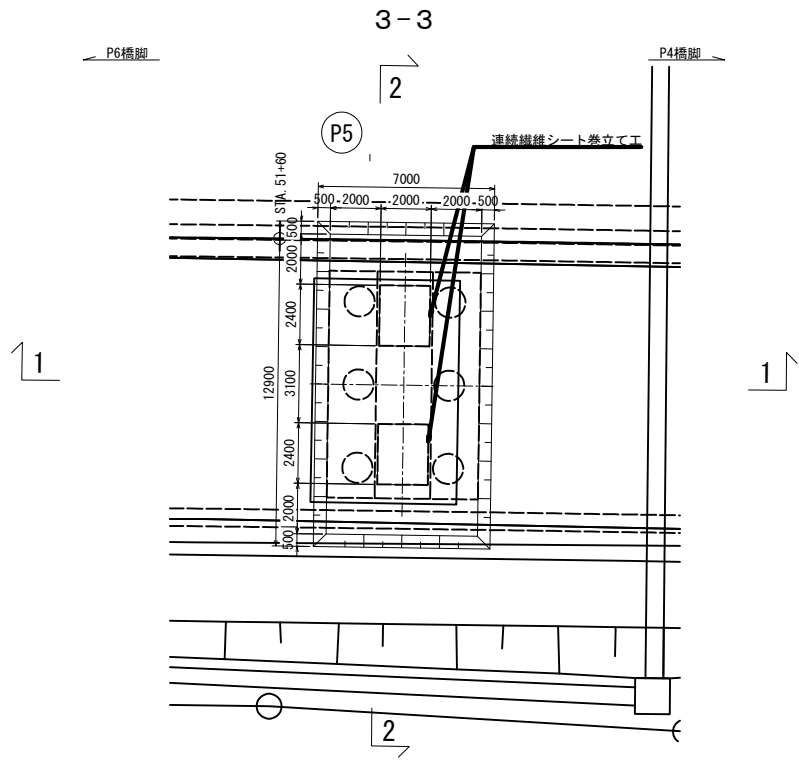
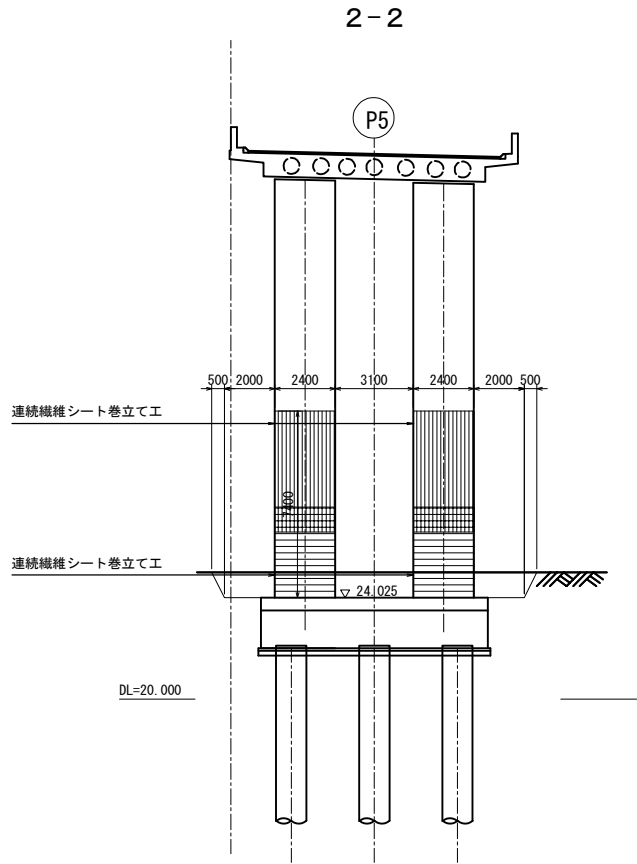
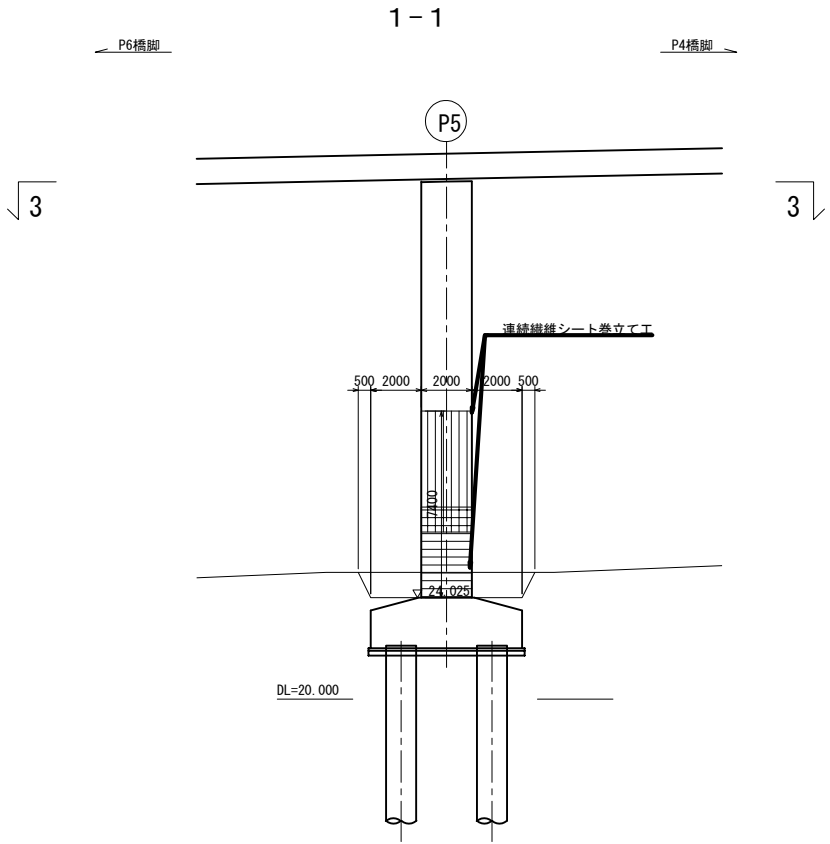
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P4橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P5橋脚 構造物掘削図

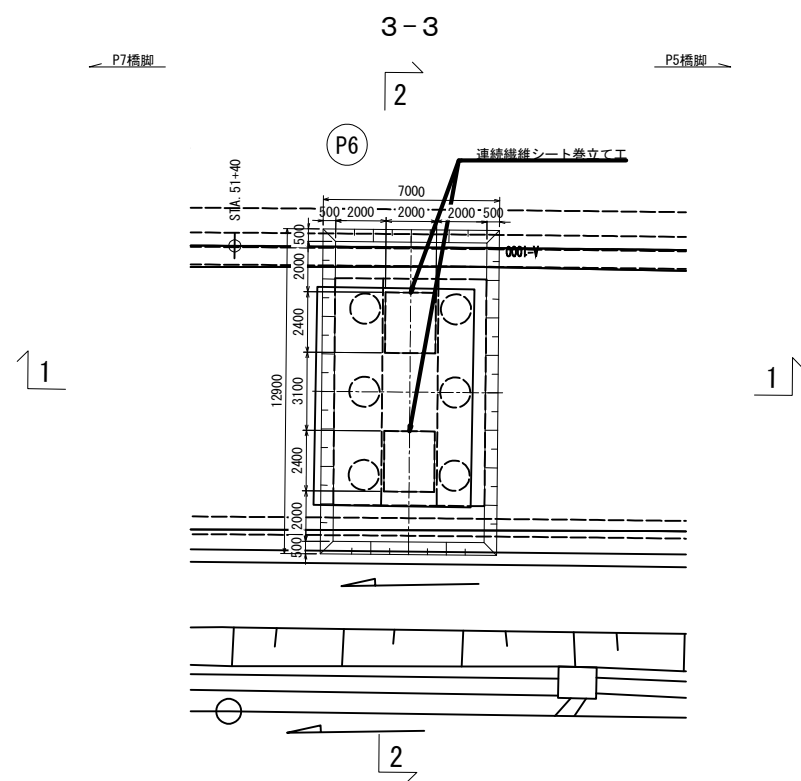
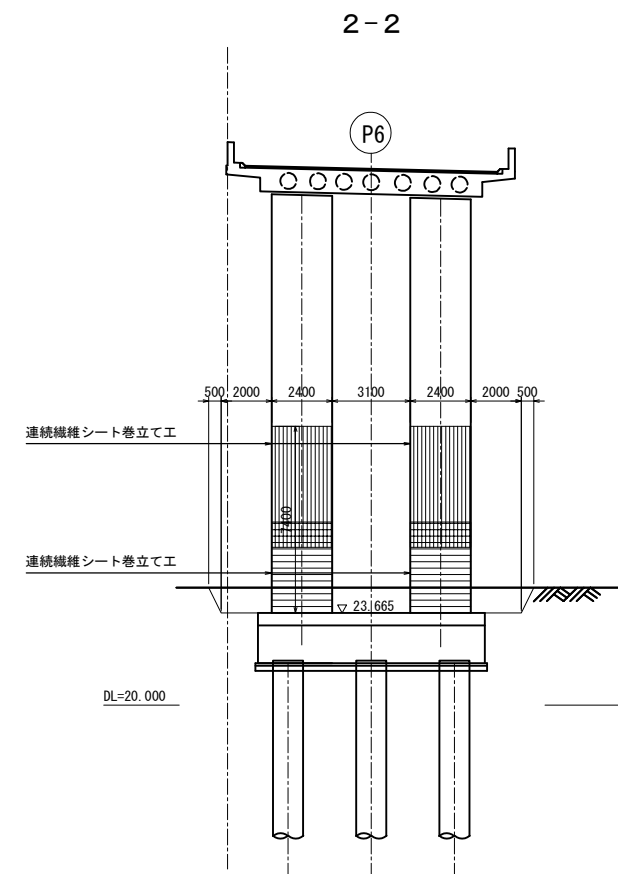
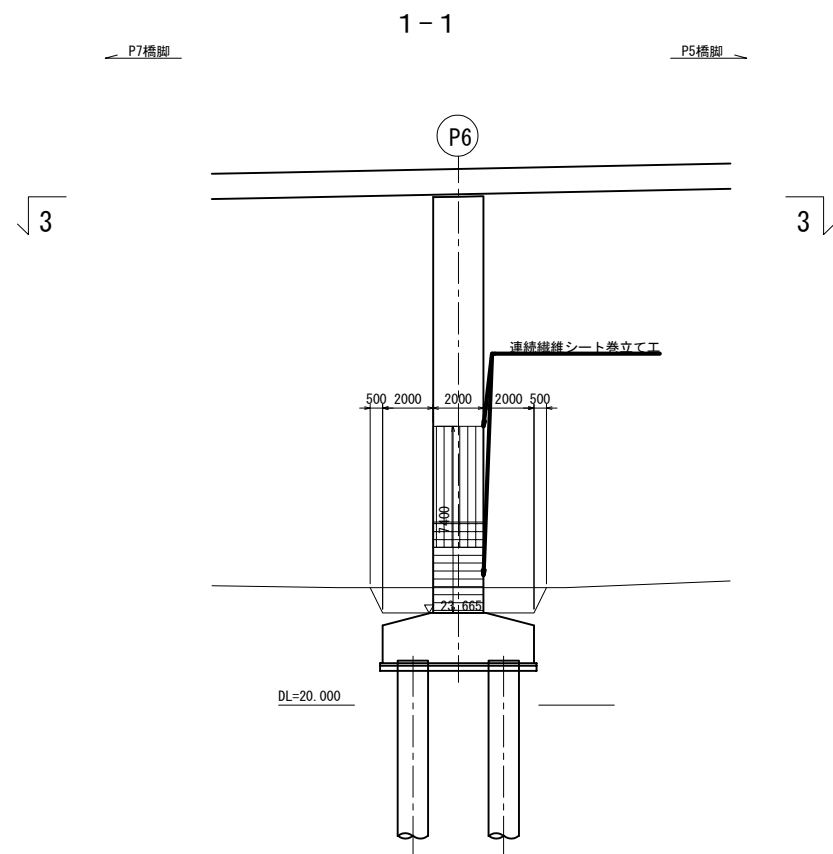
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類		酒蔵高架橋 P5橋脚 構造物掘削図		
縮	尺	図示	図面番号	／
設計会社名		日本工営株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P6橋脚 構造物掘削図

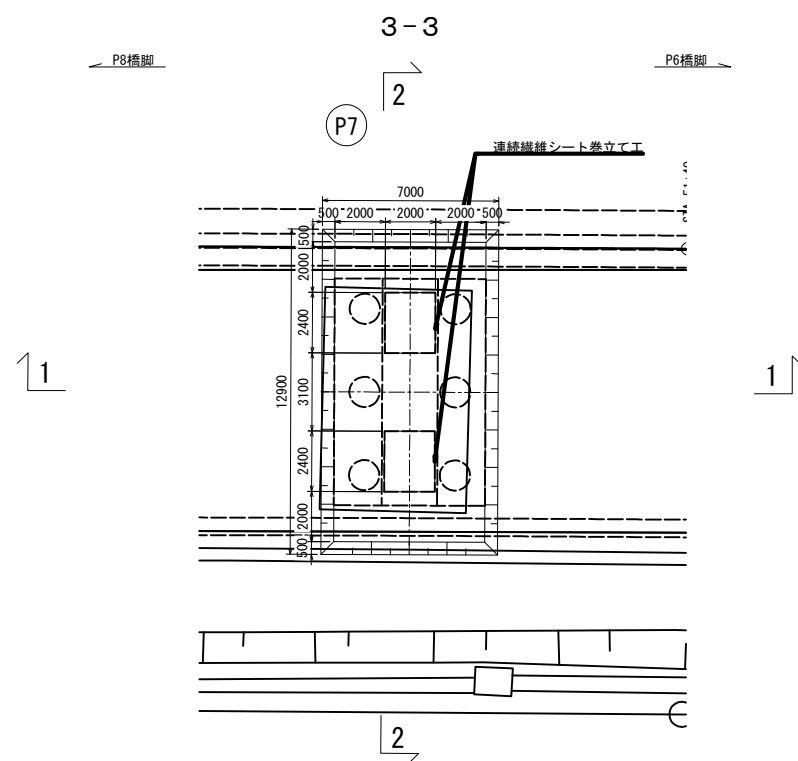
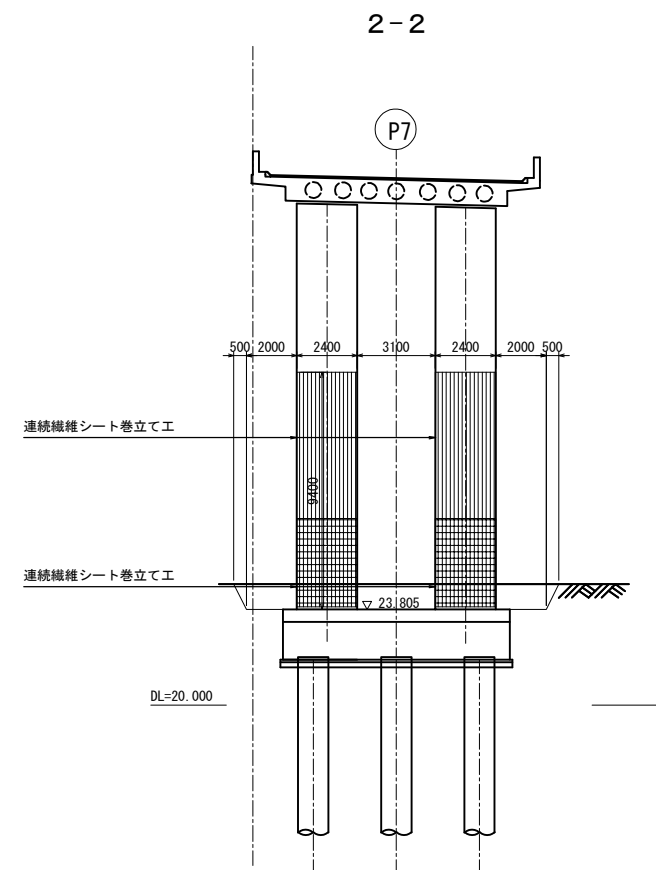
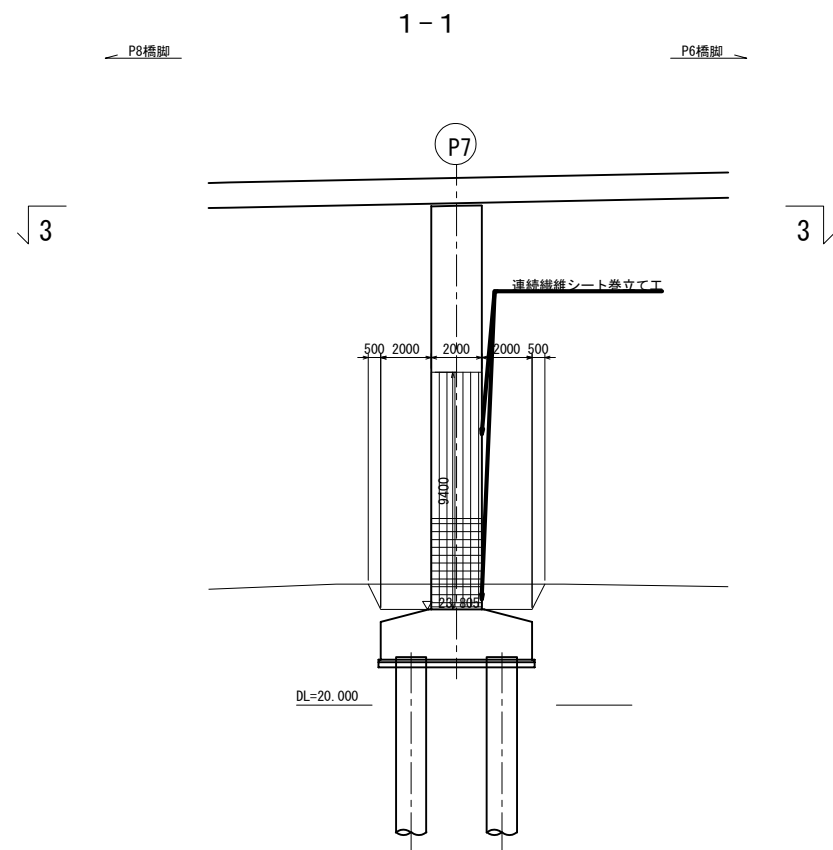
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P6橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P7橋脚 構造物掘削図

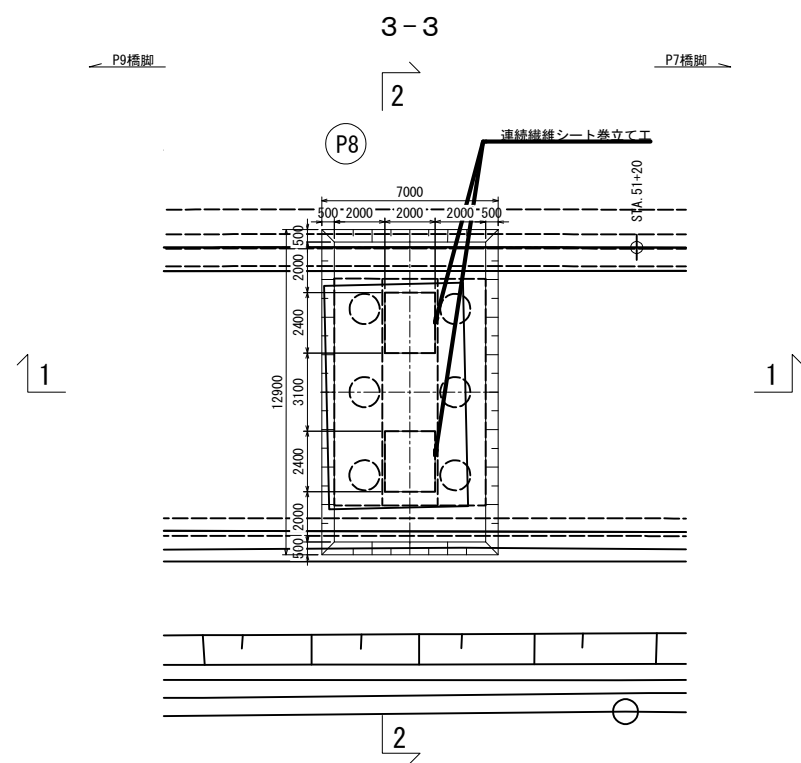
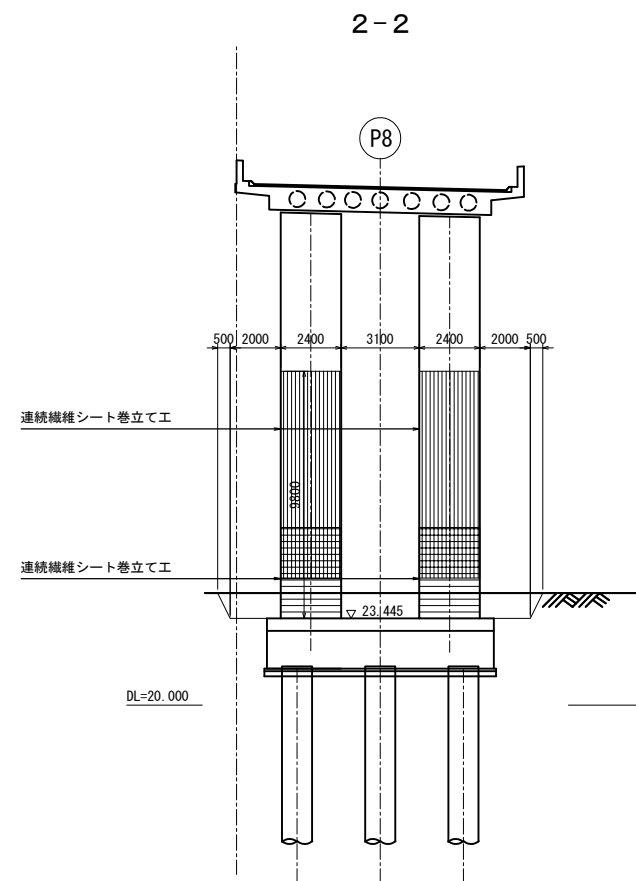
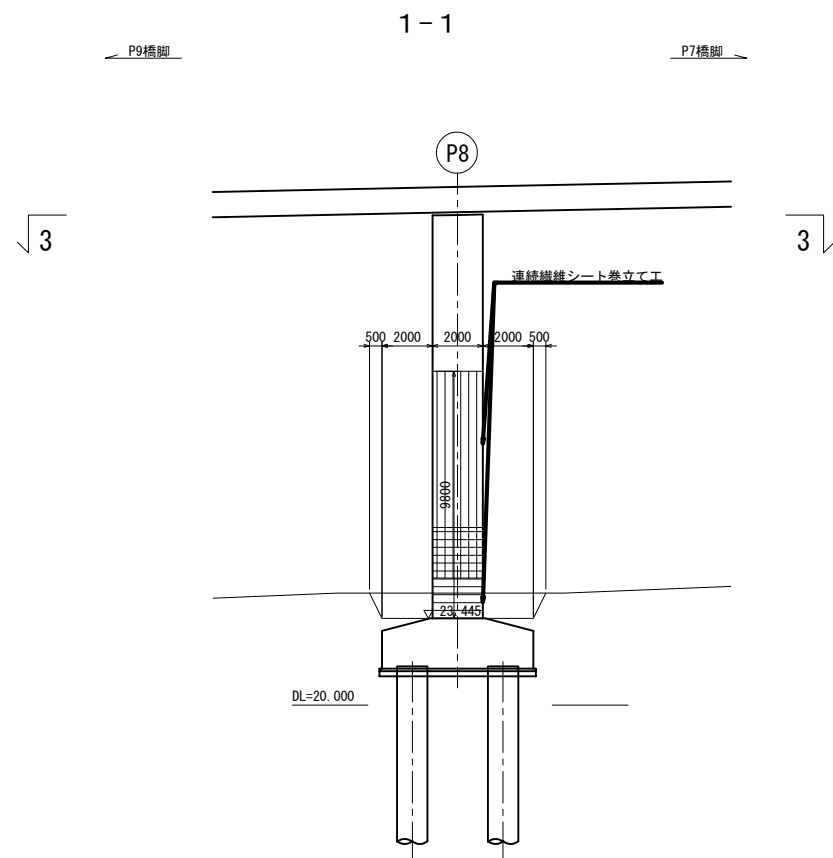
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P7橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P8橋脚 構造物掘削図

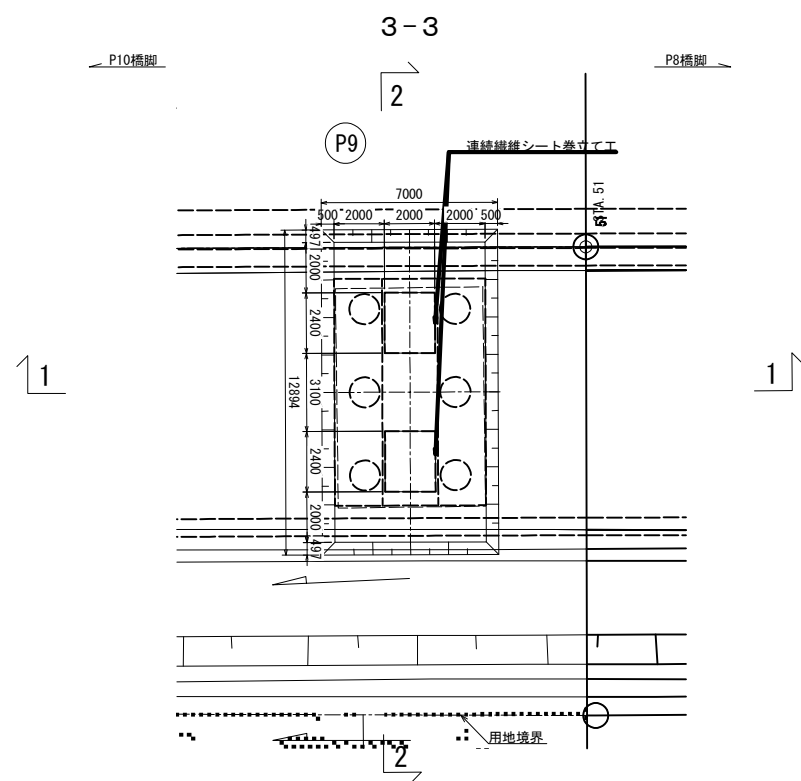
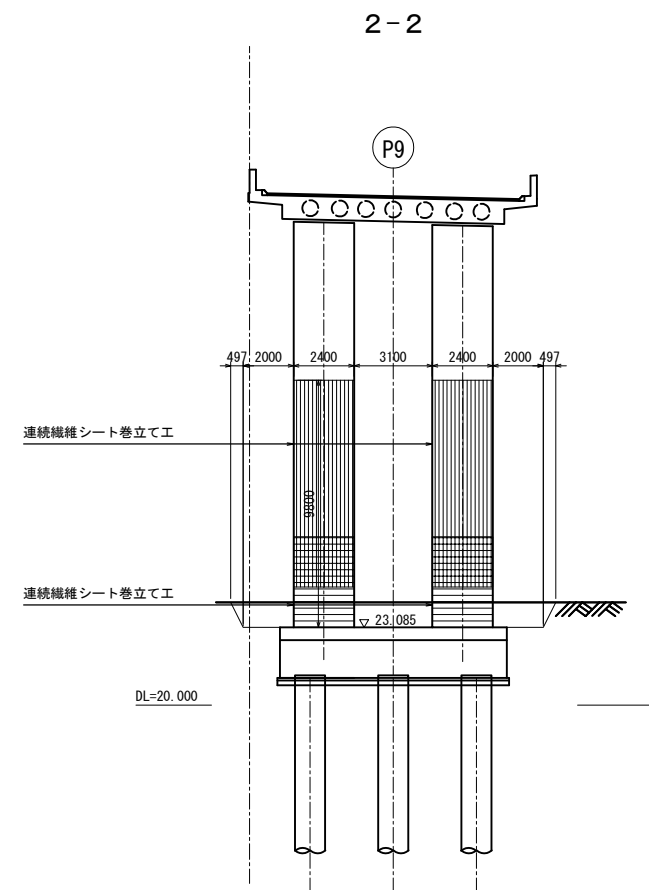
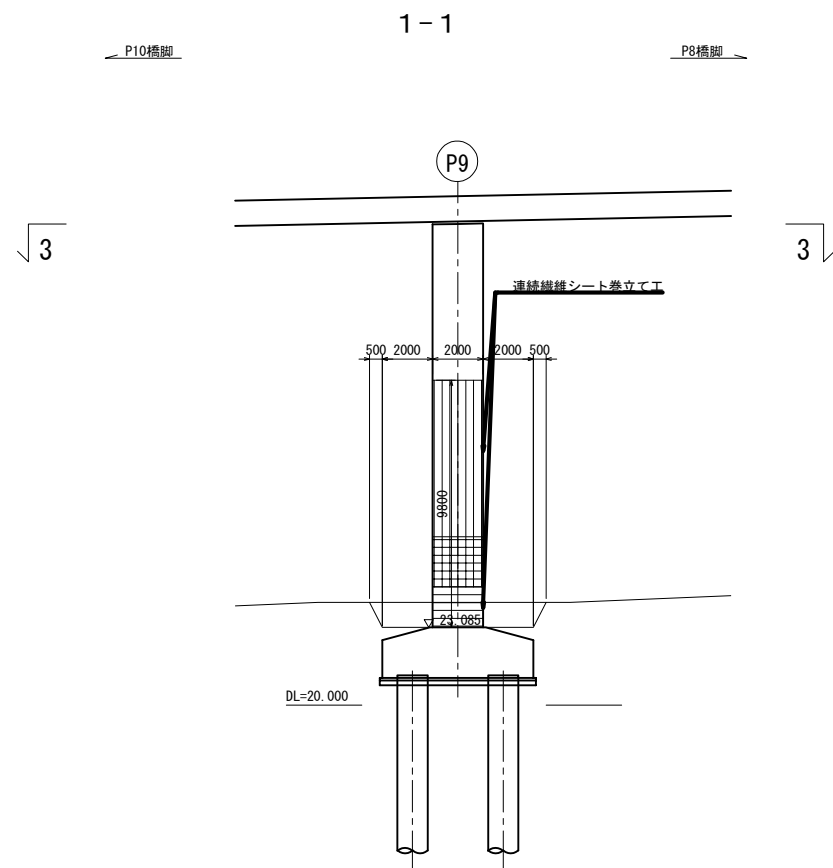
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P8橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P9橋脚 構造物掘削図

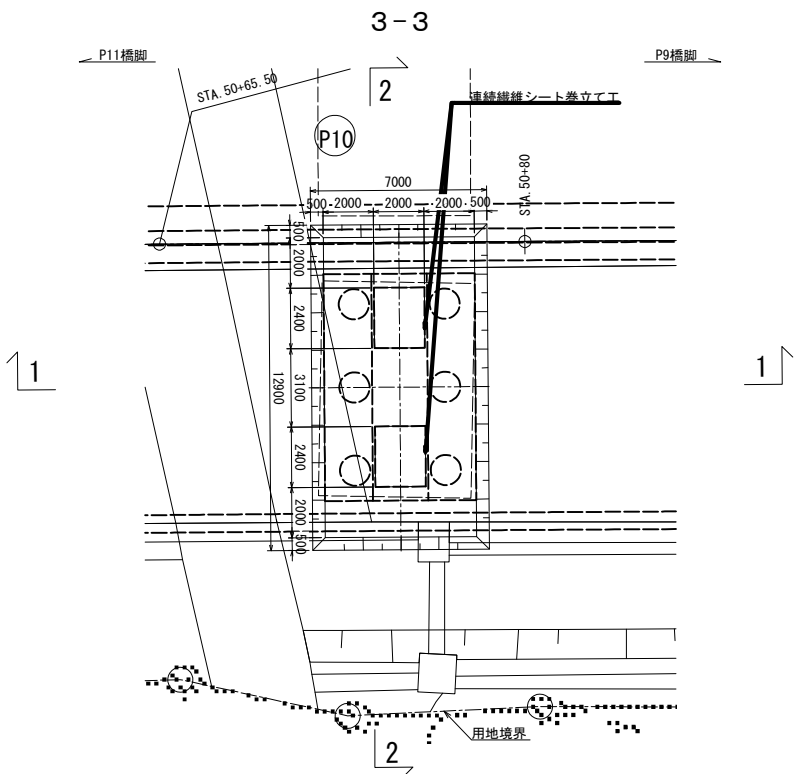
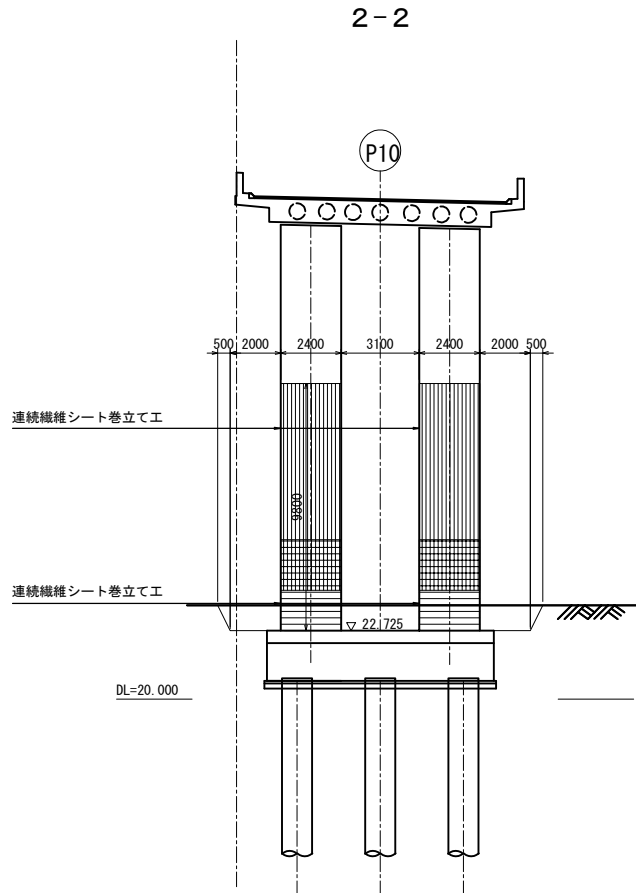
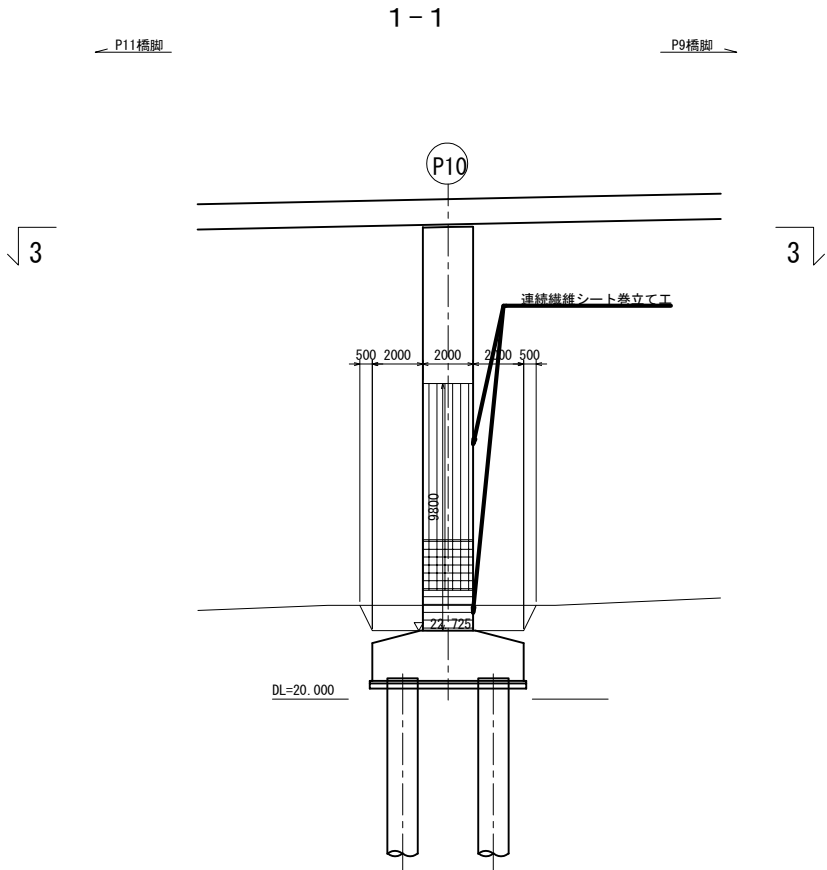
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P9橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P10橋脚 構造物掘削図

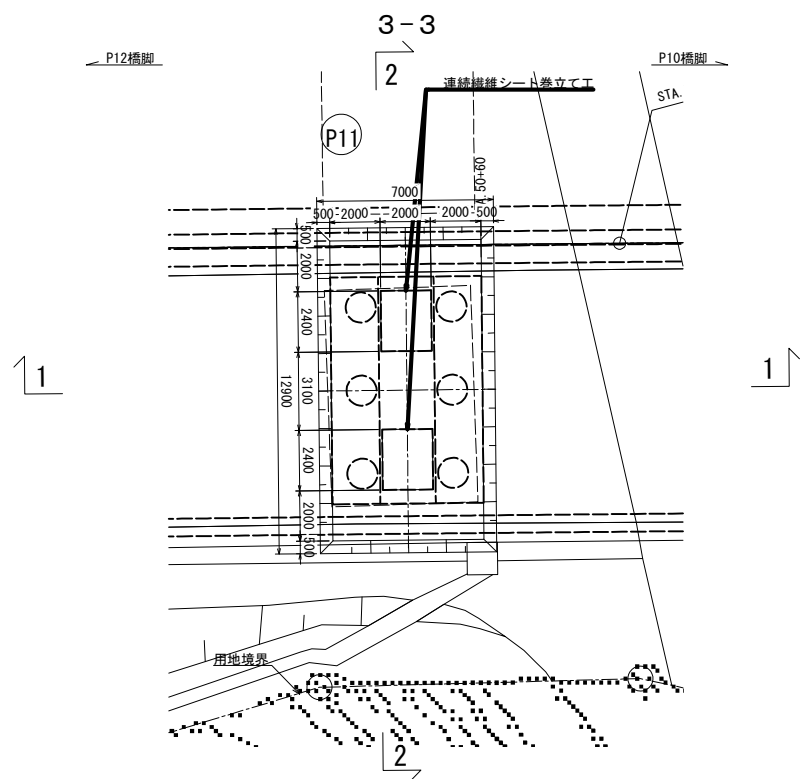
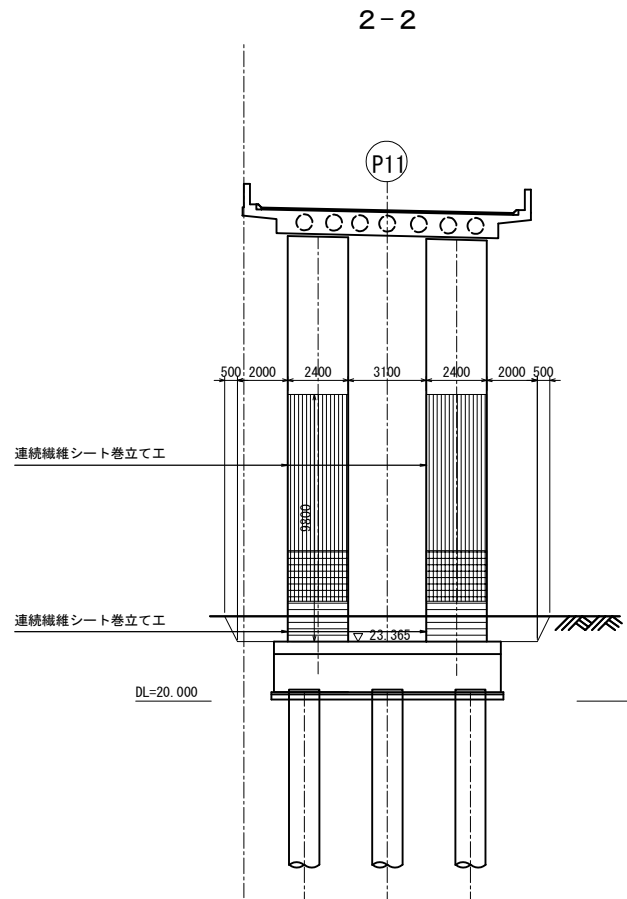
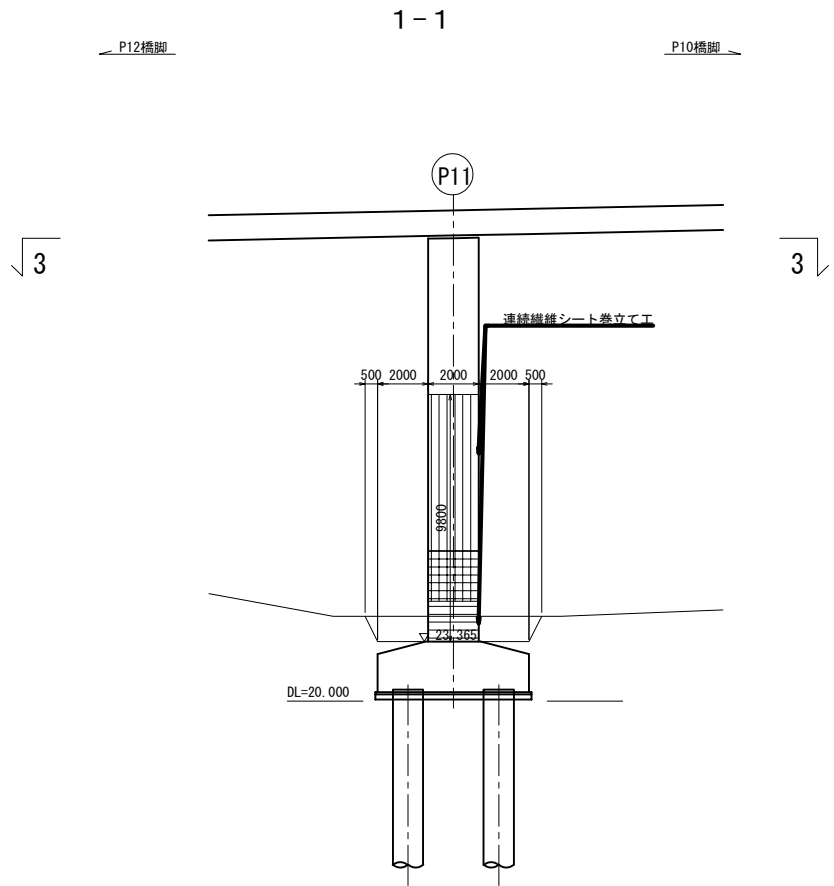
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		酒蔵高架橋 P10橋脚 構造物掘削図	
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒藏高架橋 P11橋脚 構造物掘削図

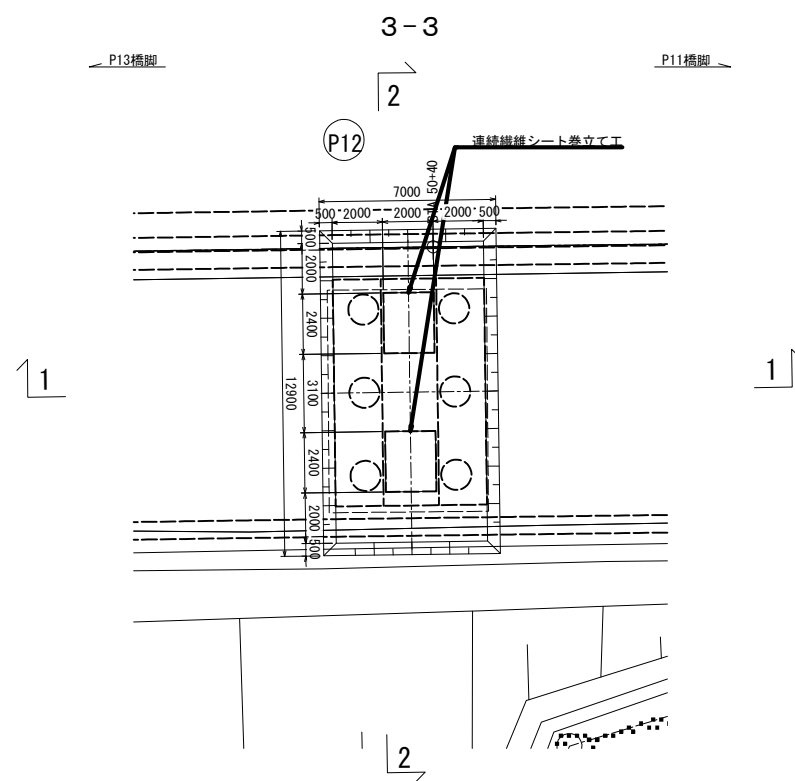
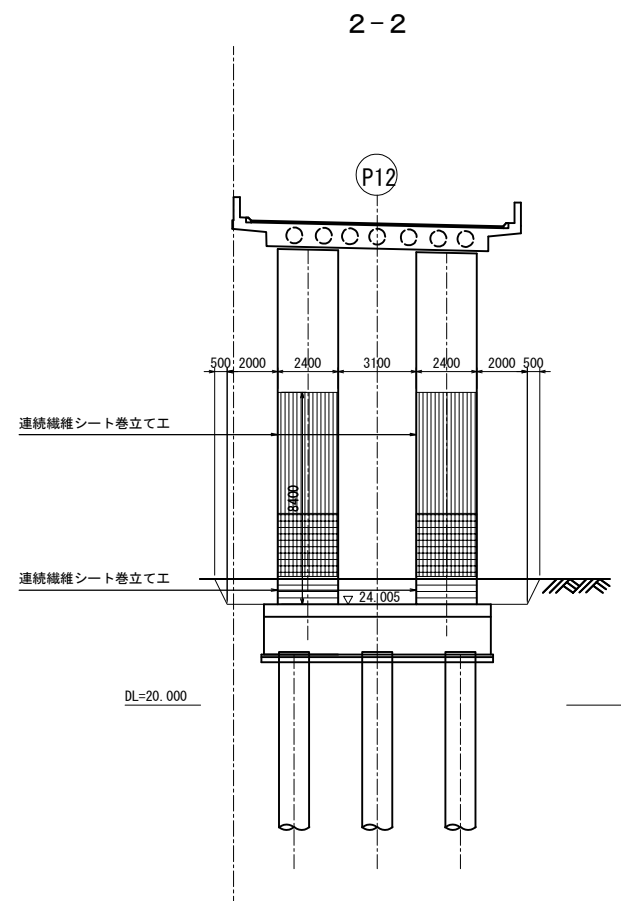
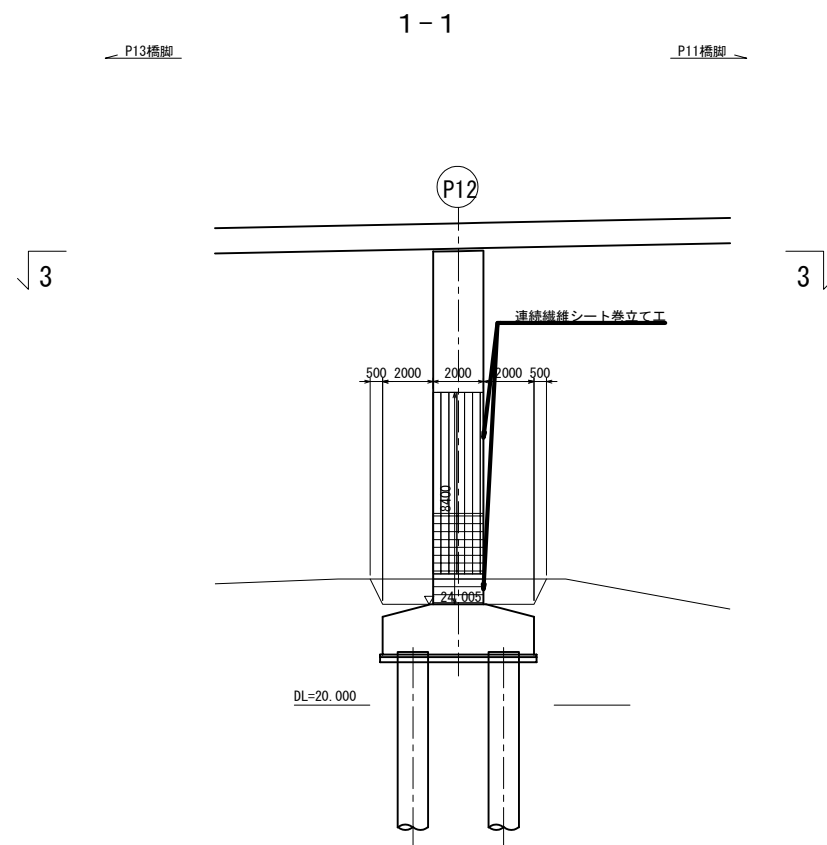
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P11橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P12橋脚 構造物掘削図

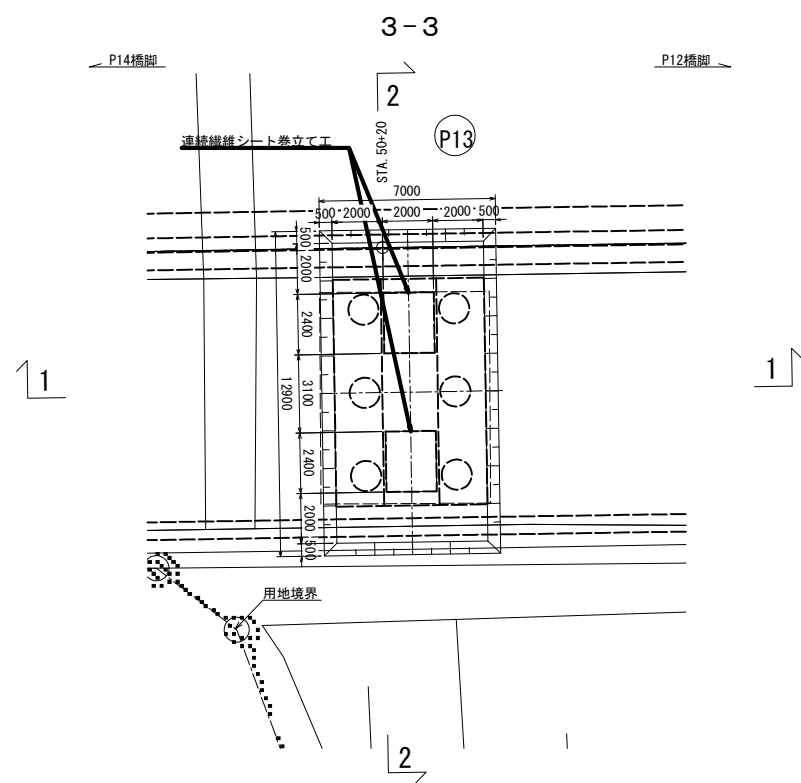
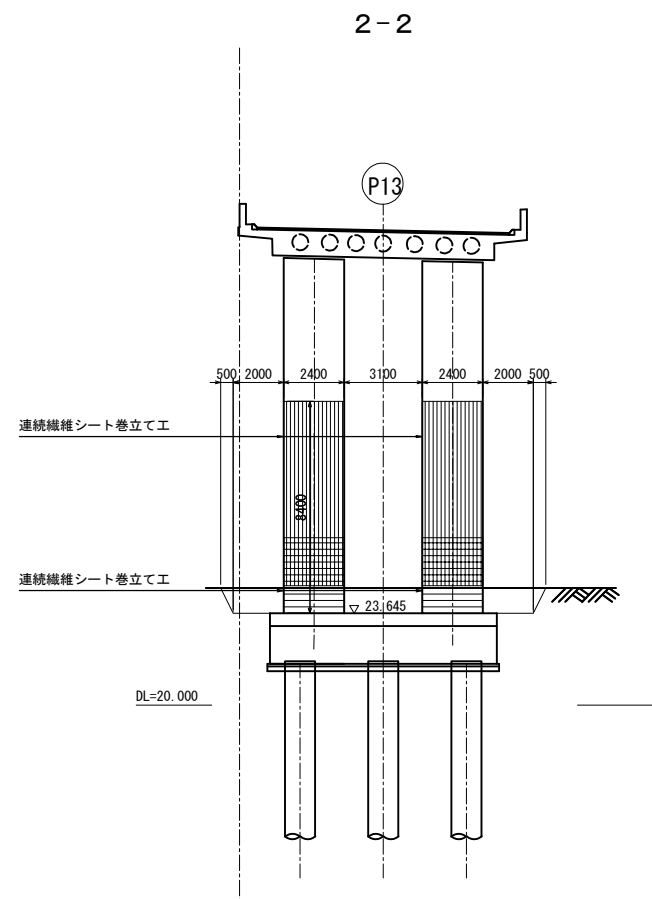
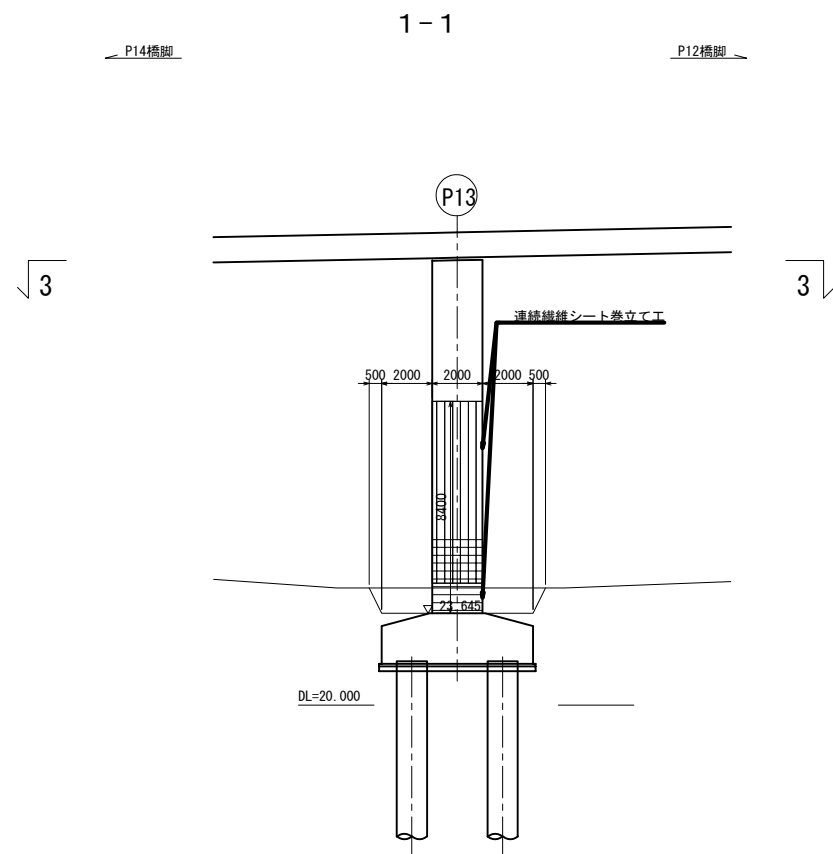
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P12橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P13橋脚 構造物掘削図

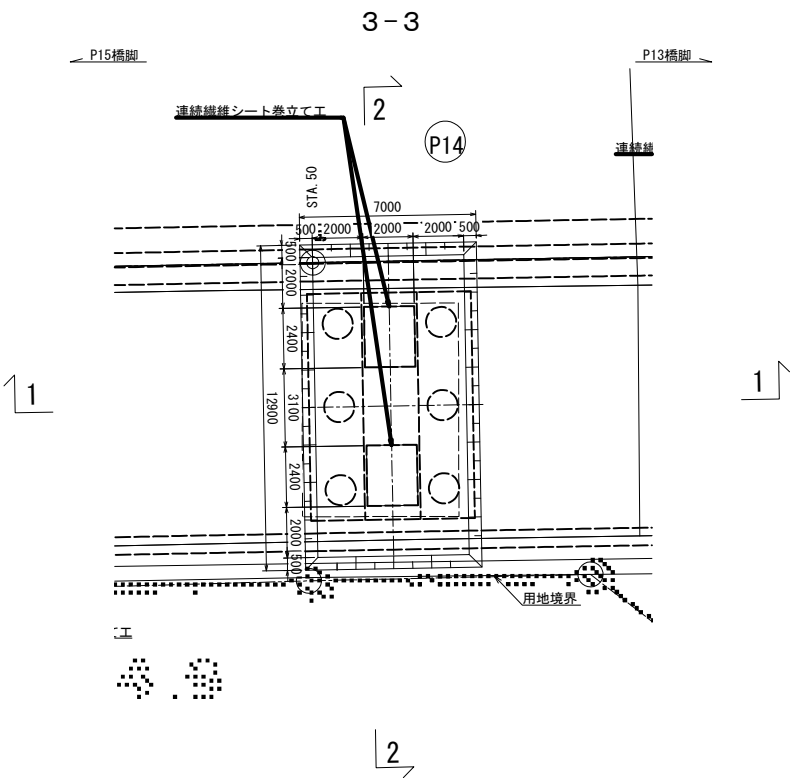
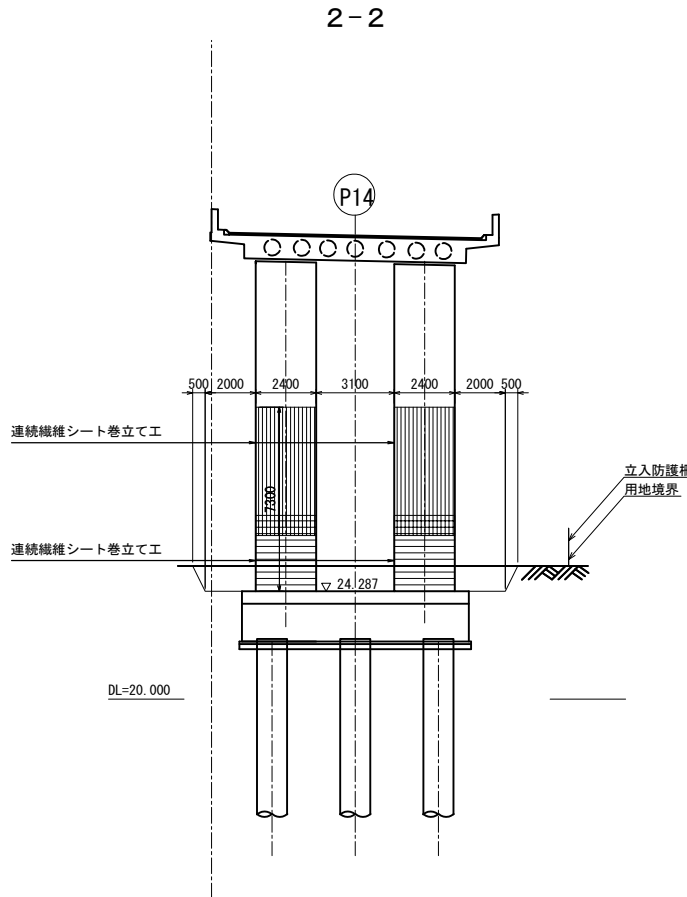
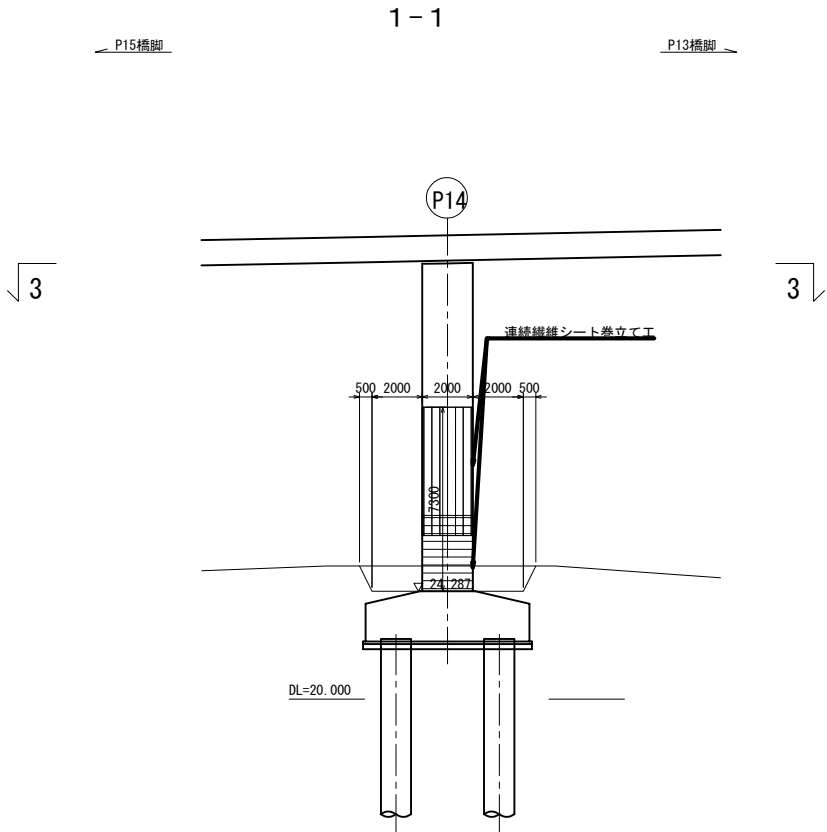
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P13橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P14橋脚 構造物掘削図

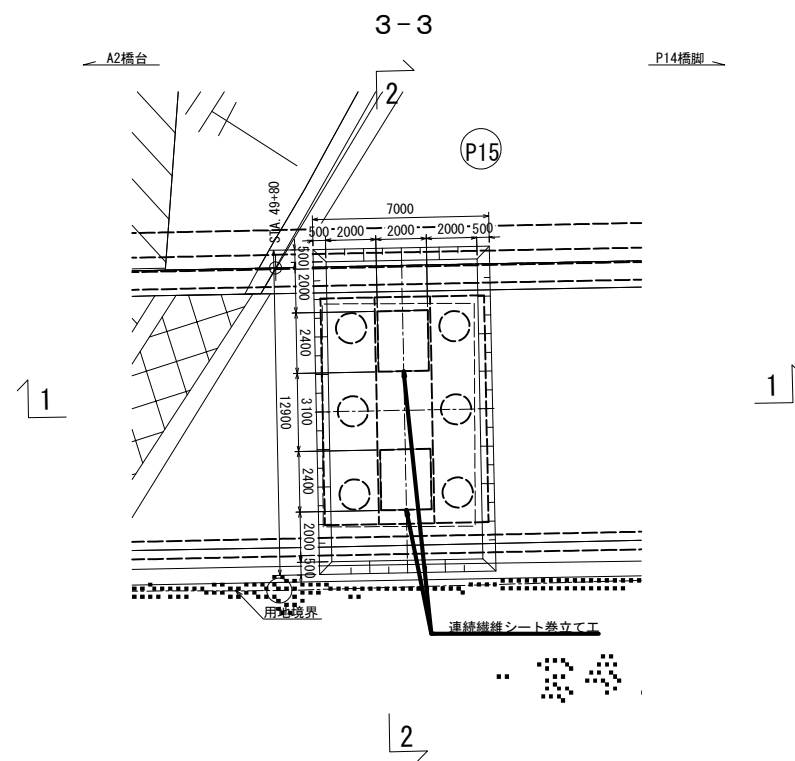
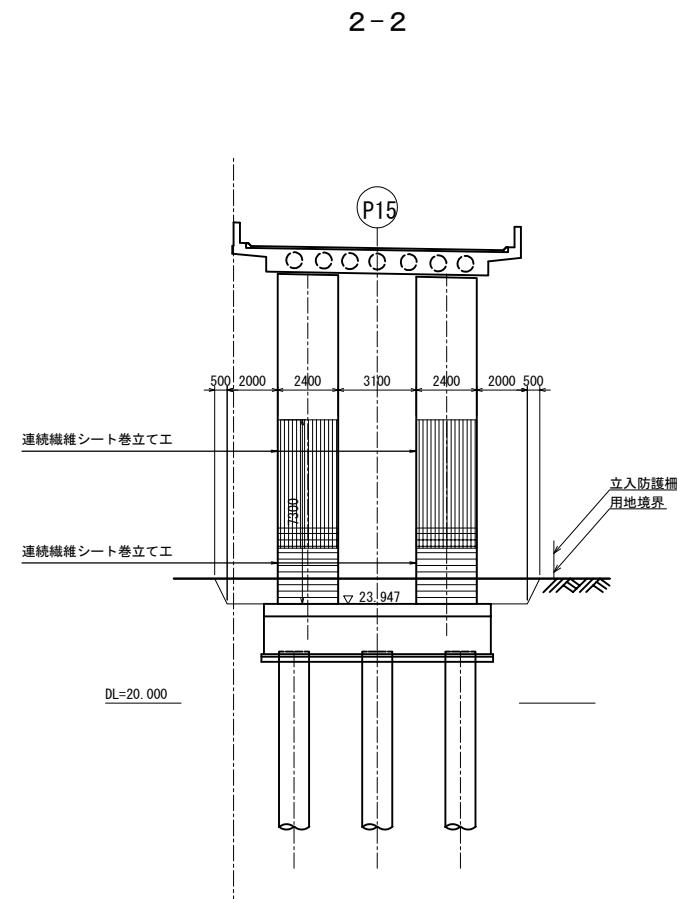
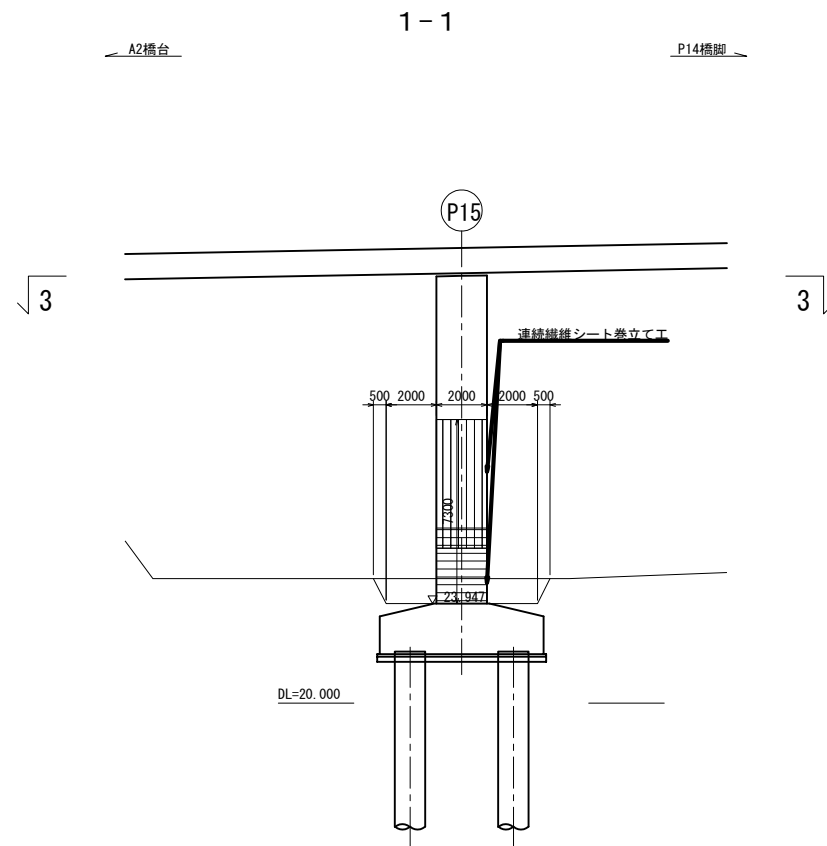
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P14橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P15橋脚 構造物掘削図

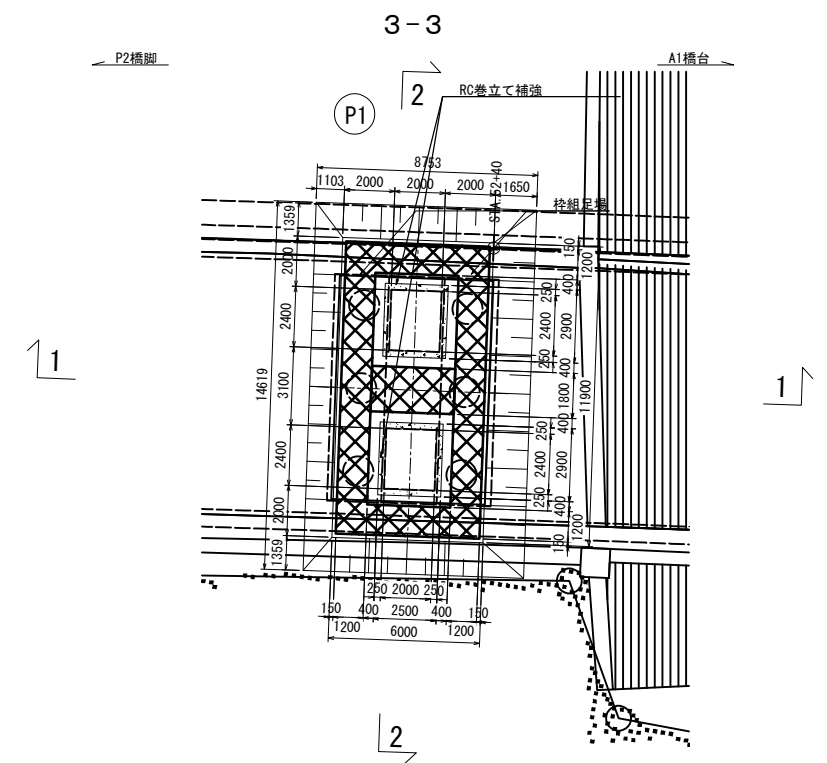
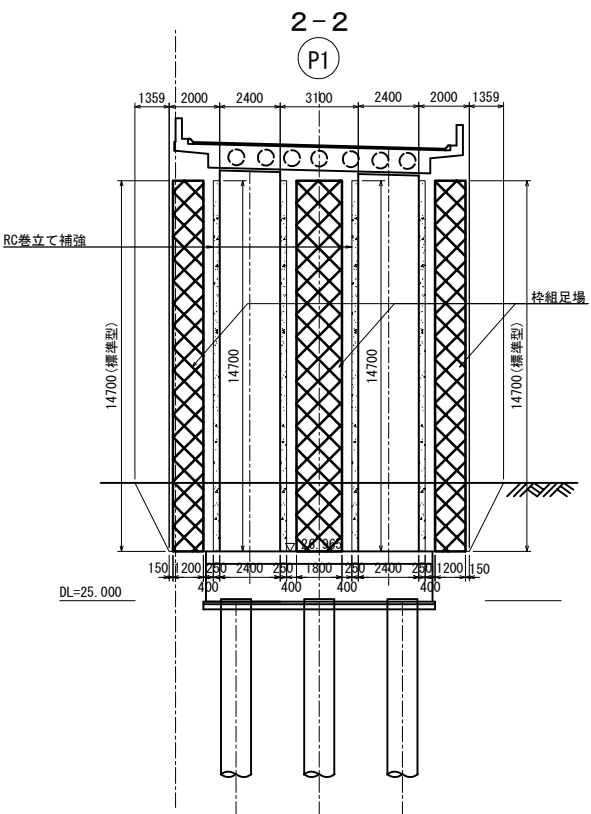
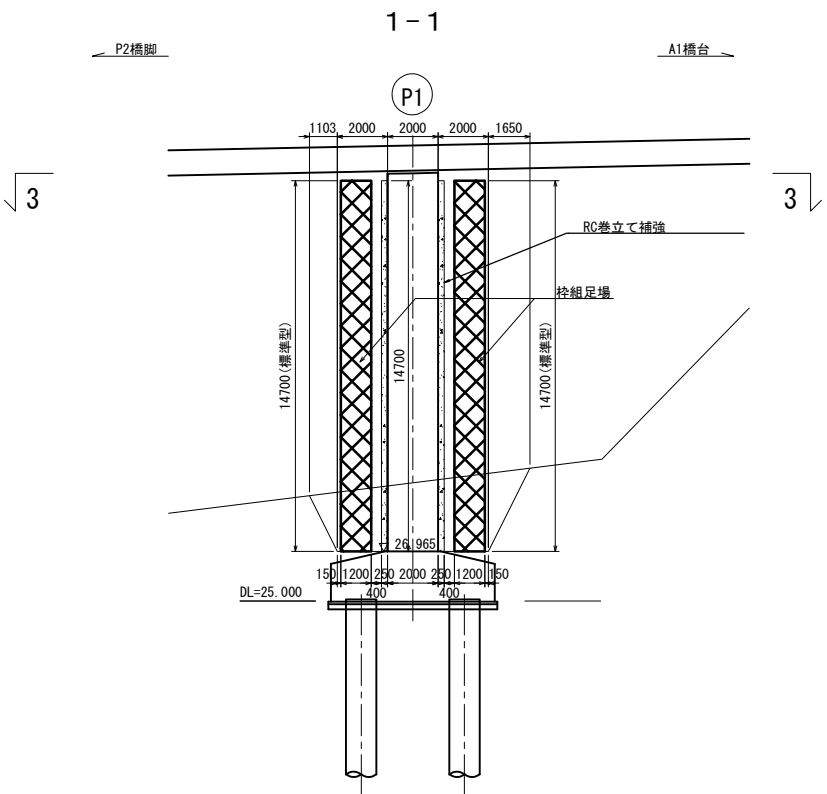
S=1 : 300



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P15橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

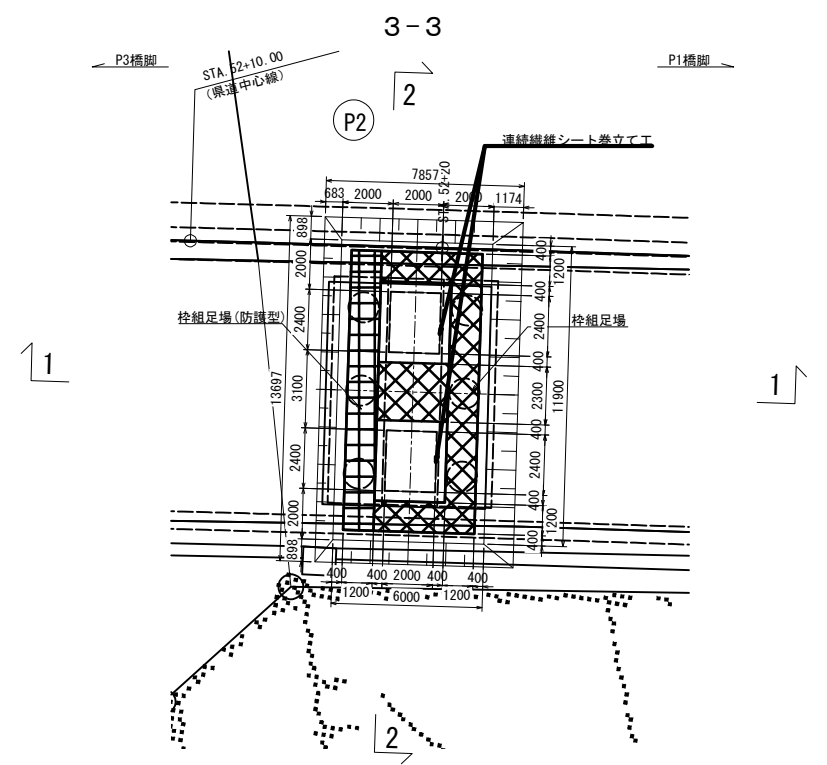
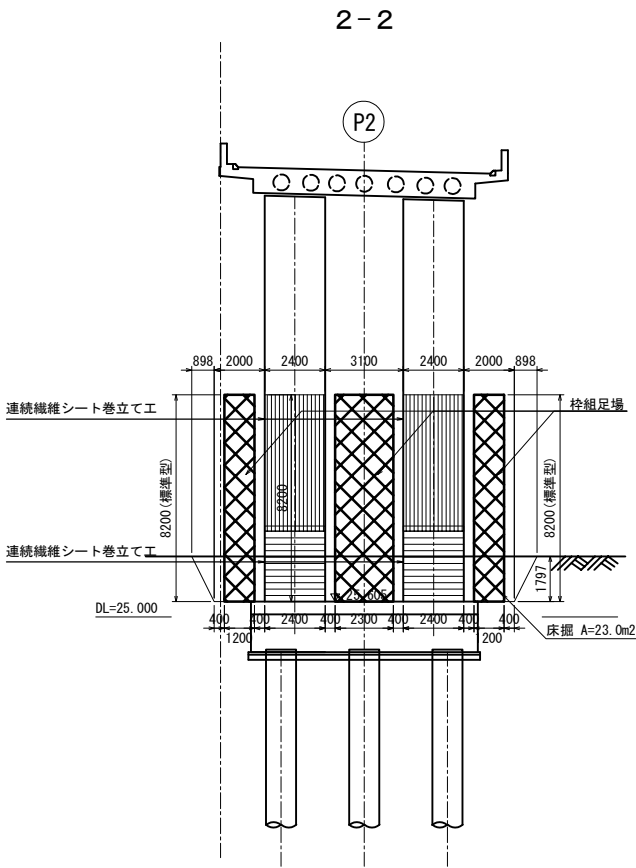
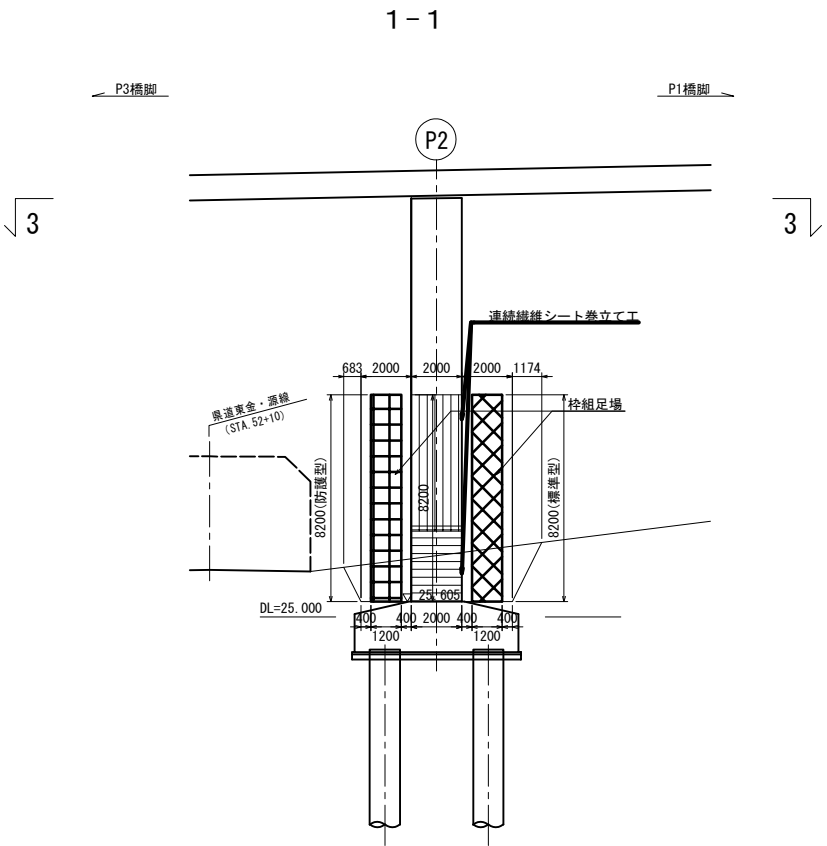
酒蔵高架橋 P1橋脚 足場工図（参考図） S=1：300

（下部工耐震施工時）



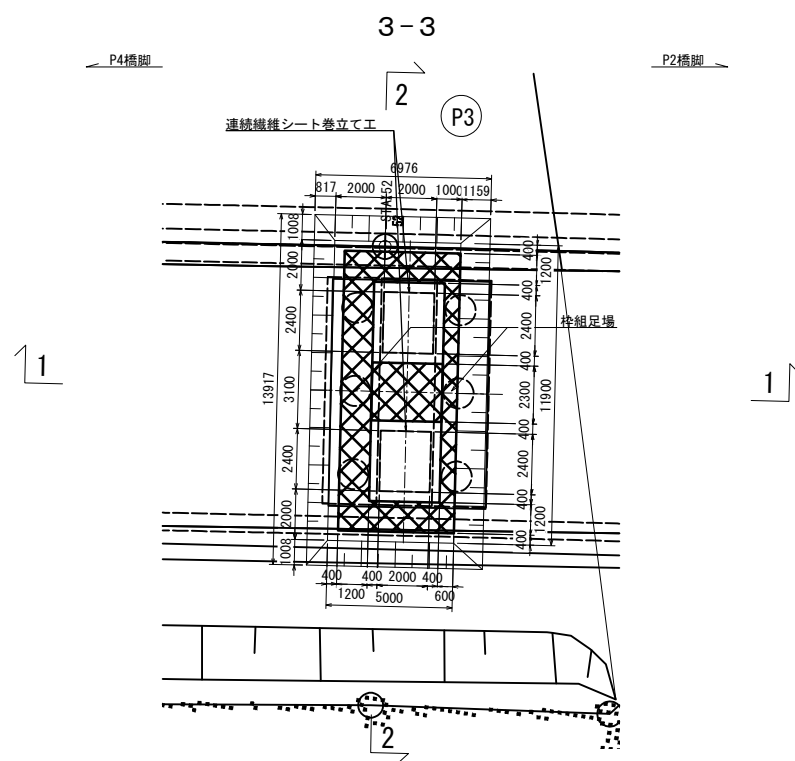
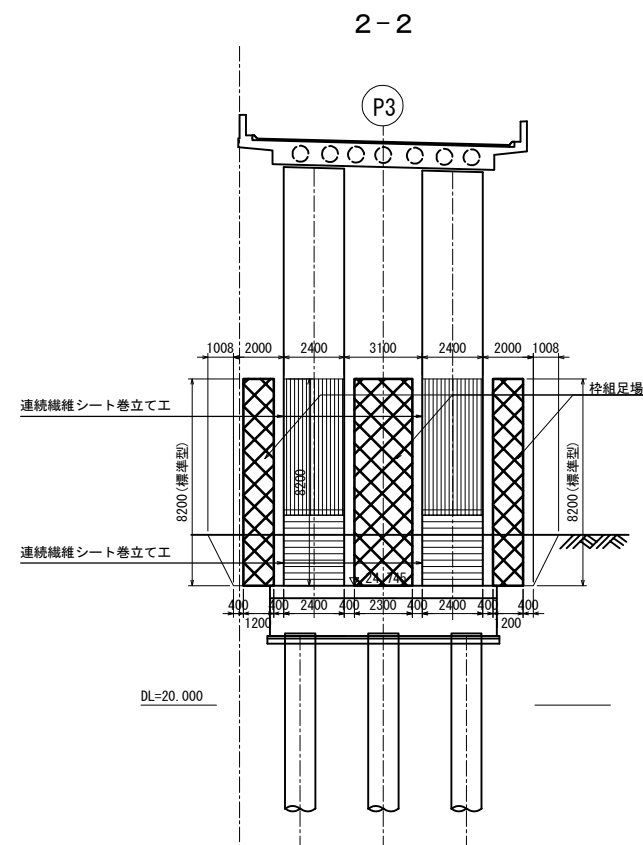
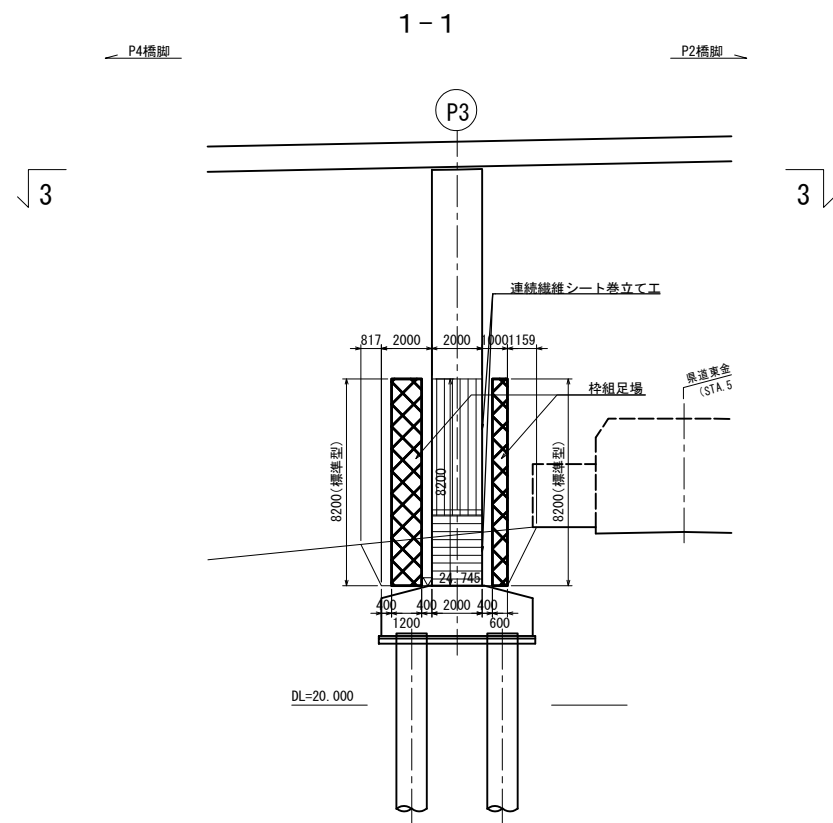
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P1橋脚 足場工図（参考図）		
	縮	尺	図示
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P2橋脚 足場工図（参考図） S=1：300



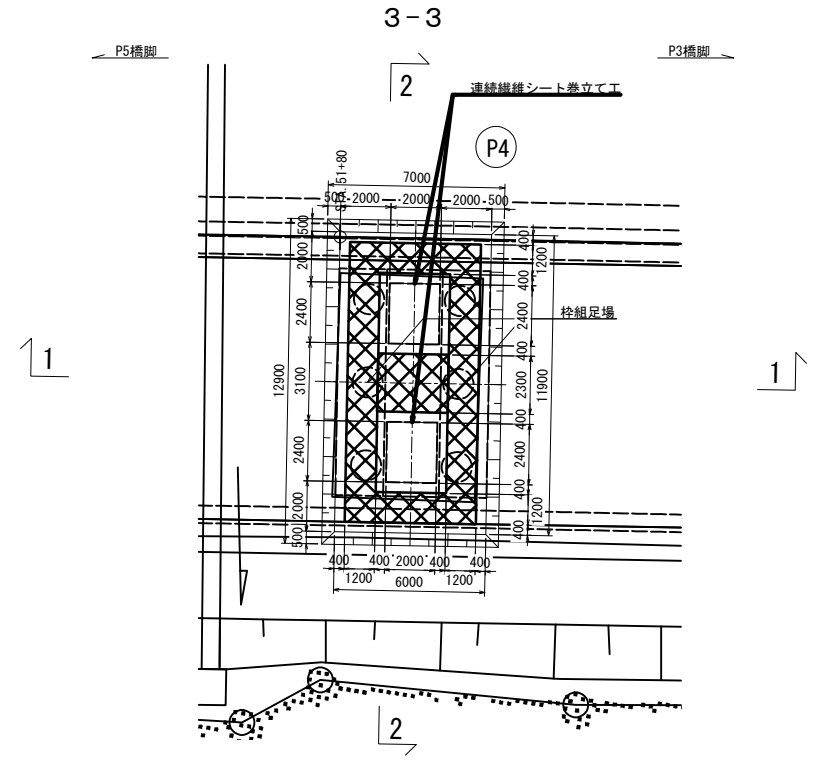
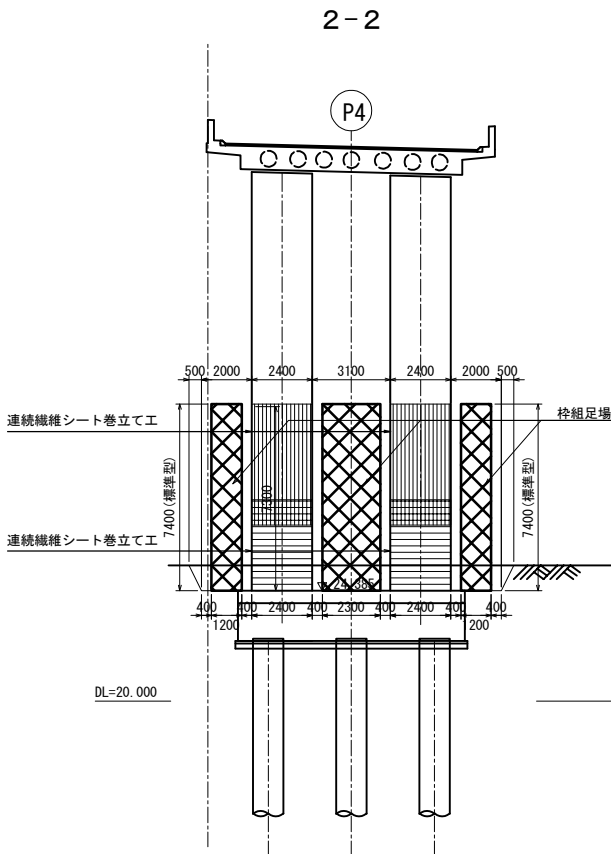
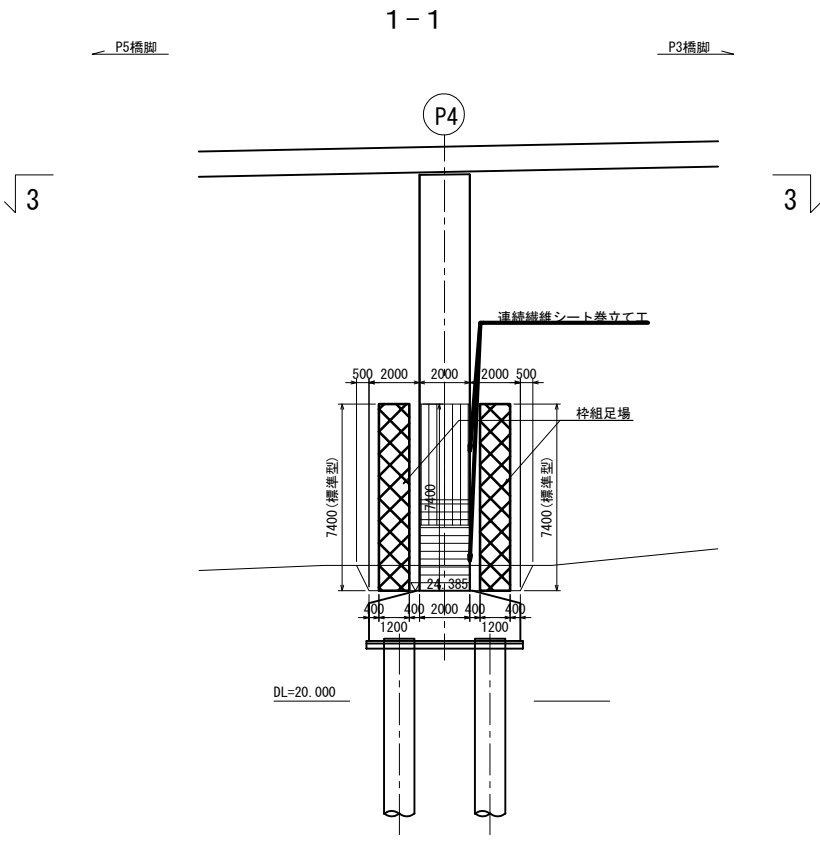
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P2橋脚 足場工図（参考図）		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P3橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



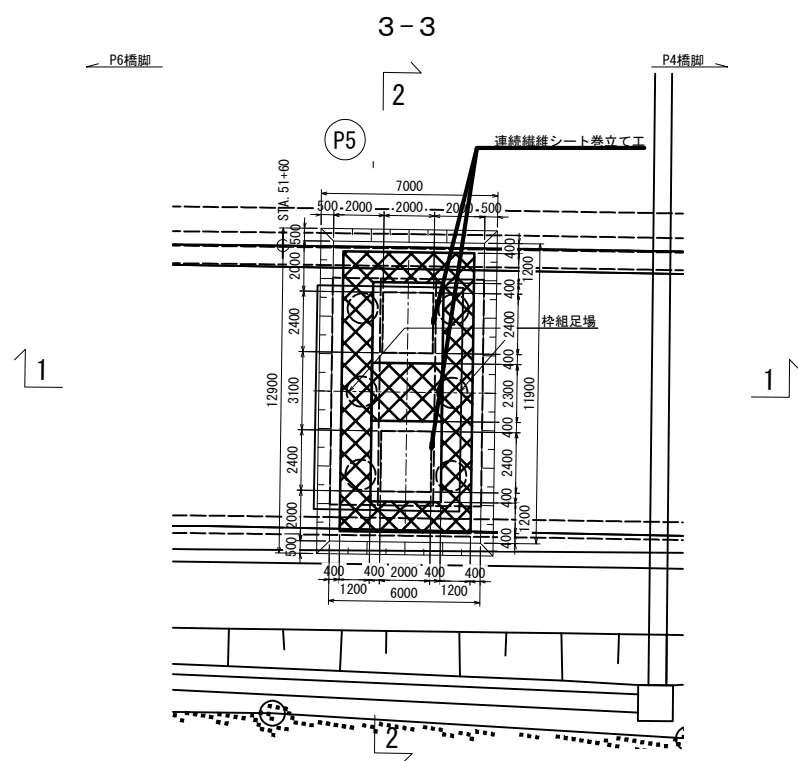
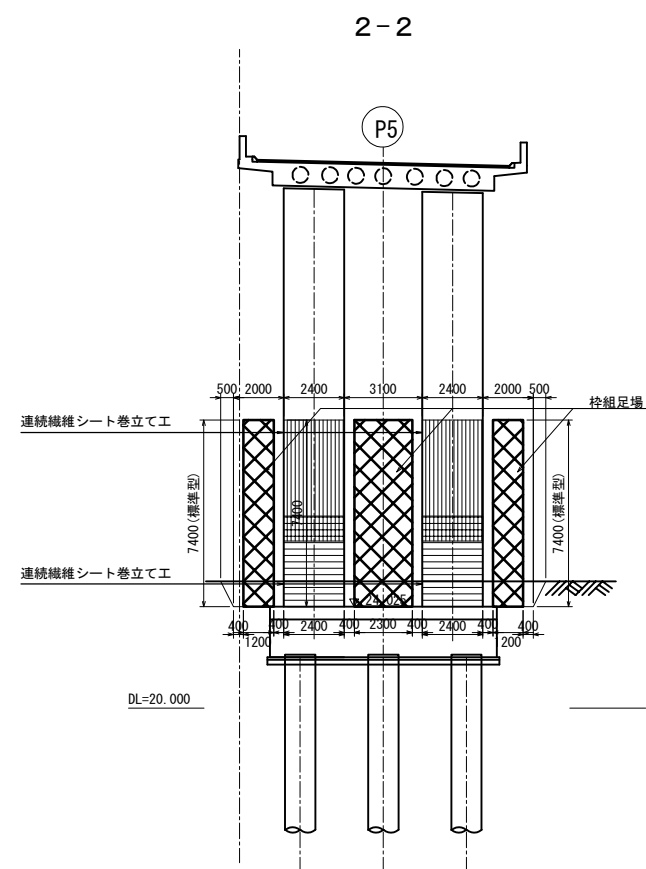
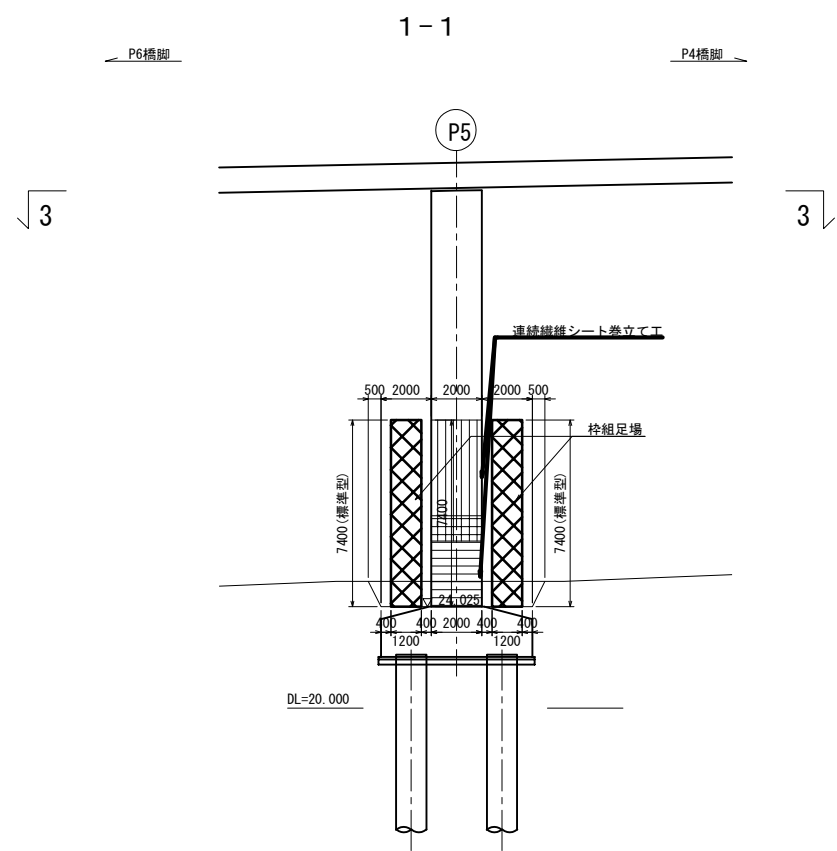
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P3橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P4橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



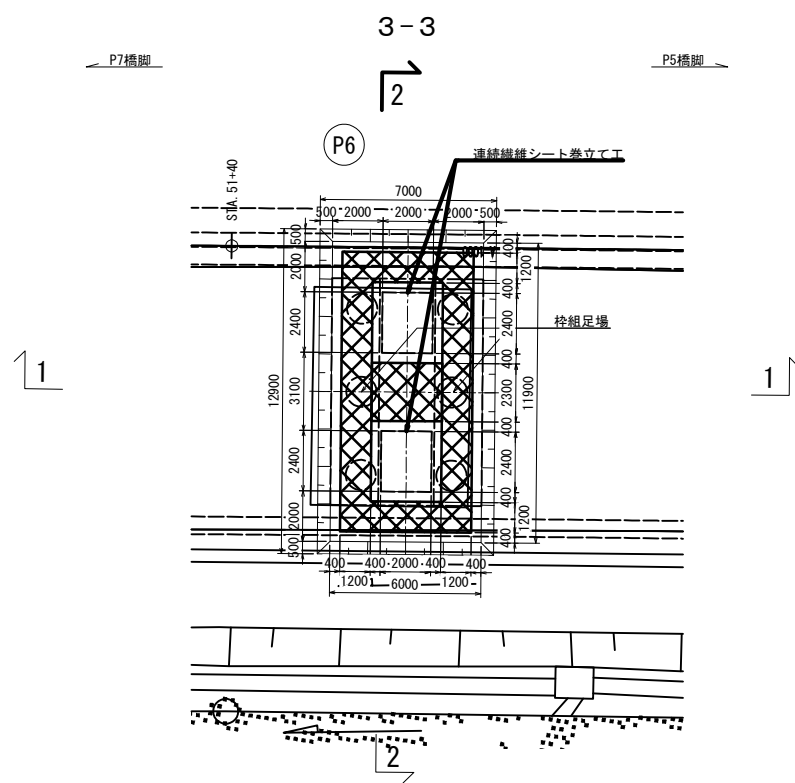
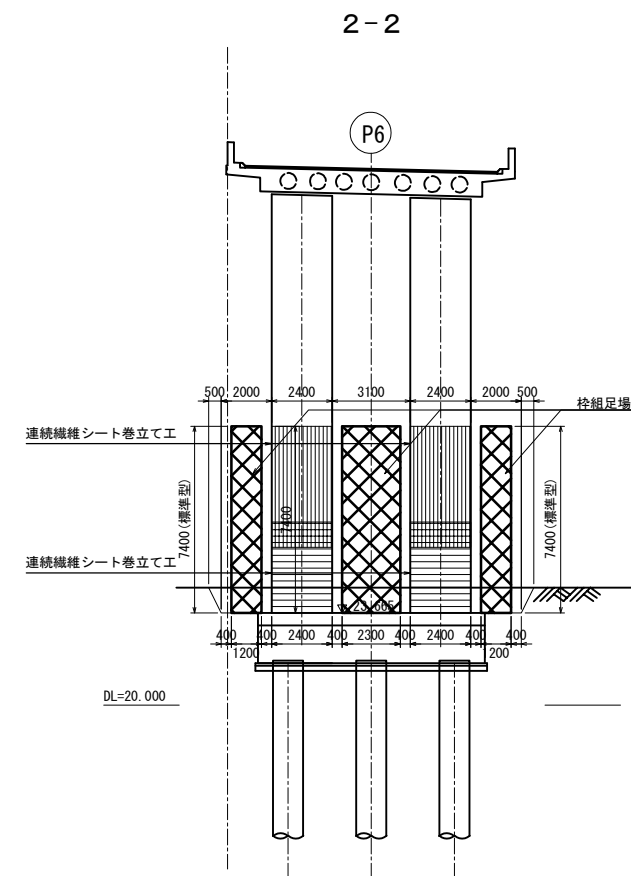
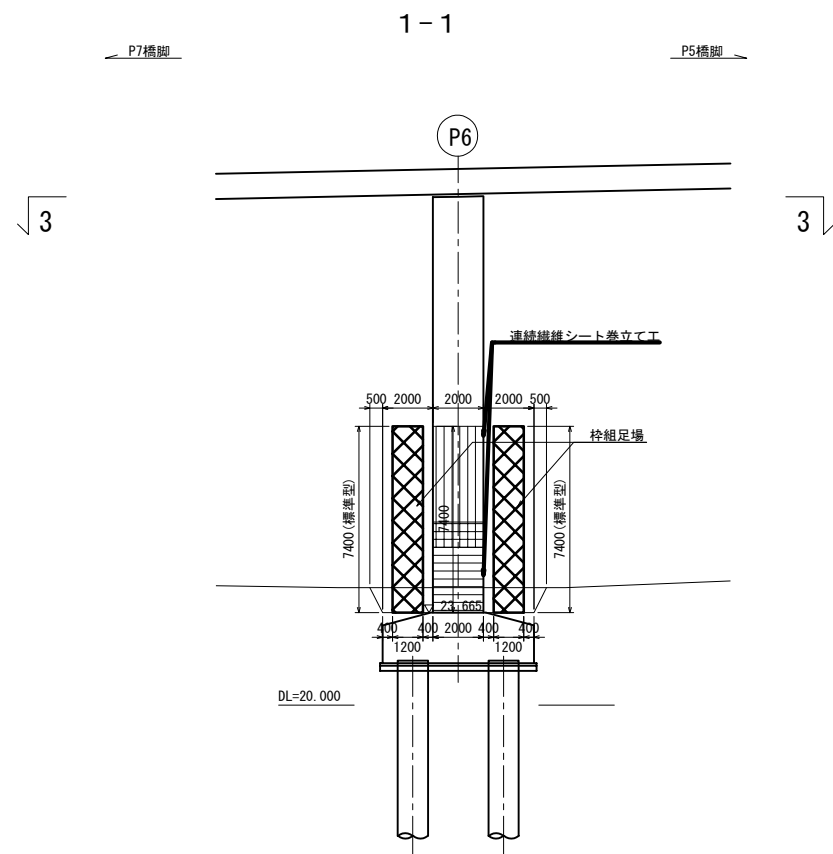
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P4橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P5橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



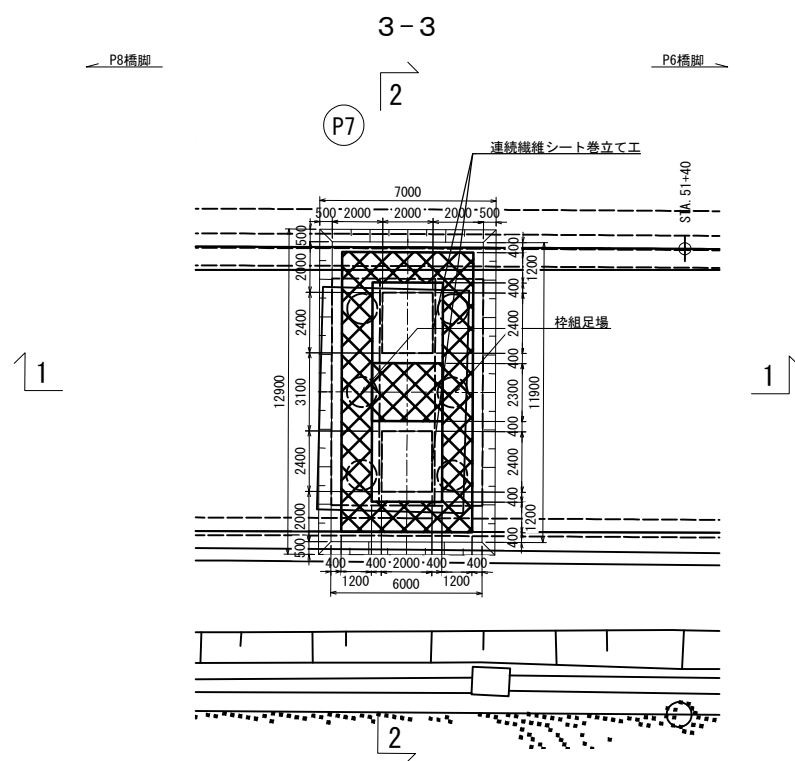
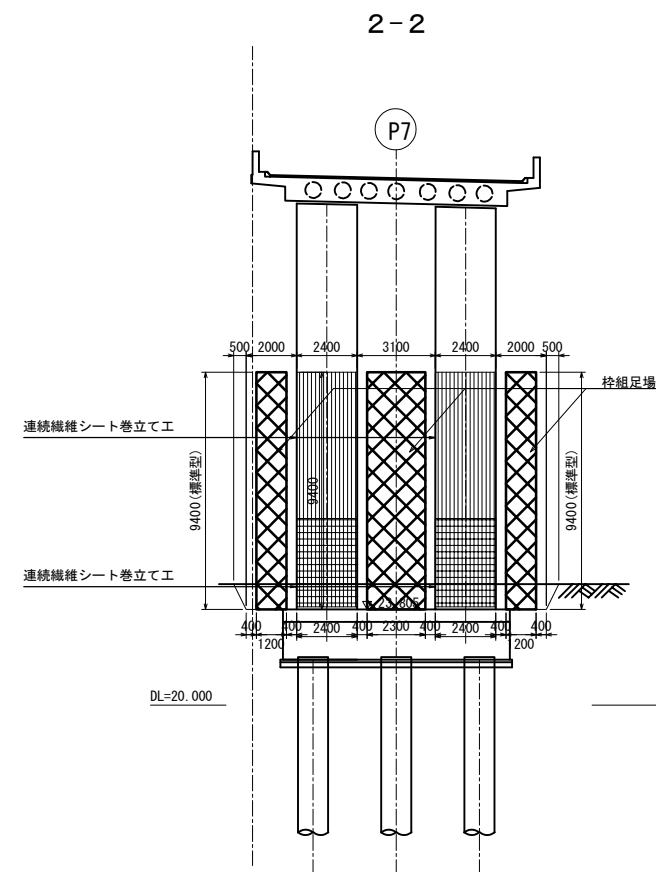
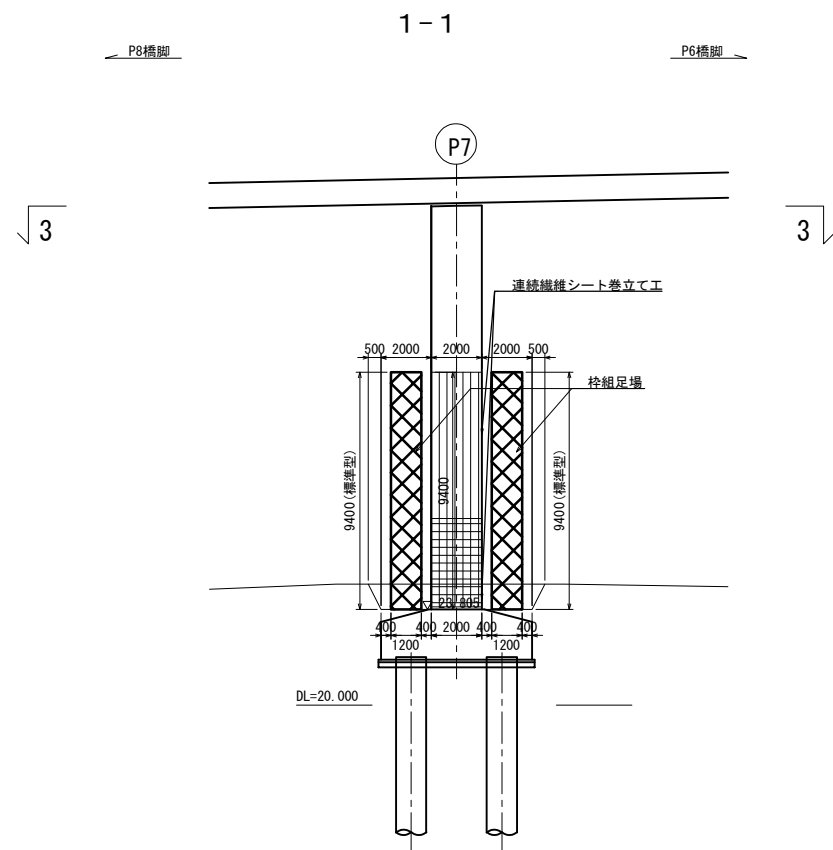
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P5橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P6橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



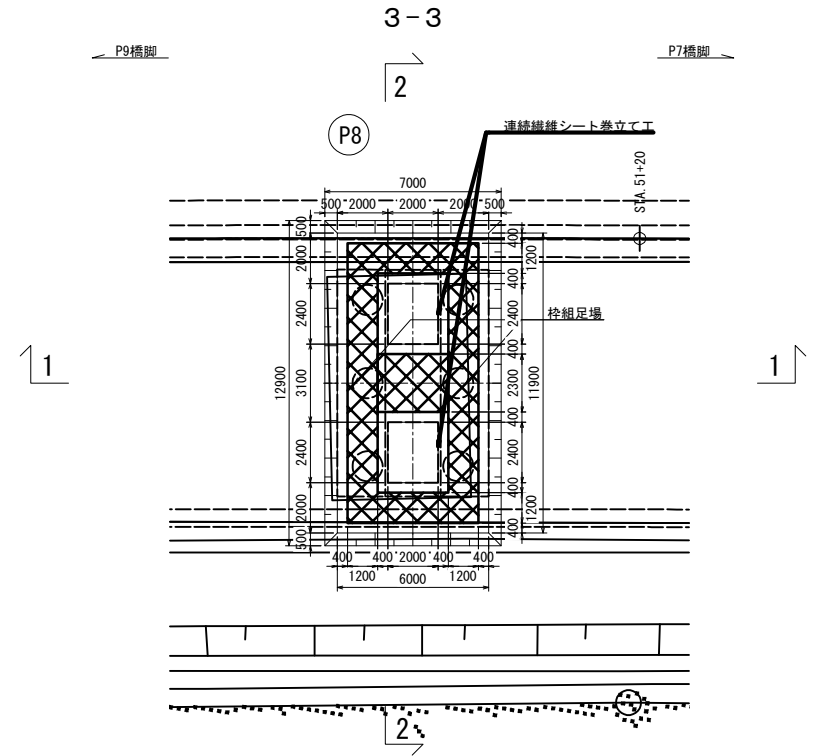
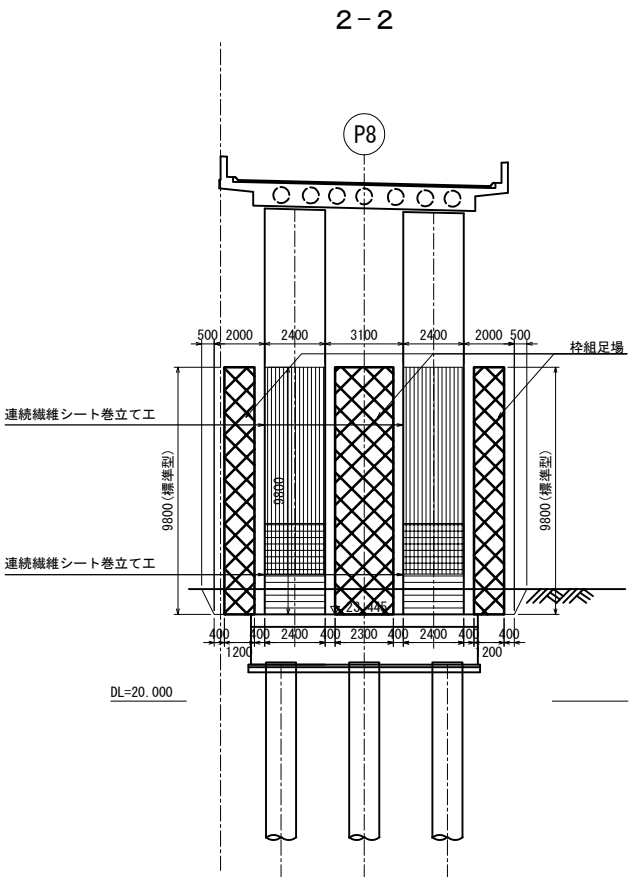
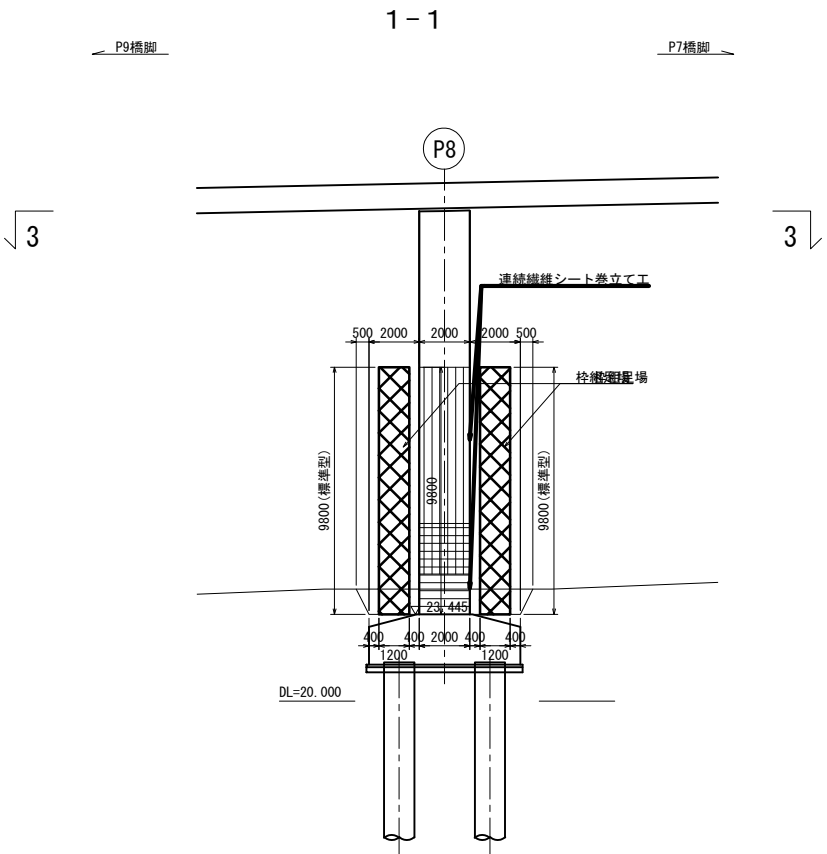
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P6橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P7橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類		酒蔵高架橋 P7橋脚 足場工図（参考図）		
縮	尺	図示	図面番号	／
設計会社名		日本工営株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

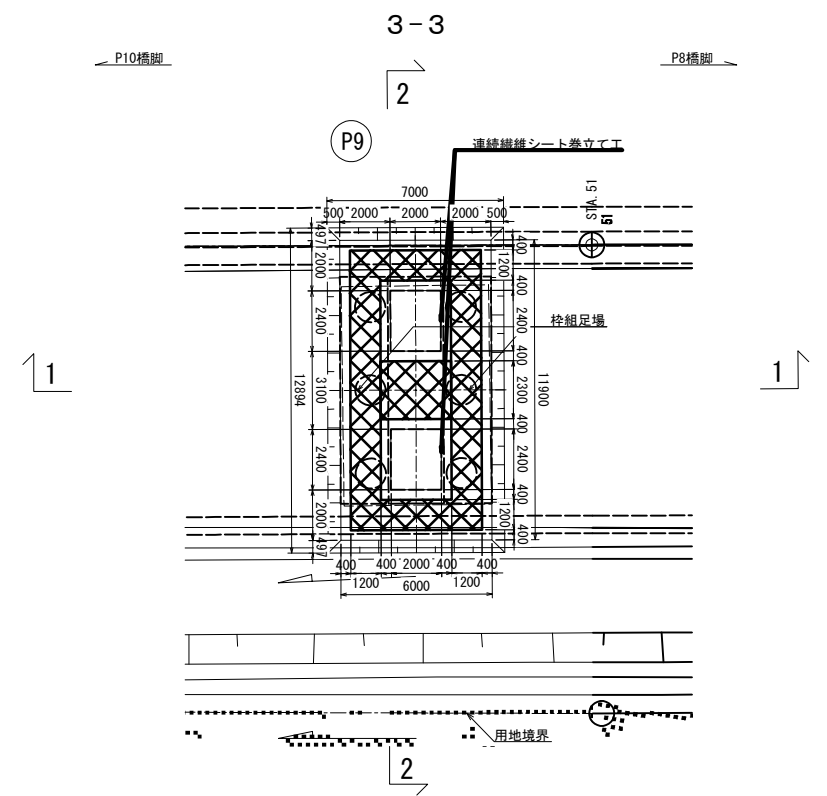
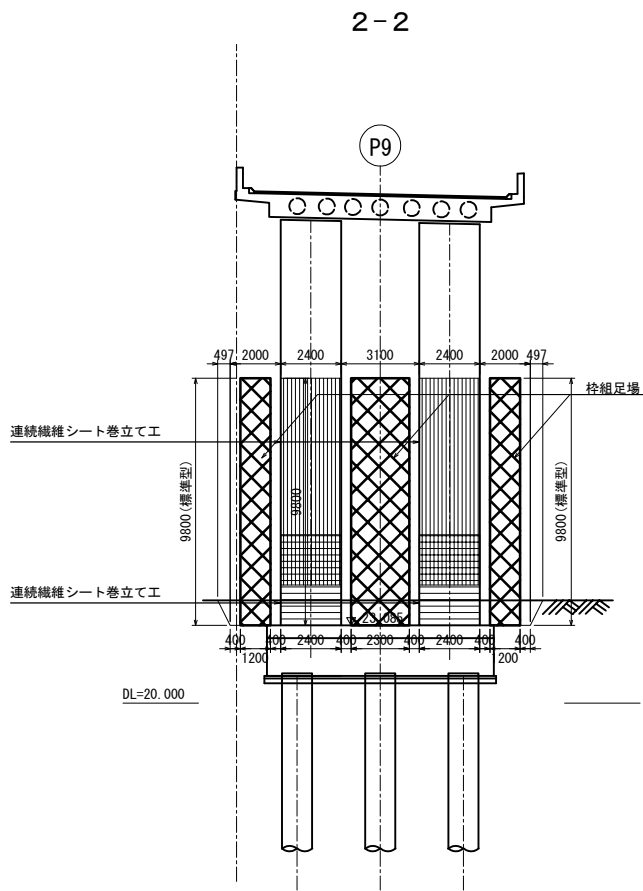
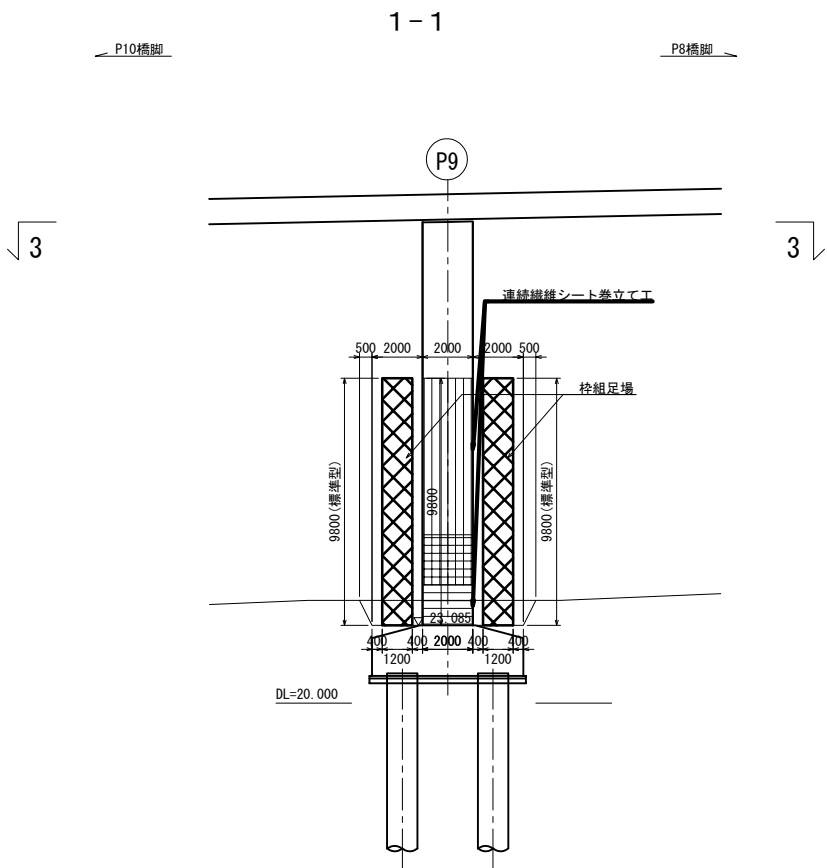
酒蔵高架橋 P8橋脚 足場工図（参考図） S=1：300
（下部工耐震施工時）



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P8橋脚 足場工図（参考図）		
	縮	尺	図示
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

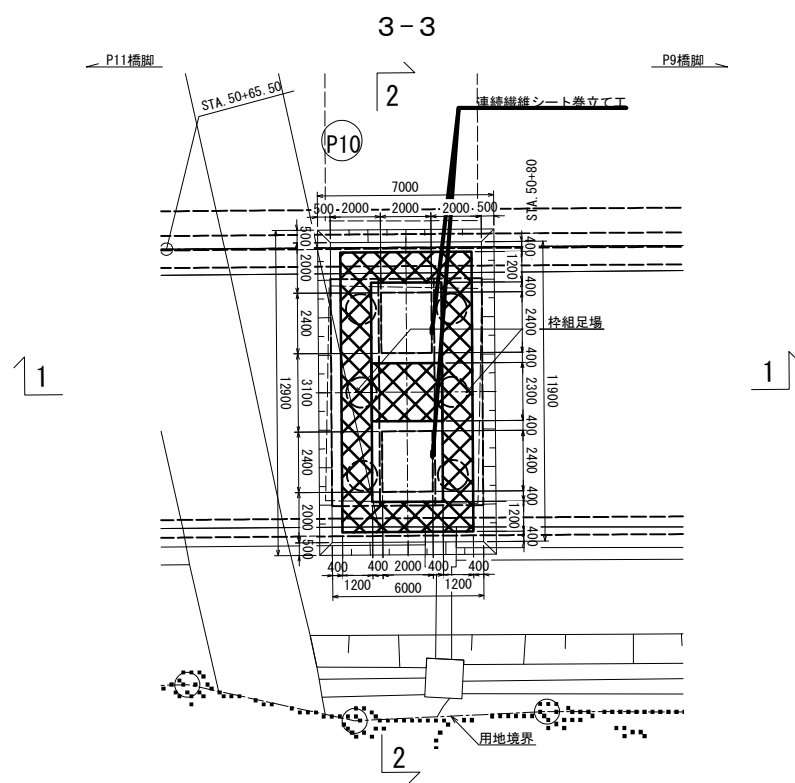
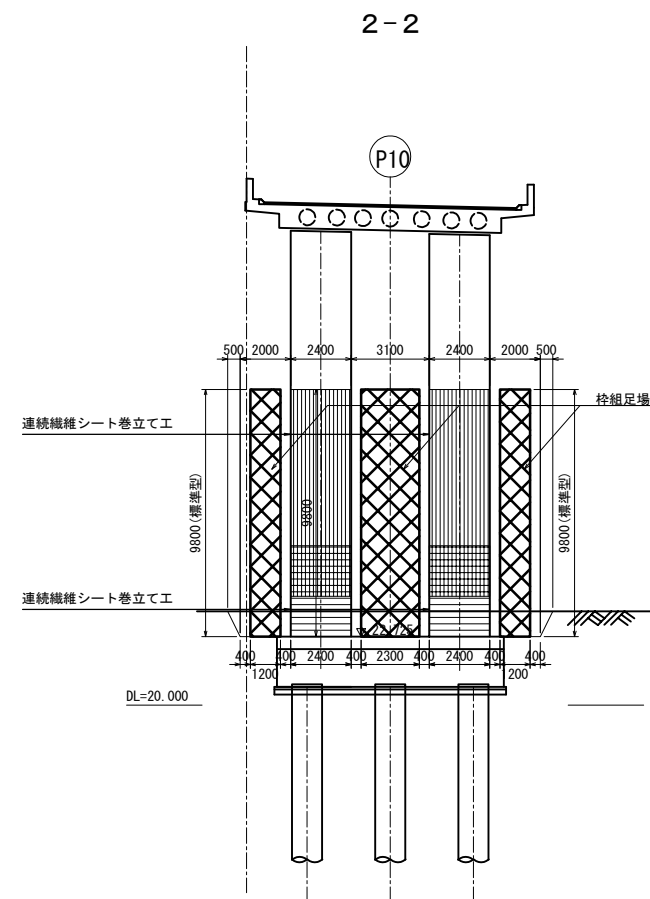
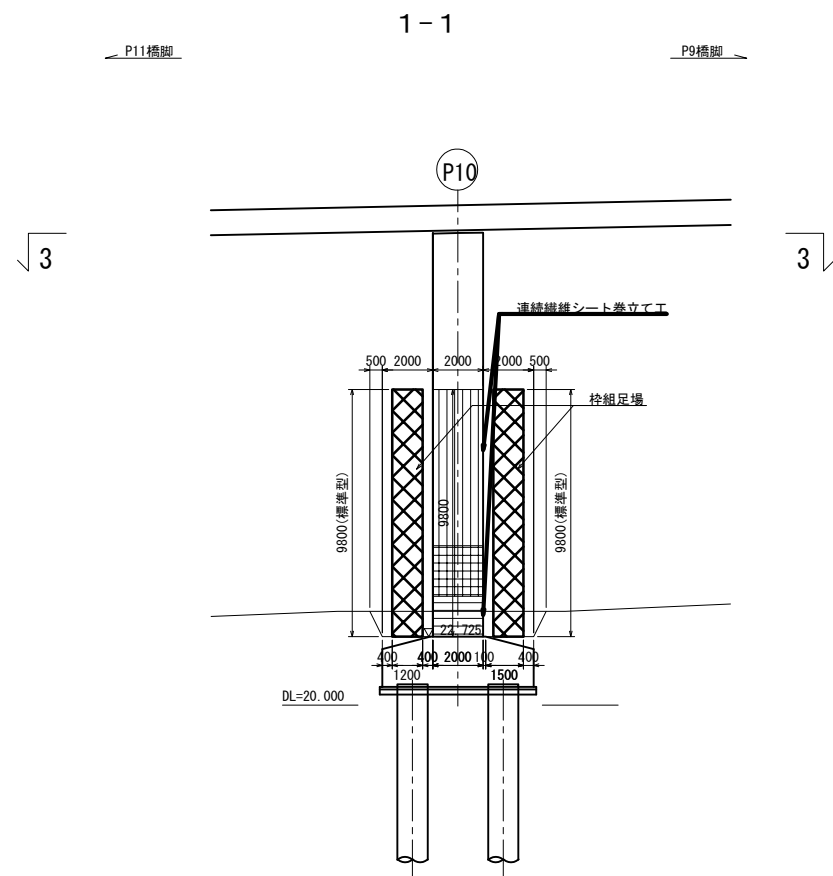
酒蔵高架橋 P9橋脚 足場工図（参考図） S=1：300

（下部工耐震施工時）



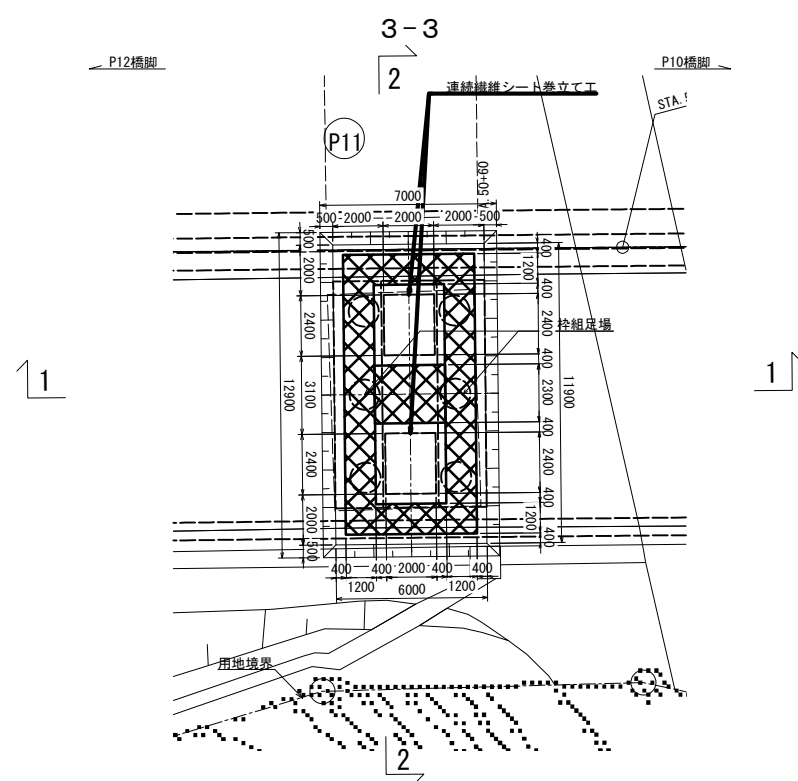
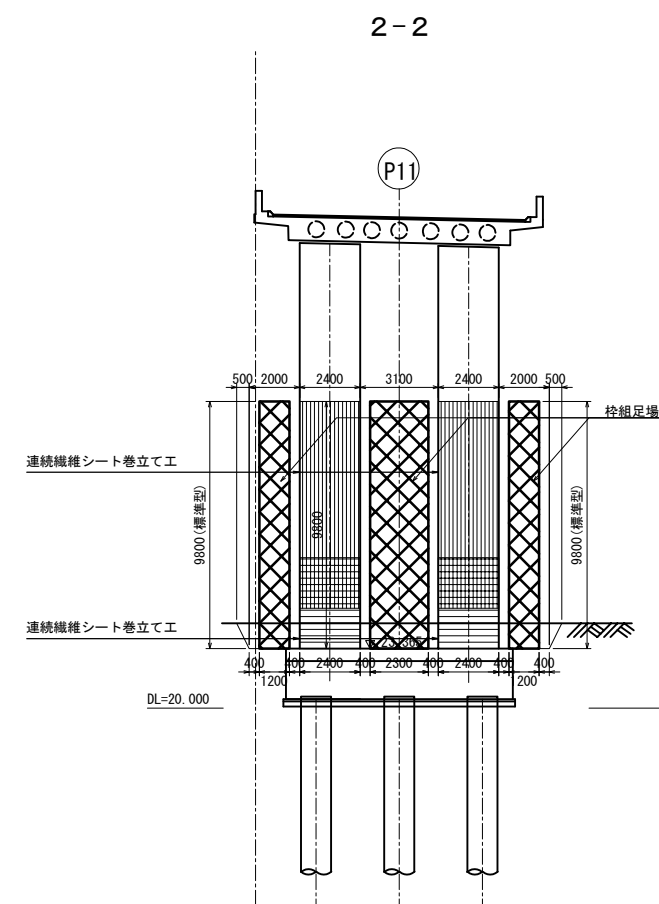
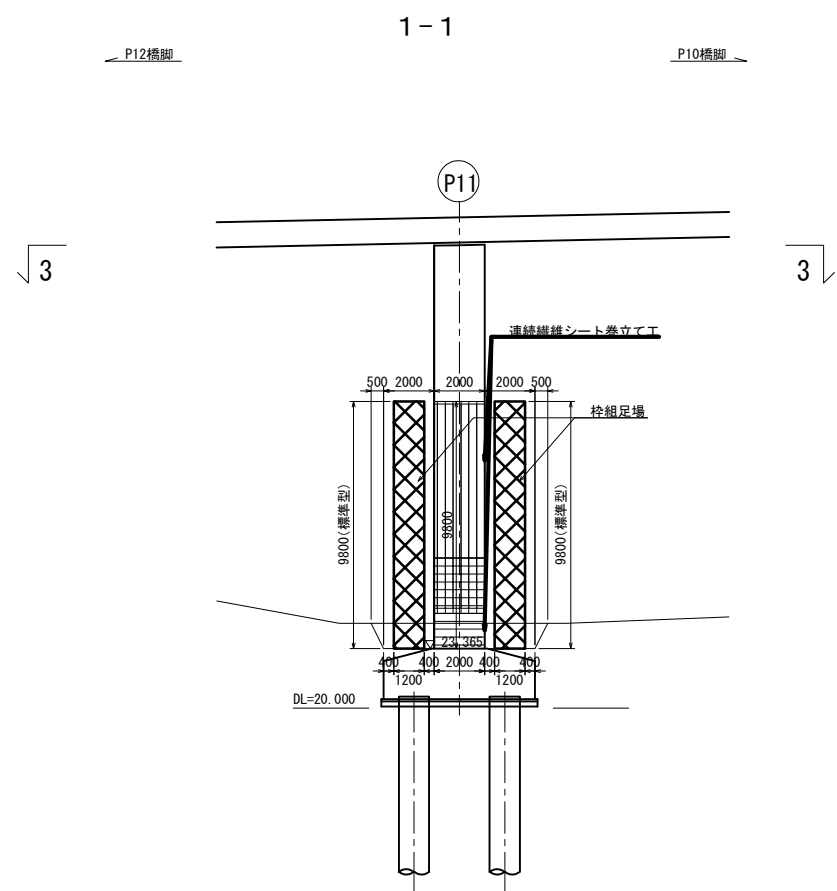
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P9橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P10橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
（下部工耐震施工時）



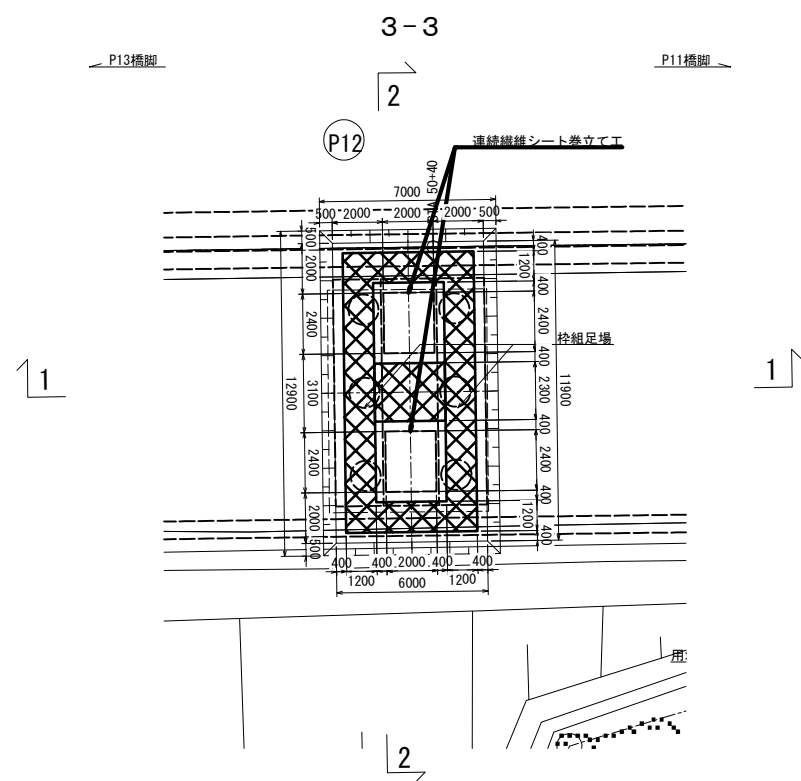
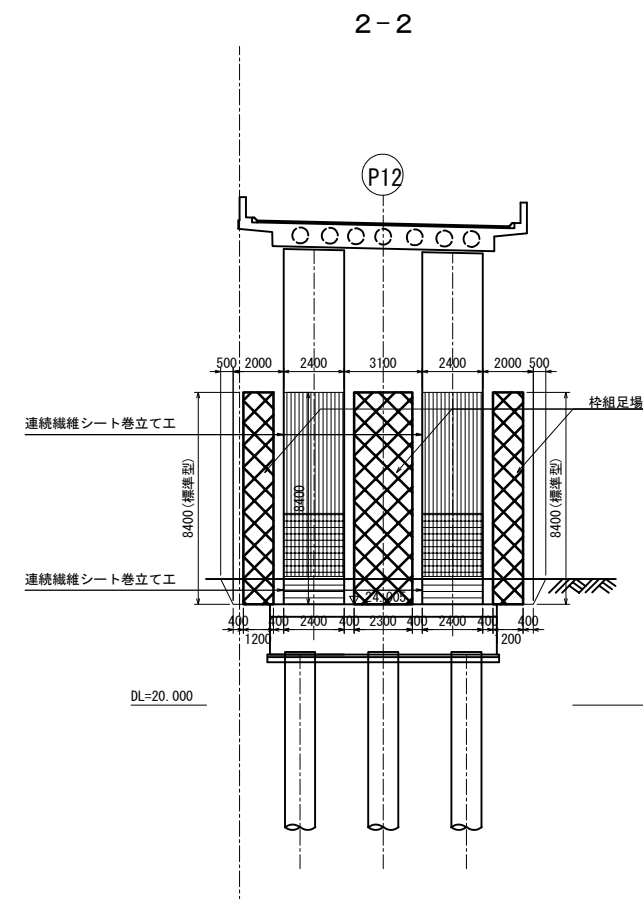
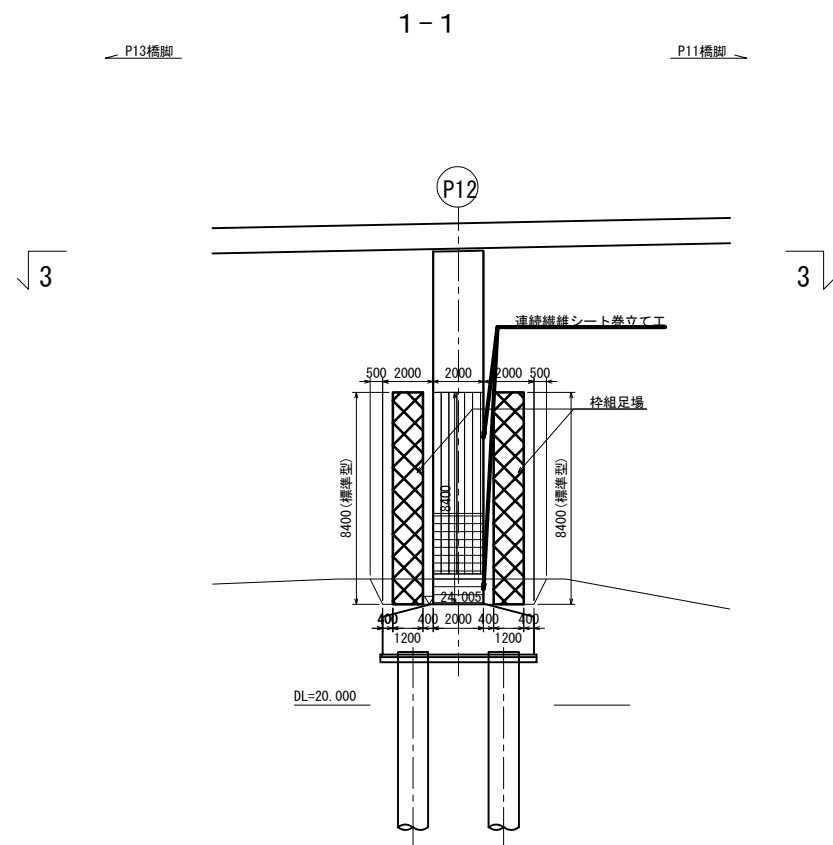
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P10橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P11橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
（下部工耐震施工時）



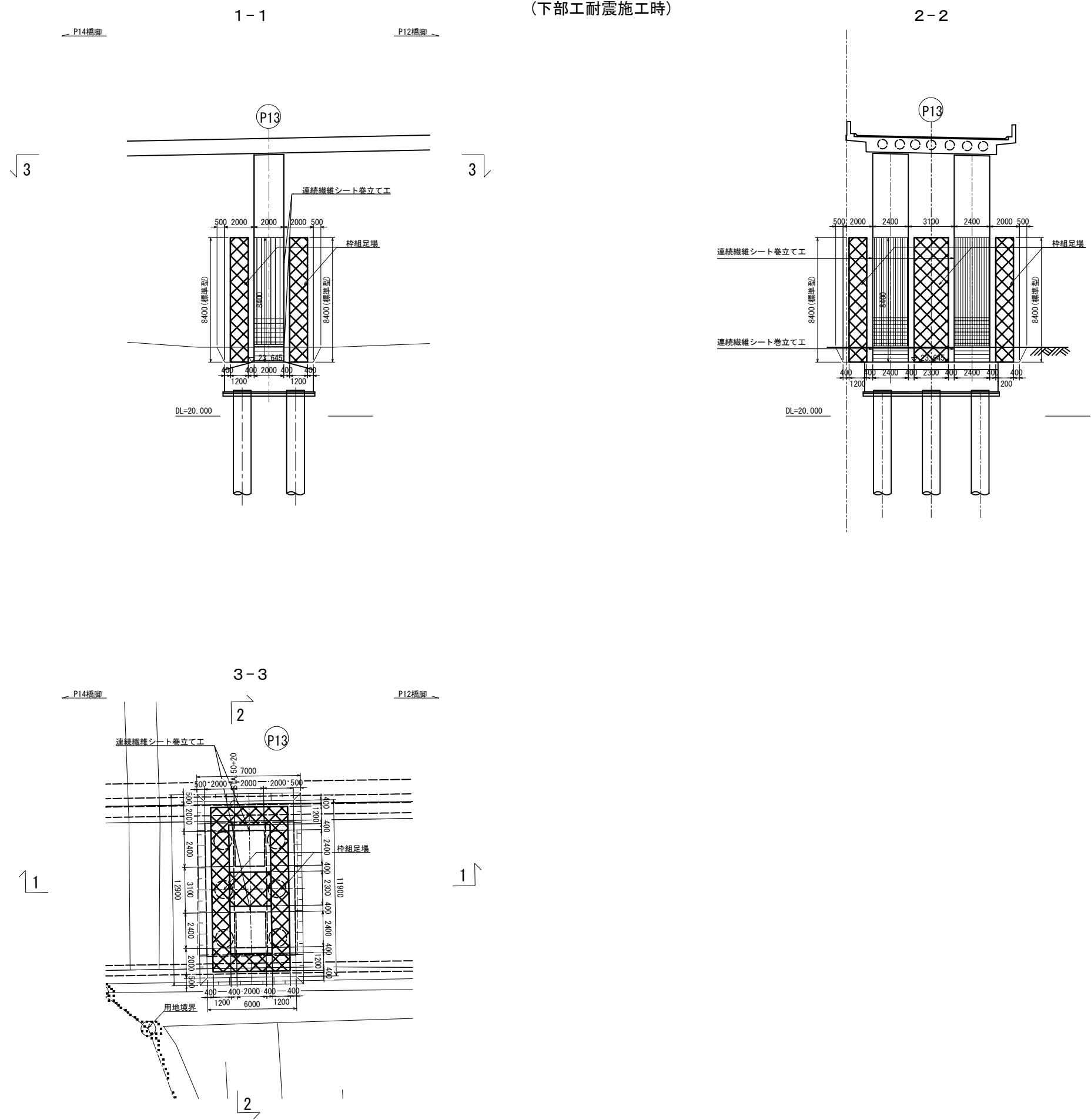
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類	酒蔵高架橋 P11橋脚 足場工図（参考図）			
	縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所			

酒蔵高架橋 P12橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
（下部工耐震施工時）



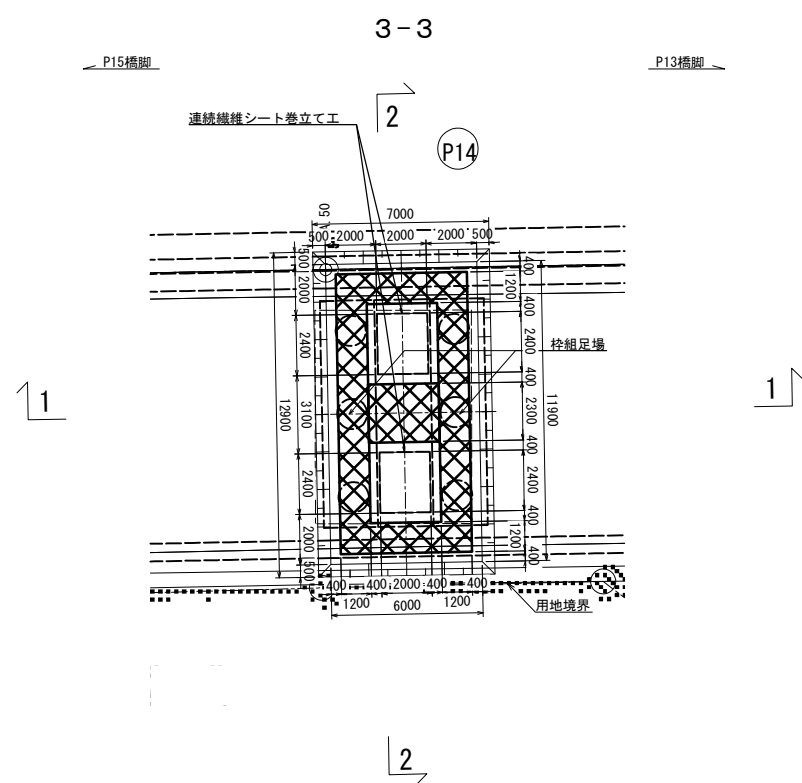
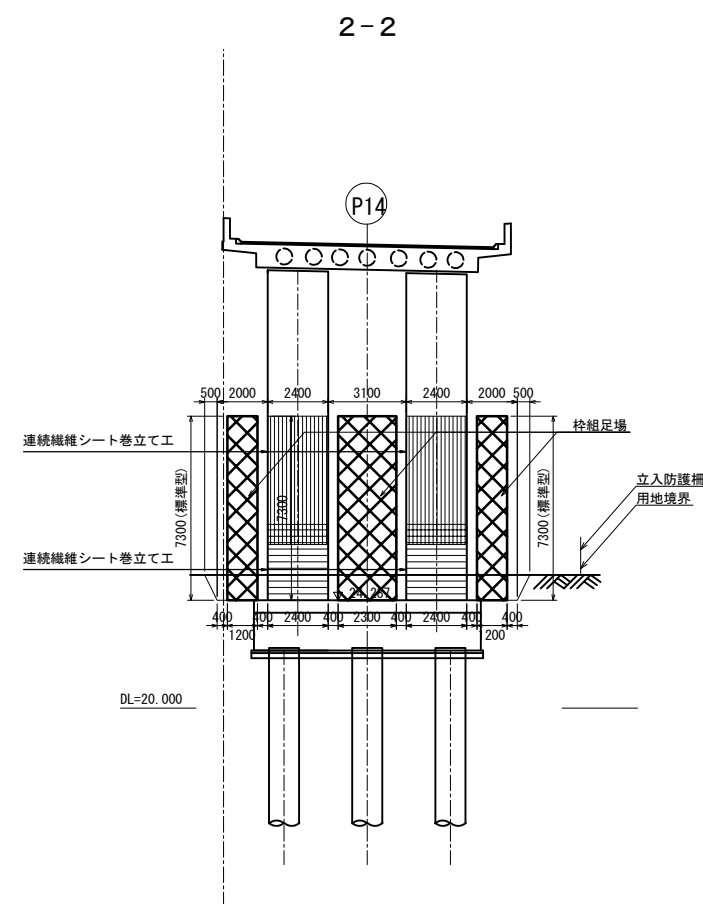
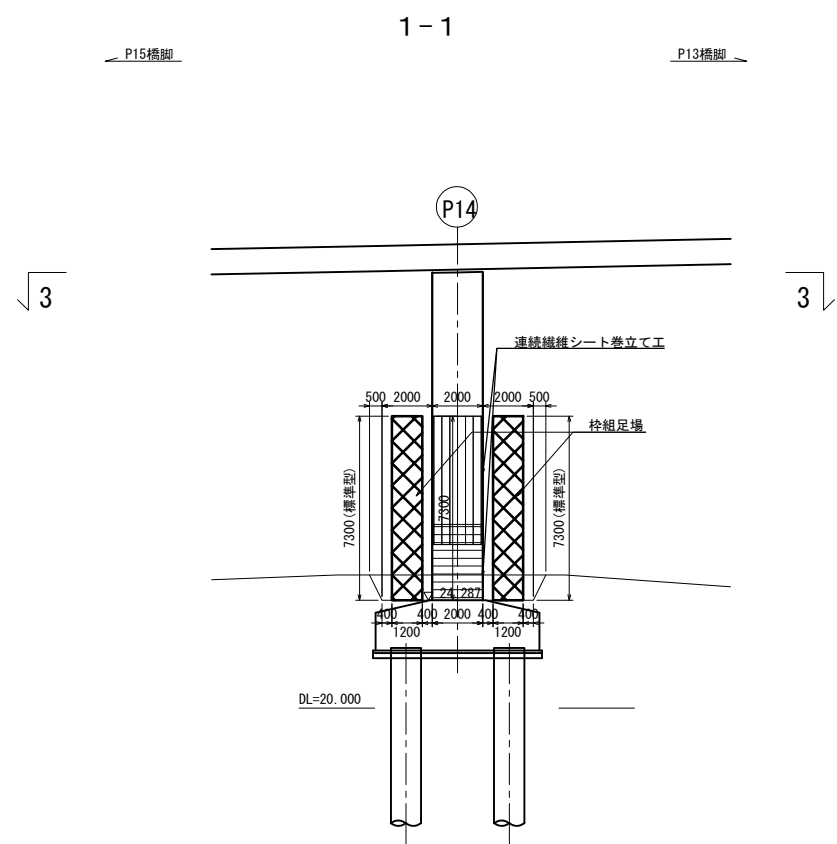
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P12橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P13橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
（下部工耐震施工時）



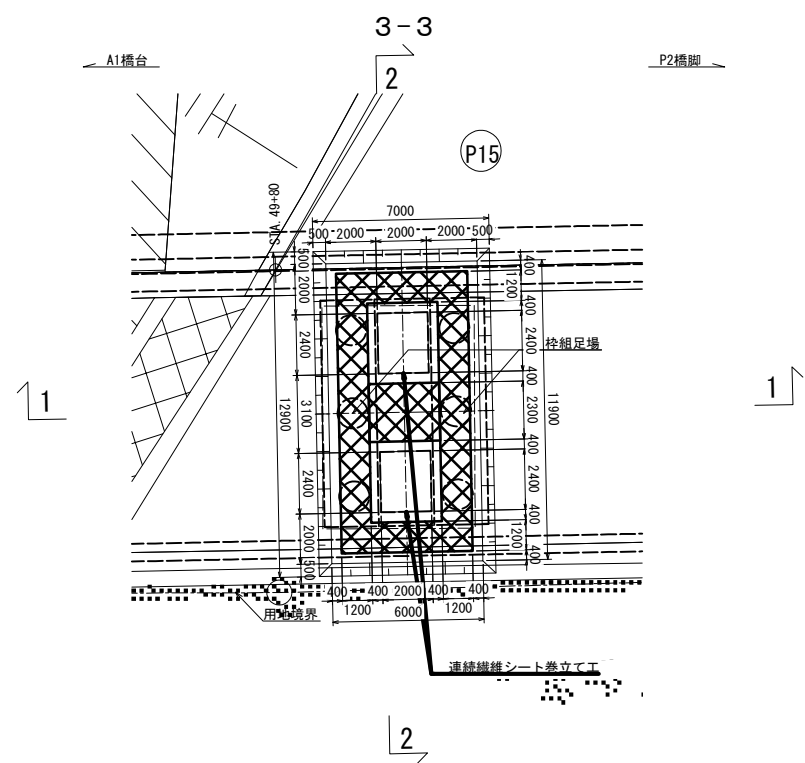
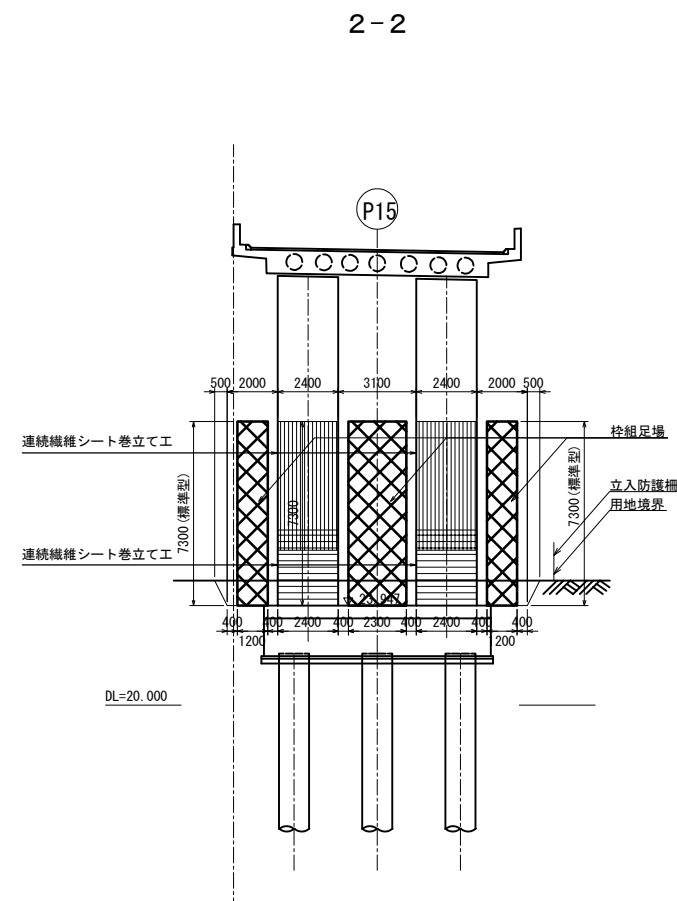
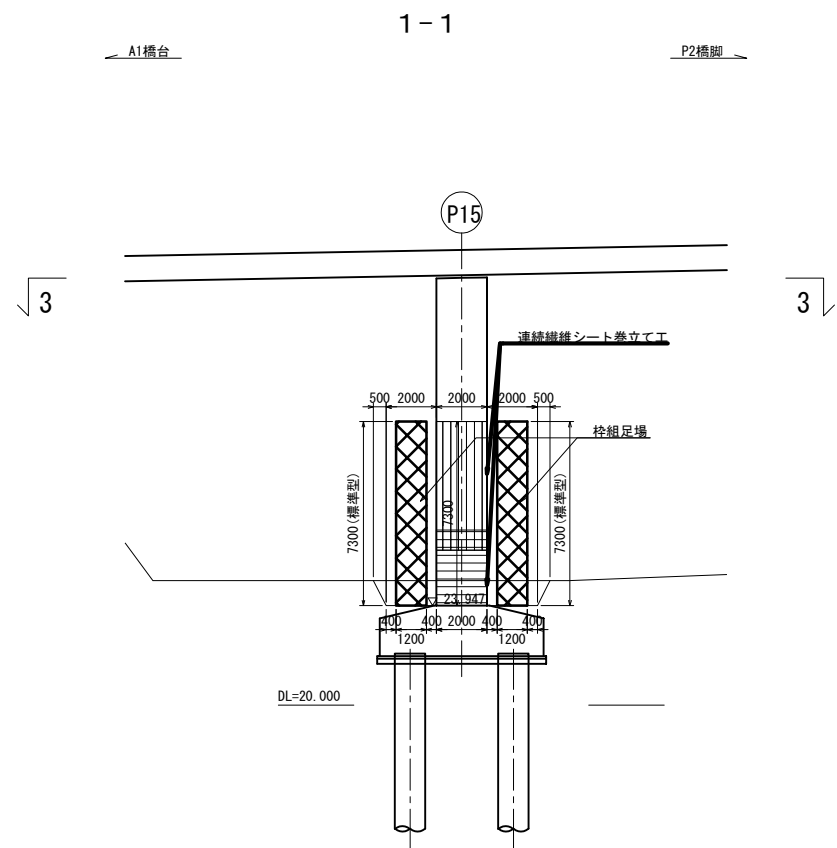
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P13橋脚 足場工図（参考図）		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P14橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
（下部工耐震施工時）

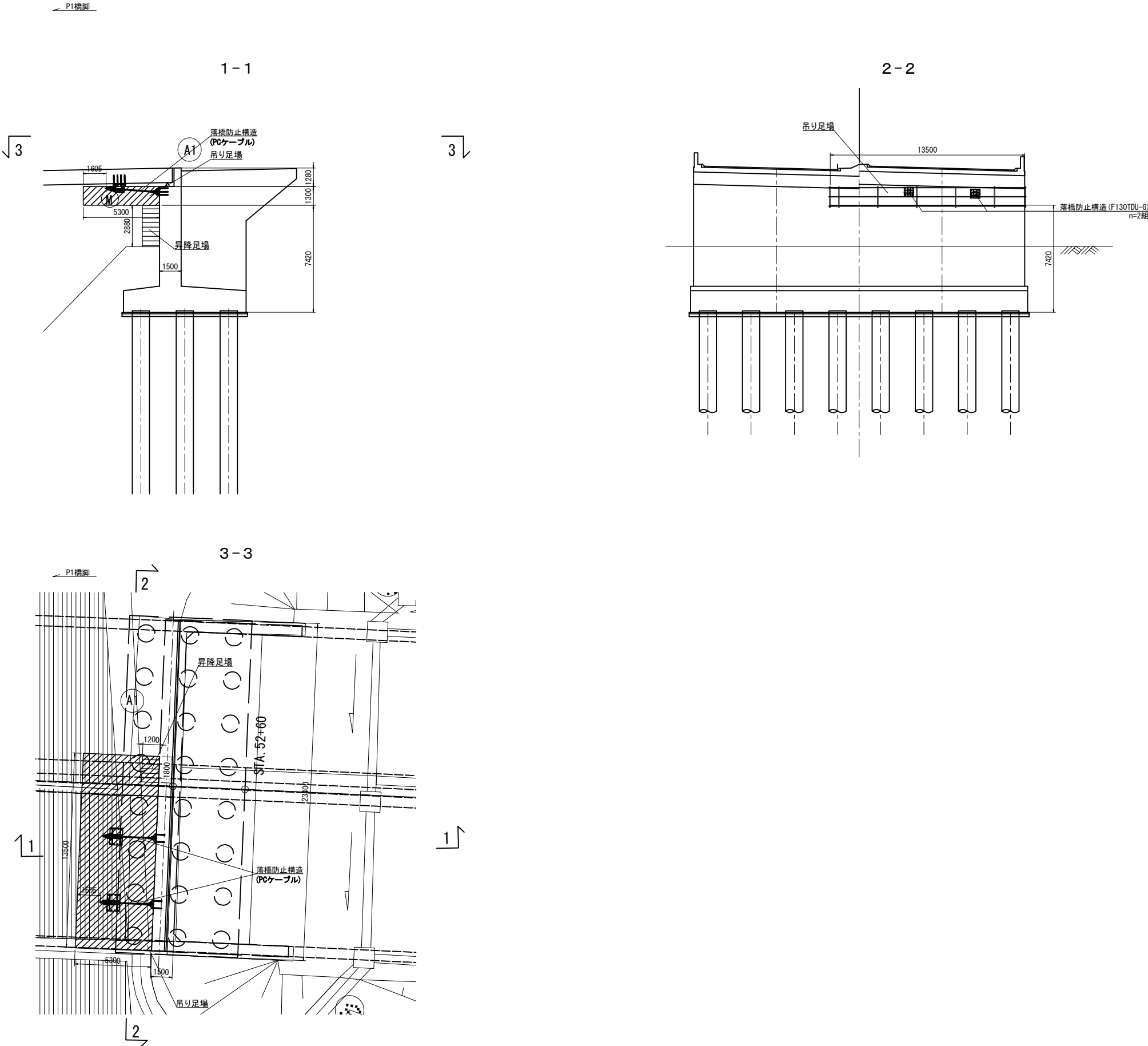


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P14橋脚 足場工図（参考図）		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P15橋脚 足場工図（参考図）S=1：300
(下部工耐震施工時)

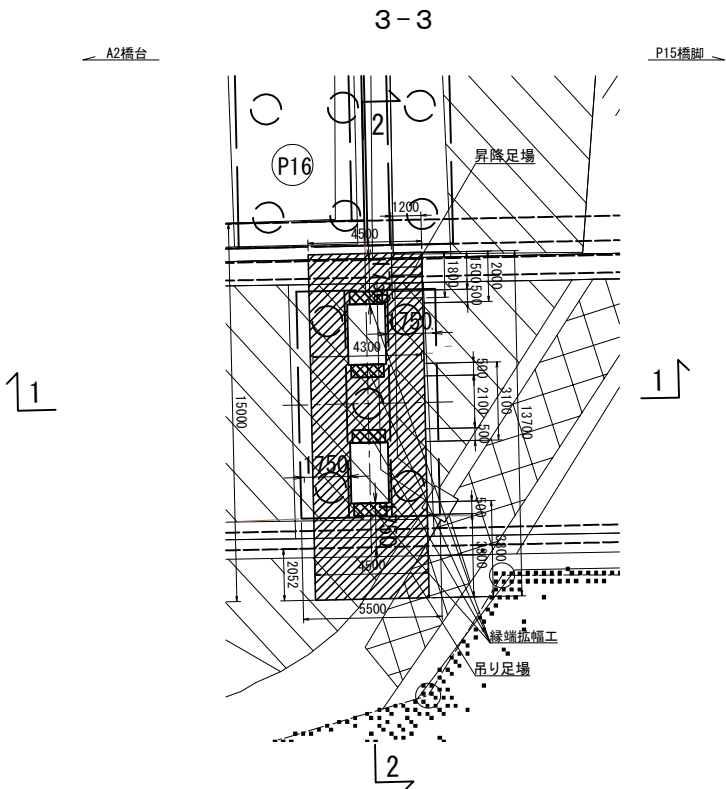
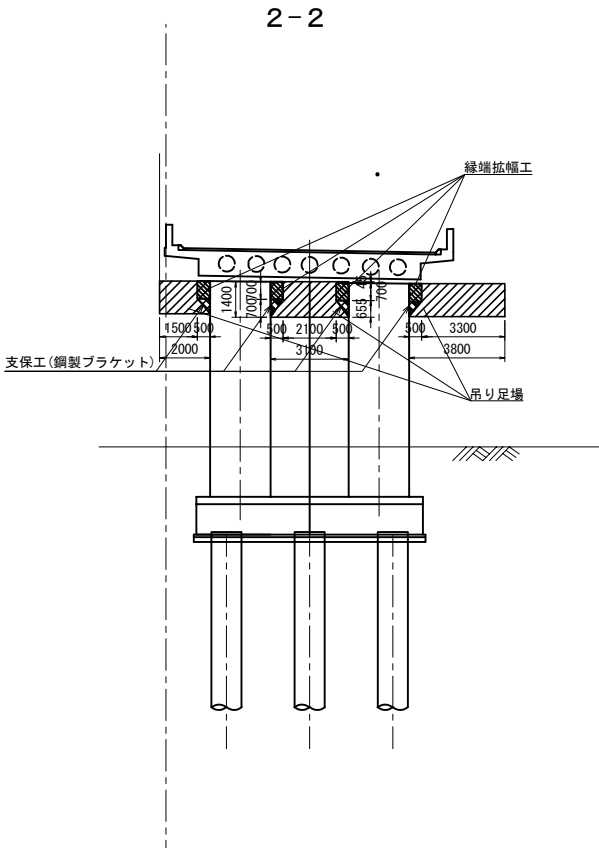
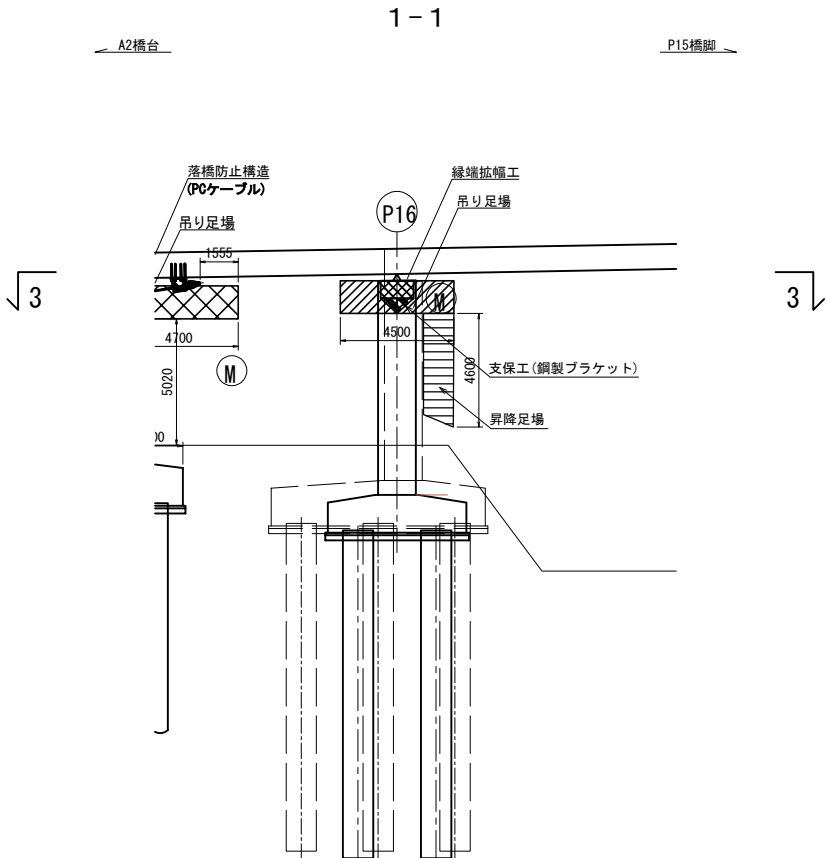


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 P15橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A1橋台		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

酒蔵高架橋 P16橋脚 上部工施工用足場工図 (参考図) S=1 : 300

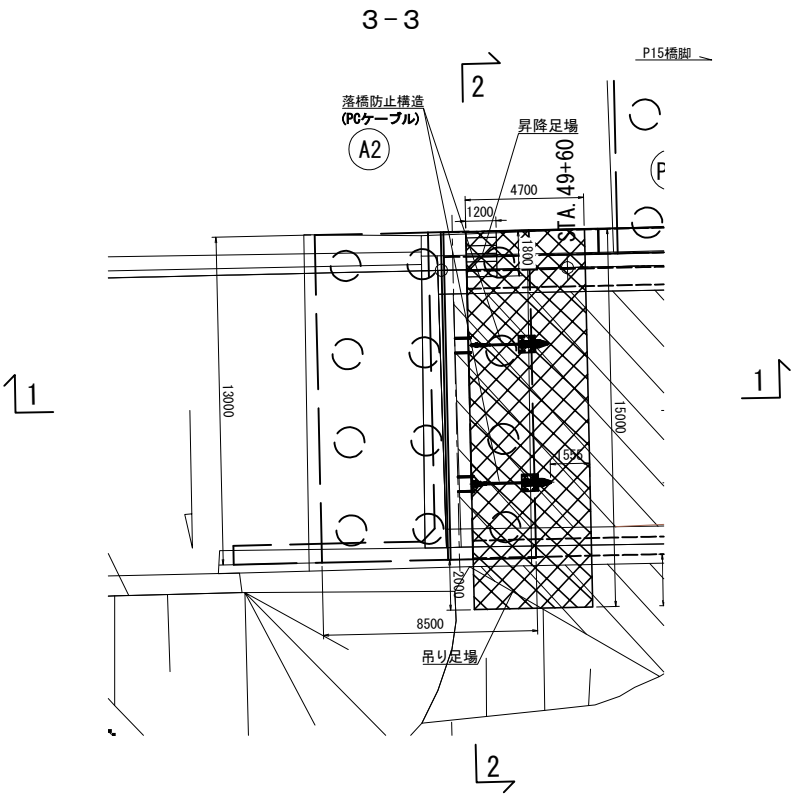
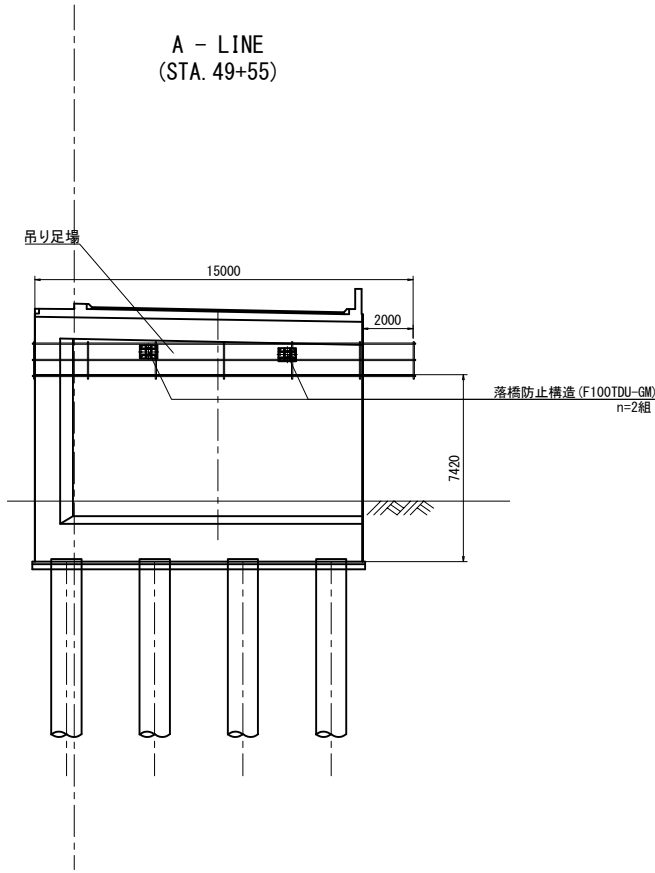
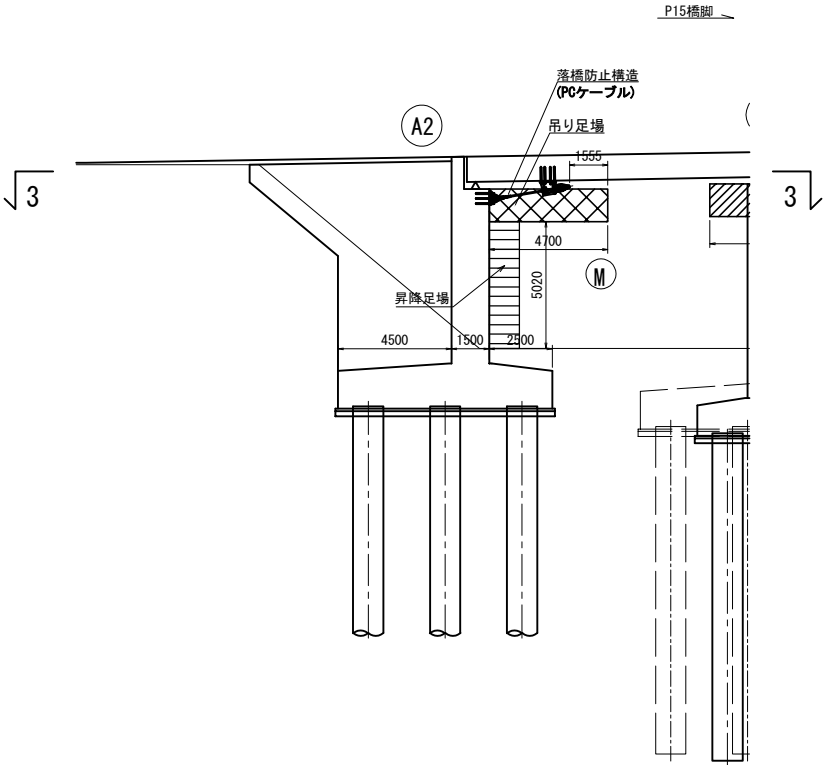


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	酒蔵高架橋 P16(橋脚 上部工施工用足場工図 (参考図))	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

酒蔵高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図（参考図） S=1 : 300

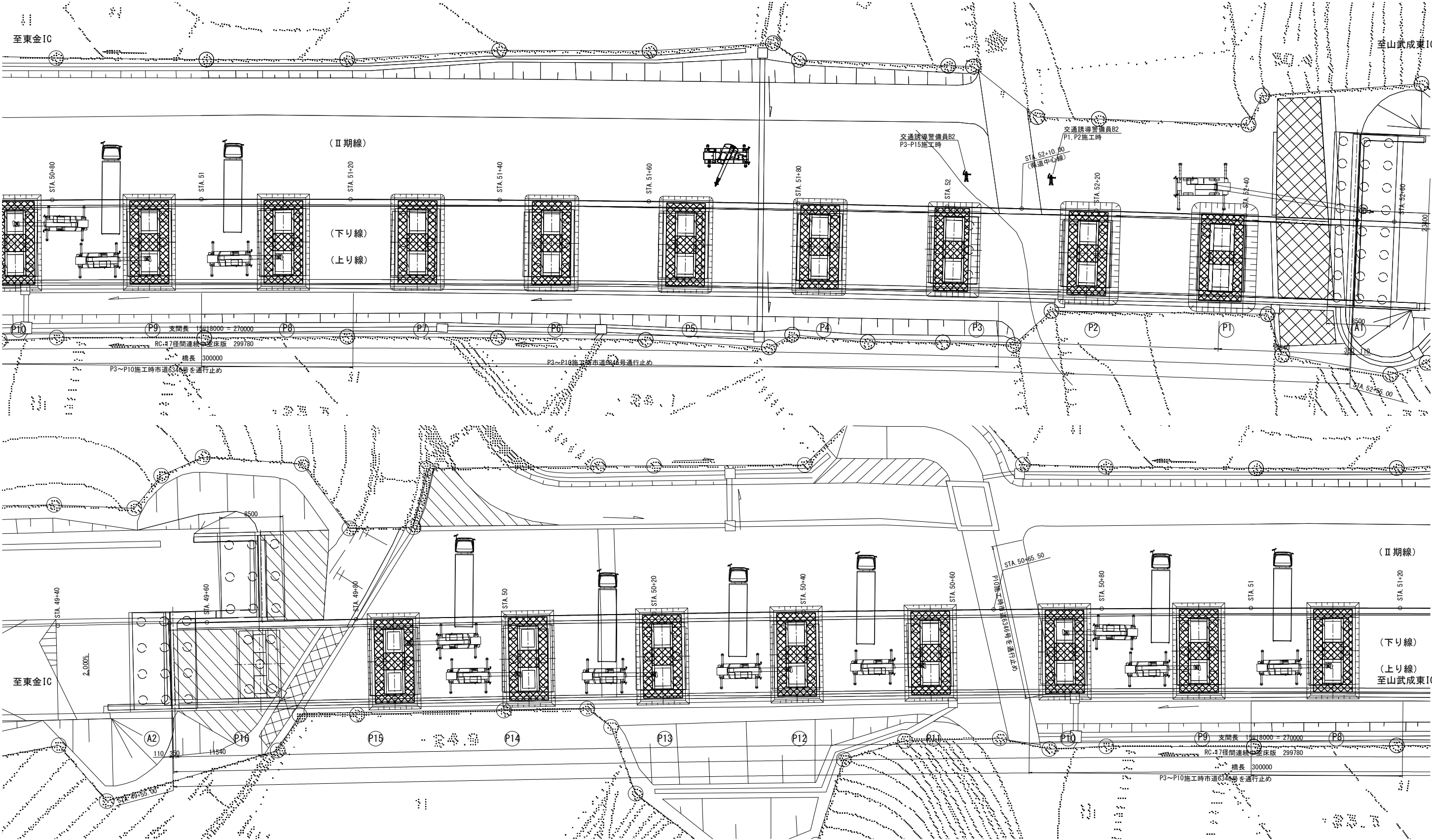
1-1

2-2



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋 A2橋台 上部施工工用足場工図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

下部工補強施工時 S=1:500



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
酒蔵高架橋			
交通保安要員配置図(参考図)(その1)			
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

落橋防止システム設置時 S=1:500



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	酒蔵高架橋		
	交通保安要員配置図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

